

## 目次（保健医療学部 看護学科）

	ページ
I. 看護学科の教育について／カリキュラムマップ／教育課程等の概要	1
II-1. 授業科目の概要（2022年度以降入学者）	19
II-2. 授業科目の概要（2021年度以前入学者）	29
III. 総合教育科目・専門基礎科目・専門科目・公衆衛生科目（2022年度以降入学者）	41
IV. 総合教育科目・統合科目・公衆衛生科目（2021年度以前入学者）	189

授業科目の名称	ページ
コミュニケーション論	42
チーム医療論 I	43
英語 I	44
英語 II	45
英語 III	47
中国語	48
韓国語	49
文学	50
教育学	51
国際保健医療論	52
音楽論	53
レクリエーションスポーツ	54
情報リテラシー	56
保健統計学の基礎	58
法学（含日本国憲法）	60
生物学	62
物理学	64
生化学	66
環境論	67
放射線概論	69
哲学	70
生命倫理学	71
社会学	72
ジェンダー学	73
人間の行動と心理	74
ボランティア学	76
人体の構造・機能 I	78
人体の構造・機能 II	80
病態学 I	82
病態学 II	84
病態学 III	86
病態学 IV（精神）	88
病態学 V（母子）	90
微生物学	92
病理学	94
現代医療論	96
薬と毒性学入門	98
臨床心理学	100
臨床栄養学	102
関係法規	104
社会福祉論	105
公衆衛生学	106
疫学 I	108
疫学 II	110
保健行政論	112
保健医療情報処理論	114
看護学概論	116

授業科目の名称	ページ
ヘルスアセスメント学 I	118
ヘルスアセスメント学 II	120
ヘルスアセスメント学 III	122
ナーシングスキル学 I	124
ナーシングスキル学 II	127
ナーシングプロセス I	129
ナーシングプロセス II	131
地域・在宅看護学	134
生涯発達看護論	136
看護倫理	138
看護基礎ゼミ	140
臨床薬理看護学	142
リハビリテーション看護論	144
成人看護学	145
成人看護方法論 I	147
成人看護方法論 II	149
老年看護学	151
老年看護方法論	153
小児看護学	155
小児看護方法論	157
母性看護学	159
母性看護方法論	161
精神看護学	163
精神看護方法論	165
在宅看護方法論	167
地域看護方法論	169
災害看護学	171
看護管理学	173
看護研究	175
プロフェッショナル論 I	177
プロフェッショナル論 II	178
看護基盤実習 I	180
看護基盤実習 II	181
ヘルスプロモーション実習	182
急性期看護実習	183
慢性期看護実習	184
公衆衛生看護学	185
公衆衛生看護活動論 I	187
チーム医療論	190
看護応用ゼミ	191
看護管理学 II	192
地域看護学実習	193
看護研究 II	194
看護研究 III	196
実践看護論 I（がん看護）	198
実践看護論 II（認知症看護）	199
実践看護論 III（小児看護の専門性）	200

授業科目の名称	ページ
実践看護論 IV（ウィメンズヘルス）	201
実践看護論 V（バイオサイコソーシャルアプローチ）	202
実践看護論 VI（補完療法とフットケア）	204
実践看護論 VII（異文化看護）	205
統合実習	206
公衆衛生看護活動論 II	207
公衆衛生看護学演習 I	208
公衆衛生看護学演習 II	210
公衆衛生看護管理論	212
公衆衛生看護学実習 I	213
公衆衛生看護学実習 II	214



I . 看護学科の教育について  
カリキュラムマップ  
教育課程等の概要



## 湘南医療大学 保健医療学部 看護学科の教育について

2022年4月1日～

**看護学科の教育目的**

看護学科は、幅広い視野で人間を理解できる教養を備え、専門職業人としての倫理観を育み、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を身につけ、地域・社会に貢献できる能力をもつ人材の養成を目的としています。

**看護学科の教育目標**

- 1) 生命に対する畏敬の念をもち、倫理に基づいた行動ができる能力を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解する能力を養う。
- 3) 科学的根拠に基づき人びとの健康上の課題に対処できる能力を養う。
- 4) 関連職種と連携・協働し看護を実践する能力を養う。
- 5) 人として自己成長を続けながら地域に貢献することができる人材を養う。

**ディプロマ・ポリシー (DP : Diploma Policy 学位授与方針)****1) 【人間の命と個を尊重できる力】**

ふれあい学園の理念である「人を尊び、命を尊び、個を敬愛する」の精神に基づき、対象者の尊厳と権利を擁護することができる。

**2) 【エビデンスに基づく実践力】**

あらゆる場・あらゆる成長発達段階にある対象者の生活と健康課題を理解し、エビデンスに基づき問題を解決するために看護を実践できる。

**3) 【援助的コミュニケーション力】**

対象者とのコミュニケーションを通して、援助的関係を形成し、病状の安定・改善、成長を促進することができる。

**4) 【チームで連携し協働する力】**

対象者の健康問題を解決するために、多職種や地域の人々の専門性や強みを尊重し協働できる。

**5) 【安全を保障する力】**

医療事故のみならず、人間の生存・生活・尊厳を脅かすあらゆる種類の脅威から対象者を護るための基本的な看護が実践できる。

**6) 【看護の発展に対応する力】**

社会状況やニーズの変化に対応し、看護師の五感や情報科学・テクノロジーを適切に用いることで看護の専門性の発展に寄与できる基礎的能力を身につける。

## カリキュラム・ポリシー (CP : Curriculum Policy 教育課程編成・実施方針)

- 1) カリキュラムの編成は、本学の理念を基盤とし、科目区分を『総合教育科目』『専門基礎科目』『専門科目』とする。
- 2) 『総合教育科目』は「コミュニケーション」「文化」「健康」「情報」「環境」「尊厳」で構成する。科目の目的によって、リハビリテーション学科と合同で実施する。
- 3) 『専門基礎科目』は「人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復」「健康支援と社会保障制度」で構成する。
- 4) 看護の『専門科目』は、「看護の基盤」「健康状態に応じた看護」「社会の変化と看護の統合」で構成し、『総合教育科目』『専門基礎科目』と有機的に連携を保つ。
- 5) 『総合教育科目』をはじめ多くの科目を通じ、【人間の命と個を尊重できる力】とともに、リハビリテーション学科と合同で【チームで連携し協働する力】を育む。
- 6) 「看護基礎ゼミ」や「コミュニケーション論」等の初年次教育科目によって、スタディスキル・アカデミックスキルを獲得させ、さらに看護師として必要な【援助的コミュニケーション力】の基礎を育成する。
- 7) 『専門基礎科目』と『専門科目』の進度を有機的に連携させ、早期から『専門科目』を学べるよう配置する。対象者の健康状態を把握する重要な科目は **Basic** と **Advance** にわけ、繰り返し学んだり、看護行為の根拠を探究し【エビデンスに基づく実践力】の基礎を育成する。
- 8) 臨地実習では、ふれあいグループの特徴を活用し、一か所で複数の実習を実施できる利点を生かし、環境変化に伴う学生のストレスを軽減するとともに、目の前の実習課題のみならず広い視野で人間の【安全を保障する力】を養う。
- 9) 看護の発展を思考する「社会の変化と看護の統合」科目や、高学年次に開講される『総合教育科目』によって、【看護の発展に対応する力】を育成する。

## アドミッション・ポリシー (AP : Admisson Policy 入学者選抜方針)

- 1) 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- 2) 人が好きで、生命に対する倫理感がしっかりしている。
- 3) 保健・看護に対する意欲や関心が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。
- 4) 入学後も生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある幅広い人間性、協調性と柔軟性を持ち、周囲の人々と良好な関係を保つことができる。
- 5) 自分の行動や考えに責任を持つことができる。

## 保健医療学部 看護学科 ナンバリングコード

### 部局コード

H	保健医療学部
---	--------

### 学科コード（教育課程）

NS	看護学科
PN	看護学科（保健師課程）
PT	理学療法学専攻
OT	作業療法学専攻
CO	共通科目

### 看護コアカリコード

A	看護系人材として求められる基本的な資質・能力
B	社会と看護学
C	看護の対象理解に必要な基本的知識
D	看護実践の基本となる専門基礎知識
E	多様な場における看護実践に必要な基本的知識
F	臨地実習
G	看護学研究
O	大学独自のカリキュラム

### 保健師課程コアカリコード

A	保健師として求められる基本的な資質・能力
B	社会と公衆衛生看護学
C	公衆衛生看護の対象理解に必要な基本的知識と関連する知識
D	公衆衛生看護実践の基本となる専門基礎知識と技術
E	公衆衛生看護活動
F	公衆衛生看護学研究
G	臨地実習

### 水準コード（新ブルームタキノミー）

1	記憶（Remembering）、理解（Understanding）
2	応用（Applying）
3	分析（Analyzing）、創造（Creating）

## 新カリキュラムツリー（「看護モデルコアカリキュラム」と「ブルームのタクソミー」）を用いて

カリキュラムツリーとは：学修の順序や、授業科目間の系統性を図示したもので、カリキュラムツリーが示されることで、学生は大学や学部のカリキュラムの全体像を俯瞰でき、履修の計画を立てやすくなる

（保健医療学部看護学科 2022年度以降入学者）

看護コアカリコード	年次	1年次			2年次	
	ブルームタクソミー	1	2	3	1	2
A (看護系人材として求められる 基本的な資質・能力)	英語 I					(英語Ⅲ)
	英語 II (中国語) (韓国語)					
	コミュニケーション論					
	生命倫理学					
B (社会と看護学)	情報リテラシー				保健統計学の基礎	(国際保健医療論※)
	法学(含日本国憲法) (文学) (環境論※)					
	教育学 哲学 (音楽論) (社会学)					
	現代医療論				公衆衛生学 (保健行政論※)	疫学 I
					関係法規 (保健医療情報処理論) (保健医療情報学)	
					社会福祉論	
	看護学概論					
	生物学 人間の行動と心理 (物理学)				病態学 I	臨床心理学
	微生物学 人体の構造・機能 I 人体の構造・機能 II 薬と毒性学入門 (生化学)				病態学 II 病態学 III 病態学 IV (精神)	臨床栄養学
	病理学 (放射線概論) 地域・在宅看護学 生涯発達看護論				病態学 V (母子)	
C (看護の対象理解に必要な基本的知識)						ナースングプロセス I
D (看護実践の基本となる専門基礎知識)			ヘルスアセスメント学 I ナースングスキル学 I			ヘルスアセスメント学 II ナースングスキル学 II
					臨床薬理看護学	成人看護学
						成人看護方法論 I
						老年看護学
						老年看護方法論
						小児看護学
						母性看護学
						精神看護学
						地域看護方法論
E (多様な場における看護実践に 必要な基本的知識)						
F (臨床実習)	看護基礎実習 I					看護基礎実習 II
G (看護学研究)						
O (大学独自のカリキュラム)	チーム医療論 I					
	ボランティア学 (ジェンダー学)					
	(レクリエーションスポーツ)					
	看護基礎ゼミ					
					プロフェッショナル論 I	



総合共通科目 ( ) 選択科目	専門基礎科目	看護専門科目 ※保健師必修科目 保健師関係科目は2022年度～ ～2023年度入学生が対象	保健師課程科目	ブルームのタキソミー 1 記憶、理解 2 応用 3 分析、評価、創造
--------------------	--------	--	---------	---

2年次	3年次			4年次		
3	1	2	3	1	2	3
				(文化人類学)		
(疫学Ⅱ※)	災害看護学					
		ナーシングプロセスⅡ 看護倫理				
		ヘルスアセスメント学Ⅲ 成人看護方法論Ⅱ 小児看護方法論 母性看護方法論 精神看護方法論 在宅看護方法論 リハビリテーション看護論				
	看護管理学	(公衆衛生看護学) (公衆衛生看護活動論Ⅰ)		国際看護学	(公衆衛生看護活動論Ⅱ)	(公衆衛生看護学演習)
		ヘルスプロモーション実習 急性期看護実習 慢性期看護実習				統合実習
		看護研究			(公衆衛生看護学実習Ⅱ)	(公衆衛生看護学実習Ⅰ)
						チーム医療論Ⅱ
		プロフェッショナル論Ⅱ			看護応用ゼミ	
					(保健医療看護の最前線)	プロフェッショナル論Ⅲ

## 新カリキュラムマップ（ディプロマ・ポリシー：DPを用いて）

カリキュラム・マップ：授業科目と教育目標の関係を示した表のことです。ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業までに身につける能力がどの項目と関連するのかわを示したり、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したりするもの。

（保健医療学部看護学科 2022年度以降入学者）

科目区分	授業科目の名称	単位数		新カリキュラム DP						
		必修	選択	1 人間の命と個を尊重できる力	2 エビデンスに基づく実践力	3 援助的コミュニケーション力	4 チームで連携し協働する力	5 安全を保障する力	6 看護の発展に対応する力	
総合教育科目	人間とコミュニケーション	コミュニケーション論	1		○		○			
		チーム医療論Ⅰ	1				○	○		
		チーム医療論Ⅱ	1					○	○	
		英語Ⅰ	1					○		
		英語Ⅱ	1					○		
		英語Ⅲ		1					○	
		中国語		1					○	
	韓国語		1					○		
	人間と文化	文学		1	○					
		教育学	1		○					
		文化人類学		1	○					
		国際保健医療論		1	○			○	○	
		音楽論		1	○					
	人間と健康	レクリエーションスポーツ		2	○					
	人間と情報	情報リテラシー	1		○				○	
		保健統計学の基礎	2			○			○	
	人間と環境	法学（含日本国憲法）	2		○				○	
		生物学		2		○				
		物理学		2		○				
		生化学		1		○				
		環境論		2	○	○				
		放射線概論		1		○			○	
	人間の本质と尊厳	哲学		1	○					
		生命倫理学	1		○					
		社会学		1	○					
		ジェンダー学		1	○					
		人間の行動と心理	2		○					
		ボランティア学	1		○			○		
	専門基礎科目	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	人体の構造・機能Ⅰ	2			○			○
			人体の構造・機能Ⅱ	2			○			○
病態学Ⅰ			2			○			○	
病態学Ⅱ			2			○			○	
病態学Ⅲ			1			○			○	
病態学Ⅳ(精神)			1			○			○	
病態学Ⅴ(母子)			1			○			○	
微生物学			1			○			○	
病理学			1			○			○	
			現代医療論	1		○			○	○
健康支援と社会保障制度		薬と毒性学入門	2			○			○	
		臨床心理学	1		○	○	○			
		臨床栄養学	1			○				
		社会福祉論	1		○			○		
		関係法規	1			○			○	
		疫学Ⅰ	1			○			○	○
		疫学Ⅱ		1		○			○	○
		公衆衛生学	1					○	○	○
		保健行政論		1				○	○	○
		保健医療情報処理論		1						○
保健医療情報学		1			○			○		

科目区分	授業科目の名称	単位数		新カリキュラム DP						
		必修	選択	1 人間の命と個を尊重できる力	2 エビデンスに基づく実践力	3 援助的コミュニケーション力	4 チームで連携し協働する力	5 安全を保障する力	6 看護の発展に対応する力	
専門科目	看護学概論	1		○		○	○			
	ヘルスアセスメント学Ⅰ	1			○	○		○		
	ヘルスアセスメント学Ⅱ	2			○			○		
	ヘルスアセスメント学Ⅲ	1			○			○		
	ナーシングスキル学Ⅰ	3			○	○		○		
	ナーシングスキル学Ⅱ	3				○	○		○	
	ナーシングプロセスⅠ	1		○	○	○				
	ナーシングプロセスⅡ	2			○	○			○	
	地域・在宅看護学	2		○		○		○		
	生涯発達看護論	1		○	○				○	
	看護倫理	1		○	○			○		
	看護基礎ゼミ	1		○		○	○			
	応用科目	臨床薬理看護学	1			○		○	○	
		リハビリテーション看護論	1		○			○	○	
		成人看護学	1		○		○	○		
		成人看護方法論Ⅰ	1			○	○	○		
		成人看護方法論Ⅱ	1			○	○	○		
		老年看護学	1		○			○		
		老年看護方法論	1			○	○		○	
		小児看護学	1		○	○			○	
		小児看護方法論	1			○	○		○	
		母性看護学	1		○	○			○	○
		母性看護方法論	1		○	○			○	
		精神看護学	1		○		○		○	
		精神看護方法論	1			○	○		○	
		在宅看護方法論	1			○	○	○		
	地域看護方法論	1				○	○			
	発展科目	災害看護学	1					○	○	○
		国際看護学	2		○				○	○
		看護管理学	1					○	○	○
		看護研究	1							○
		プロフェッショナル論Ⅰ	1					○	○	○
		プロフェッショナル論Ⅱ	1					○	○	○
		プロフェッショナル論Ⅲ	1					○	○	○
		保健医療看護の最前線		2						
		看護応用ゼミ	2			○			○	○
	臨地実習	看護基礎実習Ⅰ	2		○	○				
		看護基礎実習Ⅱ	4			○	○			
		ヘルスプロモーション実習	4				○	○		
		急性期看護実習	4			○			○	
		慢性期看護実習	6				○	○		
		統合実習	3					○		○
	公衆衛生看護学 ※2022年度～ 2023年度入学生	公衆衛生看護学		3	○				○	
		公衆衛生看護活動論Ⅰ		3		○	○			
公衆衛生看護活動論Ⅱ			3		○	○				
公衆衛生看護学演習			2		○	○	○			
公衆衛生看護学実習Ⅰ			4			○	○	○		
公衆衛生看護学実習Ⅱ		1			○		○			

教育課程等の概要

(保健医療学部看護学科 2024年度以降入学者)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態			総時間	配当年次・学期・単位								授業科目ナンバリング				卒業要件
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		1年次		2年次		3年次		4年次		部局コード	学科コード	看護学コード	（フルタイム）	
									前	後	前	後	前	後	前	後					
総合教育科目	人間とコミュニケーション	1			○			15	1								H	CO	A	1	必修15単位+選択16単位以上、計31単位以上取得すること
	チーム医療論Ⅰ	1			○			15	1								H	NS	O	1	
	チーム医療論Ⅱ	1				○		30						1			H	CO	O	3	
	英語Ⅰ	1			○			15	1								H	CO	A	1	
	英語Ⅱ	1				○		30	1								H	CO	A	1	
	英語Ⅲ		1		○			15			1						H	CO	A	2	
	中国語		1		○			15	1								H	CO	A	1	
	韓国語		1		○			15	1								H	CO	A	1	
	人間と文化	文学		1		○		15	1								H	CO	B	1	
	教育学	1			○			15	1								H	CO	B	1	
	文化人類学		1		○			15					1				H	CO	B	1	
	国際保健医療論		1		○			15				1					H	CO	B	2	
	音楽論		1		○			15		1							H	CO	B	1	
	レクリエーションスポーツ		2			○		60	2								H	CO	O	1	
	情報リテラシー	1				○		30	1								H	CO	B	1	
	保健統計学の基礎	2				○		30			2						H	NS	B	1	
	法学(含日本国憲法)	2				○		30	2								H	CO	B	1	
	人間と環境	生物学		2		○		30	2								H	CO	C	1	
	物理学		2			○		30	2								H	CO	C	1	
	生化学		1			○		15		1							H	CO	C	1	
	環境論		2			○		30	2								H	CO	B	1	
	放射線概論		1			○		15		1							H	CO	C	1	
	人間の本质と尊厳	哲学		1		○		15		1							H	CO	O	1	
	生命倫理学	1				○		15		1							H	CO	A	1	
	社会学		1			○		15		1							H	CO	B	1	
	ジェンダー学		1			○		15		1							H	CO	O	1	
	人間の行動と心理	2				○		30	2								H	CO	C	1	
	ボランティア学	1				○		30		1							H	CO	O	1	
小計(28科目)		15	20	0																	
専門基礎科目	人間の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	人体の構造・機能Ⅰ	2			○		60	2								H	NS	C	1	必修22単位+選択2単位以上、計24単位以上取得すること
	人体の構造・機能Ⅱ	2			○		60		2								H	NS	C	1	
	病態学Ⅰ	2			○		60			2							H	NS	C	1	
	病態学Ⅱ	2			○		60			2							H	NS	C	1	
	病態学Ⅲ	1			○		30				1						H	NS	C	1	
	病態学Ⅳ(精神)	1			○		30					1					H	NS	C	1	
	病態学Ⅴ(母子)	1			○		30				1						H	NS	C	1	
	微生物学	1			○		30	1									H	NS	C	1	
	病理学	1			○		30		1								H	NS	C	1	
	健康支援と社会保障制度	現代医療論	1			○		30		1							H	NS	B	1	
	薬と毒性学入門	2			○		30		2								H	NS	C	1	
	臨床心理学	1			○		30			1							H	NS	C	2	
	臨床栄養学	1			○		30			1							H	NS	C	2	
	関係法規	1			○		15			1							H	NS	B	1	
	社会福祉論	1			○		15				1						H	CO	B	1	
	公衆衛生学	1			○		30			1							H	CO	B	1	
	疫学Ⅰ	1			○		30				1						H	NS	B	2	
	疫学Ⅱ		1		○		15					1					H	NS	B	3	
	保健行政論		1		○		15				1						H	CO	B	1	
	保健医療情報学		1		○		15				1						H	NS	B	1	
小計(20科目)		22	3	0																	

教育課程等の概要

(保健医療学部看護学科 2024年度以降入学者)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態			総時間	配当年次・学期・単位								授業科目ナンバリング				卒業要件
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		1年次		2年次		3年次		4年次		部局コード	学科コード	看護学10コアカリ	(水単コード)	
									前	後	前	後	前	後	前	後					
基盤科目	看護学概論	1			○			30	1								H	NS	B	1	必修46単位+選択2単位取得すること
	ヘルスアセスメント学Ⅰ	1			○	○		30		1							H	NS	D	2	
	ヘルスアセスメント学Ⅱ	2			○	○		60				2					H	NS	D	2	
	ヘルスアセスメント学Ⅲ	1			○	○		30					1				H	NS	D	3	
	ナーシングスキル学Ⅰ	3			○	○		90		3							H	NS	D	2	
	ナーシングスキル学Ⅱ	3			○	○		90			3						H	NS	D	2	
	ナーシングプロセスⅠ	1			○	○		30			1						H	NS	C	2	
	ナーシングプロセスⅡ	2			○	○		90					2				H	NS	C	2	
	地域・在宅看護学	1			○	○		30		1							H	NS	C	1	
	生涯発達看護論	1			○			30		1							H	NS	C	1	
看護倫理	1			○	○		30					1				H	NS	B	2		
看護基礎ゼミ	1				○		30	1								H	NS	O	1		
応用科目	臨床薬理看護学	1			○			30				1					H	NS	D	1	
	リハビリテーション看護論	1			○			30					1				H	NS	D	2	
	成人看護学	1			○	○		30			1						H	NS	D	2	
	成人看護方法論Ⅰ	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
	成人看護方法論Ⅱ	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
	老年看護学	1			○	○		30			1						H	NS	D	2	
	老年看護方法論	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
	小児看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
	小児看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
	母性看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
	母性看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
	精神看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
	精神看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
	在宅看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
地域看護方法論	1			○	○		30				1					H	NS	D	2		
発展科目	災害看護学	2			○			30					2				H	NS	B	1	
	国際看護学	2			○			30						2			H	NS	E	1	
	看護管理学	2			○			30				2					H	NS	D	1	
	看護研究	2			○	○		30				2					H	NS	G	2	
	プロフェッショナル論Ⅰ	1			○	○		30			1						H	NS	O	1	
	プロフェッショナル論Ⅱ	1			○	○		30					1				H	NS	O	2	
	プロフェッショナル論Ⅲ	1			○	○		30						1			H	NS	O	3	
	保健医療看護の最前線		2			○		30						2			H	NS	O	2	
	看護応用ゼミ	2				○		60							2		H	NS	O	2	
小計(36科目)		46	2	0																	
臨地実習	看護基盤実習Ⅰ	2				○	90	2									H	NS	F	1	
	看護基盤実習Ⅱ	4				○	180			4							H	NS	F	2	
	ヘルスプロモーション実習	4				○	180					4					H	NS	F	2	
	急性期看護実習	4				○	180					4					H	NS	F	2	
	慢性期看護実習	6				○	270					4					H	NS	F	2	
	統合実習	3				○	135						3				H	NS	F	3	
小計(6科目)		23	0	0																	
学位又は称号	学士(看護学)			学位または学科の分野				保健衛生学関係(看護学関係)													
卒業要件及び履修方法								授業期間等													
卒業要件は、必修106単位、総合教育科目の選択科目から16単位、専門基礎科目の選択科目から2単位、専門科目の選択科目から2単位以上を取得し、126単位以上取得していること。								1学年の学期区分				2期									
								1学期の授業期間				15週									
								1時限の授業時間				90分									

I  
看護学科の教育  
マップ・教育課程

教育課程等の概要

(保健医療学部看護学科 2022年度～2023年度以降入学者)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態			総時間	配当年次・学期・単位								授業科目ナンバリング				卒業要件	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		1年次		2年次		3年次		4年次		部局コード	学科コード	看護学1ドアカリ	看護学2ドアカリ		水単コード (ブルーム)
									前	後	前	後	前	後	前	後						
総合教育科目	人間とコミュニケーション	1			○			15	1								H	CO	A	1	必修15単位+選択16単位以上、計31単位以上取得すること (保健師課程履修者は、※の2科目が選択必修)	
	チーム医療論Ⅰ	1			○			15	1								H	NS	O	1		
	チーム医療論Ⅱ	1				○		30						1			H	CO	O	3		
	英語Ⅰ	1			○			15	1								H	CO	A	1		
	英語Ⅱ	1				○		30	1								H	CO	A	1		
	英語Ⅲ		1		○			15			1						H	CO	A	2		
	中国語		1		○			15	1								H	CO	A	1		
	韓国語		1		○			15	1								H	CO	A	1		
	人間と文化		1		○			15	1								H	CO	B	1		
	教育学	1			○			15		1							H	CO	B	1		
	文化人類学		1		○			15					1				H	CO	B	1		
	国際保健医療論 ※		1		○			15				1					H	CO	B	2		
	音楽論		1		○			15		1							H	CO	B	1		
	レクリエーションスポーツ		2			○		60		2							H	CO	O	1		
	人間と情報		1			○		30	1								H	CO	B	1		
	保健統計学の基礎	2			○			30			2						H	NS	B	1		
	人間と環境		2		○			30	2								H	CO	B	1		
	生物学		2		○			30	2								H	CO	C	1		
	物理学		2		○			30	2								H	CO	C	1		
	生化学		1		○			15		1							H	CO	C	1		
	環境論 ※		2		○			30	2								H	CO	B	1		
	放射線概論		1		○			15		1							H	CO	C	1		
	人間の本质と尊厳		1		○			15		1							H	CO	O	1		
	生命倫理学	1			○			15		1							H	CO	A	1		
	社会学		1		○			15		1							H	CO	B	1		
	ジェンダー学		1		○			15		1							H	CO	O	1		
	人間の行動と心理	2			○			30	2								H	CO	C	1		
	ボランティア学	1			○			30		1							H	CO	O	1		
小計(28科目)		15	20	0	-												-					
専門基礎科目	人間の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	2			○			60	2								H	NS	C	1	必修22単位+選択24単位以上取得すること (保健師課程履修者は、※の2科目が選択必修)	
	人体の構造・機能Ⅱ	2			○			60		2							H	NS	C	1		
	病態学Ⅰ	2			○			60			2						H	NS	C	1		
	病態学Ⅱ	2			○			60			2						H	NS	C	1		
	病態学Ⅲ	1			○			30				1					H	NS	C	1		
	病態学Ⅳ(精神)	1			○			30					1				H	NS	C	1		
	病態学Ⅴ(母子)	1			○			30				1					H	NS	C	1		
	微生物学	1			○			30	1								H	NS	C	1		
	病理学	1			○			30		1							H	NS	C	1		
	健康支援と社会保障制度	1			○			30		1							H	NS	B	1		
	現代医療論	2			○			30		2							H	NS	C	1		
	薬と毒性学入門	1			○			30			1						H	NS	C	2		
	臨床心理学	1			○			30			1						H	NS	C	2		
	臨床栄養学	1			○			30			1						H	NS	C	2		
	関係法規	1			○			15			1						H	NS	B	1		
	社会福祉論	1			○			15				1					H	CO	B	1		
	公衆衛生学	1			○			30			1						H	CO	B	1		
	疫学Ⅰ	1			○			30				1					H	NS	B	2		
疫学Ⅱ ※		1		○			30					1				H	NS	B	3			
保健行政論 ※		1		○			30			1						H	CO	B	1			
保健医療情報処理論		1		○			30			1						H	NS	B	1			
小計(20科目)		22	3	0	-												-					

教育課程等の概要

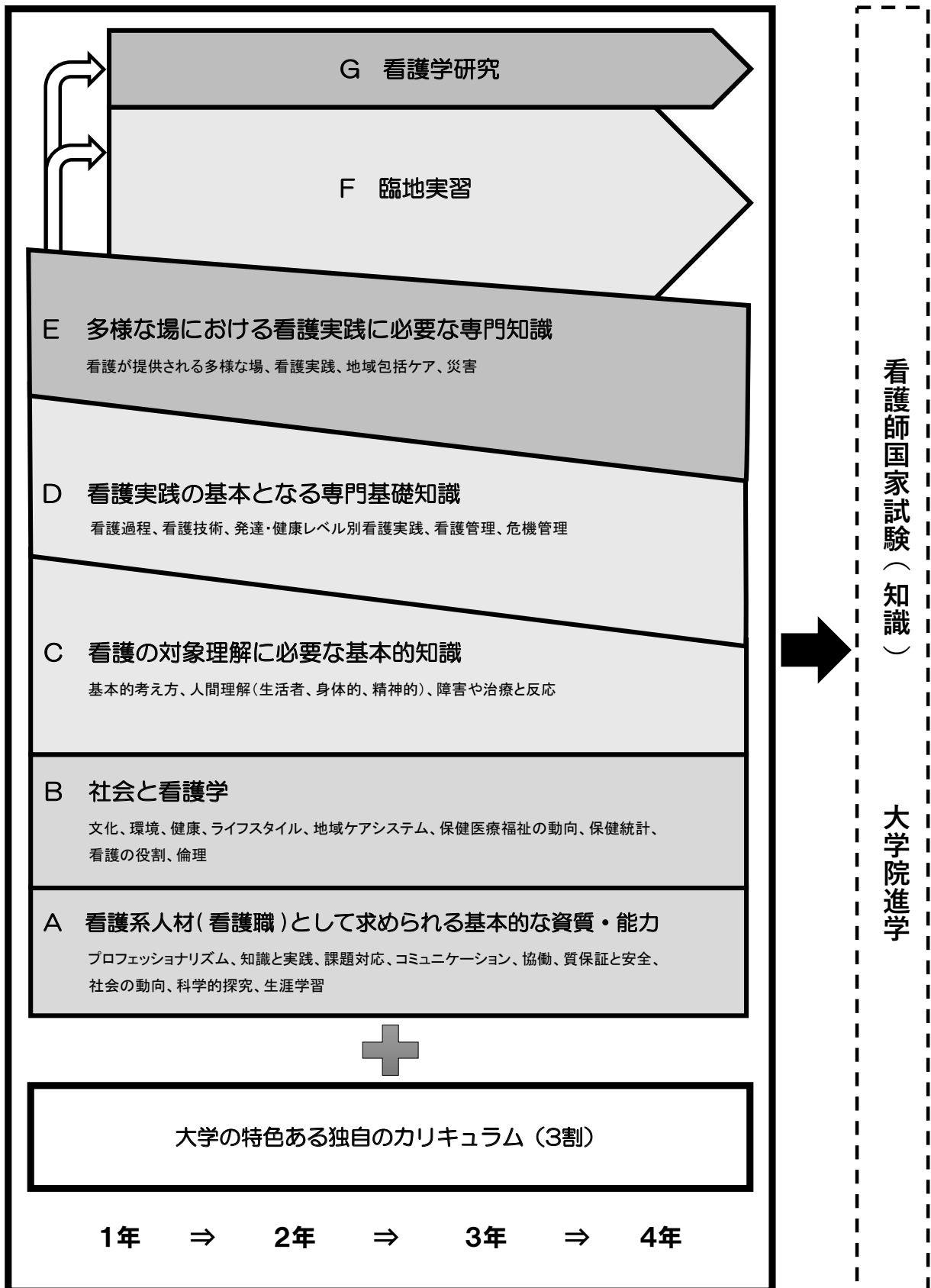
(保健医療学部看護学科 2022年度～2023年度以降入学者)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態	実験・実習	総時間	配当年次・学期・単位								授業科目ナンバリング				卒業要件			
		必修	選択	自由				1年次		2年次		3年次		4年次		部局コード	学科コード	看護学1ドアカリ	看護学2ドアカリ		(水単コード)		
								前	後	前	後	前	後	前	後								
基盤科目	看護学概論	1			○		30	1										H	NS	B	1	必修46単位+選択2単位取得すること	
	ヘルスアセスメント学Ⅰ	1			○	○	30		1									H	NS	D	2		
	ヘルスアセスメント学Ⅱ	2			○	○	60				2							H	NS	D	2		
	ヘルスアセスメント学Ⅲ	1			○	○	30					1						H	NS	D	3		
	ナーシングスキル学Ⅰ	3			○	○	90		3									H	NS	D	2		
	ナーシングスキル学Ⅱ	3			○	○	90				3							H	NS	D	2		
	ナーシングプロセスⅠ	1			○	○	30			1								H	NS	C	2		
	ナーシングプロセスⅡ	2			○	○	90					2						H	NS	C	2		
	地域・在宅看護学	1			○	○	30		1									H	NS	C	1		
	生涯発達看護論	1			○		30		1									H	NS	C	1		
	看護倫理	1			○	○	30					1						H	NS	B	2		
	看護基礎ゼミ	1				○	30	1										H	NS	O	1		
	応用科目	臨床薬理看護学	1			○		30				1							H	NS	D		1
		リハビリテーション看護論	1			○		30					1						H	NS	D		2
		成人看護学	1			○	○	30			1								H	NS	D		2
成人看護方法論Ⅰ		1			○	○	30				1							H	NS	D	2		
成人看護方法論Ⅱ		1			○	○	30					1						H	NS	D	2		
老年看護学		1			○	○	30		1									H	NS	D	2		
老年看護方法論		1			○	○	30			1								H	NS	D	2		
小児看護学		1			○	○	30				1							H	NS	D	2		
小児看護方法論		1			○	○	30					1						H	NS	D	2		
母性看護学		1			○	○	30				1							H	NS	D	2		
母性看護方法論		1			○	○	30					1						H	NS	D	2		
精神看護学		1			○	○	30				1							H	NS	D	2		
精神看護方法論		1			○	○	30					1						H	NS	D	2		
在宅看護方法論		1			○	○	30					1						H	NS	D	2		
地域看護方法論		1			○	○	30				1							H	NS	D	2		
発展科目	災害看護学	2			○		30						2					H	NS	B	1		
	国際看護学	2			○		30							2				H	NS	E	1		
	看護管理学	2			○		30					2						H	NS	D	1		
	看護研究	2			○	○	30					2						H	NS	G	2		
	プロフェッショナル論Ⅰ	1			○	○	30			1								H	NS	O	1		
	プロフェッショナル論Ⅱ	1			○	○	30					1						H	NS	O	2		
	プロフェッショナル論Ⅲ	1			○	○	30								1			H	NS	O	3		
	保健医療看護の最前線	2			○		30							2				H	NS	O	2		
	看護応用ゼミ	2				○	60									2		H	NS	O	2		
小計(36科目)		46	2	0	-																		
臨地実習	看護基礎実習Ⅰ	2				○	90	2										H	NS	F	1		
	看護基礎実習Ⅱ	4				○	180				4							H	NS	F	2		
	ヘルスプロモーション実習	4				○	180						4					H	NS	F	2		
	急性期看護実習	4				○	180						4					H	NS	F	2		
	慢性期看護実習	6				○	270						4					H	NS	F	2		
	統合実習	3				○	135							3				H	NS	F	3		
小計(6科目)		23	0	0	-																		
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学 ※		3		○		45						3					H	PN	E	2		
	公衆衛生看護学活動Ⅰ ※		3		○	○	45						3					H	PN	E	2		
	公衆衛生看護学活動Ⅱ ※		3		○	○	45							3				H	PN	E	2		
	公衆衛生看護学演習 ※		2		○	○	60							2				H	PN	E	3		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ ※		4			○	180						4					H	PN	F	3		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ ※		1			○	45							1				H	PN	F	2		
小計(6科目)		0	16	0	-																		
学位又は称号	学士(看護学)			学位または学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)																
卒業要件及び履修方法							授業期間等																
卒業要件は、必修106単位、総合教育科目の選択科目から16単位、専門基礎科目の選択科目から2単位、専門科目の選択科目から2単位以上を取得し、126単位以上取得していること。保健師課程履修者は、総合教育科目のうち国際医療保健論(1単位)、環境論(2単位)、専門基礎科目のうち疫学Ⅱ(1単位)、保健行政論(1単位)および公衆衛生科目の16単位(選択16単位)を選択必修とする。卒業要件は、必修106単位、選択36単位、合計142単位以上を取得していることとする。							1学年の学期区分				2期												
							1学期の授業期間				15週												
							1時限の授業時間				90分												

I  
看護学科の教育  
マップ・教育課程

# 2021年度以前入学者 看護学科カリキュラム・マップ

看護学科の教育目的：根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を身につけ、  
地域社会に貢献できる看護師の養成





教育課程等の概要

(保健医療学部看護学科 2019年度～2021年度入学者)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態			総時間	配当年次・学期・単位								授業科目ナンバリング				卒業要件	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		1年次		2年次		3年次		4年次		部局コード	学科コード	理学コード (コアカリ)	本学コード (フルーム)		
									前	後	前	後	前	後	前	後						
総合教育科目	人間とコミュニケーション	1			○			15	1									H	CO	A	1	必修 18単位 + 選択15単位 以上、 計33単位 以上 取得すること
	チーム医療論	1				○		30						1				H	CO	O	3	
	英語 I	1				○		30	1									H	CO	A	1	
	英語 II	1				○		30			1							H	CO	A	1	
	英語 III		1			○		30				1						H	CO	A	2	
	中国語		1			○		30	1									H	CO	A	1	
	韓国語		1			○		30	1									H	CO	A	1	
	人間と文化	文学		1		○		15	1									H	CO	O	1	
	教育学	1			○			15	1									H	CO	O	1	
	文化人類学		1			○		15	1									H	CO	B	1	
	国際関係論		1			○		15	1									H	CO	B	1	
	国際保健医療論		1			○		15	1									H	CO	B	2	
	音楽論		1				○	30		1								H	CO	O	1	
	人間と健康	栄養学	2			○		30	2									H	CO	C	1	
	薬理学	2			○			30		2								H	CO	C	1	
	社会福祉論	1			○			15			1							H	CO	B	1	
	障害者スポーツ		1			○		30	前・後1									H	CO	O	1	
	レクリエーションスポーツ		1			○		30	前・後1									H	CO	O	1	
	人間と情報	情報リテラシー		1			○	30	1									H	CO	B	1	
	研究法入門			2			○	30		2								H	CO	G	1	
	人間と環境	公衆衛生学	1			○		15			1							H	CO	B	1	
	保健行政論	1			○			15			1							H	CO	B	1	
	法学 (含日本国憲法)	2			○			30	2									H	CO	B	1	
	生物学		2		○			30	2									H	CO	C	1	
	物理学		2		○			30	2									H	CO	O	1	
	生化学	1			○			15		1								H	CO	C	1	
	環境論	1			○			15	1									H	CO	B	1	
	放射線概論		1		○			15		1								H	CO	C	1	
	人間の本質と尊厳	哲学		1		○		15		1								H	CO	O	1	
	倫理学		1		○			15	1									H	CO	A	1	
	社会学		2		○			30		2								H	CO	B	1	
	心理学	2			○			30	2									H	CO	C	1	
	発達心理学		1		○			15		1								H	CO	C	1	
	ボランティア学		1		○			15		1								H	CO	O	1	
	生命倫理学		1		○			15		1								H	CO	A	1	
小計 (35科目)		18	25	0	-													-				

教育課程等の概要

(保健医療学部看護学科 2019年度～2021年度入学者)

科目区分	授業科目の名称	単位数		授業形態			総時間	配当年次・学期・単位								授業科目ナンバリング				卒業要件	
		必修	選択	自由	講義	演習		実験・実習	1年次		2年次		3年次		4年次		部局コード	学科コード	理学コード (フルタイム)		理学コード (パートタイム)
									前	後	前	後	前	後	前	後					
専門基礎科目	人体の構造・機能Ⅰ	2			○		60	2								H	NS	C	1	必修 21単位 + 選択 1単位以上、 計22単位 以上 取得すること	
	人体の構造・機能Ⅱ	2			○		30		2						H	NS	C	1			
	病態学Ⅰ	2			○		30		2						H	NS	C	1			
	病態学Ⅱ	2			○		30		2						H	NS	C	1			
	病態学Ⅲ	1			○		15			1					H	NS	C	1			
	精神病態・治療学	1			○		15			1					H	NS	C	1			
	微生物学	2			○		30	2							H	NS	C	1			
	病理学	2			○		30		2						H	NS	C	1			
	現代医療論	1			○		15			1					H	NS	B	1			
	臨床心理学	1			○		15			1					H	NS	C	2			
	医療関連法規	1			○		15			1					H	NS	B	1			
	リハビリテーション概論		1		○		15				1				H	NS	C	1			
	臨床栄養学		1		○		15				1				H	NS	C	2			
	疫学	2			○		30			2					H	NS	B	2			
保健統計学	2			○		30				2				H	NS	B	1				
保健医療情報処理論		1		○		15				1				H	NS	B	1				
小計(16科目)		21	3	0																	
専門科目Ⅰ	看護学概論	2			○		30	2							H	NS	B	1	必修 13単位 取得すること		
	看護倫理	1			○		30				1				H	NS	B	2			
	看護技術概論	1			○		15	1							H	NS	D	2			
	生活行動の援助技術	2			○		60		2						H	NS	D	2			
	診療に伴う援助技術	2			○		60			2					H	NS	D	2			
	ヘルスアセスメント	1			○		30		1						H	NS	C	2			
	看護過程	1			○		30			1					H	NS	C	2			
	基礎看護学実習Ⅰ	1				○	45	1							H	NS	F	1			
	基礎看護学実習Ⅱ	2				○	90				2				H	NS	F	2			
小計(9科目)		13	0	0																	
専門科目Ⅱ	成人看護学概論	1			○		15			1					H	NS	D	2	必修 37単位 取得すること		
	成人看護方法論Ⅰ	2			○		30				2				H	NS	D	2			
	成人看護方法論Ⅱ	2			○		30					2			H	NS	D	2			
	成人看護方法論Ⅲ	1			○		30					1			H	NS	D	2			
	成人看護学基盤実習	1				○	45				1				H	NS	F	1			
	成人看護学実習Ⅰ	2				○	90						2		H	NS	F	2			
	成人看護学実習Ⅱ	2				○	90						2		H	NS	F	2			
	老年看護学概論	1			○		15			1					H	NS	D	2			
	老年看護方法論Ⅰ	1			○		15			1					H	NS	D	2			
	老年看護方法論Ⅱ	1			○		30				1				H	NS	D	2			
	老年看護方法論Ⅲ	1			○		15					1			H	NS	D	2			
	老年看護学実習Ⅰ	2				○	90			2					H	NS	F	2			
	老年看護学実習Ⅱ	2				○	90					2			H	NS	F	2			
	小児看護学概論	1			○		15			1					H	NS	D	2			
	小児看護方法論Ⅰ	1			○		15			1					H	NS	D	2			
	小児看護方法論Ⅱ	1			○		15				1				H	NS	D	2			
	小児看護方法論Ⅲ	1			○		30					1			H	NS	D	2			
	小児看護学実習	2				○	90						2		H	NS	F	2			
	母性看護学概論	1			○		15			1					H	NS	D	2			
	母性看護方法論Ⅰ	1			○		15				1				H	NS	D	2			
	母性看護方法論Ⅱ	2			○		30					2			H	NS	D	2			
	母性看護学実習	2				○	90					2			H	NS	F	2			
	精神看護学概論	1			○		15			1					H	NS	D	2			
精神看護方法論Ⅰ	1			○		15				1				H	NS	D	2				
精神看護方法論Ⅱ	2			○		30					2			H	NS	D	2				
精神看護学実習	2				○	90						2		H	NS	F	2				
小計(26科目)		37	0	0																	

教育課程等の概要

(保健医療学部看護学科 2019年度～2021年度入学者)

科目区分	授業科目の名称	単位数		授業形態			総時間	配当年次・学期・単位								授業科目ナンバリング				卒業要件	
		必修	選択	自由	講義	演習		実験・実習	1年次		2年次		3年次		4年次		部局コード	学科コード	理学コード		（本学コード）
									前	後	前	後	前	後	前	後					
統合科目 統合看護学	看護基礎ゼミ	1			○		15	1								H	NS	O	1	必修 19単位 + 選択 2単位以上、 計21単位 以上 取得すること	
	看護応用ゼミ	1			○		15						1		H	NS	O	2			
	災害看護学	1			○		15	1							H	NS	E	1			
	感染看護学	1			○		15	1							H	NS	D	1			
	家族看護学	1			○		15		1						H	NS	O	1			
	国際看護学	1			○		15			1					H	NS	E	1			
	看護管理学Ⅰ	1			○		15				1				H	NS	D	3			
	看護管理学Ⅱ	1			○		15						1		H	NS	D	3			
	在宅看護学概論	1			○		15			1					H	NS	E	2			
	在宅看護方法論Ⅰ	1				○	30				1				H	NS	E	2			
	在宅看護方法論Ⅱ	1				○	30					1			H	NS	E	2			
	在宅看護学実習	2					90						2		H	NS	F	2			
	地域看護学Ⅰ	1			○		15				1				H	NS	E	1			
	地域看護学Ⅱ ※		1		○		15					1			H	PN	A	1			
	地域看護学実習	1					45						1		H	NS	F	1			
	看護研究Ⅰ	1			○		15					1			H	NS	G	1			
	看護研究Ⅱ	1				○	30							1	H	NS	G	2			
	看護研究Ⅲ		1			○	30							1	H	NS	G	3			
	リハビリテーション看護論		1		○		15					1			H	NS	C	2			
	実践看護論Ⅰ（がん看護）		1		○		15						1		H	NS	E	3			
	実践看護論Ⅱ（認知症看護）		1		○		15						1		H	NS	O	2			
	実践看護論Ⅲ（小児看護の専門性）		1		○		15						1		H	NS	E	3			
	実践看護論Ⅳ（ウィメンズヘルス）		1		○		15						1		H	NS	E	2			
実践看護論Ⅴ（バイオサイコソーシャルアプローチ）		1		○		15						1		H	NS	E	3				
実践看護論Ⅵ（補完療法とフットケア）		1		○		15						1		H	NS	E	3				
実践看護論Ⅶ（異文化看護）		1		○		15						1		H	NS	E	3				
統合実習	2					90						2		H	NS	F	3				
小計（27科目）		19	10	0																	
公衆衛生科目 公衆衛生看護学	公衆衛生看護学活動Ⅰ ※		1		○		15						1		H	PN	E	2	※は保健師国家試験受験者は必修科目とする。		
	公衆衛生看護学活動Ⅱ ※		1		○		15					1		H	PN	E	2				
	公衆衛生看護学演習Ⅰ ※		1			○	30					1		H	PN	D	2				
	公衆衛生看護学演習Ⅱ ※		1			○	30					1		H	PN	D	2				
	学校保健・産業保健論 ※		1		○		15				1			H	PN	E	1				
	公衆衛生看護学管理論 ※		1		○		15					1		H	PN	C	3				
	公衆衛生看護学実習Ⅰ ※		4			○	180					4		H	PN	F	3				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ ※		1			○	45						1	H	PN	F	2				
小計（8科目）		0	11	0																	
学位又は称号	学士（看護学）		学位または学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）														
卒業要件及び履修方法							授業期間等														
卒業要件は、必修108単位、選択18単位以上、合計126単位以上を取得していること。ただし、その内訳は、総合教育科目33単位以上（必修18単位、選択15単位以上）、専門基礎科目22単位以上（必修21単位、選択1単位以上）、専門科目Ⅰ13単位、専門科目Ⅱ37単位、統合科目21単位以上（必修19単位、選択2単位以上）とする。 ※保健師課程は、統合科目のうち地域看護学Ⅱ（1単位）、および公衆衛生科目の11単位（選択11単位）を選択必修とする。卒業要件は、必修108単位、選択29単位、合計137単位以上を取得していることとする。							1学年の学期区分				2期										
							1学期の授業期間				15週										
							1時限の授業時間				90分										



## Ⅱ－１． 授業科目の概要

＜2022 年度以降入学者＞

## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
人間とコミュニケーション	コミュニケーション論	ケアや社会福祉援助では常に人と人との関係性のあり方が問題となる。人間存在と人間関係、社会的相互作用と社会的役割の理解の上に、医療を受ける人々を一人の人間として、心から大切にしようとする「誠実さ」と、それに支えられた「出会い」によって、対話が成立し、医療を受ける対象およびその家族の理解が充実発展でき、より良い関係を築く基礎を学修する。	1年後期
	チーム医療論Ⅰ	医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供することを理解する。チーム医療実践例を提示し保健、医療、福祉を含め、地域で生活する人や患者・障害を抱える人の問題に対するチームアプローチの基礎的知識を学修する。	1年通期
	チーム医療論Ⅱ	チーム医療論Ⅰでの基礎的知識を基盤とし、保健医療学部(看護学科・リハビリテーション学科)と薬学部合同で、臨地実習で得た経験を統合し、各々の専門性を自覚して情報を共有して業務を分担し連携協働する方法を学修する。	4年後期
	英語Ⅰ	高等学校で学んで基本的事項を確認しながら、さらに高度な英文の文化に触れるとともに、まとまりのある文章の概念や要点をできるだけ速く、多く読み取るという高度な読解力を養い、目的に応じた読みを可能にすることを目的として学修する。	1年前期
	英語Ⅱ	医学英語の知識をつけ、医療専門家としてのコミュニケーションの基礎(読み・書き)を身に付ける。 医療に関わる基本用語(英語・英語表現)を修得する。	1年前期
	英語Ⅲ	医療の臨床実践に必要な用語や表現、外国人患者と接する際に必要な英語や心構え、医療従事者間での英語によるコミュニケーションについて学ぶ。	2年前期
	中国語	中国語の基礎的知識を学習するとともに、中国の文化についても触れながら日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。	1年前期
	韓国語	韓国語の文字と発音および基礎的な文法を学習するとともに、韓国の文化についても触れながら、日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。	1年前期
総合教育科目	文学	文学の概念と日本の代表的な韻文を中心に学修する。様々な形態の韻文を味わいながら、文学的価値を学習することを通して、時代背景や個々の文学の特徴をとらえるとともに、そこから日本の伝統美、ことばの美しさ、ことばのリズム、日本人の美意識について理解するとともに文学の基礎的な力、感性を養い、その過程で表現する能力を身につけるよう学修する。	1年前期
	教育学	教育の意義と基本的な事項、課題を理解し、現代社会に生きる子どもと大人の教育環境のあり方を考える。具体的には、公教育と教育環境の理念、学校教育と社会教育の制度、特別支援教育、学校の教育課程、安全教育、学校給食、生涯学習の推進、幼児教育の動向、そして人権教育について、国内外の事例を参照して学習する。	1年後期
	文化人類学	我々人間が無意識のうちに認識し実践している文化は、社会によって極めて多様であり、ある社会にとつての常識が別の社会ではそうではないことがめずらしくない。文化人類学とは、そのような文化の多様性を認識しつつ、共通の理解が可能な普遍性も求めていく学問である。授業では、毎回一定のテーマに沿って様々な文化的事象の解説と事例研究を行い、文化相対主義的な考え方を学ぶ。	4年前期
	国際保健医療論	進行するグローバル化の中で、世界の医療分野で活躍できるような人材を育成するために、先進国と新興国における保健医療の実態と主体的関わり方を学ぶ。また、WHOの役割とその実際の成果を学ぶ。ワークショップを通して日本の看護師、理学療法士、作業療法士が特にアジアやアフリカの開発途上国で何ができるかを考え(援助の方法)、まとめる。	2年後期
	音楽論	芸術領域である音楽を広く理解し、音楽を取り入れた療法への知見を学修する。具体的には音楽が持つ生理的、心理的、社会的働きを意図的・計画的な活用方法を学修する。また、音楽療法における個人の幸福や人間的成長を追求することを通して、心身の障害の回復、健康維持機能の改善と健康増進および生活の質向上への支援方法の基礎を学修する。	1年後期
人間と健康	レクリエーションスポーツ	年代、体力、障害等を考慮した身体運動の必要性及び指導上の注意事項に関する基礎的知識を理解する。QOLを高めるための体力測定、体操、各種スポーツの基礎的能力を身につける。	1年通期

## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次	
総合教育科目	人間と情報	情報リテラシー	コンピュータを有効に活用するための能力（コンピュータリテラシー）を身につける。現代社会における情報と、ICT(InformationandCommunicationTechnology)の意義について理解し、情報を収集・活用していくための方法と技術を修得する事を目的とする。	1年前期
		保健統計学の基礎	自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するために、データの種類と分布、測定と尺度、確率分布、代表地と散布度など統計学の基本的な概念と方法を学修する。さらに、健康の指標となる人口統計や保健統計について学び、国内外の健康問題について学修する。	2年前期
	人間と環境	法学（含日本国憲法）	国家の核である日本国憲法を中心に我が国の法体系の概観と法の仕組みとはたらしきを学習する。また、大学生が教養として持つべき基本的な法律の制度について学ぶ。法制度の理解のために、本講義では判例などを用いながら、法がどのように作用するのかを検討しながら進めるものとする。また、医療と法の関わりを理解し、看護師として必要な法的視点について学修する。	1年前期
		生物学	生物学は、近代科学の方法論と手法により生物そのものにとどまらず、生物が示す様々な生命現象を明らかにすることを目指す学問である。現代の医学・薬学分野の発展は、生命現象の分子レベルでの理解と遺伝子工学や細胞工学などのバイオテクノロジーの発展によるところが大きい。従って、医学・薬学を理解する上で、生物学の知識は必須のものである。本講義では、生物学（生命科学）の基礎知識を概説し、バイオテクノロジーの原理を理解し、それらがどのように医療分野に応用されているかについて学修する。	1年前期
		物理学	力学、電磁気学、波動の分野について、自然や身の回りの事象を理解するための物理学の基本事項を学ぶ。	1年前期
		生化学	人体の生命現象を化学的方法で解明するために、生体を構成する糖質、脂質、タンパク質等の物質を理解すると共に、それらの生体内の物質代謝とエネルギー獲得、および遺伝情報とその発現について学修する。	1年後期
		環境論	環境保全は21世紀に生きる人類にとって、その存亡をかけた最大の問題である。環境問題とは何か。環境保全の歴史、環境問題が地球全体にかかわる問題であることを学修し、その問題にどう対処するかを現代人として論考できる能力を養う。	1年前期
		放射線概論	臨床現場で必要とされる放射線の知識および放射線治療総論、放射線による障害と防護や放射線の身体への影響について学修する。さらに放射線画像の基礎を学修する。また、発がんへの心理的・社会的問題についても学ぶ。	1年後期
		人間の 本質と 尊厳	哲学	文明の発祥から現代に至るまでの東西を問わず先人の哲学思想を通して、人間とは何か、生きるとは何かについて思索する。「哲学を学ぶことの意義、科学と宗教と哲学、私であるということ、物質と生命の神秘、身体と精神、自由、および美しく善く生きること」等の学修内容を通して、「生きること」や「存在の意味」について、主体的に深く思索する姿勢と建設的批判力を身につけ、自己の人間観や世界観を醸成できることを目的とし、幅広く人間を理解する能力を養う。
	生命倫理学		現代医療は生命倫理の土台の上に成り立っている。この講義では、倫理とは何かという基本的事項の確認から始め、生命倫理学の成立の歴史を含め、医療人として必要な生命倫理学の基礎的知識や倫理綱領について学修する。また、医療技術の進歩に伴い生じる生命倫理上の重要ないくつかの問題を取り上げることにより、その本質や最近の動向を理解するとともに、それらについて医療職が果たすべき役割を学ぶ。	1年後期

## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
総合教育科目	社会学	社会的行為、社会的集団、地位と役割、文化などの社会学の基本概念を理解するとともに身近な社会現象である家族や職場、地域社会、健康問題、福祉、倫理問題など、現実の社会や社会問題がどのように捉えられ、理解されているかを学修する。	1年後期
	ジェンダー学	「ジェンダー」は、生物学的な性差に付加された社会的・文化的性差のことであり、個人の生きづらさや多様な社会課題と深く関係しており、医療従事者として不可欠の視点である。授業では、ジェンダー概念の基礎と国内外の動向について学ぶとともに、家族・教育・労働・災害・暴力・メディアなどの具体的なテーマを通して、実践的な理解を深める。	1年後期
	人間の行動と心理	心理学は、人間の行動の法則性に関する科学である。本教科では、知覚、欲求、思考、学習、人格、記憶などの心理学の基礎から、発達の心理について学修する。また、性格検査、知能検査、カウンセリングなどの医療と心理学について学修する。さらに、人間の一生の行程を発達のプロセスとしてとらえ、心身の発達および人格の成熟、発達課題と諸問題について学修する。	1年前期
	ボランティア学	少子高齢化や地方自治の深化に伴い、市民の自発的な活動（ボランティア活動）に対する期待や関心が高まっている。その領域は、従来の福祉や国際協力だけでなく環境や災害救援、まちづくりなど多岐に渡っており、非営利ではあっても無償ではない事業型NPOやコミュニティ・ビジネスも増えている。本講義では、そのようなボランティアの変化や意義を、時代背景から読みとく、受講者自らも行動できるような素養・知識の修得を狙いとする。	1年後期
専門基礎科目	人体の構造・機能Ⅰ	看護学を学ぶ基礎知識として、「人体の構造・機能Ⅰ」では、はじめに人体を構成する細胞・組織、器官、器官系を学ぶ。続いて動物性機能を有する器官として骨格系、筋系、神経系と感覚器系を、植物性機能を有する器官として循環器系の構造と機能について学ぶ。	1年前期
	人体の構造・機能Ⅱ	解剖生理を学ぶ基礎知識として「人体の構造・機能Ⅱ」では、血液と植物機能の消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の生命維持システムと発生および身体機能の防御について学習する。また、解剖実習見学を行う事で各臓器の位置を学修する。	1年後期
	病態学Ⅰ	主に、呼吸器系、循環器系、消化器系、血液・造血器系、内分泌・代謝系の主な疾患の病態、原因、症状、診断、検査、治療について学修する。	2年前期
	病態学Ⅱ	「人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ」や病理学の学習内容と関連させながら、救急・救命について、救急処置の範囲と対象、救急処置法の原則と実際について学ぶ。また、外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療について学修する。さらに、麻酔法について、その概念、種類、麻酔における管理および、全身麻酔と局所麻酔法について学修する。	2年前期
	病態学Ⅲ	各疾患の原因・症状・診断・検査・治療等、基礎的な知識を学ぶ。病態学Ⅲでは、腎・泌尿器系疾患、男性生殖器、女性生殖器、乳腺疾患に焦点を当てる。	2年後期
	病態学Ⅳ（精神）	精神科領域にみられる主要な疾患の基礎的知識と病態、症状、診断に必要な検査、治療について学修する。具体的には、精神機能の診かたや精神科で行う検査、統合失調症、気分障害、器質性精神障害、アルコール・薬物による精神・行動の障害、神経症性障害、ストレス関連障害等について学修する。	2年後期
	病態学Ⅴ（母子）	妊娠期・分娩期・産褥期に見られる代表的な疾患の原因・診断・治療について学修する。また、新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態・診断・治療について学修する。小児看護を实践する上で必要となる新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態、診断、治療について学修する。	2年通期
	微生物学	生活環境において人体に感染症を引き起こす微生物（細菌・真菌・原虫・ウイルス）の特徴、生態を含めた病原微生物学の総論を学ぶ。また、感染防御における宿主の免疫と感染予防、治療、検査方法、及びそれらに関わるチーム医療（infection control team; ICT）等に関する基礎的知識を学ぶ。	1年前期
	病理学	疾病の基本的な原因と病態の発生過程を病理学的観点より把握するために、奇形・退行性病変、進行性病変、炎症、腫瘍などの知識を学び、それらの病変が組織や臓器に現れた場合の疾患の成り立ちについて学習する。	1年後期



## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
健康支援と社会保障制度 専門基礎科目	現代医療論	生命とは、健康とは、病気とはなど保健・医療に携わる者に必要な医療の原点について学習する。まず、医療の歴史の変遷を学ぶことから始め、現代医療が抱えている諸問題とその特徴、変化する社会と医療のあるべき姿について展望する。生命、健康、病気の考え方、現代医療における看護の役割、日本と世界の医療体制、超高齢化社会、尊厳死や終末期医療、脳死と臓器移植、医療安全、医療倫理等について学び、現代医療の有する諸問題を俯瞰し、医療人としての基本的立場を熟成させていく。	1年後期
	薬と毒性学入門	毒の定義と分類、毒性の発症と解毒メカニズム、麻薬の定義と快楽のメカニズム、自然界の毒、毒と社会、毒と薬を求めた歴史、また毒にまつわる事件について習得する。	1年後期
	臨床心理学	臨床心理学は、個人の行動障害や適応困難を心理学的知識と技法に基づいて測定・分析し、解決することを目的とする応用心理学の一分野である。本講義では障害理解の基礎として主要な人格理論を学修する。また人々の精神的健康の回復・保持・増進について学ぶことで、精神疾患や心身症、精神心理的問題・不適応行動などの病態、原因、診断法について理解する。さらにこれらの患者理解の手段としての心理検査や心理療法などの援助技法について学修する。	2年前期
	臨床栄養学	ライフステージと栄養・食生活と健康との関係について学習する。その人にとって望ましい栄養・食生活を日常生活の中で継続することの重要性を認識する。栄養・食生活に問題がある場合に生じやすい健康障害についても学び、免疫力を高め、疾病を予防する方法についても学習する。さらに、さまざまな疾病を抱えた人の食事療法・食事指導ならびに指導効果を判定する方法について学習する。	2年前期
	関係法規	法の概念、法の意義、目的を踏まえ、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律など看護職に関連する法規について学修するとともに、医療法その他関連職種の資格などに関する法律について学修する。さらに、他職種と協働して保健医療福祉活動を推進するうえで欠かせない法令について広く学修する。	2年前期
	社会福祉論	現代社会における社会問題や生活課題を取り上げ、福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係、福祉ニーズと社会資源、社会福祉専門機関や専門職の役割を学ぶ。また様々な福祉領域の制度政策、実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて基本的な学びを深める。さらにこれからの福祉のあり方についても考察することで、保健医療福祉分野での自身の専門職としての役割や専門性についても考察する。	2年後期
	公衆衛生学	公衆衛生の概念及び歴史を踏まえて、健康の指標、人口問題と公衆衛生、衛生統計、疫学、医療・保健・福祉における衛生行政、労働衛生および環境衛生・公害及び公衆衛生の国際協力等について学習する。また、疾病予防と健康管理、地域保健と衛生行政、学校保健、産業保健および健康成立の要因と保健活動、人間を取り巻く環境と公衆衛生活動の意義と役割と組織的な公衆衛生活動について学修する。	2年前期
	疫学Ⅰ	疫学の概念、因果関係、指標、曝露など疫学で使用される基本用語について学習する。具体的には、疫学の概念と、疾病頻度・暴露効果の指標、疫学調査、疾病登録、および、主要な疾患の疫学について学修する。さらに、エビデンスに基づく看護実践のための疫学研究結果の活用について学修する。	2年後期
	疫学Ⅱ	疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康課題を解決するために必要な疫学調査法、社会疫学、政策疫学、臨床疫学、産業保健の疫学を学修する。それにより、具体的なデータを用いた疾病頻度や暴露効果の指標等の計算、適切な推論など疫学の知識・手法を用いて健康課題を分析し関係者や住民への適切な情報提供ができることを理解する。	2年後期
	保健行政論	保健医療福祉行政の基礎知識、地域における健康問題とその解決に必要な社会資源と保健医療福祉サービスおよびその評価・調整する基礎的な方法について学修する。特に保健医療福祉行政の根拠、保健医療福祉行政の目指すもの、保健医療福祉における課題と政策の発展について学修する。	2年前期
	保健医療情報処理論 保健医療情報学	保健医療情報と情報処理の基本的知識を理解する。そして、それらの情報がどのように活用されているのか実際について探求する。保健医療情報とは病院ではレセプトなども含んで電子カルテシステムであり、保健データは市町村や県、国が提供しているデータがある。それらを適切に処理することで様々な保健医療分野の状況が可視化できる。興味関心のある分野の実際を学生それぞれが自律して情報処理する。	2年前期

## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
専 門 科 目  基 盤 科 目	看護学概論	看護学の根幹科目として看護の本質を探究し、専門職として看護学を学修していくための基礎的な知識について学修する。看護学を構成する概念、看護とは、看護の変遷、主な看護理論などについて学修する。また、看護の観点から全人的に捉える人間、健康の概念、環境と健康、生活・ライフスタイルと健康との関連、QOLとセルフケア、職業倫理、看護実践の方法、看護実践の組織化、多職種連携などの看護学の基礎的な知識を学び、人々の健康に寄与する看護職の役割・機能について学修する。	1年前期
	ヘルスアセスメント学Ⅰ	看護の観点から人々の健康状態についてアセスメントする意義と方法について学修する。ヘルスアセスメントの概要、看護過程におけるヘルスアセスメントの意義、バイタルサインの観察技術や問診の技術および系統的に身体面をアセスメントする技術に関する基礎的な知識について学修する。フィジカルアセスメントに必要な身体診査技術(視診・触診・打診・聴診)やバイタルサインの観察技術については、演習において実践力を養う。	1年後期
	ヘルスアセスメント学Ⅱ	ヘルスアセスメントⅠで学んだフィジカルアセスメントの技法を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における看護の対象者の健康状態と生活への影響をアセスメントする方法を、事例を通してより実践的に学ぶ。	2年後期
	ヘルスアセスメント学Ⅲ	ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱで学んだ知識と技術を基に、シミュレーター等を用いてより実践に近い状況を想定した演習を通し、正常と異常の判断、緊急度の判断等の臨床判断能力を培い、対象者の状況に即したアセスメント・実施・評価の方法を学修する。	3年前期
	ナーシングスキル学Ⅰ	コミュニケーション・安全管理・安楽確保・セルフケア・看護記録などに関する技術について、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学修する。また生活行動に関する看護援助技術について学修する。環境を整える、食生活と栄養摂取、排泄、活動・休息、清潔・衣生活の援助技術などに関して、安全性・安楽性・自立性・個性性などに配慮し、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学び、演習において実践力を養う。	1年後期
	ナーシングスキル学Ⅱ	侵襲を伴う診断や治療を受ける人々に対して、安全面や苦痛の緩和に配慮した根拠に基づく看護援助技術について学修する。呼吸・循環を整える技術、創傷管理技術、与薬・輸血の技術、検査に伴う援助技術、手術に伴う援助技術、救命救急処置技術、感染予防の技術、排泄の処置における援助技術、人生の最終段階における援助技術などの基礎的な知識について学修する。さらに、演習において侵襲性の高い技術を安全面に配慮して実施する。	2年通期
	ナーシングプロセスⅠ	看護の対象となる人の個性性に配慮した看護を提供するために必要な看護過程について学修する。対象となる人を全人的に理解するために必要な情報を収集し、その情報を分析・解釈した上で看護上の課題を導き出し、安全性・安楽性・自立性・個性性などに配慮して看護計画を立案し、計画に基に看護援助を実施して評価する一連のプロセスについて学修する。	2年前期
	ナーシングプロセスⅡ	ナーシングプロセスⅠで習得した思考を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における対象者への健康問題・課題への看護実践に活用できる能力を身につける。	3年前期
	地域・在宅看護学	地域で生活する人々の健康の保持増進や生活の質の向上を目指して展開される地域看護について、基本的な考え方、活動の場、活動方法、看護職の役割と連携の基本について学修する。また、在宅看護の理念・目的、在宅看護の背景、変遷など在宅看護学の基本的概念や歴史について学ぶ。さらに、現行の在宅看護に関わる諸制度を理解し、在宅看護の場、活動内容、他職種、他機関との連携・協働の必要性を学習することにより、少子高齢化社会において、地域で活動する訪問看護師への社会がもつニーズと、訪問看護師の果たす役割を理解する。	1年後期
生涯発達看護論	人の一生は発達のプロセスである。人は発達し続ける存在であることを踏まえ、心身の発達、人格の成熟、および発達段階における課題に関する基本的知識を修得するとともに、看護を行う上で必要となる対象とその家族の生活と健康課題について学修する。	1年後期	

## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次	
基盤科目	看護倫理	看護の職業倫理を看護の実践に結びつけて学修する。看護の歴史と看護の職業倫理、人間の尊厳、人権、アドボカシー、正義の倫理、ケアの倫理など看護倫理の基本概念について学ぶとともに、看護師の倫理綱領や倫理の諸規定とその変遷、活用方法について学修し、医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察する。また、遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、アクティブ・ラーニングを活用し、最良の判断を導く過程について学修する。以上の学びを通して、生涯にわたり倫理的感性を培っていく内容とする。	3年前期	
	看護基礎ゼミ	大学で学ぶために必要なスタディスキル、アカデミックスキルを修得する。大学生の現状や諸問題を題材に取り上げ、求められる学士力と学習方法について検討し、今後の大学生活の見通しを立てる。	1年前期	
専門科目	応用科目	臨床薬理看護学	薬理学の基礎知識を活用した薬物治療を受ける人の看護について学ぶ。治療効果と生活への影響のアセスメント、有害作用の早期発見と予防、誤薬の防止、服薬や治療に関する指導・説明、薬物治療に関わる多職種との連携・協働など、臨床現場で求められる知識、技術について学修する。	2年後期
		リハビリテーション看護論	リハビリテーションの理念を理解し、日本や海外におけるリハビリテーション看護について、歴史の変遷をふまえて基本的知識と技術を学修する。リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。	3年前期
		成人看護学	成人期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を理解するとともに、成人期の人々に特徴的なライフスタイルや健康課題について学ぶ。そして、急性期、回復期、慢性期、終末期といった、さまざまな健康レベルにおける看護に適用するための概念や理論について学修する。また、成人期における罹患率が高いがん及び感染看護の概要と必要な概念・理論を学ぶ。	2年前期
		成人看護方法論Ⅰ	入院治療を必要とする成人期の患者の特徴を学び、合併症を予防し、回復を促進する援助の方法を学修する。 急性発症あるいは慢性疾患の急性増悪により集中治療管理を必要とする人や手術期にある人の病態を学び援助に活かす。	2年後期
		成人看護方法論Ⅱ	慢性的・長期的に経過する健康障害を持つ人のセルフケアを促進し、その人らしい生活を維持するための支援の方法について学修する。さらに、ターミナル期にある人とその家族に対するケア、遺族へのグリーフケアについて学修する。	3年前期
		老年看護学	老いを生きる人々の理解、高齢者の生活と健康を支援する看護の基本的な考え方と関連する知識を学修する。予防からエンドオブライフケアまでの健康レベルの連続と、病院、施設、居宅等の生活の場の移行の中で展開される地域包括ケア時代の老年看護学について概要を理解する。	2年前期
		老年看護方法論	加齢変化や高齢者に特徴的な健康障害を意識した看護方法について学ぶ。高齢者の日常を理解するとともに、その人らしい生活の継続・健康の保持増進を可能とするケア、生活を豊かにするケアについて生活行動モデルを用いて理解を深め、高齢者の看護方法について学修する。	2年後期
		小児看護学	子どもは新生児期から思春期まで成長発達とともに大きく変化する存在である。小児看護学では、子どもの各期の成長発達の特徴、また子どもを育てる家族の特徴、子どもとその家族を取り巻く社会環境について学修する。小児医療の現状と課題を理解し、子どもと家族への看護について考察する力を養う。さらに、学修した新生児から思春期までの子どもの代表的な疾患に見られる症状とその看護について学修する。また、検査・処置時の子どもへの看護として、子どもの心理的準備を行い、安全・安楽な実施となるための方略を学修する。	2年後期
		小児看護方法論	既習の子どもの成長発達や疾病に関する知識を基盤として、子どもとその家族の健康課題を総合的に理解し、小児看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度について学修する。子どもが健やかに成長発達をとげる上で重要な遊びについて学び、看護の視点から健康レベルに配慮した入院中の子どもの遊びについて学修する。	3年前期

## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次	
応用科目	母性看護学	女性の生涯を通じた母性の健康の保持・増進、及び次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念や理論を理解する。 また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状、母子の健康に関する国際比較や法制度、女性のライフサイクルや健康問題などを学び、母性看護の役割や課題について考察する。	2年後期	
	母性看護方法論	周産期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点を当て、対象の生理的な変化と特徴、適応過程を全人的に理解する。それを基に正常な経過を助長するための看護援助と正常を逸脱しないための予防的な関わり、母親役割獲得及び家族の発達を促す看護について学修する。	3年前期	
	精神看護学	精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について学修する。また精神看護学の対象や精神看護を実践する上で基盤となる人間関係論、セルフケア論、ストレスモデルなどの理論・モデル、精神看護における倫理的諸問題と法的根拠、精神看護の活動の場や専門性について学修する。さらには地域精神保健活動の国内外の動向について概観し、日本の精神保健活動の課題について探究する。	2年後期	
	精神看護方法論	精神看護学での学びを基に、精神障害がある人とその家族を理解し、状態の安定維持に向けた看護援助の方法について学修する。具体的には、様々な精神障害にある人の看護および主な精神症状に対する看護について学ぶ。また精神障害のある人の社会復帰に向けた援助と社会適応やリカバリーをめざして生活を維持していくための支援方法について学修する。さらに活用できる諸制度、マンパワー、チーム医療等の社会資源の活用方法についても学修する。	3年前期	
	在宅看護方法論	在宅療養者の自立支援に対する考え方や対象者との信頼関係の構築、療養生活の安定を図るための日常生活援助技術、医療依存度の高い療養者に対する在宅支援、在宅療養生活における健康危機管理や感染予防、在宅療養者とその家族を中心とした多職種連携の実際などについて学修する。また、様々な発達段階にあり健康上の課題をもって生活している在宅療養者とその家族・介護者に対するエビデンスに基づいた訪問看護の思考過程について学修する。	3年前期	
	地域看護方法論	在宅や施設等多様な生活の場と人々の健康および生活の関係、社会資源や制度の基本を理解し、あらゆる健康レベルの人々に健康の保持・増進、疾病の予防及び健康の回復を目指して実践する看護の展開方法を学修する。	2年後期	
	専門科目	災害看護学	災害医療の基本的な対応体制、災害看護における看護師の役割りの実際について学び、市民としての災害時の行動、医療従事者としての基本的な対応方法、および災害発生時に求められる看護技術を修得する。具体的には、災害に対する政策、災害の種類、災害サイクル、災害時の心身の健康障害、災害後の心の状態とケア、トリアージの方法、災害時のアセスメントなどについて学ぶ。また、自然災害と生物災害（感染症パンデミック）や自然災害と人的災害（テロ）等の複合災害についても学修する。	3年前期
		国際看護学	グローバル化の進む社会において、人間の安全保障の側面から、看護職が国内外で果たすべき役割を学ぶ。また、日本における女子教育発祥の地であり、外国人と接する機会が多い横浜の地域特性を活かし、他国の人々の社会背景や生活環境に関心をもち、看護職が寄与できる健康支援について学ぶ。さらに、“UniversalHealthCoverage”の目標を達成するための解決方法について国際保健医療協力の観点から学修する。	4年前期
		看護管理学	看護専門職として管理に関する基礎的知識を修得し、看護管理上の問題を解決する方策の検討方法を学ぶ、(リーダーシップ、マネジメントを含む) また、医療の国際的動向と我が国の特色を理解し、医療システム、医療ケアの質に関する概念を学ぶ。看護者としてのリーダーシップ、調整、カウンセリング、コンサルタント、教育意志決定などの臨床実践能力を構築するための理論を体系的に学び、看護マネジメントに関する視点および実践能力を高める。	3年前期
		看護研究	看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方など看護研究の基礎的事項について学修する。興味あるテーマに関する文献検索および既存文献のクリティークを通して、看護の質向上に欠かせない研究活動について学修する。	3年前期

## 2022年度以降の入学対象カリキュラム 授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次	
専 門 科 目	発 展 科 目	プロフェッショナル論Ⅰ	プロフェッショナルとは「自律性」「自己統制の信念」「専門職業組織への準拠」「公共サービスへの信念」「専門分野への召命感」で構成される。はたして看護はプロフェッショナルであるかを問いつつ、学生が自らのプロフェッショナルの将来像に向けて、主体的に取り組むための基礎的能力を学修する。	2年後期
		プロフェッショナル論Ⅱ	プロフェッショナル論Ⅰを基盤として、社会で活動する看護プロフェッショナル(専門看護師、離島や海外で自立して活動する看護職、起業家看護職等)との交流を通じて臨地実習で培うべき自己の課題を明らかにする。	3年前期
		プロフェッショナル論Ⅲ	プロフェッショナル論Ⅰ・Ⅱで明らかにした自己の目標や課題を振り返り、さらに看護の専門分野を知ること、将来にわたってプロフェッショナルリズムを自己啓発し続ける力(自己教育力)を身につける。	4年後期
		保健医療看護の最前線	社会で起こっている保健医療看護に関連した出来事について、基礎的知識を学ぶとともに、臨床現場での課題と対処について学修する。	4年前期
		看護応用ゼミ	既習の知識と臨地での学びを関連させ、さまざまな疾病・治療・看護を統合する。さらに、看護専門職としての自己の課題を認識し、キャリア形成に必要な基礎力を身につける。	4年通期
	臨 地 実 習 科 目	看護基盤実習Ⅰ	地域で生活する様々な発達段階にある人との交流を通して、コミュニケーションによる関係性構築を学び、生活環境と健康のつながり、入院や入所が対象者や家族に与える影響について、看護の視点から理解する。	1年前期
		看護基盤実習Ⅱ	健康障害をもちながら入院生活を送る対象者を理解し、援助的コミュニケーション技術を実施しながら必要な治療・看護について学修する。加えて対象者への看護を通して他職種の役割を理解する。	2年後期
		ヘルスプロモーション実習	地域で生活する人々の環境やライフスタイルと健康との関連を考え、個々の健康の保持・増進のために必要な支援を学修する。さらには地域で生活する人々が活用可能な保健・医療・福祉に関連する社会資源を理解する。	3年後期
		急性期看護実習	急激な健康状態の変化をきたした対象者および家族に対して、身体的および心理社会的側面からアセスメントして、ケアの優先順位を判断し実践及びその評価を行う。一連の看護過程の展開を通して、急性期看護について学修する。	3年後期
		慢性期看護実習	慢性疾患を抱えあらゆる場で療養・生活している対象者及び対象者を取り巻く人々がその人らしく生きることができるよう地域包括ケアにおける医療チームの一員として、安全かつ個々の健康の維持・増進とQOLの向上を目指した看護を学修する。	3年後期
		統合実習	これまで学んだ知識・技術・態度を統合し、実践現場に近い体制の実習を通して医療チームの一員としての役割とその実際について学修するとともに、看護専門職としての自己の課題を明確にする。	4年前期

2022年度以降の入学対象カリキュラム  
授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
公衆衛生科目 公衆衛生看護学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護の概念と歴史、基盤となる知識、活動領域について学修する。公衆衛生看護管理については構成要素、専門的自律と人材育成方法について学修する。具体的には、公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、人事管理、予算管理、組織運営と管理および保健師教育についてを含む。	3年通期
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	公衆衛生看護における対象の捉え方、健康課題の特徴について学び、ライフサイクル・健康課題ごとの対象別の公衆衛生看護過程展開と活動方法について行政の保健活動を中心に学修する。その内容を踏まえ、産業保健および学校保健の歴史の変遷、諸制度、対象、保健師の職務・役割ならびに活動展開の実際、将来展望について学修する。 養護教諭の活動の実際についても学修する。	3年通期
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	公衆衛生の目的である社会の健康に関連する、保健・医療・福祉の制度やシステム、関係機関や社会資源、健康危機管理の理念と目的、各種制度、関係法令や行政や関連機関との連携、危機管理の対象や健康危機管理における保健師の役割・機能、保健活動の実際について、講義と演習により学修する。	4年通期
	公衆衛生看護学演習	個別から集団までを対象とした公衆衛生看護活動における、アセスメント、コミュニケーション、生活支援や健康支援、地域診断、施策化と事業化、社会資源の開発、システム化について、演習を通して具体的に学修する。	4年通期
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	神奈川県内の保健所等行政機関における各種保健福祉事業の見学・活動の一部への参加経験を通して、公衆衛生看護の理念、対象、活動方法に関わる知識や技術を統合し、公衆衛生看護活動を実践する上での基盤となる能力形成を行う。加えて、保健師としての使命や責任について考える。	4年前期
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	多様な公衆衛生看護活動の場において、各種事業の見学・活動の一部への参加経験を通して、公衆衛生看護学実習の学びである知識や技術を統合を統合する。	4年通期

※公衆衛生科目は2022年度～2023年度入学生が対象

## Ⅱ－２． 授業科目の概要

<2021 年度以前入学者>

2019年度～2021年度入学対象カリキュラム  
授業科目の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
人間とコミュニケーション	コミュニケーション論	ケアや社会福祉援助ではつねに人と人との関係性のあり方が問題となる。人間存在と人間関係、社会的相互作用と社会的役割の理解の上に、医療を受ける人々を一人の人間として、心から大切にしようとする「誠実さ」と、それに支えられた「出会い」によって、対話が成立し、医療を受ける対象およびその家族の理解が充実発展でき、より良い関係を築く基礎を学習する。	1年前期
	チーム医療論	まず、チーム医療に関する総論的な講義と、これから始まる演習の概要を解説する。その後、看護、PT、OT混成のチーム（8～10名）に分かれ、提示された臨床課題（臨床の実症例）に関してまず問題点や疑問点を列挙し、分担して調査の上議論する。その後、各々の専攻分野からのアプローチを提唱し議論する。3、4チームに一人教員が配置されるが、チュートリアル教育様式であるため直接教えるのではなく議論の円滑な進行を促す役割を負う。中間報告・レポート作成の後、最終日にはすべてのチームが体育館に集合し、ポスター形式で当該症例のサービス計画を発表する。この時、学生がチーム相互の評価を行うとともに、全教員も参観しコメントを述べ評価する。	4年後期
	英語Ⅰ	高等学校で学んで基本的事項を確認しながら、さらに高度な英文の文化に触れるとともに、まとまりのある文章の概念や要点をできるだけ速く、多く読み取るという高度な読解力を養い、目的に応じた読みを可能にすることを目的として学習する。	1年前期
	英語Ⅱ	医学英語の知識をつけ、医療専門家としてのコミュニケーションの基礎（読み・書き）を身に付ける。医療に関わる基本用語（英語・英語表現）を修得する。	2年前期
	英語Ⅲ	医療の臨床実践に必要な用語や表現、外国人患者と接する際に必要な英語や心構え、医療従事者間での英語によるコミュニケーションについて学ぶ。	2年後期
	中国語	中国語の基礎的知識を学習するとともに、中国の文化についても触れながら日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。	1年前期
	韓国語	韓国語の文字と発音および基礎的な文法を学習するとともに、韓国の文化についても触れながら、日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。	1年後期
総合教育科目	文学	文学の概念と日本の代表的な韻文を中心に学習する。様々な形態の韻文を味わいながら、文学的価値を学習することを通して、時代背景や個々の文学の特徴をとらえるとともに、そこから日本の伝統美、ことばの美しさ、ことばのリズム、日本人の美意識について理解するとともに文学の基礎的な力、感性を養い、その過程で表現する能力を身につけるよう学習する。	1年前期
	教育学	教育学の基本的な概念や知識、今日の教育における諸問題について学習する。具体的には、教育学の歴史的展開、今日まで教育学が果たしてきた役割を踏まえ、人間の成長と教育の意義、教育の目的、家庭教育、生涯学習支援の社会教育、学校教育の制度、学習指導、生活指導と教育評価および特別支援教育の推進について学習する。	1年後期
	文化人類学	我々人間が無意識のうちに認識し実践している文化は、社会によって極めて多様であり、ある社会にとっての常識が別の社会ではそうではないことがめずらしくない。文化人類学とは、そのような文化の多様性を認識しつつ、共通の理解が可能な普遍性も求めていく学問である。授業では、毎回一定のテーマに沿って様々な文化的事象の解説と事例研究を行い、文化相対主義的な考え方を学ぶ。	1年前期
	国際関係論	国際関係論の学問的背景を理解し、リアリズム、リベラリズムなど国際問題を理解するうえで基本となる諸概念について学習する。国際社会で生起する諸問題のうち、特に人々が安全で安心して生きていくための諸課題を国際的見地から考えられるような基礎づくりをする。	1年前期
	国際保健医療論	進行するグローバル化の中で、世界の医療分野で活躍できるような人材を育成するために、開発国と開発途上国での保健医療の実態と主体的関わり方を学ぶ。また、WHOの役割とその実際の成果を学ぶ。ワークショップを通して日本の看護師・理学療法士・作業療法士が特にアジアやアフリカの開発途上国で何が出来るかを考え（援助の方法）、まとめる。	1年後期
人間と文化	音楽論	芸術領域である音楽を広く理解し、音楽を取り入れた療法への知見を学習する。具体的には音楽が持つ生理的、心理的、社会的働きを意図的・計画的な活用方法を学習する。また、音楽療法における個人の幸福や人間的成長を追求することを通して、心身の障害の回復、健康維持機能の改善と健康増進および生活の質向上への支援方法の基礎を学習する。	1年後期



人間と健康	栄養学	生命を維持し、成長、生活活動を続けていくために必要な食物と栄養について、栄養学の側面から学ぶ。また、今日の食生活の現状と栄養問題である生活習慣病や若年女性、傷病者・高齢者にみられる低栄養障害者の治療や健康回復、健康維持および健康増進、疾病予防についてその基礎を学習する。	1年前期
	薬理学	疾病の回復促進において薬物療法は重要な役割を果たしている。本教科では、薬理学の総論および各論の基礎的知識を学習し、薬物治療の目指すもの、薬物の作用機序を学ぶ。薬物治療における看護師の役割が重視されていることを踏まえ、薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)、薬効に影響する因子、副作用及び薬物の取り扱いと管理について理解を深める。併せて臨床で多く用いられる代表的な薬物の作用機序、特徴、副作用、及び薬物の取り扱いとその安全管理について学習する。	1年後期
	社会福祉論	現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係、福祉の原理をめぐる理論と哲学、福祉政策におけるニーズと資源、福祉政策の課題、相談援助活動と福祉政策との関係について学ぶ。	2年後期
	障害者スポーツ	対象者に適応させるスポーツ(AdaptedSports)という考え方のもと、全ての人に通じるスポーツ(SportsforAll)やノーマライゼーションの理念をめざす上でより幅広い考え方を養うため、障害の特性とスポーツのかかわり、障害者のスポーツの意義や効果、歴史や現状、指導法等について学ぶ。また、内容は日本障害者スポーツ協会の初級、中級指導員資格カリキュラムに準じて行う。	1年前期・後期
	レクリエーションスポーツ	年代、体力、障害等を考慮した身体運動の必要性及び指導上の注意事項に関する基礎的知識を理解する。高齢者を対象としたQOLを高めるための測定、体操、各種ニュースポーツの基礎的能力を身につける。	1年前期・後期
人間と情報	情報リテラシー	学習においてコンピュータを有効に活用するための能力(コンピュータリテラシー)を身につける。現代社会における情報と、ICT(InformationandCommunicationTechnology)の意義について理解し、情報を収集・活用していくための方法と技術を修得する事を目的とする。	1年前期
	研究法入門	研究を行うに必要な研究の目的、対象の選び方と方法、結果の解析、関連論文の検索方法、研究発表の方法について学ぶ。さらに研究倫理についても把握する。またレポート作成・発表資料作成の基本的能力を身につける。	1年後期
人間と環境	公衆衛生学	公衆衛生の概念及び歴史を踏まえて、健康の指標、人口問題と公衆衛生、衛生統計、疫学、医療・保健・福祉における衛生行政、労働衛生および環境衛生・公害及び公衆衛生の国際協力等について学習する。また、疾病予防と健康管理、地域保健と衛生行政、学校保健、産業保健および健康成立の要因と保健活動、人間を取り巻く環境と公衆衛生活動の意義と役割と組織的な公衆衛生活動について学習する。	2年前期
	保健行政論	保健医療福祉行政の基礎知識、地域における健康問題とその解決に必要な社会資源と保健医療福祉サービスおよびその評価・調整する基礎的な方法について学習する。特に保健医療福祉行政の根拠、保健医療福祉行政の目指すもの、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションを中心に、保健医療福祉における課題と政策の発展について学習する。	2年前期
	法学(含日本国憲法)	我が国の法の核である日本国憲法を中心に我が国の法体系全体と法の仕組みとはたらきを学習する。また、大学生が教養として持つべき基本的な法に関する知識について学習する。その際必要に応じて、現実起こった問題に対して自ら考察できるように、民法、刑法などの重要な法律の概要および裁判員制度などを含めて学習する。	1年前期
	生物学	生物にかかわる現象を研究する生物学を通して、生物の本質と生命観を学習するとともに、ヒトとその他の動物を比較しながら、生態系、細胞の構造、骨格、消化、吸収、排泄、及び生殖・発生・進化などについて学習し、生物学的にヒトはどのようなものかを探求しヒトの理解を深める基礎とする。	1年前期
	物理学	自然を支配する基本的法則のうち、力学、流体、波動、電磁気学の分野について、生体の機能に関係した物理現象を例にして学ぶ。具体的には物体の位置と速度・加速度、質量・重さ・重力、力と加速度・仕事と力学的エネルギー・力のモーメント・温度と気体の法則・力と圧力・生体の発生する電気信号等について学ぶ。	1年前期
	生化学	人体の生命現象を化学的方法で解明するために、生体を構成する糖質、脂質、タンパク質等の物質を理解すると共に、それらの生体内の物質代謝とエネルギー獲得、および遺伝情報とその発現について学習する。	1年後期

総合教育科目	人間と環境	環境論	環境保全は21世紀に生きる人類にとって、その存亡をかけた最大の問題である。環境問題とは何か。環境保全の歴史、環境問題が地球全体にかかわる問題であることを学習し、その問題にどう対処するかを現代人として論考できる能力を養う。	1年前期	
		放射線概論	臨床現場で必要とされる放射線の知識および放射線治療総論、放射線による障害と防護や放射線の身体への影響について学習する。また、発がんへの心理的・社会的問題についても学ぶ。	1年後期	
	人間の 本質と 尊厳	哲学	文明の発祥から現代に至るまでの東西を問わず先人の哲学思想を通して、人間とは何か、生きるとは何かについて思索する。「哲学を学ぶことの意義、科学と宗教と哲学、私であるということ、物質と生命の神秘、身体と精神、自由、および美しく善く生きること」等の学習内容を通して、「生きること」や「存在の意味」について、主体的に深く思索する姿勢と建設的批判力を身に付け、自己の人間観や世界観を醸成できることを目的とし、幅広く人間を理解する能力を養う。	1年後期	
		倫理学	倫理学は私たち人間の「よい(善良な)生き方」および「幸せな生き方」について考える学問である。然も自分だけの「善良(幸福)な生き方」ではなく、「倫」という語が意味する「秩序ある人間関係」すなわち社会全体が混乱せず、より「よく(幸福に)なる」ために各人はお互いにどう行動すればよいのかについて考える学問である。これらをとりわけ医療分野における問題を例にしながら医療における善悪の判断の基準や根拠について学習する。	1年前期	
		社会学	社会的行為、社会的集団、地位と役割、社会変動、文化などの社会学の基本概念を理解するとともに身近な社会現象である家族や職場、地域社会、健康問題、福祉問題など、現実の社会や社会問題がどのように分析され、理解されているかを学習する。さらに生物学的な性とは別の、社会的・文化的な性である「ジェンダー」が私たちの社会・文化の中でどのように現れているかを学習する。	1年後期	
		心理学	心理学は、人間の行動の法則性に関する科学である。本教科では、知覚、欲求、思考、学習、人格、カウンセリングなどの心理学の基礎から、発達の心理・医療と心理学について学習する。さらに、錯覚、記憶、学習、集団心理、性格検査、知能検査等についても学習する。	1年前期	
		発達心理学	人間の一生涯という全行程を発達のプロセス、すなわち人は発達し続ける存在としてとらえ、人間への深い理解と愛情を育むことができるように、心身の発達および人格の成熟、発達課題と諸問題について学習する。具体的には、社会的存在としての人びとの生涯的な発達過程を主としてライフコース論の視点から整理し、社会の変動と人びとの人生コースとの関連について学習する。	1年後期	
		ボランティア学	少子高齢化や地方自治の深化に伴い、市民の自発的な活動(ボランティア活動)に対する期待や関心が高まっている。その領域は、従来の福祉や国際協力だけでなく環境や災害救援、まちづくりなど多岐に渡っており、非営利ではあっても無償ではない事業型NPOやコミュニティ・ビジネスも増えている。本講義では、そのようなボランティアの変化や意義を、時代背景から読みとく、受講者自らも行動できるような素養・知識の修得を狙いとす。	1年後期	
		生命倫理学	生命倫理の成立の歴史を含め、医療人として必要な生命倫理学の基礎的知識を関連規程を含め学習する。また、医療技術の進歩に伴い生じる生命倫理上の問題について最近の動向を知るとともに、諸問題について医療職が果たすべき役割を学ぶ。	1年後期	
		専門基礎科目	人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復	人体の構造・機能Ⅰ	解剖生理を学ぶ基礎知識として「人体の構造・機能Ⅰ」では、人体の素材としての細胞・組織レベルから学習し、動物機能である骨格系、筋系、神経系および感覚器系の運動システムを学習する。加えて、循環器系、呼吸器系のしくみについての知識も修得する。また、解剖実習見学を行う事で各臓器の位置を学習する。
	人体の構造・機能Ⅱ			解剖生理を学ぶ基礎知識として「人体の構造・機能Ⅱ」では、植物機能の消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の生命維持システムと血液、発生について学習する。	1年後期
	病態学Ⅰ			主に、呼吸器系、循環器系、消化器系、血液・造血管系、内分泌・代謝系の主な疾患の病態、原因、症状、診断、検査、治療について学習する。	1年後期
	病態学Ⅱ			主に、脳神経系、運動器系、感覚器系、自己免疫・アレルギー性の主な疾患の病態、原因、症状、診断、検査、治療について学習する。さらに、救急処置、麻酔方法について学習する。	1年後期
	病態学Ⅲ			各疾患の原因・症状・診断・検査・治療等、基礎的な知識を学ぶ。病態学Ⅲでは、腎・泌尿器系疾患、男性生殖器、女性生殖器、乳腺疾患、及び周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)に焦点を当てる。	2年前期

<p>専門基礎科目</p> <p>健康支援と社会保障制度</p>	<p>人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復</p>	<p>精神病態・治療学</p>	<p>精神科領域にみられる主要な疾患の基礎的知識と病態、症状、診断に必要な検査、治療について学修する。具体的には、精神機能の診かたや精神科で行う検査、統合失調症、気分障害、器質性精神障害、アルコール・薬物による精神・行動の障害、神経症性障害、ストレス関連障害等について学修する。</p>	<p>2年前期</p>
	<p>微生物学</p>	<p>生活環境において人体に感染症を引き起こす微生物(細菌・真菌・原虫・ウイルス)の性質、生態を含め病原微生物学の総論を学ぶ。また、感染と発病、感染防御のための免疫と感染予防、検査方法、治療等に関する基礎的知識を学ぶ。</p>	<p>1年前期</p>	
	<p>病理学</p>	<p>疾病の基本的な原因と病態の発生過程を病理学的観点より把握するために、奇形・退行性病変、進行性病変、炎症、腫瘍などの知識を学び、それらの病変が組織や臓器に現れた場合の疾患の成り立ちについて学習する。</p>	<p>1年後期</p>	
	<p>現代医療論</p>	<p>生命とは、健康とは、病気とはなど保健・医療に携わる者に必要な医療の原点について学習する。また、医療の変遷を学ぶとともに、現代医療が抱えている諸問題とその特徴、変化する社会と医療のあるべき姿について展望する。西洋、日本、中国の医療の歴史、生命、健康、病気の考え方、現代医療における看護の役割、日本とアジアの医療体制、超高齢化社会と生命倫理、脳死と臓器移植、死の哲学等について学び、医療に関する考え方を熟成させていく。</p>	<p>2年前期</p>	
	<p>臨床心理学</p>	<p>臨床心理学の基礎的知識を学ぶ。ライフサイクルと心理臨床、臨床心理学で行うアセスメントの方法と臨床心理学的アプローチの方法について学習する。特に臨床心理学における人間へのアプローチについて学習するとともに、力動的立場を中心に据え基礎理論、対象理解、援助手法を学習することにより、看護師が直面する多様な問題への解決方法を身につける。</p>	<p>2年前期</p>	
	<p>医療関係法規</p>	<p>法の概念、法の意義、目的を踏まえ、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律など看護職に関する法規について学修するとともに、医療法その他関連職種の資格等に関する法について学修する。さらに、他職種と協働して保健医療福祉活動を推進する上で欠かせない法令について広く学修する。</p>	<p>2年前期</p>	
	<p>リハビリテーション概論</p>	<p>リハビリテーション概論では、リハビリテーションの歴史と理念およびその仕組みなどについて教授する。具体的にはリハビリテーションの歴史、定義から始まり、障害の分類と実態、リハビリテーションチームの役割、障害の受容、各制度上の問題点などについて概説する。また、医学的・社会的・職業的・教育的・地域的なリハビリテーションについて解説する。</p>	<p>2年後期</p>	
	<p>臨床栄養学</p>	<p>ライフステージと栄養・食生活と健康との関係について学習する。その人にとって望ましい栄養・食生活を日常生活の中で継続することの重要性を認識する。栄養・食生活に問題がある場合に生じやすい健康障害についても学び、免疫力を高め、疾病を予防する方法についても学習する。さらに、さまざまな疾病を抱えた人の食事療法・食事指導ならびに指導効果を判定する方法について学習する。</p>	<p>2年後期</p>	
	<p>疫学</p>	<p>疫学概念、因果関係、指標、暴露など疫学で使用される基本用語について学習する。具体的には、疫学概念、疾病頻度の指標、暴露効果の指標、疫学調査法、スクリーニング、疾病登録について学ぶとともに、がん、心血管疾患、脳血管疾患、糖尿病、感染症、難病など主な疾患の疫学等について学習する。さらに、保健活動に際しては、疫学研究の結果を活用し、エビデンスに基づく活動ができる学びとする。また、保健師資格の取得を予定している学生のために、疫学調査法、社会疫学、政策疫学、臨床疫学、産業保健の疫学を含む内容とする。</p>	<p>2年前期</p>	
	<p>保健統計学</p>	<p>データの種類と分布、測定と尺度、確率分布、代表値と散布度、関連指標など統計学の基礎を学ぶ。また、人口静態統計、人口動態統計、生命表、主な健康指標などの人口統計、根幹統計や医療経済統計などの保健統計調査、情報処理の技術、統計情報の活用方法等について学習する。さらに、国際疾病分類(ICD)、国際生活機能分類(ICF)などの疾病・障害の定義と分類について学び、自国民の健康問題のみならずグローバルな視点から人々の健康問題に関心が持てるようにする。さらに、保健活動において、多種多様な数値データを正しく理解した上で実際に活用できる学びとする。</p>	<p>2年後期</p>	
<p>保健医療情報処理論</p>	<p>医療の電子化に伴い、増大した保健医療情報のしくみについて理解する。保健医療情報には有用性と個人情報保護の両側面があることを理解する。情報を有効活用する方法を学ぶとともに、情報活用にあたっては人権への配慮、プライバシー保護など倫理的配慮が必要であることについて理解する。</p>	<p>2年前期</p>		

専門科目Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	看護学の根幹科目として看護の本質を探究し、専門職として看護学を学修していくための基礎的な知識について学修する。看護学を構成する概念、看護とは、看護の変遷、主な看護理論などについて学修する。また、看護の観点から全人的に捉える人間、健康の概念、環境と健康、生活・ライフスタイルと健康との関連、QOLとセルフケア、職業倫理、看護実践の方法、看護実践の組織化、多職種連携などの看護学の基礎的な知識を学び、人々の健康に寄与する看護職の役割・機能について学修する。	1年前期
		看護倫理	看護の職業倫理を看護の実践に結びつけて学修する。看護の歴史と看護の職業倫理、人間の尊厳、人権、アドボカシー、正義の倫理、ケアの倫理など看護倫理の基本概念について学ぶとともに、看護師の倫理綱領や倫理の諸規定とその変遷、活用方法について学修し、医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察する。また、遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、アクティブ・ラーニングを活用し、最良の判断を導く過程について学修する。以上の学びを通して、生涯にわたり倫理的感性を培っていく内容とする。	2年後期
		看護技術概論	看護援助に共通する基本的な技術について学修する。看護技術とは、コミュニケーション・安全管理・安楽確保・学習支援(セルフケア)・看護記録などに関する技術について、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学修する。	1年前期
		生活行動の援助技術	生活行動面に対する看護援助技術について学修する。環境を整える技術、食生活と栄養摂取の援助技術、排泄の援助技術、活動・休息の援助技術、清潔・衣生活の援助技術などに関して、安全性・安楽性・自立性・個性などに配慮し、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学び、演習において実践力を養う。	1年後期
		ヘルスアセスメント	看護の観点から人々の健康状態についてアセスメントする意義と方法について学修する。ヘルスアセスメントの概要、看護過程におけるヘルスアセスメントの意義、バイタルサインの観察技術や問診の技術および系統的に身体面をアセスメントする技術に関する基礎的な知識について学修する。フィジカルアセスメントに必要な身体診察技術(視診・触診・打診・聴診)やバイタルサインの観察技術については、演習において実践力を養う。	2年前期
		診察に伴う援助技術	侵襲を伴う診断や治療を受ける人々に対して、安全面や苦痛の緩和に配慮した根拠に基づく基礎的な看護援助技術について学修する。呼吸・循環を整える技術、創傷管理技術、与薬・輸血の技術、検査に伴う援助技術、救命救急処置技術、感染予防の技術、排泄の処置における援助技術、人生の最終段階における援助技術などの基礎的な知識について学修し、演習において侵襲性の高い技術を安全面に配慮して実施する。	1年後期
		看護過程	看護の対象となる人の個性に配慮した看護を提供するために必要な看護過程について学修する。対象となる人を全人的に理解するために必要な情報を収集し、その情報を分析・解釈した上で看護上の課題を導き出し、安全性・安楽性・自立性・個性などに配慮して看護計画を立案し、計画を基に看護援助を実施して評価する一連のプロセスについて学修する。	2年前期
		基礎看護学実習Ⅰ	基礎的な看護学の知識を看護の実践に繋げ、医療・看護が療養者中心に行われることの重要性について、実際の看護場面の見学を通して学修する。療養者を全人的に捉えることの重要性を理解し、看護への関心を深め、より専門的な看護学の学修に意欲的に取り組めるような実習とする。	1年前期
		基礎看護学実習Ⅱ	担当する患者を全人的に理解するために必要な情報を収集し、その情報を分析・解釈した上で看護上の課題を導き出す。その課題のなかで主に生活行動面に関する看護上の課題に対して、安全性・安楽性・自立性・個性などに配慮して看護計画を立案し、看護援助を実施して評価する。臨床の場において看護過程を経験することにより、個性に配慮した看護を創造する意義を認識し、実践の科学としての看護学に対する理解を深める。	2年後期

専 門 科 目 II	専 門 看 護 学	成人看護学概論	成人期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を理解するとともに、成人期の人々に特徴的なライフスタイルや健康課題、および成人期の人々を取り巻く医療・保健・福祉のシステムについて学ぶ。そして、急性期、回復期、慢性期、終末期といった、さまざまな健康レベルにおける看護に適用するための概念や理論について学修する。	2年前期
		成人看護方法論 I	急性疾患や侵襲的治療など健康の急激な破綻をきたした成人期の患者、およびその家族の特徴を学び、苦痛の緩和および回復を促す看護について学修する。周手術期、救急、重症集中治療の看護を実践する上で必要となる、アセスメント、合併症予防、心理社会的援助について学ぶ。	2年後期
		成人看護方法論 II	慢性疾患と共存していく成人期の患者、及びその家族の特徴を学び、セルフケアを促進しその人らしい健康生活を維持するための看護について学習する。疾病の進行をコントロールし、生活の再構築のために必要な、患者教育や多職種と連携した支援について学ぶ。	3年前期
		成人看護方法論 III	成人期の看護事例を使用した看護過程を展開し、アセスメント、看護計画の立案を行う。さらに侵襲治療における看護技術、セルフケアを促すための看護技術を実践できるよう、技術演習により学ぶ。	3年前期
		成人看護学基盤実習	成人看護学実習 I および II の基盤となる実習であり、外来、救急初療室、手術室、集中治療室、リハビリテーション病棟、緩和ケア、透析室、地域連携室など医療施設におけるさまざまな部門の役割や特徴、看護の実際を見学を通して学ぶ。	2年後期
		成人看護学実習 I	周手術期の患者を受持ち看護の実践を学ぶ。身体的側面、心理社会的側面からアセスメントし、看護計画立案と実践を行う。患者および家族との信頼関係を築き、根拠に基づく看護実践およびその評価を行う。実習を通して自らの看護観をより深めるような学びとする。	3年後期
		成人看護学実習 II	慢性期、回復期、終末期の患者を受持ち看護の実践を学ぶ。身体的側面、心理社会的側面からアセスメントし、看護計画立案と実践を行う。患者および家族との信頼関係を築き、根拠に基づく看護実践およびその評価を行う。実習を通して自らの看護観をより深めるような学びとする。	3年後期
		老年看護学概論	老いを生きる人々の理解、生活と健康を支援する看護の基本的な考え方と関連する知識を学修する。予防からエンドオブライフケアまでの健康レベルの連続と、病院、施設、居宅等の生活の場の移行の中で展開される地域包括ケア時代の老年看護学について概要を理解する。	2年前期
		老年看護方法論 I	加齢変化と高齢者に特徴的な健康障害に焦点をあて、これらによる生活へ影響、予防、治療、介護を必要とする高齢者と家族の生活および健康を支える看護について学修する。	2年前期
		老年看護方法論 II	老年看護学概論、老年看護方法論 I の学修を基に、高齢者に適した日常生活の援助方法に関するシミュレーション学習を行い、高齢者の特徴と援助の実際、福祉用具の活用等について検討する。	2年後期
		老年看護方法論 III	老年看護学概論、老年看護方法論 I・II の学修を基に、老化や障害、慢性疾患に起因する生活行動上の困難によって療養生活を余儀なくされる高齢者の援助について学修する。具体的には、高齢者の特徴に合わせた看護過程の展開方法について学修する。その際、問題解決型思考から目標指向型思考に転換させる必要性について理解し、高齢者のもてる力を維持・継続させ、潜在している力を顕在化させるために、どのように生活環境にアプローチするかについて学修する。	3年前期
		老年看護学実習 I	高齢者ケア施設で暮らす高齢者の日常を知るとともに、その人らしい生活の継続・健康の保持増進を可能とするケア、生活を豊かにするケア、高齢者ケアにおける看護職の役割を体験的に理解する。	2年後期
		老年看護学実習 II	これまでの老年看護学で学んだ知識と技術を用いて、高齢者が療養している医療施設において臨地実習を行う。 高齢者の持てる力と健康課題をアセスメントし、看護過程を展開する。	3年後期
		小児看護学概論	小児看護の歴史的背景を基に、現代社会における小児看護の理念や特徴及び子どもと家族を取り巻く社会の概要を学ぶ。また、子どもの成長発達の原因原則および各期の子どもの特徴を形態的・機能的・心理社会的側面から多角的に捉えるとともに、子どもが健康に育つための具体的な援助について学修する。	2年前期
		小児看護方法論 I	小児看護を実践する上で必要となる新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態、診断、治療について学修する。	2年前期
		小児看護方法論 II	健康な子どもの理解を基盤に、健康問題や入院にともなう子どもと家族の体験を理解し、健康問題のある子どもと家族がセルフケア能力を高め、その人らしく生活できるような援助や子どもと家族における倫理的課題と看護の役割について学修する。	2年後期

専 門 科 目 II	専 門 看 護 学	小児看護方法論Ⅲ	既習の小児看護学の知識及び技術を基盤として、子どもとその家族の健康と課題を総合的に理解し、小児看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度について学修する。具体的には、子どものフィジカルアセスメントを学び、急性及び慢性に経過する子どもの事例を基に看護過程を展開し、子どもとその家族への適切な援助を導き出す方法を学修する。また、様々な形で医療を受ける（外来、在宅）子どもとその家族への援助、大きな社会問題となっている子どもへの虐待について学修する。	3年前期
		小児看護学実習	あらゆる成長発達・健康レベルにある子どもとその家族についてさまざまな側面から検討する。それを基に、個性を踏まえ安全・安楽に配慮し、健康の回復、健康の維持・増進、疾病予防のための援助と健康教育の方法について学修する。また、集団の中での健康な小児の成長発達の特徴について、小中学校および幼稚園での生活や養育環境を通して学修する。	3年後期
		母性看護学概論	女性の生涯を通じた母性の健康の保持・増進、及び次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念や理論を理解する。また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状、母子の健康に関する国際比較や法制度、女性のライフサイクルや健康問題などを学び、母性看護の役割や課題について考察する。	2年前期
		母性看護方法論Ⅰ	女性のライフサイクルの中で、周産期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点を当て、対象の生理的変化、心理・社会的変化と生活への適応、マイナートラブルや正常から逸脱した時のケアなどを学ぶ。母性看護方法論Ⅰでは、妊娠期と分娩期に焦点を当てる。	2年後期
		母性看護方法論Ⅱ	周産期にとどまらず、様々なライフサイクルにある女性の健康課題とその看護について焦点を当てる。周産期の母子の生理的変化、心理・社会的変化と生活への適応、マイナートラブルや正常から逸脱した時のケアなどを学ぶ。また、母性看護特有の看護過程の展開と母性看護学の援助技術について学修する。	3年前期
		母性看護学実習	妊娠期、分娩期、産褥期にある女性とその子どもを理解する。妊娠、分娩、産褥及び新生児の経過を観察し、正常な経過を助長する看護援助を学ぶ。さらに、子どもを産み育てる家族におこる変化を理解し、援助的人間関係を通して母親役割獲得の過程について学ぶ。そして、これらの実習を通じてウェルネスの視点に基づいた看護援助能力を養う。	3年後期
		精神看護学概論	精神看護学の対象や基本となる概念、精神看護を实践する上で基盤となる人間関係論、セルフケア論、ストレングスモデルなどの理論・モデルについて学修する。また、精神看護における倫理的諸問題と法的根拠、精神看護の活動の場や専門性について学修する。さらには地域精神保健活動の国内外の動向について概観し、日本の精神保健活動の課題について探究する。	2年前期
		精神看護方法論Ⅰ	精神看護学概論での学びを基に、精神障害のある入院治療中の人とその家族を理解し、状態の安定維持、社会復帰に向けた看護援助の方法について学修する。具体的には、精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な知識を学修する。そして、精神障害のある人の生物・心理・社会的側面に着目した多角的な視点に基づく基本的な看護を学修する。さらに精神障害のある人とその家族のQOLの向上を目的とした支援のあり方についても学修する。	2年後期
		精神看護方法論Ⅱ	精神障害のある人の社会復帰に向けた援助と社会に適応し自立をめざした生活を維持していくための支援の方法について学修する。また、活用できる諸制度、マンパワー、チーム医療などの社会資源の活用方法について学修する。具体的には、自己の振り返り、集団療法、生活技能訓練（SST）、認知行動療法、地域生活支援および精神科訪問看護などについて学ぶ。また、統合失調症をもつ人の事例を用いて看護過程を展開することによって、個別的な看護についての援助のプロセスを学修する。	3年前期
		精神看護学実習	精神科病院および地域リハビリテーション施設等の機能を知るとともに、精神に障害をもつ人の回復過程、社会復帰および状態安定の維持に必要な看護援助について学修する。具体的には、入院治療を必要とする精神に障害をもつ人とその家族に対する看護を学ぶ病棟実習と、精神障害と共生しながら地域で社会復帰、状態の維持に必要な看護を学ぶ地域実習で展開する。病棟実習における精神に障害をもつ人の把握においては、全体的印象、背景情報、身体諸機能、精神状態、発達課題とその達成、受けている医療に対する反応、持っている力の7つの側面から情報収集し、健康課題を明確にし、一つ以上の健康課題について対象とともにケアプランを立案し看護を実施・評価する。地域実習においては、デイケア実習や就労支援の実際を通じて精神看護の役割を探求し、倫理観を養う。	3年後期

統合科目	統合看護学	看護基礎ゼミ	大学で学ぶために必要なスタディスキル、アカデミックスキルを修得する。大学生の現状や諸問題を題材に取り上げ、求められる学士力と学習方法について検討し、今後の大学生生活の見通しを立てる。	1年前期
		看護応用ゼミ	3年次までの講義、演習、臨地実習での学習を振り返り、修得したスタディスキル、アカデミックスキルを基盤にした各自の社会人基礎能力と看護実践力の習得レベルを検討する。さらに、キャリアデザインを描き、その実現に向けた職業選択、臨床への適応上の課題、専門職としての主体的な継続教育などを検討する	4年前期
		災害看護学	災害医療の基本的な対応体制、災害看護における看護師の役割りの実際について学び、市民としての災害時の行動、医療従事者としての基本的な対応方法、および災害発生時に求められる看護技術を修得する。具体的には、災害に対する政策、災害の分類、災害サイクル、災害時の心身の健康障害、災害後の心の状態とケア、トリアージの方法、災害時のアセスメントなどについて学ぶ。また、災害時の看護に対する責任と役割を学習する。	1年前期
		感染看護学	感染が成立する要件や、標準予防策・感染経路別予防策の概要、感染予防の技術に関連する知識などを学修し、看護における感染予防の重要性を認識する。また、国内外の感染対策の動向について学修し、感染予防の観点から看護師の果たすべき責務と役割について理解する。	1年前期
		家族看護学	看護では、援助の対象者とともに家族を含めた援助が求められている。本科目では、家族看護とは何か、家族看護学の目的、家族の健康維持にとって看護職の果たす役割等家族看護学の基礎的知識について学習する。さらに、家族看護アセスメント、家族看護の支援計画ならびに実施・評価のプロセスについても学習する	1年後期
		国際看護学	グローバル化の進む社会において、人間の安全保障の側面から、看護職が国内外で果たすべき役割について学ぶ。また、外国人と接する機会が多い地域特性を活かし、他国の人々の社会背景や生活環境に関心を持ち、看護職が寄与できる健康支援について学ぶ。さらに、“UniversalHealthCoverage”の目標を達成するための解決方法について国際保健医療協力の観点から学修する。	2年前期
		看護管理学Ⅰ	看護専門職として管理に関する基礎的知識を修得し、看護管理上の問題を解決する方策の検討方法を学ぶ、(リーダーシップ、マネジメントを含む)また、医療の国際的動向と我が国の特色を理解し、医療システム、医療ケアの質に関する概念を学ぶ。チーム医療における看護者としてのリーダーシップ、調整、カウンセリング、コンサルタント、教育意志決定などの臨床実践能力を構築するための理論を体系的に学び、看護マネジメントに関する視点を高める。	3年前期
		看護管理学Ⅱ	高度化・複雑化を続ける医療の現場における、療養者や医療者の安全について学ぶ。主に医療事故発生のメカニズムやリスクの評価、組織における事故防止対策や国の医療安全への取り組みなどのリスクマネジメントについて理解し、安全文化の醸成について考える。	4年前期
		在宅看護学概論	在宅看護の理念・目的、在宅看護の背景、変遷など在宅看護学の基本的概念や歴史について学ぶ。さらに、現行の在宅看護に関わる諸制度を理解し、在宅看護の場、活動内容、他職種、他機関との連携・協働の必要性を学習することにより、少子高齢化社会において、地域で活動する訪問看護師への社会がもつニーズと、訪問看護師の果たす役割を理解する。	2年前期
		在宅看護方法論Ⅰ	訪問看護活動に必要な在宅看護や在宅医療技術について最新の知識、技術を学び、実践力を養う。また療養者の在宅生活の実際を知り、個別性の高い在宅生活の状況に応じた療養者への訪問看護支援の多様性を理解する。	2年後期
		在宅看護方法論Ⅱ	既修の各看護専門領域での学修を統合して再度学修する。的確な情報収集とアセスメントを通して、誰もが確実に実践できる具体的な看護過程を在宅の場で展開することによって、在宅看護実践力の基礎を身につける。	3年前期
		在宅看護学実習	在宅療養者とその家族に対する看護実践を通し、対象者の価値観や生活を尊重した看護過程を学修する。在宅療養者を中心とする保健・医療・福祉などの多職種が連携し、地域包括ケアシステムの中のチームケアを理解し、地域において活動する看護職の機能と役割を学修する。	3年後期
		地域看護学Ⅰ	地域で生活する人々の健康の保持増進や生活の質の向上を目指して展開される地域看護について、基本的な考え方、活動の場、活動方法、看護職の役割と連携について学修する。	2年後期
地域看護学Ⅱ	公衆衛生看護学の教育課程における保健師としての資質・能力について学修する。具体的には、保健師の使命、倫理、課題を探究し実践するために必要な知識と能力、協働、質の補償と安全、歴史の変遷と社会の動き、生涯にわたる学習と探究方法について学ぶ。	2年後期		

統合科目	統合看護学	地域看護学実習	地域で生活するすべての人々の健康の保持増進や生活の質の向上を目指して展開される地域看護活動の場、活動の実際、看護の役割と連携について実習を通して学修する。	4年前期
		リハビリテーション看護論	リハビリテーションの理念を理解し、日本や海外におけるリハビリテーション看護について、歴史の変遷をふまえて基本的知識と技術を学修する。リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。	3年前期
		看護研究Ⅰ	看護実践における研究の重要性を理解し将来的な種々の研究活動の基盤を作ることを目的に、看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方など看護研究の基礎的事項について学習する	4年前期
		看護研究Ⅱ	看護実践における研究の重要性を理解し将来的な種々の研究活動の基盤を作ることを目的に、看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方などの実際について、看護研究の文献クリティークを行うことで学習する	4年後期
		看護研究Ⅲ	看護実践における研究の重要性を理解し将来的な種々の研究活動の基盤を作ることを目的に、看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方などの実際について、研究計画立案・倫理申請書を作成することで学習する	3年前期
		実践看護論Ⅰ（がん看護）	がん患者およびその家族が迎える病期のプロセスの理解を深め、その人らしく生きるための患者の意思決定支援や終末期ケアなど、現代のがん看護問題や課題を踏まえながら看護師の役割・専門性について学修を深める。また、その過程で自身の看護観や倫理観が高められることを目標とする。	4年前期
		実践看護論Ⅱ（認知症看護）	講義、臨地実習での学修を発展させる形で、認知症ケアに関する知識・技術を理解し修得する。認知症治療の最新動向を知るとともに、薬物治療と非薬物治療の特徴と看護の役割について理解する。回想法、リアリティオリエンテーション等の実際、評価を体験的に理解し、臨床実践における有用性と限界について検討する。	4年前期
		実践看護論Ⅲ（小児看護の専門性）	既習の知識や臨地実習での体験を統合し、小児看護における専門性を発展させていく能力を培うことを目標とする。そのために、社会の動向を踏まえた上で、現代の小児医療・小児看護の抱えている課題や今後の展望について様々な観点から討議し、学修を深めていく。	4年前期
		実践看護論Ⅳ（ウイメンズヘルス）	現代女性のライフサイクルは、女性の長寿化、少子化さらには生き方の多様化といった社会的な変化に伴い、大きく変わりつつある。また、女性の健康のとらえ方も母子保健領域にとどまらず生涯を通じた健康権利として行使できるように「リプロダクティブヘルス・ライツ」の概念と重要性が明文化されている。その視点から思春期・成熟期・更年期・老年期の女性を理解し、それぞれの母性領域での問題とその対応を学ぶ。	4年前期
		実践看護論Ⅴ（バイオサイコソーシャルアプローチ）	既習学習の「コミュニケーション論」、「心理学」および「精神看護学概論」、「精神看護方法論Ⅱ」科目と関連を持ちながら、学生が精神看護の幅の広さを理解し、精神的側面についてさまざまな場面において対応できる看護を学修することをねらいとする。具体的には、対人援助のためのカウンセリングの考え方やアサーションスキル、ストレス軽減技術及びその測定などについて学修する。	4年前期
		実践看護論Ⅵ（補完療法とフットケア）	看護の対象となる人をより統合的（ホリスティック）に捉え、健康な人から健康に障害を持つ人が自身のセルフコントロールにより個人のwell-being（安寧）を高めるために役立つリラクゼーション技法を学ぶ。また健康上の課題に折り合いをつけながら生活する人のwell-being（安寧）を高めるための援助技術としてアロマセラピー、手のケア、足のケア方法について学習する。	4年前期
		実践看護論Ⅶ（異文化看護）	「文化」を理解する上で必要な基本的知識・概念を学ぶ。文化と健康の関連性について学ぶ。文化に配慮した看護のあり方について考える。	4年後期
統合実習	これまでの既習学習を統合させ、看護の対象に看護理論および基礎看護技術等の学習内容を活用・提供することを学ぶ。具体的には外来、病棟での看護実践における看護管理者、チームリーダー、メンバーの役割とその実際を学習する。また、複数の患者を受け持ち、優先順位をつけて看護を実施する方法を学び、臨床現場で行われている看護実践の実際を学ぶ。またチームの一員として協働する心構えを学ぶ。さらに卒業や卒業後を視野に入れて、卒業までの基礎知識や看護技術における自己の学習課題を明確にする。	4年前期		



公衆衛生科目	公衆衛生看護学領域	公衆衛生看護活動論Ⅰ	※	公衆衛生看護における対象の捉え方、健康課題の特徴について学び、対象別の公衆衛生看護過程展開と活動方法について学修する。	3年後期
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	※	子どもと親、成人期、高齢期の人々への支援、心の健康への支援、障害を持つ人々・感染症に罹患している人々、多様な文化的背景を持つ人々への支援について、行政における活動を中心に学修する。	4年前期
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	※	地域診断、施策化と事業化、社会資源の開発、システム化について、演習を通して具体的に学修する。	4年前期
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	※	個別から集団までを対象として行う公衆衛生看護活動における、アセスメント、コミュニケーション、生活支援や健康支援について演習を通して具体的に学修する。	4年前期
		学校保健・産業保健論	※	我が国の産業保健および学校保健の歴史の変遷について学修する。それを踏まえ、産業保健の現状、諸制度、対象、看護職の職務・役割ならびに活動展開の方法について学修する。また、海外の産業保健活動を学び我が国の産業保健活動の課題と将来展望について学習する。学校保健については、学校保健の概念、安全、関連職種、組織、関連法規ならびに養護教諭の専門性、活動の実際について学習する。	3年後期
		公衆衛生看護管理論	※	公衆衛生看護管理の構成要素、専門的自律と人材育成方法について学習する。具体的には、公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、人事管理、予算管理、組織運営と管理および保健師教育について学習する。健康危機管理については、理念と健康危機管理の目的や制度・システム、関係法令や行政や関連機関との連携、危機管理の対象や健康危機管理における保健師の役割・機能、保健活動の実際について学習する。	4年前期
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	※	保健所ならびに市町村での実習を通して、地域社会で生活する住民や家族の個別保健ニーズと地域の健康課題を包括的にとらえ、課題を解決するための地域看護活動の方法と実際の活動について学習する。さらに、公衆衛生看護活動におけるチーム医療の実際についても実習を通して学習する。	4年前期
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	※	地域における医療機関・関係機関の役割と連携、住民の力を特定の地域および組織での実習を通し学ぶ。また学校・産業保健の視点での実習を通して、それぞれの場特有の課題とそれに対応して展開される保健活動の実際を主体的に学び取り、実施可能な活動を展開・評価する。	4年前期



Ⅲ. 総合教育科目・専門基礎科目・  
専門科目・公衆衛生科目  
＜2022年度以降入学者＞

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
コミュニケーション論 Communication	必修	講義	1単位 (15時間)	1年後期	長澤 里絵	-
ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP3) 援助的コミュニケーション力					
人間とコミュニケーション						

授業概要	ケアや社会福祉援助では常に人と人との関係性のあり方が問題となる。人間存在と人間関係、社会的相互作用と社会的役割の理解の上に、医療を受ける人々を一人の人間として、心から大切にしようとする「誠実さ」と、それに支えられた「出会い」によって、対話が成立し、医療を受ける対象およびその家族の理解が充実発展でき、より良い関係を築く基礎を学修する。
------	---

到達目標	人間関係の基礎となるコミュニケーションを理論的側面と実践的側面から理解できる。
------	---

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	コミュニケーションとは	コミュニケーションとは。その語源や重要性の説明、コミュニケーションの種類 事前学習(0分): 特になし 事後学習(60分): 授業全体について復習する。	長澤 里絵
2	バーバルコミュニケーション ・コミュニケーション実習(1)	コミュニケーションの構図・コミュニケーションの特徴・バーバルコミュニケーション(語彙理解と文章理解) コミュニケーショントレーニング話①【グループワーク】 事前学習(0分): 特になし 事後学習(60分): 授業全体について復習する。	長澤 里絵
3	ノンバーバルコミュニケーション ・コミュニケーション実習(2)	ノンバーバル(非言語的)コミュニケーションの分類 他 コミュニケーショントレーニング話②【グループワーク】 事前学習(0分): 特になし 事後学習(60分): 授業全体について復習する。	長澤 里絵
4	ノンバーバルコミュニケーション ・コミュニケーション実習(3)	表情・アイコンタクト・近接学 他 耳をすます(エクササイズ)【グループワーク】 事前学習(0分): 特になし 事後学習(60分): 授業全体について復習する。	長澤 里絵
5	きくこと・話すこと ・コミュニケーション実習(4)	「聴く」と「聞く」・コミュニケーションにおける「話す」とは 触れて知る(エクササイズ)【グループワーク】 事前学習(0分): 特になし 事後学習(60分): 授業全体について復習する。	長澤 里絵
6	コミュニケーション実習(5)	伝達①図形をことばで伝える【グループワーク】 事前学習(0分): 特になし 事後学習(60分): 授業全体について復習し、ワークシートを仕上げる。	長澤 里絵
7	コミュニケーション実習(6)	伝達②指定した文章をいくつかの感情で言ってみる【グループワーク】 事前学習(0分): 特になし 事後学習(60分): 授業全体について復習し、ワークシートを仕上げる。	長澤 里絵
8	コミュニケーション実習(7)	伝達③指定した文章を相手に分かりやすい言い方で伝えてみる【グループワーク】 まとめ 事前学習(30分): 全体の復習をし、不明な点は質問できるようにしておく。 事後学習(60分): 授業全体について復習する。	長澤 里絵

評価	定期試験(60%)、提出物(20%)、グループワークへの取り組み(20%)で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	課題については、授業内で全体の講評をする。
教科書	こころの行動と発達・臨床心理/軽部幸浩編/福村出版/2023/ISBN:978-4571230677
参考図書など	適宜紹介します。
アクティブ・ラーニング	エクササイズ等のグループワークを行なう。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	授業時の私語は授業妨害となるので厳禁とします。 ※必ず事後学習を行うこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
チーム医療論Ⅰ Interprofessional EducationⅠ	必修	講義	1単位 (15時間)	1年通期	川本利恵子・松月みどり・山勢善江 坂口達哉	—
ナンバリングコード	HNS01	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP3) 援助的コミュニケーション力 DP4) チームで連携し協働する力					
人間とコミュニケーション						

授業概要	医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供することを理解する。チーム医療実践例を提示し保健、医療、福祉を含め、地域で生活する人や患者・障害を抱える人の問題に対するチームアプローチの基礎的知識を学修する。		
到達目標	1) チーム医療の定義や意義を述べるができる。 2) チーム医療に携わる多職種役割を述べるができる。 3) チーム医療とは、多職種が目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合うことであると述べるができる。 4) 医療実践例から、患者中心の視点で検討するチームアプローチの必要性を述べられる。 5) 医療実践例から、多職種が捉える保健・医療・福祉の視点から検討することの必要性が述べられる。		
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	チーム医療(IPW)とは	科目の位置づけ、特にチーム医療Ⅱとの関連性についてガイダンスを行う。 ガイダンス後、「チーム医療とは」などの定義・目的・効果について、教授する。 事前学習(30分): シラバスを読み科目の授業概要と到達目標を理解する 事後学習(30分): 授業内容をノートにまとめる(30分)	川本利恵子
2	日本の保健医療福祉システムと機能について	日本と諸外国の保健医療福祉のシステムについて、日本の医療提供体制及び今後の問題点について教授する。 事前学習(30分): 講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分): 授業内容をノートにまとめる	松月みどり
3	保健医療福祉システムを支える各専門職とその職能	保健医療福祉システムを支える各専門職とその職能の役割と機能について、教授する。 事前学習(30分): 講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(60分): 講義資料と学習内容をノートにまとめる	松月みどり
4	チーム医療(IPW)の原理・原則	チーム医療の4つの要素と関係性とコミュニケーションについて、教授する。 事前学習(30分): 講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(60分): 医療実践例を保健・医療・福祉の視点から検討しまとめる(レポート提出)	松月みどり
5	GWによる検討①(各専門職の役割)	グループ討論: 各専門職の成り立ちについて 事前学習(60分): グループワークの準備をする 事後学習(60分): グループワークの学習内容をノートにまとめる	看護学科担当教員全員
6	GWによる検討②(患者中心のチームアプローチ方法)	グループ討論: 各専門職が活躍するチーム医療の具体例について 事前学習(60分): グループワークの発表準備をする 事後学習(60分): グループワークの学習内容をノートにまとめる	看護学科担当教員全員
7	GW発表	これまでグループワークで行ってきた議論を、グループ毎に発表をする。 事前学習(60分): 発表準備をする 事後学習(60分): 学習内容をノートにまとめる	看護学科担当教員全員
8	総括	これまでの講義やグループワーク、発表などについて、個人およびグループワークを通して振り返る。 事前学習(60分): テキストや講義資料など全体に目を通し、自身の学びについて振り返りをする 事後学習(60分): 自身の振り返りをノートにまとめる	看護学科担当教員全員

評価	GW発表内容30%、グループレポート10%、個人レポート60%、
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	既存のテキストを使用。
参考図書など	チーム医療論Ⅱで活用: 田村由美: 新しいチーム医療—看護とインタープロフェッショナルワーク入門(改訂版)。看護の科学社2018
アクティブ・ラーニング	チュートリアル方式の演習であるので、少人数チーム内討論とそのプロダクトの発表が主体である
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	全ての科目の基となる科目です。チーム医療論Ⅱにつながる科目です。これまでの学習方法との共通点・相違点を意識しながら、必ず専用のノートまたはファイルを作成してください。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
英語 I English I	必修	講義	1単位 (15時間)	1年前期	小山田 幸永	—
ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP3) 援助的コミュニケーション力					
人間とコミュニケーション						

**授業概要**  
高等学校で学んだ基本的事項を確認しながら、さらに高度な英文の文化に触れるとともに、まとまりのある文章の概念や要点をできるだけ速く、多く読み取るという高度な読解力を養い、目的に応じた読みを可能にすることを目的として学習する。

**到達目標**  
1) 医療関係を中心にした日常の基本語彙の修得。  
2) 学習した表現を使用して、自分の考えを英語で表現する力をつける。  
3) 学習した文法を使用して、まとまった英文を読みこなす力をつける。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	導入	テキストの概観と学習の進め方を確認する。 事前学習(30分)テキストを一読しておく。 事後学習(30分)参考表現をまとめて、発音練習する。	小山田 幸永
2	身体を表わす言葉	身体を表わす用語や表現を解説する(P8～20)。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
3	病気	病気に関する用語や表現を解説する(P27～39)。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
4	病状 1	一般的な病状に関する用語や表現を解説する(P46～64)。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
5	病状 2	ケガや痛みなどの病状に関する用語や表現を解説する(P69～79)。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
6	診察 1	問診など診察に関する用語や表現を解説する(P84～95)。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
7	診察 2	検査など診察に関する用語や表現を解説する(P96～103)。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
8	まとめ	本講義で学んだ内容を振り返り、重要事項を確認する。 事前学習(30分)これまでの学習での疑問点を確認する。 事後学習(30分)学習内容を振り返り、試験に備える。	小山田 幸永

評価	試験60%、授業参加度20%、課題提出20%
課題に対する フィードバックの方法	講義内で扱った内容に関する問題を解き、次の講義にて解説を行う。
教科書	新 病気になっても困らない英会話 / 尾崎哲夫 / 南雲堂 / 改装3刷 / ISBN978-4523422891
参考図書など	東大病院発 医療スタッフのための英会話 / 東京大学医学部附属病院英語マニュアル出版プロジェクトチーム / ベレ出版 / ISBN978-4860644758 英語対訳で読む人体の仕組みの謎 / 児島崇 / 実業之日本社 / ISBN978-4408112138
アクティブ・ラーニング	講義の中で会話練習などグループワークを行う。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	無断欠席、無断遅刻は厳禁とする。授業前は、テキストを一読して単語や表現をまとめる。授業後は、学習した内容の理解度を問題演習を通して確認する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
英語Ⅱ English II	必修	演習	1単位 (30時間)	1年前期	小山田 幸永	—
ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP3) 援助的コミュニケーション力					
人間とコミュニケーション						
授業概要	(1)看護・医療・福祉系の英語の文章を読む練習をする。 (2)看護・医療・福祉系の英語のリスニングの練習をする。 (3)看護・医療分野の基本用語を辞書やインターネットを使って調べる。 (4)上記内容に関して、授業内で小テストを行い理解度を確認する。					
到達目標	(1)専門分野に関する基本的な英語の文章を理解できる英語力を修得する。 (2)看護や医療の現場でのコミュニケーションに必要なリスニング力を向上させる。 (3)看護や医療分野の用語に関する英語表現を覚える。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	導入	テキストの概観と学習の進め方を確認する。 事前学習(30分)テキストに出て来る単語の要素を確認する。 事後学習(30分)単語の読み方を確認し、発音練習する。				小山田 幸永
2	医学用語の効果的な学び方	医学用語の成り立ちや由来を解説する(1章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
3	症状に関するもの	症状に関する単語と表現を解説する(2章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
4	診断に関するもの	診断に関する単語と表現を解説する(3章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
5	手術に関するもの	手術に関する単語と表現を解説する(4章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
6	筋・骨格系	筋・骨格系に関する単語と表現を解説する(5章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
7	神経・感覚器系	神経・感覚器系に関する単語と表現を解説する(6章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
8	呼吸器・循環器系	呼吸器・循環器系に関する単語と表現を解説する(7章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
9	消化器系	消化器系に関する単語と表現を解説する(8章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
10	尿生殖器系	尿生殖器系に関する単語と表現を解説する(9章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
11	語幹	leuko-(白)など色や形状に関する語幹の機能を解説する(10章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永
12	接頭語1	a-(否定)など否定や数に関する接頭語の機能を解説する(11章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。				小山田 幸永

13	接頭語2	hyper-(高い)など場所や時に関する接頭語の機能を解説する(12章)。 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田 幸永
14	病棟で役立つ英語表現	病院施設など病棟で役立つ表現を解説する(13章) 事前学習(30分)単語や表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で扱った単語や表現を復習し、発音練習をする。	小山田 幸永
15	まとめ	本講義で学んだ内容を振り返り、重要事項を確認する。 事前学習(30分)これまでの学習での疑問点を確認する。 事後学習(30分)学習内容を振り返り、試験に備える。	小山田 幸永

評価	試験60%、授業参加度20%、課題提出20%
課題に対する フィードバックの方法	講義内で扱った内容に関する問題を解き、次の講義にて解説を行う。
教科書	基本の101語を組み合わせる学ぶ医学英語／津波古 澄子、マリオン・ソボスキー／日本看護協会出版会／第2版／ISBN9784818025332
参考図書など	医療・看護・歯科・福祉英語基本用語用例集／瀬谷幸男ほか／南雲堂／ISBN978-4523265412 現場ですぐ引ける 医学・看護略語辞典／飯田恭子／ナツメ社／ISBN978-4816365270 語源図解 からだと健康の英単語／清水建二／講談社／ISBN978-4065184431
アクティブ・ラーニング	講義の中で会話練習などグループワークを行う。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	無断欠席、無断遅刻は厳禁。授業前は、テキストを一読して問題演習を行い、疑問点をまとめる。授業後は、問題演習で理解したことを確認する。



授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
英語Ⅲ English III	選択	講義	1単位 (15時間)	2年前期	小山田 幸永	—
ナンバリングコード	HCOA2	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP3) 援助的コミュニケーション力					
人間とコミュニケーション						

授業概要	医療の臨床実践に必要な用語や表現、外国人患者と接する際に必要な英語や心構え、医療従事者間での英語によるコミュニケーションについて学ぶ。		
到達目標	1. 医療の場を中心に、日常的コミュニケーションで必要とされる英語表現を理解できる。 2. 専門領域の事柄を英語表現で説明できる。		
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	受付	Scene1～9 初診時の対応 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ単語や表現を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
2	病歴聴取	Scene12～21 現病歴と既往歴の確認 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
3	検査	Scene23～31 心電図と血液の検査 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
4	病棟1	Scene33～45 術前と術後の対応 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
5	各診療科2	Scene58, 60, 61, 62 呼吸器科と循環器科 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
6	各診療科2	Scene64, 68, 89 消化器科と耳鼻咽喉科と眼科 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
7	病棟2	Scene48～57 面会と退院指導 事前学習(30分)単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田 幸永
8	まとめ	本講義で学んだ内容を振り返り、重要事項を確認する。 事前学習(30分)これまでの学習での疑問点を確認する。 事後学習(30分)学習内容を振り返り、試験に備える。	小山田 幸永

評価	試験60%、授業参加度20%、課題提出20%
課題に対するフィードバックの方法	講義内で扱った内容に関する問題を解き、次の講義にて解説を行う。
教科書	実践！医療英語 こんにちは、英語で何と言う？/(財)グローバルヘルスケア財団/日系BP/ISBN978-4296100521
参考図書など	病院スタッフのためのシチュエーション英会話/服部しのぶ/メジカルビュー社/ISBN978-4758309646
アクティブ・ラーニング	講義の中で会話練習などグループワークを行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	無断欠席、無断遅刻は厳禁とする。授業前は、テキストを一読して発音練習を行う。授業後は、学習した実践的な英語表現が使えるようになるまで、何度も音声を聴いて発音練習をくり返す。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
中国語 Chinese	選択	講義	1単位 (15時間)	1年前期	魯 大鳴	○
ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP3) 援助的コミュニケーション力					
人間とコミュニケーション						

授業概要	中国語の基礎的知識を学習するとともに、中国の文化についても触れながら日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。		
到達目標	1) 中国語のピンイン(ローマ字による発音表記)に基づいて正確に発音できる。 2) 中国語で自己紹介を言えるように目指す。		
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	第一回	中国、中国語の基本知識などについての説明。中国語で自己紹介の内容。 事前学習(0分): とくに無し 事後学習(30分): 自己紹介の内容を復習する。	魯 大鳴
2	第二回	テキスト6, 7, 8, 9ページのピンイン、10, 11ページの「知って便利な言葉」 事前学習(30分): テキスト10, 11ページの内容を予習する。 事後学習(30分): 授業で習ったピンインを復習する。	魯 大鳴
3	第三回	テキスト12, 13ページ 第一課 本文 文法 事前学習(30分): テキスト12ページ 新しい単語を予習する。 事後学習(30分): 第一課 本文の内容を復習する。	魯 大鳴
4	第四回	テキスト14, 15ページトレーニング リスリング 事前学習(30分): CD音声の24, 25, 26番を予習する。 事後学習(30分): 授業で習った内容を復習する。	魯 大鳴
5	第五回	テキスト16, 17ページ 第二課 本文 文法 事前学習(30分): テキスト16ページ新しい単語を予習する。 事後学習(30分): 第二課 本文の内容を復習する。	魯 大鳴
6	第六回	テキスト18, 19ページ トレーニング リスリング 事前学習(30分): CD音声の29, 30, 31番を予習する。 事後学習(30分): 授業での内容を復習する。	魯 大鳴
7	第七回	テキスト20, 21ページ 第三課 本文 文法 事前学習(30分): 20ページ新しい単語を予習する。 事後学習(30分): 第三課 本文の内容を復習する。	魯 大鳴
8	第八回	テキスト22, 23ページ トレーニング リスリング。テキスト内容のまとめ。 事前学習(30分): CD音声の34, 35, 36番を予習する。 事後学習(30分): 今まで授業での内容を復習する。	魯 大鳴

評価	小テスト30%、学習態度(積極的に朗読、発言など)20%、試験(或いはレポート)50%で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし。
教科書	「一冊めの中国語 会話クラス」/劉 穎、喜多山 幸子、松田 かの子 著/白水社刊(2300円+税) ISBN:9784560069189
参考図書など	「中国語発音マスター」高田裕子 著 大修館書店 2000円+税 ISBN:978-4469232738
アクティブ・ラーニング	講義の中で、グループに分けて日常会話練習を行う。
実務経験のある 教員による授業	京劇役者の歌、セリフの基本訓練した発音や経験を活かして講義する。
留意事項	予習、復習、繰り返しすることが言葉上達のカギである。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
韓国語 Korean Language	選択	講義	1単位 (15時間)	1年前期	金 美玟	—
ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP3) 援助的コミュニケーション力					
人間とコミュニケーション						

授業概要	韓国語の文字と発音および基礎的な文法を学習するとともに、韓国の文化についても触れながら、日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。		
到達目標	韓国語の文字の習得と正確な文字の発音を身に着け、基礎的な文法と語彙を学修する。挨拶、自己紹介といった簡単な日常会話ができる。		
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	韓国語の全体像	序章 韓国語は、どんなことば？ 事前学習(15分): 序章を読む 事後学習(10分): ハングルの構造を理解	金 美玟
2	母音: 単母音、半母音	文字と発音(1) 8つの単母音とヤ行の半母音 事前学習(10分): 前回の復習 事後学習(15分): 母音の復習	金 美玟
3	母音: 半母音、二重母音	文字と発音(1) & (4) ヲ行の半母音、二重母音 事前学習(10分): 前回の復習 事後学習(10分): 母音の発音を覚える	金 美玟
4	子音: 有声音化	文字と発音(2) 初声平音 事前学習(15分): 母音字母の単語学習 事後学習(10分): 子音字母の復習	金 美玟
5	子音	文字と発音(3) 初声激音、濃音 事前学習(15分): 初声についての予習 事後学習(10分): 激音、濃音の復習	金 美玟
6	子音: 終声	文字と発音(5) 子音(終声) 子音終声(7つの音)の確認と、ハングルで自分の名前を書く 事前学習(20分): 初声の激音、濃音を用いた単語学習 事後学習(15分): 終声の復習	金 美玟
7	終声規則と終声字母	文字と発音(5) バッチム規則を知る 事前学習(10分): 終声7音を理解する 事後学習(15分): 終声規則の復習	金 美玟
8	文字の復習と確認	韓国音楽の歌詞を読む 事前学習(20分): 第1課～第3課の単語学習 事後学習(20分): 総まとめ	金 美玟

評価	小テスト(40%)、レポート・課題(40%)、音読テスト(20%)で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	授業内で直接、学生に返却する。
教科書	金京子/喜多恵美子 著、『三訂版 バランセ韓国語 初級』、朝日出版社、ISBN: 978-4-255-55676-5
参考図書など	野間秀樹(2014) 日本語とハングル
アクティブ・ラーニング	適宜ペア練習を行う。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	予習・復習の際には教科書のCDを活用して、声を出して練習する。積極的に授業に参加していただきたい。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
文学 Literature	選択	講義	1単位 (15時間)	1年前期	近藤 正臣	—
ナンバリングコード	HC0B1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力					
人間と文化						
授業概要	文学の概念と日本の代表的な韻文を中心に学習する。様々な形態の韻文を味わいながら、文学的価値を学習することを通して、時代背景や個々の文学の特徴をとらえるとともに、そこから日本の伝統美、ことばの美しさ、ことばのリズム、日本人の美意識について理解するとともに文学の基礎的な力、感性を養い、その過程で表現する能力を身につけるよう学習する。					
到達目標	1)文学とは何か・韻文とは何かの定義づけができる。 2)古典学習の意義を理解し、説明することができる。 3)文学の発生について説明することができる。 4)韻文の中における和歌・短歌、俳諧・俳句、川柳・狂歌等の形態・特徴を作品を通して説明することができる。 5)短歌・俳句の実作を通して、言葉のリズム・ものに対する見方・捉え方等を説明することができる。 また、創作をすることの難しさ・楽しさ・喜びを説明することができる。 6)古典文学での韻文の大まかな流れを理解し、説明できる。					
授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）					担当教員
1 ガイダンス 「文学」とは何か	1)卯・卯年について理解する。 2)文学の科目を選んだ理由を説明する。 3)「文学とは何か」を発表する。 4)文学に対する自分の思いを発表する。 事前学習(60分):配布プリントを読み、設問を解き、理解を深める。また、別紙プリントに「文学の科目を選んだ理由」「文学とは何か」「文学に対する自分の思い」をそれぞれ100字程度にまとめる。 事後学習(20分):設問の解答の確認・整理。発表内容の確認・整理。					近藤 正臣
2 文学の概念 「韻文」とは何か	1)文学の概念(定義) 2)「韻文とは何か」「韻文に対する自分の思い」を発表する。 事前学習(40分):文学に関する配布資料を読み、整理する(10分)。別紙プリントに「韻文とは何か」「韻文に対する自分の思い」をそれぞれ100字程度にまとめる(30分)。 事後学習(25分):「文学の定義」の整理。発表内容の確認・整理。					近藤 正臣
3 韻文の概念 古典学修の意義・文学の発生	1) 韻文の概念(定義) 2) 古典学習の意義 3) 文学の発生 事前学習(40分):韻文に関する配布資料を読み、整理する(10分)。別紙プリントに「古典学習の意義」「文学の発生」について自分の考えをまとめる(30分)。 事後学習(30分):配布資料等に基づき、韻文の概念(定義)を確認する(10分)。「古典学習の意義」「文学の発生」についての整理。まとめの確認・整理(20分)。					近藤 正臣
4 和歌・短歌	1)和歌・短歌の形式・特徴 2)『万葉集』・『新古今和歌集』・『金槐和歌集』中、神奈川県に関連する和歌作品を読解・鑑賞する。 事前学習(50分):1)和歌・短歌の配布資料を読み、形式・特徴の相違を整理する。 2)各歌集中の設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習(20分):配布資料を読み、和歌・短歌の形式・特徴をまとめ、各作品の読解・鑑賞をする。					近藤 正臣
5 俳諧・俳句	1)俳諧・俳句の形式・特徴 2)近世三大俳人(芭蕉・蕪村・一茶)の神奈川県に関連する作品を読解・鑑賞する。 事前学習(50分):1)配布資料を読み、俳諧・俳句の形式・特徴の相違を整理する。 2)各俳人作品での設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習(30分):配布資料を読み、俳諧・俳句の形式・特徴をまとめ、各作品の読解・鑑賞をする。					近藤 正臣
6 俳句と短歌の創作 近代の俳句・短歌作品の読解・鑑賞	1)俳句と短歌の作り方を理解し、実作・発表・合評をする。 2)近代の俳句・短歌作品の何篇かを読解・鑑賞する。 事前学習(40分):1)事前の配布資料を読み、それぞれの作り方を理解し、「俳句・短歌の創作シート」に作品を記入する。 2)近代の俳句・短歌の何篇かの設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習(15分):配布資料を読み、近代の俳句・短歌の何篇かについて読解・鑑賞をする。					近藤 正臣
7 川柳と狂歌	1)川柳・狂歌の起こり・形式・特徴 2)各ジャンルにおける作品を読解・鑑賞する。 事前学習(40分):1)配布資料を読み、川柳・狂歌の形式・特徴を理解する。 2)各ジャンル作品での設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習(25分):配布資料を読み、川柳・狂歌の面白さを再確認し、各ジャンルにおける作品の読解・鑑賞をする。					近藤 正臣
8 創作俳句と短歌の鑑賞 古典文学史における韻文の展開 まとめ	1)提出された俳句・短歌の鑑賞。2)古典文学史における韻文の大まかな流れを理解する。 3)全体の講義内容のまとめ。 事前学習(30分):古典文学史における韻文の流れに関する配布資料を読み、整理する。 事後学習(25分):俳句・短歌の配布プリント及び古典文学史における「韻文の展開」に関する配布資料等に基づき、本科目全体の講義内容を総括する。					近藤 正臣
評価	定期試験85%、提出物15%として評価する。					
課題に対する フィードバックの方法	提出物については、基本的に次回の講義で返却し、口頭説明・板書などでフィードバックを行う。					
教科書	プリントによる教材を配付する。					
参考図書など	神奈川の古典文学/尚文出版。川柳・狂歌/浜田義一郎 著/教育社歴史新書<日本史>82 その他必要に応じて、適宜紹介する。					
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。					
実務経験のある 教員による授業	該当なし					
留意事項	①各回の授業に関する課題や資料は、基本的に前以て配布しますので、必ず、目を通し、問題を解いたり課題をまとめたりして予習を行い、授業に臨むようにしてください。 ②毎回の資料は、きちんとファイルするようにしてください。 ③講義中、適宜指名し、読みの依頼・発言を求めます。					

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
教育学 Education	必修	講義	1単位 (15時間)	1年後期	梨本 加菜	—
ナンバリングコード	HC0B1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力					
人間と文化						

授業概要	教育の意義と基本的な事項、課題を理解し、現代社会に生きる子どもと大人の教育環境のあり方を考える。具体的には義務教育段階を中心とした公教育と教育環境の理念、特別支援教育、中等教育以後と就学前の学校制度、生涯学習の原理と教育方法、そして地域連携にもとづく人権教育について、国内外の事例を参照して学習する。					
到達目標	1)教育に関する基本的な事項を、歴史と現状、また現代的課題の理解をふまえて説明できる。 2)現代日本の学校教育について、特別支援教育を含めた諸制度を理解し、課題を考察できる。 3)社会教育・生涯学習振興行政、人権教育の理解をふまえ、地域の教育環境を幅広い視野から考察できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員			
1	公教育と教育環境の意義と構成	公教育と教育環境の理念と基本的な構成を理解する。 事前学習(30分):これまでの自分の教育環境をふり返り、言語化する。 事後学習(60分):配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	梨本 加菜			
2	学校教育と義務教育の制度	日本と海外の学校教育の制度を、義務教育段階を中心に理解する。 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	梨本 加菜			
3	特別支援教育とさまざまな教育のすがた	障害のある子どもや外国につながる子どもの教育、学校外の教育について理解を広げる。 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	梨本 加菜			
4	後期中等教育・高等教育	義務教育段階後の学校制度とキャリア教育の理解を深める。[ディスカッション] 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	梨本 加菜			
5	幼児教育の意義と制度	幼児教育施設(幼稚園、認定こども園など)の役割と現状を理解する。[グループワーク] 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	梨本 加菜			
6	社会教育・生涯学習振興行政	社会教育施設(公民館、図書館など)や関係団体の役割と現状を理解する。[グループワーク] 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	梨本 加菜			
7	生涯学習の原理と教育方法	成人教育・地域学習の原理と教育方法を理解し、プログラムを考案する。[グループワーク] 事前学習(30分):基礎自治体の社会教育・生涯学習関連施設の種類のプログラム例を調べておく。 事後学習(60分):調べ学習、グループワークをふまえて学習活動プログラム案をまとめておく。	梨本 加菜			
8	地域の連携と人権教育	地域連携にもとづく人権教育の取り組みを理解する。授業全体を総括する。[ディスカッション] 事前学習(30分):教科書と資料を参照し、第1-7回の授業を復習しておく。 事後学習(60分):地域の教育環境の中で自分ができていることを展望する。	梨本 加菜			

評価	リアクションペーパー30%、レポート70%
課題に対するフィードバックの方法	リアクションペーパーの記載内容は可能な限り授業内で講評・紹介し、質問に対して回答する。
教科書	生涯学習時代の教育制度/梨本加菜/樹村房/ISBN:978-4883672813
参考図書など	教育小六法/学陽書房/2024年版、文部科学白書/文部科学省/日経印刷/令和5年度 など。
アクティブ・ラーニング	グループワーク(調べた内容の情報交換、意見集約)、ディスカッション(調べた内容に基づく議論)を行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし
留意事項	グループワークやリアクションペーパーで自分の考えを積極的に述べ、他の学生の意見をよく聴いてほしい。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
国際保健医療論 Introduction to Global Health	選択	講義	1単位 (15時間)	2年後期	輪湖 史子	○
ナンバリングコード	HCOB2	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP4) チームで連携し協働する力 DP5) 安全を保障する力					
人間と文化						
授業概要	進行するグローバル化の中で、世界の医療分野で活躍できるような人材を育成するために、先進国と開発途上国における保健医療の実態と主体的関わり方を学ぶ。また、WHOの役割とその実際の成果を学ぶ。日本の看護師、理学療法士、作業療法士が特にアジアやアフリカの開発途上国で何が出来るかを考え(援助の方法)、まとめる。					
到達目標	1) 国際保健医療に関する基本的な概念及び用語が理解できる。 2) 国際保健医療の現状と課題、及びそれらが発生する背景が理解できる。 3) 国際保健医療における課題解決への取組み(関係機関、手法、具体的プロジェクト等)が理解できる。 4) 保健医療領域における国際協力の現状と課題が理解できる。 5) 国際保健医療に関する事柄やテーマについて、自身で情報収集ができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)			担当教員	
1	グローバル化と健康	①グローバル化と健康、②健康の定義、③人権としての健康 事前学習(30分): グローバル化とは、どのようなことを考える。 事後学習(60分): 自身の身近にある「グローバル化の影響」を考える。			輪湖 史子	
2	世界の健康状況	①世界の健康を表す指標、②健康格差、③健康及び健康格差の要因 事前学習(30分): 日本人の死亡因上位10疾患を調べる。 事後学習(60分): 世界の健康格差について復習・整理する。			輪湖 史子	
3	健康に影響を及ぼす要因	①貧困と健康、②疾病構造と疫学転換、③世界の開発目標と健康 事前学習(30分): 貧困が健康に及ぼす影響について、調べる。 事後学習(60分): 貧困の測定指標について復習・整理する。			輪湖 史子	
4	世界の健康課題	①感染性疾患と非感染性疾患、②感染症対策における国際協力 事前学習(30分): 代表的な感染性疾患と非感染性疾患を調べる。 事後学習(60分): 感染症対策における国際協力について復習・整理する。			輪湖 史子	
5	世界の健康向上に向けた取組み	①プライマリ・ヘルス・ケア(PHC)、②ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)、③国際保健医療の担い手 事前学習(30分): 健康関連の国際協力組織について調べる。 事後学習(60分): PHCとUHCについて復習・整理する。			輪湖 史子	
6	国際保健医療領域における日本の取組み	①訪日・在留外国人の健康課題、②日本における国際保健医療協力、③保健医療の場における異文化理解 事前学習(30分): 訪日・在留外国人の人数を調べる。 事後学習(60分): 日本の国際保健医療協力について復習・整理する。			輪湖 史子	
7	国際的取組みが必要な保健医療領域の課題Ⅰ(人の移動、他)	①人の移動と健康課題、②難民の健康、③災害対策 事前学習(30分): 災害の種類を調べる。 事後学習(60分): 上記①～③に対する国際協力について復習・整理する。			輪湖 史子	
8	国際的取組みが必要な保健医療領域の課題Ⅱ(地球環境問題、他)	①地球環境問題と健康、②医薬品等の規制、③社会の安定と健康 事前学習(30分): 地球温暖化の現状について調べる。 事後学習(60分): 社会の安定と健康の関連性について復習・整理する。			輪湖 史子	
評価	レポート 100%					
課題に対するフィードバックの方法	適宜、口頭発表またはリアクション・ペーパー提出を求め、必要に応じて講義時にフィードバックを行う。					
教科書	テキストについては別途指示する。					
参考図書など	実践グローバルヘルス ―現場における実践力向上をめざして―/ 日本国際保健医療学会編/杏林書院/2022/ISBN: 978-4764405417 その他、適宜プリント配付					
アクティブ・ラーニング	事後学習・事前学習の内容に基づき、講義中に口頭発表の機会を設け、意見交換・フィードバックを行う。					
実務経験のある教員による授業	看護師として看護専門職団体等の国際活動に従事した経験を活かし、基本的・実践的内容を講義する。					
留意事項	1) 事前学習・事後学習の課題は、上記記載に加えて、都度、講義中に提示します。 2) 講義や自己学習の際に分らなかつたことや疑問に思ったことを言語化し、適切なリソース(資料、人、等)を活用し、自ら答えを見出す姿勢を身につけましょう。 3) 参考図書等は、改訂版が出版されることがあります。その時点での最新版を参照してください。					

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
音楽論 Introduction to Music Theory and Music Therapy	選択	講義	1単位 (15時間)	1年後期	三浦 優佳	○
ナンバリングコード	HC0B1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力					
人間と文化						
授業概要	芸術領域である音楽を広く理解し、音楽を取り入れた療法への知見を学修する。具体的には音楽が持つ生理的、心理的、社会的働きを意図的・計画的な活用方法を学修する。また、音楽療法における個人の幸福や人間的成長を追求することを通して、心身の障害の回復、健康維持機能の改善と健康増進および生活の質向上への支援方法の基礎を学修する。					
到達目標	1) 音楽の持つ働きを広い観点から説明し、考察できる。 2) 音楽療法の基本的な原理と考え方を説明できる。 3) 対象者のニーズに合わせてどのように音楽の持つ働きを活用するのか考察できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	イントロダクション：人間の発達と音楽	乳幼児から高齢者まで、人の発達と音楽のかかわりについて考える／音楽とは何か？について考える 事前学習（15分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりについて考える／過去を振り返り、自分自身の人生の中での音楽について考える 事後学習（20分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりや、人生の中での音楽について考えたことを配付プリントにまとめる／授業内でディスカッションした内容を配付プリントにまとめる				三浦 優佳
2	音楽とは	人間の生涯と音楽、「音楽とは何か？」について考える 事前学習（30分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりについて考える／過去を振り返り、自分自身の人生の中での音楽について考える。(教科書関連ページ:p.91) 事後学習（60分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりや、人生の中での音楽について考えたことを配付プリントにまとめる／授業内でディスカッションした内容を配付プリントにまとめる。				三浦 優佳
3	音楽療法概説	音楽療法の定義、対象者、目的・目標、方法、実践されている場所を知る 事前学習（30分）：音楽療法に対する自分自身のイメージを考える／障害を持つ子ども成人、高齢者、様々な疾患等で入院している患者等が社会で生活する中でのニーズを想像してみる。(教科書関連章：第2章) 事後学習（60分）：授業内で扱ったキーワードを復習し、教科書や参考図書からキーワードを見つけ、該当する部分に目を通す／支援が必要な方々が社会の中でより良く生きるためのニーズを改めて考察し、配付プリントにまとめる。				三浦 優佳
4	音楽療法における様々な音楽経験と多様な楽器の使用	フォーマルな音楽療法における様々な音楽経験と使用する楽器について学ぶ 事前学習（20分）：音楽はどのような方法で体験できるか(聞く、歌うなど)考えておく。(教科書関連章：第2章、第3章) 事後学習（60分）：授業内容の復習、参考映像等の視聴				三浦 優佳
5	人の健康と音楽に関する歴史的視点	世界の童話や逸話にみられる「心身の健康と音楽」／音楽療法の歴史と現状を知る 事前学習（30分）：教科書pp.19、46、70、127、160、173、192-193に目を通す。 事後学習（60分）：自分自身や家族等身近な人の心身の健康と音楽に関するエピソードを考える／心身の健康と科学について自分自身の考察を深める。(教科書関連章：第4章)				三浦 優佳
6	音楽の持つ機能(働き)	音楽の持つ、生理的、心理的、社会的機能(働き)を学ぶ 事前学習（30分）：音楽の働きが活かされている身近な事例を見つけておく。(教科書関連ページ：第1章、第3章、p.138) 事後学習（90分）：テキストや配付プリントで復習する／音楽の働きが活かされている社会の事例や健康に対する支援の事例等、身近な事例をまとめる。				三浦 優佳
7	音楽療法実践の流れの例 - 療育・教育、リハビリテーション ほか	発達初期の子どもの療育・教育現場、医療現場、高齢者福祉の現場での目的・目標に合わせた音楽や楽器の活用を知る 事前学習（20分）：支援が必要な子どもや成人、高齢者等とかわった経験を思い出しておく。教科書関連ページ：pp.92-110、129-133、168-172、175-181の中から興味がある部分を読んでおく。 事後学習（90分）：授業であつた事例やVTRの内容を配付プリントにまとめる／「生活の質」や「人に寄り添うこと」について考える。				三浦 優佳
8	音楽を活用した多様な事例 - 認知症高齢者、終末期医療ほか	介護現場や長期療養の現場での音楽療法の実際を知る／対象者に寄り添う音楽の活用について考える 事前学習（20分）：身近な高齢者と音楽のかかわりについて考える／人生の締めくくりについて、「その人らしさ」、「尊厳」、「終末期医療」、「喪失」等のキーワードから考えてみる。教科書関連ページ：pp.112-126、136-137の中から興味がある部分を読んでおく。 事後学習（90分）：配布資料や授業であつた映像資料の内容を配付プリントにまとめ、考察する／「生活の質」や「人に寄り添うこと」について自分自身の意見や考えをまとめる。				三浦 優佳
評価	期末テスト50%（基礎的な知識の獲得状態と、それをもとに自分の考えをまとめる力を見る） レポート50%（音楽の持つ働きを広い観点から説明し考察する、対象者のニーズに合わせてどのように音楽の持つ働きを活用するのか考察する内容。学修成果をもとに自分の考えをまとめて説明する力を見る。最終講義終了後に提出の予定。）					
課題に対する フィードバックの方法	基本的にはmanabaから個別にコメントを返し、必要な場合は個別指導の対応をおこなうことがある。					
教科書	音楽療法を知る ― その理論と技法/宮本啓子、二俣泉編著/2014/杏林書院/ISBN:978-4764405325					
参考図書など	二俣泉、白川ゆう子、三浦優佳著(2019)「音楽療法をまなぶ」新訂増補版 アカデミアミュージック株式会社 佐藤 由美子緒(2014)「ラスト・ソングー人生の最期に聴く音楽」ポプラ社					
アクティブ・ラーニング	【ディスカッション】は、シラバス欄への記載はないが毎テーマでおこなう。【グループワーク】も毎テーマおこなう。グループでのディスカッションをもとにクラスで発表・質疑応答をしたり、演習(ロールプレイ)をしたりする。					
実務経験のある 教員による授業	日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を有し、音楽を用いた健康への支援について臨床例を提示しながら授業をおこなう。					
留意事項	履修にあたり、音楽の得意不得意、経験の有無、好み等は一切問いません。また、本授業は講義形態ではありますが、ピアラーニングの視点を大切にします。また、演習も随時取り入れます。ディスカッションや各種ワークは真摯な姿勢で臨みましょう。					

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
レクリエーションスポーツ Recreation Sports	選択	演習	2単位 (60時間)	1年通期	加藤 広大	○
ナンバリングコード	HC001	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力					
人間と健康						
授業概要	年代、体力、障害等を考慮した身体運動の必要性及び指導上の注意事項に関する基礎的知識を理解する。QOLを高めるための体力測定、体操、各種スポーツの基礎的能力を身につける。					
到達目標	1)身体運動の必要性及び重要性について理解し、説明できる。 2)対象者の状態に合わせたレクリエーションスポーツの計画立案と安全を留意した運動指導ができる。 3)対象者が楽しく参加できる身体運動を支援するためのコミュニケーション能力を養う。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	オリエンテーション・健康学について	授業の内容についての説明及びQOL、身体運動の必要性についての解説 事前学習：自分にとって健康とはどのような状態か考える（30分） 事後学習：学生生活において健康のために何ができるかまとめる（30分）				加藤 広大
2	健康学概論「運動」	身体運動の重要性についての解説及び実践 事前学習：運動方法について幅広く予習する（30分） 事後学習：運動方法についてまとめる（30分）				加藤 広大
3	健康学概論「栄養」	栄養についての解説及び実例提示 事前学習：五大栄養素について予習する（30分） 事後学習：五大栄養素についてまとめる（30分）				加藤 広大
4	健康学概論「休養」	休養についての解説及び実践 事前学習：休養方法について予習する（30分） 事後学習：休養方法についてまとめる（30分）				加藤 広大
5	健康学概論「健康への害」	アルコールおよび喫煙がQOLに及ぼす影響 事前学習：アルコールや喫煙の害を調べる（30分） 事後学習：アルコールや喫煙について自分の考えをまとめる（30分）				加藤 広大
6	体力測定実習「柔軟性と筋力」	高齢者を対象とした体力測定の実践方法と評価について実施及び解説 事前学習：体力測定の方法について予習する（30分） 事後学習：測定結果についてまとめる（30分）				加藤 広大
7	体力評価「評価法解説」	体力測定の実践方法と評価について実施及び解説 事前学習：体力要素について予習する（30分） 事後学習：授業内容を踏まえ身体活動における留意点についてまとめる（30分）				加藤 広大
8	前半のまとめ	到達目標に対する理解度を測る 事前学習：前回までの内容について予習する（30分） 事後学習：健康と運動について考察する（30分）				加藤 広大
9	ヨガ「ポーズ解説」	QOL向上を目的としたヨガの解説及び実践 事前学習：ヨガについて予習する（30分） 事後学習：実践を通じて、ヨガについてまとめる（30分）				加藤 広大
10	ヨガ「軽減法」	高齢者に対するヨガの実践方法及び注意点の解説 事前学習：高齢者の身体活動状況について予習する（30分） 事後学習：高齢者に対するヨガの有効性についてまとめる（30分）				加藤 広大
11	ヨガ「レイヤリング法」	ボディラインを整えるヨガの解説及び実践 事前学習：理想のボディラインについて考える（30分） 事後学習：ボディラインを整えることの有用性についてまとめる(30分)				加藤 広大
12	健康学概論「ストレスマネジメント」	ストレスの解説解消方法の提案 事前学習：ストレスについて考える（30分） 事後学習：ストレスについて自分の考えをまとめる(30分)				加藤 広大
13	健康学概論「心理学」	心理的健康についての解説 事前学習：心理的健康について考える（30分） 事後学習：心理的健康について自分の考えをまとめる（30分）				加藤 広大
14	健康学概論「持続可能性」	SDGs、エシカル、メディアリテラシーについての解説 事前学習：SDGsを調べる（30分） 事後学習：SDGsについて自分の考えをまとめる（30分）				加藤 広大
15	前期授業内容のまとめ	前回までの内容の振り返りとまとめ、健康に関するグループディスカッション 事前学習：総合的に健康について考える（30分） 事後学習：総合的に健康について自分の考えをまとめる（30分）				加藤 広大



16	健康学概論「中強度身体運動」	中強度身体運動についての解説及び実践 事前学習:競技スポーツについて幅広く予習する(30分) 事後学習:競技スポーツについてまとめる(30分)	加藤 広大
17	健康学概論「高強度身体運動」	高強度身体運動についての解説及び実践 事前学習:オリンピック種目について幅広く予習する(30分) 事後学習:オリンピック種目についてまとめる(30分)	加藤 広大
18	健康学概論「正しいダイエット」	正しいダイエットについての解説及び実例提示 事前学習:ダイエットについて予習する(30分) 事後学習:ダイエットについてまとめる(30分)	加藤 広大
19	健康学概論「脳の休養」	脳の休養についての解説及び実践 事前学習:脳波について予習する(30分) 事後学習:脳波についてまとめる(30分)	加藤 広大
20	健康学概論「薬物」	薬物の心身への影響の解説 事前学習:薬物の害を調べる(30分) 事後学習:薬物について自分の考えをまとめる(30分)	加藤 広大
21	体力評価「評価法解説」	体力測定の評価方法についての実施及び解説 事前学習:体力要素について予習する(30分) 事後学習:授業内容を踏まえ身体活動における留意点についてまとめる(30分)	加藤 広大
22	体力評価「評価実践」	体力評価後の改善案の提案及び解説 事前学習:体力評価について予習する(30分) 事後学習:体力評価実施時における留意点についてまとめる(30分)	加藤 広大
23	前半のまとめ	到達目標に対する理解度を測る 事前学習:前回までの内容について予習する(30分) 事後学習:健康と運動について考察する(30分)	加藤 広大
24	ヨガ「アドバンスポーズ」	ヨガのアドバンスポーズの解説及び実践 事前学習:ヨガについて予習する(30分) 事後学習:実践を通じて、ヨガについてまとめる(30分)	加藤 広大
25	ヨガ「Challenged ヨガ」	障がい者に対するヨガの実践方法及び注意点の解説 事前学習:障がい者の身体活動状況について予習する(30分) 事後学習:障がい者に対するヨガの有効性についてまとめる(30分)	加藤 広大
26	ヨガ「瞑想編」	心を整えるヨガの解説及び実践 事前学習:理想の心理状態について考える(30分) 事後学習:心を整えることの有用性についてまとめる(30分)	加藤 広大
27	健康学概論「上級ストレスマネジメント」	ストレス低減方法の解説、実践 事前学習:自身のストレスについて考える(30分) 事後学習:自身のストレスについて考えをまとめる(30分)	加藤 広大
28	健康学概論「上級心理学」	心理テストを応用した、心理的健康観の醸成 事前学習:心理テストについて調べる(30分) 事後学習:心理的健康について自分の考えをまとめる(30分)	加藤 広大
29	健康学概論「持続可能性」	SDGs、エシカル消費についてのグループディスカッション 事前学習:エシカル消費について調べる(30分) 事後学習:エシカル消費について自分の考えをまとめる(30分)	加藤 広大
30	後期期授業内容のまとめ	前回までの内容の振り返りとまとめ、健康に関するグループディスカッション 事前学習:総合的に健康について考える(30分) 事後学習:総合的に健康について自分の考えをまとめる(30分)	加藤 広大

評価	思考力、判断力をルーブリック評価(60%)し、更に意欲、表現力をレポート(40%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	レポートを実施した際は翌週解説を行う。
教科書	適宜資料を配布する。ヨガマット必須。
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	ディスカッション及び各種ワークを通じ、主体的な学び、対話的な学び、深い学びを促す。
実務経験のある教員による授業	ヨガ指導者としての資格(RYT200等)を有し、年間500時間程度のヨガ、健康学指導経験を活かした包括的、実践的授業を行う。
留意事項	授業の内容はあくまで予定であり、施設・用具の状況や授業の進行状況によって変更することがあります。身体的接触のない授業内容、換気の徹底など、感染症対策を講じながら授業を進めていきます。学生側もマスク着用、咳エチケットなど各自感染症対策の徹底をお願いします。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
情報リテラシー Information Literacy	必修	演習	1単位 (30時間)	1年前期	橋本 規子	○
ナンバリングコード	HC0B1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP5) 安全を保障する力					
人間と情報						
授業概要	学習においてコンピュータを有効に活用するための能力(コンピュータリテラシー)を身につける。現代社会における情報モラルと情報セキュリティを理解し、ICT(Information and Communication Technology)を利用して、情報を収集・活用していくための方法と技術を修得する事を目的とする。					
到達目標	1) 情報モラルと情報セキュリティを理解し、ICTを活用方法について説明する。 2) コンピュータ(Windows)の基本的な使い方を理解し、実務に活用する重要性を認識する。 3) WordやExcelを理解し、実務に活用する重要性を認識する。 4) PowerPointを使った研究発表を行い、創造的思考を深める。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員
1	情報リテラシーとは	コンピューターの基礎、インターネットの基礎、ネット社会と著作権、SNSの安全な利用 事前学習(30分): 教科書の序章を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容を確認して自分のものとする。				橋本 規子
2	Windowsの基礎知識	フォルダーの作成、アクセサリの使用 事前学習(30分): 教科書の1章を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
3	Wordの基礎知識	文書の作成、ページ設定と文書の印刷、表の作成 事前学習(30分): 教科書の2章-1~4を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
4	文書の編集(基礎)	いろいろな書式を設定する 事前学習(30分): 教科書の2章-5を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
5	文書の編集(応用)	表現力をアップする 事前学習(30分): 教科書の2章-6を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
6	長文の編集	長文作成をサポートする 事前学習(30分): 教科書の2章-7を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
7	Excelの基礎知識	データの入力・編集、表の作成 事前学習(30分): 教科書の3章-1~4を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
8	基本的な関数	相対参照と絶対参照、関数の入力方法 事前学習(30分): 教科書の3章-5-1~2-③を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
9	知っておくと便利な関数	条件によって集計する、文字列操作関数、日付/時刻関数 事前学習(30分): 教科書の3章-5-2-④、5-2-⑧、⑨を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
10	関数のネスト	論理関数、検索/行列関数 事前学習(30分): 教科書の3章-5-2-⑤~⑦を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
11	グラフと図形	いろいろなグラフの作成と編集、ExcelデータをWord文書に利用する 事前学習(30分): 教科書の3章-6、2章-8を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子
12	データベースの利用	データの並べ替え、抽出、ピボットテーブル、操作の自動化 事前学習(30分): 教科書の3章-7~9を読む。 事後学習(30分): 授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。				橋本 規子

13	PowerPointの基礎知識	プレゼンテーションの作成、図やオブジェクトの挿入と編集 事前学習(30分):教科書の4章-1~3を読む。 事後学習(30分):授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本 規子
14	PowerPointの応用知識	図表・グラフ・表の挿入と編集、特殊効果の設定、印刷関係の機能、スライドショーをサポートする機能 事前学習(30分):教科書の4章-4~7を読む。 事後学習(30分):授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本 規子
15	総合演習(期末演習)	Office全体の演習を行う 事前学習(120分):前回までの全講義内容を復習し理解を深める。 事後学習(60分):総合演習(期末演習)の内容を確認して自分のものとする。	橋本 規子

評価	段階別演習(50%)と定期試験(50%)で評価する。なお、段階別演習は第6、12、15回にそれぞれ実施する。
課題に対するフィードバックの方法	授業での課題演習は、教科書またはスクリーン投影で模範解答を提示する。期末演習は、模範解答を掲示する。
教科書	30時間アカデミック Office2021/杉本くみこ・大澤栄子/実教出版/ISBN:978-4-407-35943-5
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	課題演習を行う。
実務経験のある教員による授業	情報処理の資格を有しソフトウェア開発の経験から、情報を整理して、活用できる実践的な授業を行う。
留意事項	manabaを使用する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
保健統計学の基礎 Health statistics	必修	講義	2単位 (30時間)	2年前期	松木 秀明	○
ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
人間と情報						
授業概要	自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するために、データの種類と分布、測定と尺度、確率分布、代表地と散布度など統計学の基本的な概念と方法を学修する。さらに、健康の指標となる人口統計や保健統計について学び、国内外の健康問題について学修する。					
到達目標	1) 保健統計学とは何か、保健統計学の歴史的変遷について理解できる。 2) 医学・看護学・健康科学の統計の考え方について理解できる。 3) 統計データの処理の仕方を理解し、実務的な活用の仕方がわかる。 4) 医療、看護の実践場面で遭遇しやすい統計内容について、パソコンを用いて適切な処理とその評価ができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	統計学入門	統計学とは、医学・看護学・健康科学の統計の考え方、記述統計と推測統計 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
2	統計データの種類1	質的データ、量的データ、基本統計量 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
3	統計データの種類2	統計データのグラフ表示、正規分布 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
4	確率と分布	確率分布(離散型、連続型)、各分布の特徴と応用 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
5	母集団と標本1	標本抽出法、偶然誤差と系統誤差 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
6	母集団と標本2	点推定と区間推定、推定のための標本の大きさの検討 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
7	検定1	主な検定、検定の手順、1群の標本の検定 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
8	検定2	2群の標本の検定 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
9	検定3	3群以上の標本の検定、比率の検定 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明
10	検定4	相関係数、回帰係数の検定、重回帰分析、ロジスティック回帰分析 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数値的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数値的処理などの手法を再復習する。				松木 秀明

11	疫学研究と統計1	危険度曝露指標偏り交絡の考え方 事前学習(20分):授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木 秀明
12	疫学研究と統計2	介入研究追跡研究症例対照研究の考え方 事前学習(20分):授業内容に関する資料の該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木 秀明
13	保健統計1	人口静態統計、人口動態統計、国際疾病分類 事前学習(20分):授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木 秀明
14	保健統計2	生命表、国民生活基礎調査、患者調査、国民健康栄養調査の概要 事前学習(20分):授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木 秀明
15	保健統計学のまとめ	本授業の目標達成度の確認、質疑・応答 事前学習(30分):これまでの授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、考え方、公式や数的処理の未理解の部分を明確化する。 事後学習(30分):これまでの授業内容に関して、必要な知識、考え方、公式や数的処理について、実務や国家試験にも結び付けた理解を高める。	松木 秀明

評価	定期試験100%で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	次の授業時間の最初で解説
教科書	基礎からの看護保健統計学 松木秀明、須藤真由美、松木勇樹著 東京図書 2022年 ISBN978-4-489-02388-0
参考図書など	適宜、授業の中で紹介
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある教員による授業	疫学調査、公衆衛生研究、看護研究、臨床研究の統計手法について、46年の指導経験があり、実践的な内容も含む。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
法学(含日本国憲法) Law (Japanese Constitution Contained)	必修	講義	2単位 (30時間)	1年前期	長岐 郁也	—
ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP2) エビデンスに基づく実践力 DP5) 安全を保障する力					
人間と環境						
授業概要	国家の核である日本国憲法を中心に我が国の法体系の概観と法の仕組みとはたらきを学習する。また、大学生が教養として持つべき基本的な法律の制度について学ぶ。法制度の理解のために、本講義では判例などを用いながら、法がどのように作用するのかを検討しながら進めるものとする。また、医療と法の関わりを理解し、看護師として必要な法的視点について学修する。					
到達目標	1) 憲法をはじめとした法律について、医療に従事する立場からその環境に関連する法律の内容などを捉え、法がどのような役割を担うのかを考えることができる。 2) 講義で扱う判例を通じて、看護に関する実際の法の適用や基礎的な解釈を行うことができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)				担当教員
1	看護と法	法の存在意義と看護と法の関わり 事前学習(60分): 教科書の第1章(1~12頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
2	患者の権利(1): 自己決定権	インフォームド・コンセント、医療の同意年齢 事前学習(60分): 教科書の第6章3.4(94~102頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
3	患者の権利(2): 自己決定権	終末期医療(安楽死・尊厳死、臓器移植) 事前学習(60分): 教科書の第3章4(41~49頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
4	刑事責任	刑事手続きと犯罪の構成要件について 事前学習(60分): 教科書の第2章(13~30頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
5	看護師と刑事事件	看護師の負担する刑事責任について 事前学習(60分): 教科書の第3章(31~40頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(90分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
6	民事責任(1)	不法行為の成立要件について 事前学習(60分): 教科書の第4章(53~71頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
7	民事責任(2)	紛争処理手続きについて 事前学習(90分): 教科書の第4章(53~71頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
8	看護師の過失(1)	看護水準と看護師の法的責任 事前学習(60分): 教科書の第5章(73~86頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
9	看護師の過失(2)	看護師としての注意義務について 事前学習(60分): 教科書の第2章5(49~52頁)、第5章(73~86頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
10	看護師と患者情報の取扱い	個人情報の管理、インターネット上の情報の管理について 事前学習(60分): 教科書の第6章(87~94頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
11	看護と労働法(1)	労働契約と就業規則について 事前学習(90分): 教科書の第7章(103~116頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 配布資料も含め講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也
12	看護と労働法(2)	女性の労働、労働災害について 事前学習(60分): 教科書の第7章(103~116頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分): 講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。				長岐 郁也

13	看護師の法的位置づけ	一般原則と看護師の業務について 事前学習(60分):教科書の第8章(117~138頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分):講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐 郁也
14	医療の提供	医療提供体制について 事前学習(60分):教科書の第9章(139~166頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分):講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐 郁也
15	医療保障	医療に関わる保障制度について 事前学習(60分):教科書の第10章(167~192頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習:講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐 郁也

評価	定期試験時に筆記試験を実施して評価する。
課題に対する フィードバックの方法	manabaを通じてすべて回答する。
教科書	看護のための法学[第5版](ミネルヴァ書房) 著者:野崎和義・柳井圭子 2021年 ISBN:978-4623091287
参考図書など	特になし
アクティブ・ラーニング	講義に際して学生の意見を参考に討議しながら解説を行い、考え方の道筋について提示する。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	資料は原則としてmanabaに掲出するので、操作に慣れるよう努めること。また講義における私語は厳禁とする。なお、教科書は毎回、必ず持参すること。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
生物学 Biology		選択	講義	2単位 (30時間)	1年前期	殿山 泰弘、須藤 遥	—
ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目		DP2)エビデンスに基づく実践力					
人間と環境							
授業概要	生物学は、近代科学の方法論と手法により生物そのものにとどまらず、生物が示す様々な生命現象を明らかにすることを目指す学問である。現代の医学・薬学分野の発展は、生命現象の分子レベルでの理解と遺伝子工学や細胞工学などのバイオテクノロジーの発展によるところが大きい。従って、医学・薬学を理解する上で、生物学の知識は必須のものである。本講義では、生物学(生命科学)の基礎知識を概説し、バイオテクノロジーの原理を理解し、それらがどのように医療分野に応用されているかについて学修する。						
到達目標	1) 生命科学の基礎知識を理解し、他人に説明できる。 2) 医療の進歩について生命科学の発展と関連付けて考察できる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)				担当教員	
1	生物学の基本	科学・生物学の方法、生物学の歴史・成り立ち(分類・進化・遺伝) 事前学習(30分)教科書の該当箇所(序章および第1章:p.20-48)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				須藤 遥	
2	細胞のプロフィール	細胞と細胞小器官の構造・機能 事前学習(30分)教科書の該当箇所(第2章:p.49-77)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				須藤 遥	
3	演習とまとめ(1)	第1~2回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習(30分)第1~2回目の講義内容を復習する。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				須藤 遥 殿山 泰弘	
4	何が細胞の形や機能を決定しているか(1)	核酸(DNA、RNA)の構造、DNAの複製、突然変異とDNA修復機構 事前学習(30分)教科書の該当箇所(第3章:p.78-87、第7章:p.169-174、p.178-183)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。				須藤 遥	
5	何が細胞の形や機能を決定しているか(2)	転写機構、翻訳機構、分子シャペロン、タンパク質の構造と機能 事前学習(30分)教科書の該当箇所(第3章:p.87-102、第5章:p.126-145)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				須藤 遥	
6	演習とまとめ(2)	第4~5回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習(30分)第4~5回目の講義内容を復習する。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。				須藤 遥 殿山 泰弘	
7	多細胞生物への道(1) 細胞間の情報交換、細胞の数を増やす	細胞接着とシグナル伝達のしくみ、細胞周期と体細胞分裂 事前学習(30分)教科書の該当箇所(第6章:p.146-168、第7章:p.175-178)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				殿山 泰弘	
8	多細胞生物への道(2) 個体の数を増やす・発生と分化	減数分裂と受精、個体の発生のしくみ 事前学習(30分)教科書の該当箇所(第8章:p.186-213)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				殿山 泰弘	
9	演習とまとめ(3)	第7~8回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習(30分)第7~8回目の講義内容を復習する。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。				殿山 泰弘 須藤 遥	
10	生きること、死ぬこと(1) 細胞の再生と死	細胞の再生、ネクローシスとアポトーシス 事前学習(30分)教科書の該当箇所(第10章:p.256-264)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				殿山 泰弘	
11	生きること、死ぬこと(2) 個体の死	老化やがんなどの病気と遺伝子の関係 事前学習(30分)教科書の該当箇所(第10章:p.264-274)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。				殿山 泰弘	



12	演習とまとめ(4)	第10～11回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習(30分)第10～11回目の講義内容を復習する。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。	殿山 泰弘 須藤 遥
13	バイオテクノロジーが拓く最先端医療(1)	遺伝子工学の基礎 事前学習(30分)教科書の該当箇所(Column:p.253-255)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山 泰弘
14	バイオテクノロジーが拓く最先端医療(2)	遺伝子工学や細胞工学技術を用いた再生医療、遺伝子治療、細胞治療 事前学習(30分)教科書の該当箇所(Column:p.212, 243)を読む。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山 泰弘
15	演習とまとめ(5)	第13～14回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習(30分)第13～14回目の講義内容を復習する。 事後学習(30分)教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。	殿山 泰弘 須藤 遥

評価	定期試験(60%)、小テスト(20%)、および課題(グループワークおよびピア評価含む)(20%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、講義の中で適宜フィードバックする。 小テスト実施後に解答を提示し、質問に対応する。
教科書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学/和田 勝/羊土社/第4版/ISBN:978-4-7581-2108-8
参考図書など	Essential細胞生物学/中村桂子・松原謙一・榎佳之・水島昇[監訳]/南江堂/原書第5版/ISBN:978-4-524-22682-5
アクティブ・ラーニング	グループワークおよびピア評価を行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし
留意事項	本講義は、生物学全般の基礎知識の習得に重点を置いているため、高校で「生物」を選択していない方は是非受講して下さい。毎回の講義で学習した内容を理解し、記憶に定着させるために事後学習を必ず行って下さい。疑問点は、講義前後の時間やメールを利用して早めに解決することをお勧めします。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
物理学 Physics	選択	講義	2単位 (30時間)	1年前期	古谷 実	—
ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP2)エビデンスに基づく実践力					
人間と環境						
授業概要	力学、電磁気学、波動の分野について、自然や身の回りの事象を理解するための物理学の基本事項を学ぶ。					
到達目標	1) 物理量の表し方、物理量の次元、国際単位系について説明できる。 2) 運動の表し方について説明できる。 3) 力、運動の法則、運動方程式について説明できる。 4) 仕事とエネルギーについて説明できる。 5) クーロンの法則、誘電分極、電場、電位について説明できる。 6) 電流(直流と交流)、ジュール熱、オームの法則などを説明できる。 7) 電流と磁場、電磁誘導について説明できる。 8) 波の表し方と特性(屈折、回折など)を説明できる。 9) 光(電磁波)について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員
1	序論	物理量の表し方、物理量の次元、国際単位系、大きな量と小さな量の表し方、スカラー量とベクトル量 事前学習(15分):教科書のまえがきを読み、目次に目を通し、全体を概観しておく。 事後学習(30分):授業内容について復習する。				古谷 実
2	力学(1)	力の表し方、いろいろな力、力のつりあい 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
3	力学(2)	変位、速さ、速度、加速度、等加速度運動 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
4	力学(3)	運動の法則、運動方程式、自由落下、等速円運動 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
5	力学(4)	仕事、エネルギー、運動エネルギー、位置エネルギー 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
6	演習	問題演習による第1～5回の復習 事前学習(60分):演習問題(事前に配布)を解く。 事後学習(60分):演習問題を通した復習。				古谷 実
7	電磁気学(1)	クーロンの法則、電場、電位 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
8	電磁気学(2)	電流、ジュール熱、電力、オームの法則 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
9	電磁気学(3)	磁気力、電流と磁場、電磁誘導 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
10	電磁気学(4)	回路、直流と交流、コンデンサー、誘電体 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。				古谷 実
11	演習	問題演習による第7～10回の復習 事前学習(60分):演習問題(事前に配布)を解く。 事後学習(60分):演習問題を通した復習。				古谷 実

12	波動(1)	波の表し方(波長、波数、周期、振動数)、横波と縦波 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。	古谷 実
13	波動(2)	光、電磁波、身の回りの電磁波 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。	古谷 実
14	波動(3)	ホイヘンスの原理、波の特性(反射、屈折、回折、干渉) 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や小テストなど、授業全体について復習する。	古谷 実
15	演習	問題演習による第12~14回の復習 事前学習(60分):演習問題(事前に配布)を解く。 事後学習(60分):演習問題を通した復習。	古谷 実

評価	定期試験(100%)で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	授業開始時に前回の授業内容に関する小テストとその解説、講評を行う。
教科書	「大学新入生のための物理入門(第2版)」、廣岡秀明 著、共立出版、ISBN:978-4-320-03493-8
参考図書など	必要に応じて紹介する。
アクティブ・ラーニング	実施予定なし。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	ベクトルと三角比(sin, cos, tan)の基礎知識を必要とする。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
生化学 Biochemistry	選択	講義	1単位 (15時間)	1年後期	汾陽 光盛	—
ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP2)エビデンスに基づく実践力					
人間と環境						

授業概要	人体の生命現象を化学的方法で解明するために、生体を構成する糖質、脂質、タンパク質等の物質を理解すると共に、それらの生体内の物質代謝とエネルギー獲得、および遺伝情報とその発現について学修する。		
到達目標	1) 遺伝情報の流れと遺伝性疾患が生じる仕組みについて説明できる。 2) タンパク質の構造と機能の観点から、認知症(アルツハイマー病とプリオン病)の発症原因について説明できる。 3) 糖の構造と代謝、血糖を維持する仕組み、および糖尿病の発症原因について説明できる。 4) 糖の構造と代謝の観点から糖尿病の合併症が生じる仕組みを説明できる。 5) 脂質の構造とリポタンパク質について説明できる。 6) 脂質の体内輸送を理解し、動脈硬化症の発症原理を説明できる。		
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	遺伝情報の流れ(セントラルドグマ)と遺伝病、タンパク質のアミノ酸置換と疾患	遺伝子(DNA)からタンパク質が合成される機構(セントラルドグマ)と遺伝の仕組みについて復習し、アミノ酸置換を伴う遺伝子変異によって発生する疾患について、鎌状赤血球貧血症を例にして理解する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
2	タンパク質の機能異常と認知症、アルツハイマー病とプリオン病の発症機構	タンパク質の配列と機能の多様性について理解し、機能異常によって発生する疾患について、近年大きな社会問題となっている認知症を例にして学修する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
3	代謝概説、糖の構造	細胞が生きるためのエネルギーを得るとはどのようにかについて理解し、三大栄養素の一つ糖に着目して、糖質の主成分であるグルコースの構造と代謝経路について学修する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
4	細胞レベルでの糖代謝～解糖、クエン酸回路、電子伝達系	細胞がどのような仕組みで糖を分解し、エネルギーに変換するのかについて学修する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
5	個体レベルでの糖代謝 糖尿病	糖質がどのような仕組みで利用されているのか、血中のグルコース濃度を一定に保つ仕組みに着目し、臨床的に非常に重要な糖尿病に焦点を当て、生化学的な視点から学修する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
6	内分泌機構とホルモン分子	恒常性維持に関わる神経系と内分泌系について理解し、情報分子について物質の側面から学修する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
7	脂質の構造と代謝	脂質の構造と生体内での代謝について学修する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
8	脂質代謝異常症と動脈硬化症	脂質代謝の異常によって生じる疾患として、臨床的に非常に重要な動脈硬化症に焦点を当て、その発症原因や病態について生化学的な視点から学修する。 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習(30分): 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛

評価	定期試験で評価する(100%)。
課題に対するフィードバックの方法	必要に応じてmanaba等を利用してフィードバックを行う。
教科書	系統別看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能(2) 生化学 第14版/ 畠山鎮次/ 医学書院/ ISBN:978-4-260-03556-9
参考図書など	病気を理解するための病態生化学(丸善)、基礎からしっかり学ぶ生化学(羊土社)
アクティブ・ラーニング	実施予定なし。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	初回講義時に説明する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
環境論 Environmentalism	選択	講義	2単位 (30時間)	1年前期	池田 威秀	○
ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力					
人間と環境						
授業概要	持続可能な社会を未来に向けて構築していくためには、地球を構成する海や陸や大気についてと生物間の関わりを正しく理解したうえで、人間の生存基盤としての食料やエネルギーの見方を身に付け、過去の環境破壊の原因をとらえる必要がある。そこで本科目では、地球史の概要と水圏・陸圏・気圏の仕組みおよび生物間関係の基礎を理解し、人間が食料やエネルギーを得ている原理を学ぶ。次いで、それら自然の仕組みを人間が崩した環境問題の例を紹介する。そして、環境問題や環境教育に関する世界や国内の動向を学び、持続可能な社会づくりに向けた取り組みを考える。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球システムの水圏・陸圏・気圏の物理的な構成を理解し説明できる。</li> <li>2. 地球史と生物進化の基礎的な仕組みを理解し、生物多様性の重要性を理解し説明できる。</li> <li>3. 植物の生存原理と、人間にとっての食料やエネルギーとしての価値を理解し説明できる。</li> <li>4. これまでの環境破壊の事例から、環境問題の生じる原因を説明できる。</li> <li>5. 持続可能な社会を構築するための取り組みを考えることができる。</li> </ol>					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)				担当教員
1	環境とは何か	環境とは何か？物理的環境と生物的環境 事前学習(20分):「環境」の定義について予習する。 事後学習(40分):授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
2	大気と海洋の循環	太陽放射と大気・海洋の循環、それに伴う物質循環 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
3	生物とは何か	生物とは、生物種とは何か 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
4	生物の進化と適応	生物はいかにして環境に適応してきたのか・進化論 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
5	利己的な遺伝子	ネオ・ダーウィニズムと利己的な遺伝子 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
6	生物と環境	地球史と生物による環境変化 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
7	植物と動物	植物と動物の関わり 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
8	ヒトと環境	近年のヒトによる環境変化・農業と人類の繁栄 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
9	環境問題の発生	環境問題はなぜ生じるのか 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
10	環境問題への対策	様々な環境問題と解決に向けた方針 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
11	生物多様性とは何か	様々なレベルにおける生物多様性について 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀
12	生物多様性消失の危機	多様性はなぜ保全すべきなのか 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。				池田 威秀

13	再生可能エネルギー	再生可能エネルギーとその問題点 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。	池田 威秀
14	持続可能な社会にむけて	環境問題に対する世界の動向と新たな知見 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。	池田 威秀
15	私たちはなにをすべきか	人類がこれからも存続するために必要なこと 事前学習(20分)キーワードについての予習(下記、教科書項目参照) 事後学習(40分)授業スライドを再度確認する。	池田 威秀

評価	レポート(80%)、授業内課題(20%)で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	全体の講評を提示、公開する。授業内課題に関しては実施後にコメントする。
教科書	特になし。講義内で次回講義におけるキーワードを挙げるので、事前にある程度調べておくこと。 また授業に用いた資料は実施後にアップロードする予定である。
参考図書など	特になし・適宜講義中に紹介する。
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	JICA専門家として生物多様性保全プロジェクトに従事した経験を基に、アマゾン熱帯雨林における現況を紹介する
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
放射線概論 Radiology	選択	講義	1単位 (15時間)	1年後期	星川 嘉一	○
ナンバリングコード	HC0C1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
人間と環境						
授業概要	臨床現場で必要とされる放射線の知識および放射線治療総論、放射線による障害と防護や放射線の身体への影響について学習する。さらに放射線画像の基礎を学習する。また、発がんへの心理的・社会的問題についても学ぶ。					
到達目標	1) 医療における放射線医療の役割について説明でき、放射線による障害とその防護方法を説明できる。 2) 画像診断の概要、放射線治療における医療者の役割、Interventional Radiology (IVR)について概要を説明できる。 3) 日常生活において法が担う役割や機能について認識できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	医療における放射線医学の役割	医療における放射線医療の役割および歴史 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の序章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
2	放射線被ばく	放射線による障害と防護。放射線被ばくの心理的・社会的問題 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の第11章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
3	画像診断概論	医療現場における画像診断の有用性。画像診断における安全性の確保とセーフティーマネジメント 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の第1章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
4	X線診断・CT・MRI	X線診断・CT・MRIの実際 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の第2章～第4章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
5	超音波検査・核医学	超音波検査・核医学、原理と実際 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の第5章～第6章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
6	IVR(Interventional Radiology)	IVR(Interventional Radiology)の概念。実際と有用性 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の第7章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
7	放射線治療総論	放射線治療における原理と基礎及び医療者の役割 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の第8章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
8	放射線治療各論	各種腫瘍に対する放射線治療の概要。治療効果と早期反応 事前学習：(30分) 授業内容に関する教科書の第9章を読む。 事後学習：(60分) 授業全体を復習する。				星川 嘉一
評価	定期試験(100%)で評価する。					
課題に対するフィードバックの方法	講評を掲示をして、学生に公開する。					
教科書	臨床放射線医学(系統看護学講座 別巻)/尾尻博也/医学書院/10版、2021年/ISBN-13：978-4260042178					
参考図書など	適宜紹介する。					
アクティブ・ラーニング	特に行う予定なし。					
実務経験のある教員による授業	放射線科専門医としての臨床経験を活かして放射線医学の基本的な知識と手法とその考え方について講義する。					
留意事項	放射線科専門医の資格を有し多数の臨床経験から、放射線診療全般について実践的な授業を行う。 授業中、毎回発言を求める。事前学習を忘れても真摯な態度で授業に臨んでください。					

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
哲学 Philosophy	選択	講義	1単位 (15時間)	1年後期	米田 祐介	○
ナンバリングコード	HC001	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力					
人間の本質と尊厳						

**授業概要** 文明の発祥から現代に至るまでの東西を問わず先人の哲学思想を通して、人間とは何か、生きるとは何かについて思索する。「哲学を学ぶことの意義、科学と宗教と哲学、私であるということ、物質と生命の神秘、身体と精神、自由、および美しく善く生きること」等の学習内容を通して、「生きること」や「存在の意味」について、主体的に深く思索する姿勢と建設的批判力を身につけ、自己の人間観や世界観を醸成できることを目的とし、幅広く人間を理解する能力を養う。

**到達目標**  
 1)人間存在のヴァルネラビリティ(傷つきやすさ)を理解したうえで、他者への寄り添いを考えることができる  
 2)ナラティブ・アプローチを理解したうえで、実践することができる  
 3)具体的な社会事象に対し哲学の基礎的概念を用いて考察することができる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	①オリエンテーション ②哲学と医療	①授業の目標、評価基準、シラバスの説明 ②哲学とは何か、医療とは何か、について明らかにしたうえで、両者の関わりについて述べる 事前学習:(30分)「哲学」と聞いて関心のある諸問題について検討しておく 事後学習:(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田 祐介
2	時代の生きづらさに向き合う1 —くまなざし)による支配と癒しの空間:身体感覚のリアリティー—	視覚(まなざし)は、近代社会の成立とともに他の身体感覚に対して特権的な位置を占めるようになった。とくに視覚が権力と結びつく場面に注目し、その支配のメカニズムを解明する 事前学習:(30分)くにおいとくまなざしの役割を事前にノートに書く 事後学習:(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田 祐介
3	時代の生きづらさに向き合う2 —いじめを生みだす「優しい関係」—	人間存在のヴァルネラビリティ(傷つきやすさ)に光をあて、いじめという具体的事例を検討することを通じて、「いのち」とは何か、「生きる」ことの意味について考察する 事前学習:(30分)新聞やインターネットなどでいじめの事例について調べておく 事後学習:(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田 祐介
4	ナラティブ・アプローチ基礎編1 —言葉・物語・ケア—	哲学、心理学、社会学の最前線で議論されているナラティブ・アプローチの考え方を紹介し、それがケア学に一つの理論的基礎を与えるものであることを示し、新たな世界観との出会いを促す 事前学習:(30分)これまでの経験から「語る」ことの意味について検討しておく 事後学習:(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田 祐介
5	ナラティブ・アプローチ基礎編2 —物語としての自己—	自己をめぐる哲学史を概観したうえで、「自己は物語の形式で存在する」と捉える社会構成主義の立場に光をあて、それが他者への寄り添いを考えるうえで一つの手がかりとなることを解説する 事前学習:(30分)基礎編1の要点を理解しておく 事後学習:(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田 祐介
6	ナラティブ・アプローチ応用編1 —外在化とオルタナティブ・ストーリー—	M.ホワイトの外在化という考え方を具体的事例の検討を通じて解説し、「人が問題なのではなく、問題が問題なのである」ということの意味を考察する 事前学習:(30分)基礎編1・2の要点を理解しておく 事後学習:(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田 祐介
7	ナラティブ・アプローチ応用編2 —「無知」の姿勢—	H.ゲーリジャンとH.アンダーソンの「無知」の姿勢という考え方を解説し、理解の途上にとどまり続けることによって「いまだ語られなかった物語」が語られる余地がひらけてくることの意味について考察を加える 事前学習:(30分)基礎編1・2の要点を理解しておく 事後学習:(60分)レポート課題を期日までに提出する	米田 祐介
8	まとめ —自己を肯定するということ—	まとめとしてこれまでの授業をふりかえり、「自己を肯定するということ」について考察する。 事前学習:(60分)これまでの配布資料を全て読み、要点を理解しておくこと 事後学習:(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田 祐介

評価	毎回のリアクションペーパー40%、レポート60%
課題に対するフィードバックの方法	毎回、リアクションペーパーを書いていただき、授業冒頭にて紹介しコメントを行います。
教科書	物語としてのケア/野口裕二/医学書院/2002年/ISBN: 978-4260332095 なお、毎回授業時にプリントを配布します。
参考図書など	私とは何か/平野啓一郎/講談社/2012年/ISBN: 9784062881722、 なぜ生命倫理なのか/朝倉輝一編/大学教育出版/2024年 ※4月公刊のため、ISBNは未定 ほか適宜紹介します。
アクティブ・ラーニング	リアクションペーパーへのフィードバックはもとより授業内での質問・意見を積極的に取り上げます。
実務経験のある教員による授業	大学教員(10年)、障がい者サポートセンターでの勤務経験有り
留意事項	本講では、「語り・物語」が一つのキーワードになりますが、ぜひ、自らを語り、表現することの喜びを感じてください。



授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
生命倫理学 Bioethics	必修	講義	1単位 (15時間)	1年後期	小館 貴幸	○
ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力					
人間の本質と尊厳						

**授業概要**  
現代医療は生命倫理の土台の上に成り立っている。この講義では、倫理とは何かという基本的事項の確認から始め、生命倫理学の成立の歴史を含め、医療人として必要な生命倫理学の基礎的知識や倫理綱領について学修する。また、医療技術の進歩に伴い生じる生命倫理上の重要ないくつかの問題を取り上げることに伴い、その本質や最近の動向を理解するとともに、それらについて医療職が果たすべき役割を学ぶ。

- 到達目標**
- 1)「倫理とは何か」について説明することができる。
  - 2)「医の倫理」と「生命倫理」との相違を指摘し、両者の特徴について述べるができる。
  - 3)生命倫理の四原則、倫理綱領・各種宣言について列挙することができる。
  - 4)インフォームド・コンセントについて、その本質や意義を述べるができる。
  - 5)生命の始まりと終わりについての諸問題について述べるができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	倫理とは何か	倫理の起源や成り立ちを説明し、医療と倫理のつながりについて述べる。 事前学習:特になし。 事後学習(90分):指定された課題に取り組む。	小館 貴幸
2	医の倫理	『ヒポクラテスの誓い』や『ナイチンゲール誓詞』について解説し、医の倫理の原則や本質など、その概要について述べる。 事前学習(30分):前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習(60分):講義内容を復習し、テキストに目を通しておく。	小館 貴幸
3	生命倫理の成立	「医の倫理」から「生命倫理」へと到る歴史的背景や流れを解説する。人権の確立に寄与した倫理綱領や各種宣言について述べる。 事前学習(30分):前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習(60分):講義内容を復習し、テキストを熟読しておく。	小館 貴幸
4	生命倫理の四原則 1 [自律尊重の原則]	自律尊重の原則とは何かについて述べ、インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンなどについて解説する。 事前学習(30分):前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習(60分):講義内容を復習し、テキストを熟読しておく。	小館 貴幸
5	生命倫理の四原則 2 [善行・無危害・公正の原則]	善行・無危害・公正の原則とは何かについて述べ、「医の倫理」と「生命倫理」についてまとめる。看護師の倫理綱領について解説する。 事前学習(30分):前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習(60分):指定された課題に取り組む。	小館 貴幸
6	生命の始まりに関する諸問題 [人工受精]	人工受精について取上げ、その基本的諸事項や利点と問題点についても考察する。また、体外受精や不妊治療についても解説する。 事前学習(30分):テキストを熟読しておく。 事後学習(60分):指定された課題に取り組む。	小館 貴幸
7	生命の終わりに関する諸問題 1 [安楽死]	安楽死について取上げ、その基本的諸事項や利点と問題点について考察する。安楽死の是非について、各学説を取上げながら解説する。 事前学習(45分):指定された課題に取り組む。 事後学習(45分):講義内容を復習し、テキストを熟読する。	小館 貴幸
8	生命の終わりに関する諸問題 2 [尊厳死]	尊厳死について取上げ、その基本的諸事項や利点と問題点について考察する。映像資料を交えて、各当事者の思いについても取上げていく。 事前学習(30分):前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習(60分):これまでの講義を振り返り、各項目への理解を深める。	小館 貴幸

評価	定期試験(60%)、中間レポート(15%)、課題などの授業への取組み(25%)、という総合評価。
課題に対するフィードバックの方法	中間レポートに関しては、模範解答例などを配付して解説を行う。 定期試験に関しては、試験後に全体の講評をHPもしくは掲示にて受講生に公開する。
教科書	なぜ生命倫理なのか／朝倉輝一編／大学教育出版／2024年 ※4月公刊のため、ISBNは未定。
参考図書など	講義内で適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	実施予定なし。
実務経験のある教員による授業	介護福祉士の資格を持ち、実際に難病患者や終末期患者の在宅介護に携わっている教員が、臨床現場での当事者や家族の声を紹介しながら、講義を行う。
留意事項	生命の始まりや終わりにまつわる諸問題について、日常の中で取上げられるニュースに敏感になり、生命倫理を普段から身近に感じるように心がけて下さい。授業では、すべて自分の問題と置き換えて、「脳に汗をかく」ほど考え、「心が燃える」ほどに感じてもらいたいと思います。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
社会学 Sociology	選択	講義	1単位 (15時間)	1年後期	門林 道子	—
ナンバリングコード	HC0B1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力					
人間の本質と尊厳						

授業概要	社会的行為、社会的集団、地位と役割、文化などの社会学の基本概念を理解するとともに身近な社会現象である家族や職場、地域社会、健康問題、福祉、倫理問題など、現実の社会や社会問題がどのように捉えられ、理解されているかを学修する。
------	---

到達目標	「人間とはなにか、社会とはなにか」を考え、「現代」という時代の全体をとらえ、私たちが生きる現代社会が、どのような社会なのかを社会的見方を通して理解する。人が、社会の中で関係性の中で生きていることを認識し、人間と社会を幅広い視野で取り上げうる能力を養うことを目指す。社会生活を営むひとりの人間として社会を理解し考える力を涵養するとともに現代社会で起きている諸問題を把握し、客観的論理的に思考できる能力を養う。医療人として、また実生活に応用できる社会的知見の修得を目標にする。
------	--

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	社会学とはなにか	「社会学」がどのような学問であるか、「社会」とはなにか、人間が「社会的存在」であることを理解するとともに、医療において社会学を学が意義を考えてみる。 事前学習(30分):「社会」とはなにか、「人間」とはなにかを考えてくる 事後学習(60分):「社会」や「人間」「社会学とはなにか」についての復習	門林 道子
2	現代社会論Ⅰ	人口動態統計等を用いて「少子高齢社会」や「家族の小規模化」が進む現代社会を理解する。 事前学習(30分):厚生労働省発表の人口動態統計などを事前に目を通してくる 事後学習(60分):「高齢化率」「高齢化社会」「高齢社会」など用語を理解する	門林 道子
3	現代社会論Ⅱ	昨今の社会問題から現代社会を考え、社会保障制度との関係等についてもみていく。「孤独死」や「孤立死」「葬送儀礼の変容」等を取り上げる予定である。 事前学習(60分):人口動態統計からみる現代社会について小テストを実施・予習 事後学習(60分):取り上げた社会問題についての復習	門林 道子
4	現代家族論	「家族」とはなにか。基礎概念を理解したうえで、近現代における家族形態や機能の変化をみていくとともに、現在の家族に起こっている諸問題をとらえる。 事前学習(30分):「家族」とはなにかを考えてくる 事後学習(60分):「家族」の基礎概念と、近現代における変化、現在の諸問題を復習する	門林 道子
5	行為論・集団論	「行為」とはなにか、「集団」とはなにか。個人の行為の成り立ち、個人と社会集団、組織・職業と社会について解説する。 事前学習(30分):「行為」とは、また「欲求」がどのように行為となるのか考える 事後学習(60分):個人にとって社会にとっての集団の存在意義を理解する	門林 道子
6	社会調査の方法	社会学での調査方法を取り上げる。ここではとくに終末期医療に関するグラウンデッドセオリーや「闘病記の社会学的研究」(門林)に触れる。 事前学習(60分):門林の著書に関するプリントを配布・読んでくること 事後学習(120分):課題レポートを書く	門林 道子
7	ホスピス・緩和ケアの比較社会学	日本と海外の終末期ケアをめぐる状況を門林の調査研究も取り入れたうえで解説する。 事前学習(30分):ホスピスケア・緩和ケアについて基本情報を知っておく 事後学習(60分):日本と海外との比較など、要点を整理する	門林 道子
8	ハンセン病—差別と人権	ハンセン病を取り上げ、日本社会が生み出した「差別」と「人権」問題にふれることで「差別」がどのように形成されていくのか、また人間の尊厳を考える機会とする。 事前学習(30分):ハンセン病やハンセン病問題について知識を得る 事後学習(60分):問題の整理とこれからの課題について考える	門林 道子

評価	定期試験70%、課題レポート・授業時の小レポート・リアクションペーパー・小テスト30%で総合評価
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時には、毎回のよう、授業時に指定した課題についての小レポートやリアクションペーパーの提出を求め、次回の授業の冒頭でそれらの内容について紹介、コメントする。
教科書	特になし。(毎回使用するレジュメや資料を配布)
参考図書など	門林道子『生きる力の源に:がん闘病記の社会学』(2011)、石田光規『孤立の社会学』(2011)、蘭由岐子『「病いの経験」を聞き取る』ほか、適宜授業で紹介する
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜少人数で話し合うグループワークやディスカッションを実施予定
実務経験のある教員による授業	該当なし
留意事項	現代社会がどのような状況にあるのか、つねにマスコミの報道などに関心をもってほしい。授業中には意見を聞いたり、リアクションペーパーなどの提出を求め、学習意欲を重視する。欠席が続くと授業についていけなくなるため、毎回必ず主体的積極的に出席することを期待している。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ジェンダー学 Gender Studies	選択	講義	1単位 (15時間)	1年後期	浅野 幸子	○
ナンバリングコード	HC001	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力					
人間の本質と尊厳						

**授業概要**  
「ジェンダー」は、生物学的な性差に付加された社会的・文化的性差のことであり、個人の生きづらさや多様な社会課題と深く関係しており、医療従事者として不可欠の視点である。授業では、ジェンダー概念の基礎と国内外の動向について学ぶとともに、家族・教育・労働・災害・暴力・メディアなどの具体的なテーマを通して、実践的な理解を深める。

**到達目標**  
1) ジェンダーに関連する基本的な概念と用語について理解し、説明することができる。  
2) 社会の中に存在するジェンダー課題に関心を持ち、批判的に考えることができる。  
3) 国内のジェンダー課題の動向ならびに国の男女共同参画政策の取り組みについて、国際動向も踏まえて理解し、実践に結び付けて考えることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)	担当教員
1	ジェンダーとは何か？ ～社会によって作られる「らしさ」と格差	ジェンダー概念の基礎について学ぶ。男らしさ、女らしさといった性別によって固定的に語られる「らしさ」は、社会的に作られたものであり、それらが格差問題等にもつながることを理解する。 事前学習(30分) 世間一般に、男らしさ/女らしさと言われる事柄を複数書き出す。 事後学習(30分) 配布資料など、授業全体について復習する。	浅野 幸子
2	家族/ケアとジェンダー	家族の形は近代化とともに変化してきたことを前提に、激しい社会変動下に置かれた現代日本の家族状況と、家族のあり様と深く関係するケア領域のジェンダー課題について理解する。 事前学習(30分) 家族・親族内で、誰がどのぐらい家事・育児・介護を担っているか考える。 事後学習(30分) 授業中に提示する参考文献を読む。	浅野 幸子
3	教育/労働とジェンダー	男女別の進学状況、教員の男女比、男女の賃金格差、管理職における男女比など、教育/労働の場におけるジェンダー格差が、個人・組織・社会にどのような影響を及ぼし得るのかについて考える。 事前学習(30分) 学校生活、学習経験でジェンダーに関係したものがないか思い出す。 事後学習(30分) 配布資料など、授業全体について復習する。	浅野 幸子
4	メディアとジェンダー	メディア情報には、性差別や固定的な男女像に関するメッセージが含まれることが少なくない。テレビCM等の広告を読み解きながら、その影響や、多様性を尊重した表現のあり方について考える。 事前学習(30分) 普段触れるメディアの中に、固定的性別役割が反映されたものを探す。 事後学習(60分) メディアがジェンダーに関する価値観や関係性に与える影響を改めて考える。	浅野 幸子
5	男女平等をめぐる歴史と政策	男女平等をめぐる国内外の女性たちの運動や国連・国の政策等に関する歴史的経緯について理解をする。 事前学習(30分) 事前配布資料を読んで予習をする。 事後学習(60分) 国のジェンダー平等政策が、自分の暮らしや将来にどう関係しそうか考える。	浅野 幸子
6	暴力とジェンダー	性暴力、DV、虐待などのジェンダーに基づく暴力 (Gender Based Violence: GBV)について、特に日本の動向に焦点を当てながら、被害の実態と背景、関連の政策等について理解する。 事前学習(30分) 新聞やWEBサイトのニュース記事から、GBVに関する最近の事件に目を通す。 事後学習(60分) 配布資料など、授業全体について復習する。	浅野 幸子
7	災害とジェンダー	災害は平常時の社会課題を顕在化させる側面を持つが、ジェンダー関連の課題(男女双方の困難特性、ケア負担の増加、暴力被害等)について、背後の社会構造上の問題とともに理解する。 事前学習(30分) 避難生活で高齢者、障害者、子ども、女性、男性が困りそうなることを考える。 事後学習(60分) 配布資料など、授業全体について復習する。	浅野 幸子
8	まとめ～誰もが生きやすい社会の構築のために	授業の内容を全体を振り返った上で、一人ひとりの個性を認め合える、誰もが生きやすい社会の構築のために、ジェンダーの視点から求められる取り組みについてディスカッションを行う。 事前学習(60分) 医療現場におけるジェンダーの視点の重要性について考える。 事後学習(60分) 配布資料を見直すなどして授業全体を振り返る。	浅野 幸子

評価	授業内のミニレポート30%、期末レポート70%
課題に対するフィードバックの方法	レポートの提出後に、コメントを返します。
教科書	適宜プリント・資料を配布する。
参考図書など	女性学・男性学 ― ジェンダー論入門/伊藤公雄・樹村みのり・國信潤子/2019/第3版/有斐閣アルマ 内閣府男女共同参画局ホームページ <a href="http://www.gender.go.jp/">http://www.gender.go.jp/</a>
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	市民団体がジェンダー問題に幅広く携わったほか、災害とジェンダー領域の取り組みが長い。被災者の直接支援、市民・行政職員・専門職等への研修、政策形成にかかわってきた経験を活かした講義を行う。
留意事項	授業テーマに関する情報をウェブサイトで検索する、授業中に提示する参考文献を読む。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
人間の行動と心理 Human behavior and psychology	必修	講義	2単位 (30時間)	1年前期	長澤 里絵	—
ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力					
人間の本質と尊厳						
授業概要	心理学は、人間の行動の法則性に関する科学である。本教科では、知覚、欲求、思考、学習、人格、記憶などの心理学の基礎から、発達の心理について学修する。また、性格検査、知能検査、カウンセリングなどの医療と心理学について学修する。さらに、人間の一生の行程を発達のプロセスとしてとらえ、心身の発達および人格の成熟、発達課題と諸問題について学修する。					
到達目標	1)心理学の知見が医療場面にどのように関わり、役立っているかを理解できる 2)人間の発達過程を理解し、医療現場にどのように応用できるかをイメージできる 3)学んだ心理学的基礎知識をどのようにすれば応用できるかをイメージできる					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	心理学とは	心理学とはどのような学問か・心理学の歴史・心理学の研究法 事前学習(10分):シラバスを読み、不明な点を質問できるようにしておくこと 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
2	知覚と認知の心理 ①	感覚器官・知覚特性①(図と地対比的知覚ゲシュタルト的知覚知覚の恒常性) 事前学習(30分):教科書第1章1節から3節を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
3	知覚と認知の心理 ②	知覚特性②(運動知覚空間知覚)・錯視・認知プロセス 事前学習(30分):教科書第1章3節から5節を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
4	感情と情緒の心理	情緒形成の3要素・情緒生起のメカニズム 事前学習(30分):教科書第2章を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
5	欲求と動機の心理	生理的欲求と心理(社会)的欲求・外発的動機づけと内発的動機づけ 事前学習(30分):教科書第3章を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
6	適応心理	心の適応と不適応・葛藤とストレス・適応機制 事前学習(30分):教科書第3章を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
7	臨床心理	こころの病・主な心理療法の種類・カウンセリングと危機介入 事前学習(30分):教科書第6章を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
8	性格の心理 ①	性格とは・類型論と特性論 事前学習(30分):教科書第5章を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
9	性格の心理 ②	性格検査 事前学習(30分):教科書第5章を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
10	学習と記憶の心理	学習のメカニズム・古典的学習とオペラント学習・効果的学習法・記憶のプロセス 事前学習(30分):教科書第4章を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
11	発達と成長の心理 ①	発達とは・乳幼児期① 事前学習(30分):教科書第7章1節を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵
12	発達と成長の心理 ②	乳幼児期②・児童期・思考の発達 事前学習(30分):教科書第7章1節と2節を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する				長澤 里絵

13	発達と成長の心理 ③	青年期・高齢期 事前学習(30分):教科書第7章3節を読んでおく 事後学習(30分):授業全体について復習する	長澤 里絵
14	発達と成長の心理 ④	愛着理論・内的作業モデル 事前学習(30分):教科書第7章を読んでおく。全体の復習をし、不明な点は質問できるようにしておく 事後学習(30分):授業全体について復習する	長澤 里絵
15	自己と対人の心理 医療と心理 まとめ	自己について・患者の心理と心理的反応・末期患者の心理 事前学習(30分):全体の復習をし、不明な点は質問できるようにしておく 事後学習(30分):授業全体について復習する	長澤 里絵

評価	定期試験100%
課題に対する フィードバックの方法	課題については、授業内で全体の講評をする。
教科書	こころの行動と発達・臨床心理. 軽部幸浩(編). 福村出版, 東京. 2023. ISBN:978-4571230677
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	授業で扱った性格検査を実習として体験する。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	授業時の私語は授業妨害となるので厳禁とする。 ※必ず事後学習を行うこと

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ボランティア学 Studies of Voluntary Activities	必修	講義	1単位 (30時間)	1年後期	原田 勝広	○
ナンバリングコード	HC001	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP4) チームで連携し協働する力					
人間の本質と尊厳						
授業概要	少子高齢化や地方自治の深化に伴い、市民の自発的な活動(ボランティア活動)に対する期待や関心が高まっている。その領域は、従来の福祉や国際協力だけでなく環境や災害救援、まちづくりなど多岐に渡っており、非営利ではあっても無償ではない事業型NPOやコミュニティ・ビジネスも増えている。本講義では、そのようなボランティアの変化や意義を、時代背景から読みと、受講者自らも行動できるような素養・知識の修得を狙いとする。					
到達目標	ボランティアの歴史と意味、社会における役割を理解し自らの人生に反映させることができるようにする。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)				担当教員
1	ボランティア体験を考える	講義全体の概略を説明する。授業中に書かせ、プレゼンしてもらい、自らのボランティア体験、ボランティア観と結びつけながら授業の意味を探らせる。 事前学習(30分): 事前にシラバスをチェックして授業の全体の流れを予習しておく。 事後学習(30分): 書いたリアクションペーパーを重なおこしながら、ボランティアの意味を思考。				原田 勝広
2	ボランティアと社会的課題	社会が抱える課題(地球規模の課題含む)をリアクションペーパーとしてまとめ、発表する。 事前学習(30分): 社会にはどんな課題があるのかを予習しておく。 事後学習(30分): 授業中に書いた課題について、その解決策を考える。				原田 勝広
3	ボランティアとは何か	ボランティアは社会を変革する力があることを理解する。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習をする。				原田 勝広
4	ボランティア精神の系譜—民間公益活動の歴史	ボランティアに代表される民間公益活動の歴史と影響を理解する。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
5	ボランティアを組織する—NPOの理論と現状	ボランティアを組織化したNPOという存在について理論と現状を学ぶ。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
6	国際NGOの誕生	貧困削減や難民支援、自然災害支援で活躍する世界のNGOを学ぶ。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
7	日本のNGO	近年、活発な日本のNGOとそれを支える仕組みを理解する。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
8	社会起業家が社会を変える	注目を浴びている、ビジネスで社会課題を解決する社会起業家について知る。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
9	NPOと企業、非営利と営利の壁を越えて	対立概念である「営利」と「非営利」の壁が低くなりつつある現在を探る。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
10	国連SDGsという潮流	話題の持続可能な開発目標(SDGs)の発足の背景と現状を解説する。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
11	現代の課題—気候変動とエネルギー	SDGsの中でも最も注目される気候変動について問題のありかを探る。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広
12	現代の課題—海洋プラスチック	もうひとつの緊急課題である海洋プラスチックの深刻さと解決策を学ぶ。 事前学習(30分): 事前に配布する資料で準備する。 事後学習(30分): 授業中に配布する資料で復習する。				原田 勝広

13	NPOを作ってみる①—ミッション、中期計画、3年後ビジョン	実際に自分でNPOを設立することに挑戦、内容を発表してもらう。 事前学習(30分):自分が挑戦したい社会課題について考えてくる。 事後学習(30分):授業で学んだミッション、計画、ビジョンを復習する。	原田 勝広
14	NPOを作ってみる②—収益事業の開発、組織作り	NPOに必要な収益、組織作りをグループワークで議論し、プレゼンテーションを求める 事前学習(30分):収益をあげる事業を考える。 事後学習(30分):授業中に考えた収益事業について再考する。	原田 勝広
15	NPOを作ってみる③—行政、企業との連携	NPO設立のまとめをグループでディスカッションし共同作業でまとめあげる。 事前学習(30分):設立を完成するための準備をする。 事後学習(60分):授業中に挑戦したNPO設立を精査する。	原田 勝広

評価	授業中に実施するリアクションペーパーまたはレポート(40%)、試験(60%)
課題に対するフィードバックの方法	授業の前後、メールを通して個別指導を実施する。
教科書	なし
参考図書など	贈与論(ちくま学芸文庫)、NPO実践マネジメント入門(東信堂)、SDGsが問いかける経営の未来(日本経済新聞社)
アクティブ・ラーニング	最後の3回の授業で、NPO設立で社会課題の解決策を考える際、学生を6人ずつに分けてのグループワークとプレゼンテーションを行い、授業に主体的に参加してもらう。
実務経験のある教員による授業	NGOの支援組織「ジャパン・プラットフォーム」の共同創設者、副代表理事の経験を生かし、NPO、NGOの考え方、政府、企業との連携、その際の問題点について実践的な事業を行う。
留意事項	単にボランティアについて学ぶだけでなく、NPO、NGO、さらには企業CSR、国連のSDGsまでを視野に入れた授業である。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
人体の構造・機能 I Human body structure and function I	必修	講義	2単位 (60時間)	1年前期	柴田 昌和	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目 I	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP2) エビデンスに基づく実践力 DP3) 援助的コミュニケーション力 DP5) 安全を保障する力 DP6) 看護の発展に対応する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	看護学を学ぶ基礎知識として、「人体の構造・機能 I」では、はじめに人体を構成する細胞・組織、器官、器官系を学ぶ。続いて動物性機能を有する器官として骨格系、筋系、神経系と感覚器系を、植物性機能を有する器官として循環器系の構造と機能について学ぶ。					
到達目標	1)解剖生理を学ぶための基礎知識では細胞、組織、器官、器官系を理解し、人体の基本的な構造と機能の説明ができる。 2)身体的支持と運動では骨の基本的な構造と働きを理解し、全身の骨格にはどのようなものがあるかを説明できる。 3)情報の受容と処理では中枢神経と末梢神経および自律神経の支配器官とはたらきを説明できる。感覚器では障害との関連を理解する。 4)循環器系とその調節では心臓の構造と機能、全身をめぐる脈管の構造と機能が説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	解剖生理を学ぶための基礎知識1(人体の構造)	形からみた人体、人体に関する用語について解説。 事前学習(45分):教科書p8~17まで読んでくる 事後学習(45分):本日の講義内容を復習ノートにまとめる				柴田 昌和
2	解剖生理を学ぶための基礎知識2(細胞)	人体の素材としての細胞の構造とはたらきについて解説。 事前学習(45分):教科書p46~55まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
3	解剖生理を学ぶための基礎知識3(組織)	人体を構成する4つの組織(上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織)を解説。 事前学習(45分):教科書p46~55まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
4	解剖生理を学ぶための基礎知識4(人体の区分)	構造や機能からみた人体の区分、腔所、ホメオスタシスについて解説。 事前学習(30分):教科書p55~62まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
5	身体的支持と運動1(骨の形態)	人体の骨格、骨の形態と構造、発生と成長および機能について解説。 事前学習(45分):教科書p308~315まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
6	身体的支持と運動2(関節)	骨の連結(関節)について解説。 事前学習(30分):教科書p316~318まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
7	身体的支持と運動3(頭蓋骨)	頭蓋骨(15種23個より構成)を構成する骨の特徴を解説。 事前学習(30分):教科書p361~368まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
8	身体的支持と運動4(脊柱)	脊柱および胸腔を構成する骨についての構造と機能を解説。 事前学習(30分):教科書p324~334まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
9	身体的支持と運動5(上肢骨)	上肢を構成する骨格の構造と機能を解説。 事前学習(30分):教科書p334~338まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
10	身体的支持と運動6(下肢骨)	下肢を構成する骨格の構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p349~354まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
11	身体的支持と運動7(筋収縮のメカニズム)	骨格筋の構造と作用および支配神経の解説。筋収縮のメカニズムについて解説。 事前学習(45分):教科書p319~323、p369~381まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
12	身体的支持と運動8(頭頸部の筋)	頭頸部(咀嚼筋・表情筋)、体幹(胸部・背部)の筋についての構造と機能について解説。 事前学習(45分):教科書p328~333、p367~368まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
13	身体的支持と運動9(上肢の筋)	上肢の骨格筋の構成と機能について解説。 事前学習(45分):教科書p338~348まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和
14	身体的支持と運動10(下肢の筋)	上肢の骨格筋の構成と機能について解説。 事前学習(45分):教科書p354~361まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成				柴田 昌和



15	情報の受容と処理1(神経の構造)	神経の構造と機能の解説。 事前学習(45分):教科書p384~394まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
16	情報の受容と処理2(脊髄)	中枢神経系:脊髄の構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p395~400まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
17	情報の受容と処理3(脳幹)	中枢神経系:脳(延髄・中脳・小脳)の構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p400~408まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
18	情報の受容と処理4(大脳)	中枢神経系:脳(間脳・大脳)の構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p~まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
19	情報の受容と処理5(脳神経)	末梢神経系:脳神経12対の走行と機能について解説。 事前学習(45分):教科書p414~418まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
20	情報の受容と処理6(脊髄神経)	末梢神経系:脊髄神経の構造と機能の解説。特に、腕神経叢、腰仙骨神経叢の解説。 事前学習(45分):教科書p409~414まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
21	情報の受容と処理7(自律神経系)	自律神経系:交感神経と副交感神経について解説。 事前学習(45分):教科書p263~272まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
22	情報の受容と処理8(高次脳)	脳の高次機能(脳波と睡眠など)の解説。 事前学習(45分):教科書p418~433まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
23	情報の受容と処理9(感覚器・眼)	眼の構造と機能および眼球付属器を解説。視覚障害についての解説。 事前学習(45分):教科書p435~446まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
24	情報の受容と処理10(平衡感覚器)	感覚器:耳の構造と聴覚・平衡覚についての構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p447~452まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
25	情報の受容と処理11(味覚)	感覚器:味覚、嗅覚、痛覚についての構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p453~459まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
26	循環系とその調節1(心臓の構造)	循環器系の構成(体循環・肺循環)と心臓の構造を解説。 事前学習(45分):教科書p165~175まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
27	循環系とその調節2(刺激伝導系)	心臓の拍出機能、興奮の伝播(刺激伝導系)、心電図の意味を解説。 事前学習(45分):教科書p175~193まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
28	循環系とその調節3(動静脈)	末梢循環器である血管の構造を理解し、全身の動脈の名称と走行を解説。 事前学習(45分):教科書p193~175まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
29	循環系とその調節4(血圧)	血液循環の調節(血圧、等)の解説。 事前学習(45分):教科書p206~226まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
30	循環系とその調節5(リンパ系)	リンパ管の構造と機能およびリンパ節の構造・機能を解説。 事前学習(30分):教科書p226~228まで読んでまとめる 事後学習(45分):小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和

評価	小試験10%、課題(各章のゼミナール)提出10%、定期試験80%として評価する。
課題に対するフィードバックの方法	小試験は『manaba』で行い、その場で解答と解説を行い復習を促す。課題に関しては学生個々に講評し返却(manabaも含む)する。
教科書	系統看護学講座 専門基礎① 解剖生理学[第11版] 人体の構造と機能[1] 医学書院 2022年 ISBN:978-4-260-04687-9
参考図書など	・ナースが視る人体 薄井坦子著 講談社 1987年 ISBN:978-4062012799 ・イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 田中越郎著 第3版 医学書院 2019年 ISBN: 978-4260038874 等
アクティブ・ラーニング	該当なし
実務経験のある教員による授業	死体解剖資格を有し、肉眼解剖の経験を通して、人体の構造と機能について分かりやすい講義を行う。
留意事項	該当なし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
人体の構造・機能Ⅱ Human body structure and function Ⅱ	必修	講義	2単位 (60時間)	1年後期	柴田 昌和	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP5)安全を保障する力 DP6)看護の発展に対応する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	解剖生理を学ぶ基礎知識として「人体の構造・機能Ⅱ」では、血液と植物機能の消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の生命維持システムと発生および身体機能の防御について学習する。また、解剖実習見学を行う事で各臓器の位置を学修する。					
到達目標	1)栄養の消化と吸収では、口腔から肛門までの消化吸収の流れを説明できる。 2)体液の調節と尿の生成ではそれぞれのホルモンの働きを理解し、どのように体の調節をしているかを説明できる。 3)下垂体、副腎から放出されるホルモンについて理解し、説明できる。 4)生殖・発生と老化のしくみでは、男性と女性の生殖器の構造を理解し、卵巣周期と月経周期について説明できる。発生においては胎児の血液循環を説明できる。 5)解剖実習見学では各臓器の位置関係が説明でき図に描ける。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	呼吸系のはたらき1(上気道)	呼吸器系の構成として気道、鼻腔、咽頭および喉頭の構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p107~114を読み内容をまとめる。 事後学習(45分):当日実施の講義内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
2	呼吸系のはたらき2(下気道)	呼吸器系の構成として気管、気管支、肺、および縦隔の構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p114~120を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
3	呼吸系のはたらき3(呼吸運動のメカニズム)	呼吸の生理で内呼吸と外呼吸、呼吸器の運動とメカニズムおよび呼吸筋の解説。 事前学習(45分):教科書p120~126を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
4	呼吸系のはたらき4(呼吸気量)	呼吸器の生理で呼吸気量、ガス交換および病態生理の解説。 事前学習(45分):教科書p126~141を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
5	血液1(赤血球)	血液の組成と機能の概略と赤血球の機能・病態について解説。 事前学習(45分):教科書p141~152を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
6	血液(白血球・凝固・線溶現象)	白血球、血小板、血液凝固と線維素溶解および血型の解説。 事前学習(45分):教科書p152~165を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とp165のゼミナールのレポート作成			柴田 昌和	
7	栄養の消化と吸収1(食道)	口腔・咽頭・食道の構造と機能について解説。 事前学習(45分):教科書p64~76を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の講義内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
8	栄養の消化と吸収2(胃)	胃、小腸の構造と機能を説明し、消化と吸収について解説。 事前学習(45分):教科書p76~90を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
9	栄養の消化と吸収3(小腸・大腸)	大腸の構造と機能について解説。 事前学習(45分):教科書p90~95を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
10	栄養の消化と吸収4(肝臓・膵臓)	肝臓・胆嚢の構造と機能を解説。 事前学習(45分):教科書p96~102を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
11	栄養の消化と吸収5(腸管循環)	膵臓と腹膜の構造と機能の解説および腸管循環の解説。 事前学習(45分):教科書p233~244を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
12	体液の調節と尿の生成1(腎臓の構造)	腎臓の構造と機能の解説。 事前学習(45分):教科書p244を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の講義内容の復習とノート作成			柴田 昌和	
13	体液の調節と尿の生成2(アルドステロン系)	レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系の解説。 事前学習(45分):教科書p244~248を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の講義内容の復習とノート作成			柴田 昌和	

14	体液の調節と尿の生成3(排尿路)	排尿路(尿管・膀胱・尿道)の構造と機能の解説。 事前学習(45分):教科書p284～285を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
15	体液の調節と尿の生成4(体液)	体液の調節と酸塩基平衡の解説。 事前学習(45分):教科書p253～260を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容とp260のゼミナールのまとめ	柴田 昌和
16	内臓機能の調節1(内分泌)	内分泌の概要と自律神経の機能の解説。 事前学習(45分):教科書p262～270を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の講義内容の復習とノート作成	柴田 昌和
17	内臓機能の調節2(受容体とホルモン)	自律神経の神経伝達物質と受容体とホルモン機序の解説。 事前学習(45分):教科書p270～277を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
18	内臓機能の調節3(下垂体)	視床下部-下垂体系と甲状腺と副甲状腺の構造と機能の解説。 事前学習(45分):教科書p277～288を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
19	内臓機能の調節4(膵臓・副腎など)	膵臓、副腎、性腺、その他の内分泌腺の構造と機能の解説。 事前学習(45分):教科書p288～299を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
20	内臓機能の調節5(ホルモン分泌の調節)	ホルモン分泌の調節の解説。 事前学習(45分):教科書p299～306を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容とp306のゼミナールのまとめ	柴田 昌和
21	生殖・発生と老化のしくみ1(男性生殖器)	男性生殖の構造と機能(精巣、生殖路、付属生殖腺)の解説。 事前学習(45分):教科書p494～500を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
22	生殖・発生と老化のしくみ2(女性生殖器)	女性生殖の構造と機能(卵巣、卵管・支給・膈・乳腺)の解説。 事前学習(45分):教科書p500～508を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
23	生殖・発生と老化のしくみ3(性周期)	卵巣周期と月経周期、受精と胎児の発生の解説。 事前学習(45分):教科書p500～508を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
24	生殖・発生と老化のしくみ4(胎児循環)	生殖器の分化と発達、胎児循環および老化の解説。 事前学習(45分):教科書p508～536を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
25	生殖・発生と老化のしくみ5(胚葉)	胚葉(外胚葉・中胚葉・内胚葉)の解説。 事前学習(45分):教科書p516の図を理解し、それぞれの臓器をまとめて表を作成 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
26	身体機能の防御と適応1(皮膚免疫)	皮膚の構造と機能の解説。 事前学習(45分):教科書p462～468を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
27	身体機能の防御と適応2(免疫の機序)	生体の防御機構の解説(リンパ含む)。 事前学習(45分):教科書p468～480を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
28	身体機能の防御と適応3(代謝)	代謝と運動の解説。 事前学習(45分):教科書p480～488を読み内容をまとめる 事後学習(45分):当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田 昌和
29	解剖実習見学1(人体構造の見学)	神奈川歯科大学において解剖実習見学を行い人体構造を肉眼的に理解をする。【実習】 事前学習(45分):これまでに学んだ内容を再度確認する 事後学習(45分):見学実習を行った内容について200字程度にまとめレポートを作成する	柴田 昌和
30	解剖実習見学2(病理的臓器見学)	神奈川歯科大学において解剖実習見学を行い人体構造を肉眼的に理解をする。【実習】 事前学習(45分):これまでに学んだ内容を再度確認する 事後学習(45分):見学実習を行った内容について200字程度にまとめレポートを作成する	柴田 昌和

評価	小試験10%、課題(各章のゼミナール)提出10%、定期試験80%として評価する。
課題に対するフィードバックの方法	小試験は『manaba』で行い、その場で解答と解説を行い復習を促す。課題に関しては学生個々に講評し返却(manabaも含む)する。
教科書	系統看護学講座 専門基礎① 解剖生理学[第11版] 人体の構造と機能[1] 医学書院 2022年 ISBN:978-4-260-04687-9
参考図書など	・ナースが視る人体 薄井坦子著 講談社 1987年 ISBN:978-4062012799 ・イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 田中越郎著 第3版 医学書院 2019年 ISBN: 978-4260038874 等
アクティブ・ラーニング	解剖実習見学では、ヒトの標本を観察し、臓器の名称・位置・機能などの質問に答える能動的な実習を行う。
実務経験のある教員による授業	死体解剖資格を有し、肉眼解剖の経験を通して、人体の構造と機能について分かりやすい講義を行う。
留意事項	該当なし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
病態学Ⅰ Clinical Medicine Ⅰ	必修	講義	2単位 (60時間)	2年前期	東館雅文、荒井勝彦、鈴木麻美、辻正富、 岡本宗雄、坂本芳雄、廣瀬好文	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	主に、呼吸器系、循環器系、消化器系、血液・造血器系、内分泌・代謝系の主な疾患の病態、原因、症状、診断、検査、治療について学修する。					
到達目標	1)おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 2)おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 3)おもな血液・造血器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 4)おもな消化器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 5)おもな内分泌・代謝疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	総合内科(1)	診断を進めるための基本(1) 事前学習(20分):事前の配布資料で予習 事後学習(40分):配布資料で復習			廣瀬好文	
2	総合内科(2)	診断を進めるための基本(2) 事前学習(20分):事前の配布資料で予習 事後学習(40分):配布資料で復習			廣瀬好文	
3	総合内科(3)	換気・ガス交換・血液ガス分析・低酸素血症・酸素療法(1) 事前学習(20分):事前の配布資料で予習 事後学習(40分):配布資料で復習			廣瀬好文	
4	総合内科(4)	換気・ガス交換・血液ガス分析・低酸素血症・酸素療法(2) 事前学習(20分):事前の配布資料で予習 事後学習(40分):配布資料で復習			廣瀬好文	
5	総合内科(5)	換気能力・拘束性肺疾患・閉塞性肺疾患・酸塩基平衡・呼吸中枢 事前学習(20分):事前の配布資料で予習 事後学習(40分):配布資料で復習			廣瀬好文	
6	総合内科(6)	心機能評価・心不全・ショック 事前学習(20分):事前の配布資料で予習 事後学習(40分):配布資料で復習			廣瀬好文	
7	おもな呼吸器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(1)	呼吸器感染症(かぜ症候群、急性気管支炎、肺炎、抗酸菌症など) 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			坂本芳雄	
8	おもな呼吸器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(2)	びまん性肺疾患(間質性肺炎と肉芽腫、肺胞蛋白症、肺胞出血) 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			坂本芳雄	
9	おもな呼吸器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(3)	気道疾患(気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支拡張症、閉塞性細気管支炎) 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			坂本芳雄	
10	おもな呼吸器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(4)	肺循環疾患(肺血栓塞栓症、肺高血圧症、肺水腫) 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			坂本芳雄	
11	おもな呼吸器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(5)	胸膜・縦隔疾患(腫瘍、炎症、気胸・気腫)と肺がん 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			坂本芳雄	
12	おもな呼吸器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(6)	呼吸不全と呼吸調節障害(換気とガス交換の復習、Ⅰ型とⅡ型呼吸不全、過換気、睡眠時無呼吸) 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			坂本芳雄	
13	おもな循環器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(1)	循環器の構造と機能 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			東館雅文	
14	おもな循環器系疾患の原因、 症状、診断、検査、治療(2)	症状とその病態生理 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			東館雅文	

15	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(3)	検査と治療 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	東館雅文
16	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(4)	虚血性心疾患、心不全、不整脈の治療 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	東館雅文
17	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(5)	弁膜症、先天性心疾患の外科治療 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	東館雅文
18	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(6)	大血管と抹消血管の外科治療 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	東館雅文
19	消化器の構造と機能	上部・下部消化管・肝胆膵の構造と機能 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
20	病状とその病態	腹痛、吐血、下血、便秘、下痢、黄疸などの諸症状の病態生理 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
21	消化器検査	内視鏡検査、放射線検査(CT、MRI、PETなど)、超音波検査など 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
22	疾患の理解(1) 上部消化管	胃食道逆流症、胃炎、胃・十二指腸潰瘍など 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
23	疾患の理解(2) 腸・腹膜疾患	腸炎、腹膜炎、虫垂炎、腸閉塞、ヘルニア、肛門疾患など 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
24	疾患の理解(3) 肝・胆・膵	肝炎、肝硬変症、門脈圧亢進症、胆石症、膵炎など 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
25	おもな内分泌代謝系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(1)	下垂体腫瘍、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎皮質・髄質疾患 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	辻正富
26	おもな内分泌代謝系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(2)	肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質以上症、高尿酸血症、ビタミン欠乏症 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	辻正富
27	おもな歯科・口腔系疾患の原因、症状、診断、検査、治療	齲蝕、歯周病、歯性炎症、口腔がん、顎顔面外傷、口腔ケア 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	鈴木麻美
28	おもな血液・造血管系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(1)	貧血、白血球減少症 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	岡本宗雄
29	おもな血液・造血管系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(2)	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	岡本宗雄
30	おもな血液・造血管系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(3)	出血性疾患、その他 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく	岡本宗雄

評価	定期試験:100%
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし
教科書	1.【東館雅文担当講義】系統看護学講座成人看護学③循環器 第16版/吉田俊子他/2024/医学書院/ISBN:978-4-260-05311-2 2.【東館雅文担当講義】病気がみえる Vol.2 循環器 第5版/鶴田ひかる他/2021/メディックメディア/ISBN:978-4-89632-830-1 3.【辻正富担当講義】系統看護学講座成人看護学⑥内分泌・代謝 第16版/伊波早苗他/2024/医学書院/ISBN:978-4-260-05310-5 4.【荒井勝彦担当講義】系統看護学講座成人看護学⑤消化器 第16版/南川雅子他/2024/医学書院/ISBN:978-4-260-05300-6 5.【坂本芳雄担当講義】系統看護学講座成人看護学②呼吸器 第16版/朝倉啓介他/2024/医学書院/ISBN:978-4-260-05309-9 6.【岡本宗雄担当講義】系統看護学講座成人看護学④血液・造血管 第16版/飯野京子他/2024/医学書院/ISBN:978-4-260-05306-8 7.【鈴木麻美担当講義】系統看護学講座成人看護学⑮歯・口腔 第14版/渋谷絹子他/2020/医学書院/ISBN:978-4-260-03871-3
参考図書など	随時紹介する
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	多様な医師の臨床経験を活かして、病態学の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
病態学Ⅱ Clinical Medicine II	必修	講義	2単位 (60時間)	2年前期	山勢善江・定本清美・展広智・遠藤太刀男・藤本和久 石田克紀・喜多村健・吉野秋男・金田英蘭・坂口達哉	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2) エビデンスに基づく実践力 DP5) 安全を保障する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	「人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ」や病理学の学習内容と関連させながら、救急・救命について、救急処置の範囲と対象、救急処置法の原則と実際について学ぶ。また、外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療について学修する。さらに、麻酔法について、その概念、種類、麻酔における管理および、全身麻酔と局所麻酔法について学修する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 外科的治療を必要とする主な疾患をあげることができる。</li> <li>2) 外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療方法について説明できる。</li> <li>3) 救急処置の範囲と対象および救急処置法の原則と実際を説明できる。</li> <li>4) 救急患者のアセスメントとトリアージについて説明できる。</li> <li>5) 災害発生時の医療について説明できる。</li> <li>6) 麻酔における術前、術中、術後管理のポイントを説明できる。</li> <li>7) 全身麻酔の概略とそれによる合併症を説明できる。</li> <li>8) 局所麻酔の種類について説明できる。外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療について学習する。また、救急・救命および麻酔についても学習する。</li> </ol>					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	麻酔法(1)	全身麻酔の目的、方法及び特徴 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。			吉野秋男	
2	麻酔法(2)	全身麻酔で使用される薬剤の種類と特徴 全身麻酔による呼吸循環に対する影響 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。			吉野秋男	
3	麻酔法(3)	局所麻酔の目的、方法及び特徴 局所麻酔の種類と特徴 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。			吉野秋男	
4	麻酔法(4)	小児麻酔の特徴 小児と成人の生理学的特徴の違い 救命救急の実際の方法及び、その意義 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。			吉野秋男	
5	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療(1)	自己免疫疾患(膠原病)の成り立ち、関節リウマチ 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分) 配布資料と教科書で復習する。			定本清美	
6	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療(2)	全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分) 配布資料と教科書で復習する。			定本清美	
7	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療(3)	アレルギー疾患の種類、アナフィラキシーショック 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分) 配布資料と教科書で復習する。			定本清美	
8	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療(4)	花粉症、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、アレルギーの原因物質 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分) 配布資料と教科書で復習する。			定本清美	
9	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(1)	発生と骨化、骨の構造と骨関連細胞、骨粗鬆症と骨軟化症、関節潤滑 事前学習(120分)映画「ノートルダムの鐘」を鑑賞してください 事後学習(40分)軟水と硬水の違いについて調べてください			遠藤太刀男	
10	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(2)	骨折・脱臼の基礎・合併症と観察項目、骨癒合の生理学、免疫システム概論 事前学習(20分)骨折や脱臼の経験がある人の話を聞いてきてください 事後学習(40分)画像検査等の動画をWebにアップするので視聴してください			遠藤太刀男	
11	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(3)	リウマチ、変形性関節症、骨・関節感染症の病態と治療、 事前学習(40分)免疫学の漫画を配布しますので十分読み込んでください 事後学習(40分)免疫の配布資料を読み込んでください			遠藤太刀男	
12	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(4)	脊椎疾患(腰椎)、腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症、ブロック注射の概念と実際 事前学習(30分)事前に配布するスライド資料を読み込んできてください 事後学習(30分)配布資料の再読、授業で解いた試験問題の復習			遠藤太刀男	
13	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(5)	脊椎疾患(頸椎)、頸髄損傷、末梢神経障害、上肢骨折・下肢骨折の実際と観察項目・合併症 事前学習(40分)事前に配布する資料を読み込んで一次ニューロンと二次ニューロンの違いを理解する 事後学習(40分)脊損時の自律神経過反射について十分理解してください			遠藤太刀男	

14	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(6)	人工関節手術、関節鏡視下手術・靭帯再建手術の実際と観察項目、合併症 事前学習(20分)事前に配布する資料を読み込んでください 事後学習(40分)人工股関節置換術後の脱臼肢位について復習してください	遠藤太刀男
15	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(1)	脳神経系の構造機能と障害の病態生理(意識障害、高次脳機能障害、運動感覚機能障害、頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア、髄膜刺激症状) 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	展広智
16	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(2)	脳血管障害(くも膜下出血、脳内出血、もやもや病、一過性脳虚血発作、脳梗塞、脳静脈血栓症) 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	展広智
17	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(3)	脊髄疾患と末梢神経障害(脊髄血管障害、脊髄炎、脊髄腫瘍、糖尿病性末梢神経障害、ギランバレー症候群、顔面神経麻痺と顔面けいれん) 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	展広智
18	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(4)	脳腫瘍、頭部外傷、水頭症、脳神経系感染症(脳炎、髄膜炎、脳膿瘍)、てんかん 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	展広智
19	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療(5)	神経筋接合部疾患(筋ジストロフィー、多発性筋炎、重症筋無力症)、脱髄変性疾患(多発性硬化症、パーキンソン病、ALS)、認知症 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	展広智
20	おもな皮膚障害の原因、症状、診断、検査、治療(1)	湿疹、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	藤本和久
21	おもな皮膚障害の原因、症状、診断、検査、治療(2)	疥癬、蜂窩織炎、腫瘍 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	藤本和久
22	おもな視覚障害の原因、症状、診断、検査、治療(1)	白内障、緑内障 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	金田英蘭
23	おもな視覚障害の原因、症状、診断、検査、治療(2)	網膜剥離、網膜症 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	金田英蘭
24	おもな聴覚障害・咽頭疾患の原因、症状、診断、検査、治療(3)	鼻疾患、副鼻腔、咽頭、咀嚼 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	喜多村健
25	おもな聴覚障害・咽頭疾患の原因、症状、診断、検査、治療(1)	聴覚・平衡覚障害 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	石田克紀
26	おもな聴覚障害・咽頭疾患の原因、症状、診断、検査、治療(2)	嗅覚・味覚障害 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	石田克紀
27	救急・救命法(1)	救急医療の歴史、循環血流量減少性ショックの病態と治療(出血性ショック、熱傷) 事前学習(20分)「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	山勢善江
28	救急・救命法(2)	心原性ショックの病態と治療(心筋梗塞、重症不整脈) 事前学習(20分)「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	坂口達哉
29	救急・救命法(3)	血液分布異常性ショックの病態と治療(敗血症性ショック、アナフィラキシーショック、神経原性ショック) 事前学習(20分)「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	坂口達哉
30	救急・救命法(4)	心外閉塞・拘束性ショックの病態と治療(心タンポナーデ・肺塞栓症、緊張性気胸) 事前学習(20分)「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習する。	坂口達哉

評価	定期試験:100%
課題に対するフィードバックの方法	実施予定なし
教科書	1.【展広智担当講義】系統看護学講座成人看護学⑦脳・神経 第16版/井手隆文他/2024/医学書院/ISBN:978-4-260-05313-6 2.【遠藤太刀男担当講義】系統看護学講座成人看護学⑩運動器 第15版/田中英他/2019/医学書院/ISBN:978-4-260-03565-1 3.【遠藤太刀男担当講義】系統看護学講座別巻臨床外科看護総論 第12版/池上徹他/2023/医学書院/ISBN:978-4-260-04998-6 4.【金田英蘭担当講義】系統看護学講座成人看護学⑬眼 第14版/大鹿哲郎/2020/医学書院/ISBN:978-4-260-03859-1 5.【喜多村健担当講義】系統看護学講座成人看護学⑭耳鼻咽喉 第14版/小松浩子他/2020/医学書院/ISBN:978-4-260-03864-5 6.【藤本和久担当講義】系統看護学講座成人看護学⑫皮膚 第15版/渡辺晋一/2020/医学書院/ISBN:978-4-260-03869-0 7.【山勢、坂口担当講義】系統看護学講座別巻救急看護学 第7版/山勢博彰他/2024/医学書院/ISBN:978-4-260-05307-5
参考図書など	随時紹介する
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある教員による授業	多様な医師の臨床経験を活かして、病態学の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
病態学Ⅲ (Clinical Medicine III)	必修	講義	1単位 (30時間)	2年後期	下平 憲治、小島 淳一、小林 藍子、三上幹男、 竹下直樹、田中 秀子、茂垣 雅俊、学科教員	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	各疾患の原因・症状・診断・検査・治療等、基礎的な知識を学ぶ。病態学Ⅲでは、腎・泌尿器系疾患、男性生殖器、女性生殖器、乳腺疾患に焦点を当てる。					
到達目標	腎・泌尿器系疾患、男性生殖器、女性生殖器、乳腺疾患、排泄機能障害の原因・症状・診断・検査・治療等、基礎的な知識を説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	腎・泌尿器系疾患の原因、症状、 診断、検査、治療(1)	後腹膜臓器・性器の解剖学・生理学。畜尿・排尿障害。急性・慢性腎不全。 事前学習(20分)教科書(2)の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習しておく			下平 憲治	
2	腎・泌尿器系疾患の原因、症状、 診断、検査、治療(2)	尿路感染症、尿路結石、腫瘍(副腎・腎、腎盂・尿管・膀胱・尿道)。 事前学習(20分)教科書(2)の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習しておく			下平 憲治	
3	男性生殖器系疾患の原因、症状、 診断、検査、治療	前立腺肥大症・前立腺癌、男性生殖器系疾患、頻尿・夜間頻尿、過活動膀胱。 事前学習(20分)教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分)配布資料と教科書で復習しておく			下平 憲治	
4	乳腺系疾患の原因、症状、診断、 検査、治療①	乳腺疾患の主な外科的治療 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			小島 淳一	
5	女性生殖器系疾患の原因、症状、 診断、検査、治療	子宮内膜症、子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体がん、卵巣腫瘍 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			小林 藍子	
6	ライフサイクルに関連した女性生 殖器系疾患の原因、症状、診断、 検査、治療	加齢による性機能の低下、更年期障害、尿失禁、子宮脱、萎縮性陰炎 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			三上 幹男	
7	性感染症、母子感染	性器クラミジア感染症、膣トリコモナス症、カンジダ外陰陰炎、淋菌感染症、梅毒、性器ヘルペス、 風疹、サイトメガロウイルス感染症、B型肝炎ウイルス、HTLV-1、HIV 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			三上 幹男	
8	生殖医療	不妊症、不妊治療、不育症 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			竹下 直樹	
9	排泄機能障害①	排泄障害(消化器)に関連する疾患の病態と治療 事前学習(30分):教科書(1)疾患の理解 腸および腹膜疾患を読んでまとめる(p172-209) 事後学習(30分):資料と教科書の復習			田中 秀子	
10	排泄機能障害②	排泄障害(泌尿器一下部尿路障害)に関連する疾患の病態と治療 事前学習(30分):教科書(2)疾患の理解 (p158-184)を読んでまとめる 事後学習(30分):資料と教科書の復習			田中 秀子	
11	乳腺系疾患の原因、症状、診断、 検査、治療	乳腺疾患の主な外科的治療 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			茂垣 雅俊	
12	乳腺系疾患の原因、症状、診断、 検査、治療	乳腺疾患の主な外科的治療 事前学習(20分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(40分):配布資料と教科書で復習しておく			茂垣 雅俊	



13	まとめ①	これまでに学習した内容を復習しまとめを行う 事前学習(60分):これまでの学習内容を再確認する 事後学習(30分):授業で行った内容を復習し、これまでの学習内容を再確認する	看護学科教員
14	まとめ②	これまでに学習した内容を復習しまとめを行う 事前学習(60分):これまでの学習内容を再確認する 事後学習(30分):授業で行った内容を復習し、これまでの学習内容を再確認する	看護学科教員
15	まとめ③	これまでに学習した内容を復習しまとめを行う 事前学習(60分):これまでの学習内容を再確認する 事後学習(30分):授業で行った内容を復習し、これまでの学習内容を再確認する	看護学科教員

評価	定期試験100%
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし
教科書	(1)【田中秀子担当講義で利用】系統看護学講座成人看護学⑤消化器、医学書院2022 ISBN978-4260035620 (2)【下平憲治担当講義で利用】系統看護学講座成人看護学⑧腎・泌尿器、医学書院2022 ISBN:978-4260035583 (3)【小林・三上・竹下担当講義で利用】系統専門分野Ⅱ成人看護学⑨女性生殖器 医学書院 ISBN:978-4260035675
参考図書など	看護のための臨床病態学(改訂5版) 南山堂2023 ISBN978-4525505158 医療系学生のための図解病態治療学 TEXT&NOTE 診断と治療社2015 ISBN:978-4787822291
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	40数年間の臨床泌尿器科医の経験、病理医・泌尿器科担当医学部・看護学部教員としての経験を生かした講義。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
病態学Ⅳ(精神) Clinical Medicine Ⅳ	必修	講義	1単位 (30時間)	2年後期	片山典子 蒲生裕司 陶山克洋 佐々木博之 渡部李菜	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	精神科領域にみられる主要な疾患の基礎的知識と病態、症状、診断に必要な検査、治療について学修する。具体的には、精神機能の診かたや精神科で行う検査、統合失調症、気分障害、器質性精神障害、アルコール・薬物による精神・行動の障害、神経症性障害、ストレス関連障害等について学修する。					
到達目標	1)主な精神疾患・障害の特徴を説明できる。 2)主な精神症状を理解し、説明できる。 3)精神科治療の分類とその内容を理解し説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員
1	医の倫理と精神医学	精神医学とはどういう学問分野であるかを概説する 事前学習(0分):予習は要さない。 事後学習(30分):配付資料など、授業全体について復習する。				蒲生裕司
2	精神機能の診かた	精神疾患の分類と枠組み、精神症状の種類と診かた、さまざまな精神症状、精神科で行う検査 事前学習(30分):ナースの精神医学(p10-13、14-36、37-56)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。				蒲生裕司
3	統合失調症	統合失調症の特徴、統合失調症の症状、診断、治療 事前学習(30分):ナースの精神医学(p80-91)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。				蒲生裕司
4	気分障害	気分障害の種類と特徴、気分障害の症状、診断、治療 事前学習(30分):ナースの精神医学(p92-100)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。				蒲生裕司
5	器質性精神障害	器質性精神障害の種類と特徴、器質性精神障害の症状、診断、治療 事前学習(30分):ナースの精神医学(p120-128、143-150)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。				蒲生裕司
6	治療法	各種精神療法と作業療法、薬物療法、電気痙攣療法、について概説する 事前学習(30分):ナースの精神医学(p190-231、239-241)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。				陶山克洋
7	1-5回分のまとめ	1-5回の講義内容の問題を解き【小テスト】、解説する 事前学習(30分):1-5回目の講義内容を復習する。 事後学習(60分):【小テスト】の範囲をノートにまとめ復習する。				陶山克洋
8	アルコール・薬物による精神・行動の障害	依存、乱用、中毒の違い、依存性薬物の分類、薬物(物質)依存の成因、アルコールによる精神・行動障害、精神作用物質による精神・行動障害の症状、診断、治療 事前学習(30分):ナースの精神医学(p128-136)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。				片山典子
9	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	神経症性障害、重症ストレス反応および適応障害、PTSD、身体表現性障害の症状、診断、治療 事前学習(30分):ナースの精神医学(p101-117)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。				蒲生裕司
10	摂食障害・パーソナリティ障害	摂食障害の特徴、診断、治療、パーソナリティ障害の症状、診断、治療 事前学習(30分):ナースの精神医学(p117-118、167-172)を読み、重要部分にマーカ―する。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。				蒲生裕司

11	児童・青年期の精神障害	児童・青年期の精神障害の特徴(精神発達遅滞、広汎性発達障害、統合失調症・気分障害)の症状、診断、治療 事前学習(30分): ナースの精神医学(p155-166)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分): 配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	蒲生裕司
12	コンサルテーション・リエゾン精神医学	精神科と一般身体科との共助診療について概説する 事前学習(30分): ナースの精神医学(p180-187、312-317)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分): 配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	片山典子 佐々木博之
13	8-12回分のまとめ	8-12回の講義内容の問題を解き【小テスト】、解説する 事前学習(30分): 8-12回目の講義内容を復習する。 事後学習(60分): 【小テスト】の範囲をノートにまとめ復習する。	片山典子 渡部李菜
14	1-12回分の補習講義	【1-12回】の講義内容の補習講義を行う 事前学習(30分): 1-12回目の講義内容を復習する。 事後学習(60分): 補習講義の範囲をノートにまとめ復習する。	片山典子 佐々木博之
15	最終のまとめ	最終テストを行い、テスト後に解説を行う 事前学習(30分): 1-12回目の講義内容を復習する。 事後学習(60分): 配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	陶山克洋

評価	中間テスト50%(2回分)、最終テスト50%で評価します。
課題に対するフィードバックの方法	試験の講評を記載し、在学生HPまたは掲示をして学生に公表する。
教科書	ナースの精神医学改定5版/上島国利、渡辺雅幸、榊恵子/中外医学社/5版/ISBN:978-4-498-17502-0/2019
参考図書など	現代臨床精神医学/大熊輝雄/「現代臨床精神医学」第12版改訂委員会編集/金原出版/第12版/ISBN:978-4-307-15067-5/2013 DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル/American Psychiatric Association/日本精神神経学会監修/医学書院/ISBN:978-4-260-01907-1/2014 精神保健医療福祉白書2018/2019 多様性と包括性の構築/精神保健医療福祉白書編集委員会編集/中央法規/ISBN:978-4-8058-5724-3/2018 その他は適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜、画像や写真を活用し視覚から理解を促し、必要時【クリックカー】等で理解の確認を行う。
実務経験のある教員による授業	精神保健指定医、日本精神神経学会認定精神科専門医・指導医・認知症診療医としての実務経験を踏まえた実践的講義を行う。
留意事項	病態学Ⅳ(精神)で学習する内容は、「精神看護学」「精神看護方法論」等での学習に関連する。必ず事前学習・事後学習を行って積極的に授業に臨んで下さい。また本科目では、教科書を持参して授業に臨んで下さい。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
病態学Ⅴ(母子) Clinical Medicine Ⅴ	必修	講義	1単位 (30時間)	2年通期	石川眞里子、武政洋一、松永雄至、 松島泰恵、生駒直寛、今井敦子、寺島朝子	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期に見られる代表的な疾患の原因・診断・治療について学修する。また、新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態・診断・治療について学修する。小児看護を实践する上で必要となる新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態・診断、治療について学修する。					
到達目標	1)小児に起こりやすい健康障害とそのメカニズムを説明できる。 2)健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響を理解し述べることができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)			担当教員	
1	本講義のガイダンス 健康障害をもつ子どもの疾患の理解①	授業内容の説明 新生児と発達、遺伝、先天性異常のメカニズムと対処 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。			武政洋一	
2	健康障害をもつ子どもの疾患の理解②	小児の感染防御機構の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(90分)学習して内容をノートに整理し看護を考える。			武政洋一	
3	健康障害をもつ子どもの疾患の理解③	小児の神経・筋の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習したことをノートに整理し看護を考える。			武政洋一	
4	健康障害をもつ子どもの疾患の理解④	小児の内分泌・代謝の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。			武政洋一	
5	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑤	小児の循環機能の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(90分)学習した内容をノート整理し看護を考える。			武政洋一	
6	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑥	小児の呼吸機能の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(90分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。			松永雄至	
7	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑦	小児の消化、排泄機能の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(90分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。			石川眞里子	
8	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑧	小児の血液の障害(腫瘍)のメカニズムと治療 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(90分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。			石川眞里子	
9	妊娠の原因、症状、診断、検査、治療	妊娠悪阻、流・早産、異所性妊娠、HDP、GDM、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、多胎妊娠 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			松島泰恵	
10	分娩の原因、症状、診断、検査、治療	微弱陣痛、過強陣痛、児頭骨盤不適合、回旋異常、胎児機能不全、胎位の異常、分娩時大量出血 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			松島泰恵	
11	産褥・新生児期の異常	産褥経過、産褥期の心理・社会的変化、新生児とは、正産産新生児の診察の基本、退院後の保健指導・事故予防 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			松島泰恵	
12	早期新生児の評価	胎外環境適応状態の評価、成長・発達の評価、異常の早期発見 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる			生駒直寛	

13	新生児の疾患	呼吸障害(新生児一過性多呼吸他)、先天性心疾患、血液疾患(病的黄疸)、外表奇形、染色体異常、感染症他 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	生駒直寛
14	妊娠と栄養	母胎の栄養と健康、母体の栄養と胎児の健康 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	今井敦子
15	妊娠・分娩・産褥と薬物	薬物の母子への影響、授乳期の薬物摂取と影響 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(60分)学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	寺島朝子

評価	定期試験100%
課題に対するフィードバックの方法	講義の最後にフィードバックする
教科書	1)小児看護学概論小児臨床看護総論 第14版、奈良間美保他、医学書院、2022年、ISBN:978-260-03860-7 初回講義時のみ利用する。 2)小児臨床看護各論 第14版、奈良間美保他、医学書院、2022年、ISBN:978-260-03866-9 第2回～第8回講義において利用する。 3)看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 第3版 /2022/メヂカルフレンド社/ISBN:978-4839216931 第9回～第11回講義において利用する。 4)新体系 看護学全書 母性看護学① 第7版/2022/メヂカルフレンド社/ISBN:978-4-8392-3403-4 第9回～第11回講義において利用する。 5)新体系 看護学全書 母性看護学② 第7版/2022/メヂカルフレンド社/ISBN:978-4-8392-3404-1 第9回～第11回講義において利用する。
参考図書など	必要に応じて適宜紹介
アクティブ・ラーニング	学習事項について、随時アクティブラーニングを実施する。
実務経験のある教員による授業	多様な医師の臨床経験を活かして、病態学の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
留意事項	事前、事後学習は自主的に行い意見交換できるようにする。講義で配付された資料は毎回持参すること。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
微生物学 Microbiology	必修	講義	1単位 (30時間)	1年前期	市川 智恵	—
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						
授業概要	生活環境において人体に感染症を引き起こす微生物(細菌・真菌・原虫・ウイルス)の特徴、生態を含めた病原微生物学の総論を学ぶ。また、感染防御における宿主の免疫と感染予防、治療、検査方法、及びそれらに関わるチーム医療(infection control team; ICT)等に関する基礎的知識を学ぶ。					
到達目標	1)微生物の構造と性質を説明できる。 2)感染と生体防御(免疫学)について説明できる。 3)おもな細菌の病原性とその感染症について説明できる。 4)おもなウイルスの病原性とその感染症について説明できる。 5)おもな病原真菌、寄生虫の病原性とその感染症について説明できる。 6)感染制御とチーム医療について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)			担当教員	
1	微生物学序論	微生物界を構成するもの—その生物界における位置 病原微生物学—その領域と意義、病原微生物学の発展 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
2	細菌学総論(1)	細菌の分類と命名法、細菌の形態、細菌の構造、細菌の増殖 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
3	細菌学総論(2)	細菌の遺伝子発現、変異と修復、伝達 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
4	細菌学総論(3)	感染と発症、細菌による発癌、細菌感染症の診断 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
5	細菌学総論(4)	化学療法と細菌感染症の治療 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
6	感染防御と免疫	免疫系の概要、自然免疫、獲得免疫 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
7	細菌学各論(1)	グラム陽性通性嫌気性および好気性球菌、グラム陰性通性嫌気性桿菌、らせん菌群、グラム陰性好気性桿菌および球菌 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
8	細菌学各論(2)	グラム陽性好気性および通性嫌気性桿菌、偏性嫌気性菌、マイコバクテリウム属、アクチノマイセスとノカルジア、スピロヘータ 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
9	ウイルス学総論	歴史、ウイルスの一般的性状、ウイルス感染の諸相、ウイルスによる発癌、ウイルスの伝播経路と予防、ウイルス感染症の検査法、ウイルス感染症の治療 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
10	ウイルス学各論(1)	DNAウイルス、RNAウイルス 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
11	ウイルス学各論(2)	肝炎ウイルス、遅発性ウイルス感染症とプリオン病 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	
12	真菌学、原虫学・蠕虫学	真菌疾患と病原因子、真菌感染症の治療と予防、原虫学・蠕虫学概論 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分):教科書など、授業全体について復習する			市川 智恵	

13	感染症の予防と対策(1)	滅菌と消毒、医療関連感染とその対策 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分): 教科書など、授業全体について復習する	市川 智恵
14	感染症の予防と対策(2)	感染症の予防と対策、感染症法、予防接種法、その他の法 事前学習(30分): 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分): 教科書など、授業全体について復習する	市川 智恵
15	まとめ	微生物学の総括、質問とフィードバック 事前学習(30分): 授業内容全体について予習し、質問項目を抽出する 事後学習(60分): 教科書など、授業全体について復習する	市川 智恵

評価	定期試験(100%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、講義の中で適宜フィードバックする。
教科書	シンプル微生物学(第6版) 南江堂 ISBN:978-4-524-25483-5
参考図書など	病気が見える⑥(免疫、膠原病、感染症) メディックメディア
アクティブ・ラーニング	反転授業を数回実施する。課題に対するプレゼンテーション及び提出を求める。
実務経験のある教員による授業	該当なし
留意事項	教科書を読んで予習・復習を行い、医療に関する専門用語を理解して使いこなせるようにする。 私語は厳重に対処する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
病理学 pathology	必修	講義	1単位 (30時間)	1年後期	若山恵、東館雅文	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2) エビデンスに基づく実践力 DP5) 安全を保障する力					
人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復						

授業概要	疾病の基本的な原因と病態の発生過程を病理学的観点より把握するために、奇形・退行性病変、進行性病変、炎症、腫瘍などの知識を学び、それらの病変が組織や臓器に現れた場合の疾患の成り立ちについて学習する。
------	--

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病気の原因、疾病の分類を説明できる。</li> <li>2) おもな先天異常と遺伝子異常の病理を説明することができる。</li> <li>3) おもな代謝疾患の病理を説明することができる。</li> <li>4) 循環障害によるおもな疾患の病理を説明することができる。</li> <li>5) 炎症の定義とおもな免疫、自己免疫疾患の病理を説明することができる。</li> <li>6) おもな感染症の病原体の病理を説明できる。</li> <li>7) 腫瘍の定義と分類を説明できる。</li> <li>8) 老化と死について病理学的見地から説明できる。</li> <li>9) 主な疾患(心不全、白血病、各種の腫瘍、ネフローゼ症候群、褐色細胞腫、脳梗塞、脳内出血、アルツハイマー型認知症)の病理について説明できる。</li> <li>10) 生活関連疾患及び外因による疾病の発生について説明できる。</li> </ol>
------	--

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)	担当教員
1	病理学で学ぶこと	病理学とは、看護と病理学、病気の原因、病気の分類と病理学の学び方 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
2	細胞・組織の損傷と修復、炎症(1)	細胞・組織の損傷と適応 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
3	細胞・組織の損傷と修復、炎症(2)	炎症について 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
4	免疫、移植と再生医療	生理的な免疫機能からアレルギー、自己免疫疾患について 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
5	感染症	感染の成立、発症、主な感染症、感染症の治療、予防 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
6	腫瘍(1)	腫瘍の定義(良性腫瘍と悪性腫瘍、細胞異型と構造異型)及び悪性腫瘍の影響について 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
7	腫瘍(2)	各臓器における代表的な腫瘍について 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
8	腫瘍(3)	腫瘍の発生原因、診断、治療について 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
9	先天異常と遺伝性疾患(1)	遺伝子の生物学、先天異常の原因、疾患、診断、治療など(1/2) 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
10	先天異常と遺伝性疾患(2)	先天異常の原因、疾患、診断、治療など(2/2) 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
11	代謝障害	脂質、タンパク質、糖質、その他の代謝障害 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵



12	生活習慣と環境因子による生体の障害、老化と死	生活習慣病、外因の影響、個体の老化と老年症候群、老化のメカニズム、個体の死、終末期医療 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
13	循環障害	生理的な循環機能、血栓・塞栓症等病的状態、虚血・梗塞、高血圧等病的状態について 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書で復習しておく	東館 雅文
14	循環器系の疾患(1)	血管・心臓の疾患、その他 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書で復習しておく	東館 雅文
15	循環器系の疾患(2)	血管・心臓の疾患、その他 事前学習(10分):教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習(20分):教科書で復習しておく	東館 雅文

評価	筆記試験:100%
課題に対するフィードバックの方法	提出されたレポートに評価とコメントを記入し返却する
教科書	《系統看護学講座 専門基礎分野》疾病のなりたちと回復の促進[1] 第6版 病理学 医学書院 ISBN :978-4260042031
参考図書など	なるほどなっとく! 病理学 病態形成の基本的なしくみ 南山堂 入門 病理学 町並陸生著 丸善出版
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある教員による授業	医師としての臨床経験を活かして、病理学の基本的な知識と手法、考え方について講義する
留意事項	適宜掲示する

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
現代医療論 Topics of Contemporary Medicine	必修	講義	1単位 (30時間)	1年後期	寺本 明 山勢善江、櫻井友子、坂口達哉	○
ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP4)チームで連携し協働する力 DP6)看護の発展に対応する力					
健康支援と社会保障制度						
授業概要	生命とは、健康とは、病気とはなど保健・医療に携わる者に必要な医療の原点について学習する。まず、医療の歴史の変遷を学ぶことから始め、現代医療が抱えている諸問題とその特徴、変化する社会と医療のあるべき姿について展望する。生命、健康、病気の考え方、現代医療における看護の役割、日本と世界の医療体制、超高齢化社会、尊厳死や終末期医療、脳死と臓器移植、医療安全、医療倫理等について学び、現代医療の有する諸問題を俯瞰し、医療人としての基本的立場を熟成させていく。					
到達目標	1) 医学・医療の歴史を知り、現代医療の位置づけと様々な医療従事者とのチーム医療の重要性について述べるができる。 2) 現代医療が抱える重要課題である、保険医療制度、少子高齢化、尊厳死、終末期医療、脳死・臓器移植について述べるができる。 3) 将来の医療人として、医療事故やその対策、医療倫理の意義に関して述べるができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員			
1	医学・医療の歩み。近代医学の誕生	医学・医療の歴史を辿り、近代医学の発祥から現代医学に至る過程の本質を学ぶ。 事前学習(15分)医学・医療の大まかな歴史を調べる。 事後学習(30分)近代医学の誕生の過程と貢献した人の軌跡をまとめる。	寺本 明			
2	医療を支える人々とチーム医療(1)	医療従事者には様々な職種があり、それぞれの役割を学ぶとともに、チーム医療の重要性を理解する。 事前学習(15分)医師・看護師以外にどのような職種があるかを調べる。 事後学習(30分)各職種の役割とチーム医療の形態や意義についてまとめる。	寺本 明			
3	医療を支える人々とチーム医療(2)	事前学習と(1)の講義をもとに、グループディスカッションによってチーム医療における看護の役割を考える。 事前学習(15分)医師・看護師以外にどのような職種があるかを調べる。 事後学習(30分) チーム医療における看護の役割をまとめる。	山勢善江 櫻井友子 坂口達哉			
4	わが国と世界の保険医療制度(1)	わが国の医療は国民皆保険制度に根ざしているが、その具体的な内容を学ぶ。わが国の制度と欧米各国のそれとの違いを学ぶ。 事前学習(15分)保険とは何か、どのようなものがあるかを調べる。 事後学習(30分)わが国の保険医療の現状と問題点をまとめる。	寺本 明			
5	わが国と世界の保険医療制度(2)	保健医療制度の違いが私たちの生活に及ぼす影響。 事前学習(15分)保険とは何か、どのようなものがあるかを調べる。 事後学習(30分)わが国の保険医療の現状と問題点をまとめる。	山勢善江 櫻井友子 坂口達哉			
6	少子高齢化社会における医療(1)	世界に先駆けて訪れている超少子高齢化社会における医療のあり方と問題点を学ぶ。 事前学習(15分)少子高齢化とは何かを調べる。 事後学習(30分)少子高齢化社会における医療保障の問題点をまとめる。	寺本 明			
7	少子高齢化社会における医療(2)	時代や年代、文化による清潔習慣の違い。 事前学習(15分)少子高齢化とは何かを調べる。 事後学習(30分) 時代・世代・文化による清潔習慣の違いについての問を立てて調べる。	山勢善江 櫻井友子 坂口達哉			
8	尊厳死・安楽死と終末期医療(1)	尊厳死・安楽死の定義と、わが国における終末期医療の課題を学ぶ。 事前学習(15分)尊厳死・安楽死とは何かを調べる。 事後学習(30分)終末期医療や蘇生や延命を断念することの意義を問題をまとめる。	寺本 明			
9	尊厳死・安楽死と終末期医療(2)	尊厳死・安楽死の定義と、わが国における終末期医療の課題を学ぶ。 事前学習(15分)尊厳死・安楽死とは何かを調べる。 事後学習(30分)終末期医療や蘇生や延命を断念することの意義を問題をまとめる。	山勢善江 櫻井友子 坂口達哉			
10	脳死と臓器移植(1)	臨床的脳死と法的な脳死判定、脳死下での臓器移植に伴う課題を学ぶ。 事前学習(15分)臨床的脳死とは何かを調べる。 事後学習(30分)脳死臓器移植の現状と問題点をまとめる。	寺本 明			
11	脳死と臓器移植(2)	臨床的脳死と法的な脳死判定、脳死下での臓器移植に伴う課題を学ぶ。 事前学習(15分)臨床的脳死とは何かを調べる。 事後学習(30分)脳死臓器移植の現状と問題点をまとめる。	山勢善江 櫻井友子 坂口達哉			
12	医療事故と医療安全(1)	医療事故の原因と医療安全対策の実態を学ぶ。 事前学習(15分)医療事故にはどのようなものがあるかを調べる。 事後学習(30分)医療事故の原因と防止安全対策をまとめる。	寺本 明			

13	医療事故と医療安全(2)	医療事故(看護事故)の中でも、看護が深くかかわった事例を新聞・雑誌・インターネット情報から探し、被害者・加害者のその後を考える。 事前学習(15分)医療事故(看護事故)の中でも、看護が深くかかわった事例を探してくる。 事後学習(30分)事例を共有し被害者や加害者のその後について考察する。	山勢善江 櫻井友子 坂口達哉
14	医療と倫理。臨床倫理と研究倫理(1)	医療従事者が身に着けるべき倫理と、臨床研究上の倫理を学ぶ。 事前学習(15分)生命倫理学とは何かを調べる。 事後学習(30分)医療の様々な場面における倫理とその問題点をまとめる。	寺本 明
15	グループワークのまとめ発表会	各回に実施したグループワークの中から、最善のものを選び発表資料としてまとめる。 事前学習(15分)これまで議論したテーマと議論した内容を振り返る。 事後学習(30分)現代医療の中における問題点と今後の課題を考察する。	山勢善江 櫻井友子 坂口達哉

評価	授業項目1・2・4・6・8・10・12・14のレポート(65%)、授業項目3・5・7・9・11・13・15のレポートと発表資料、各回のピア評価(35%)
課題に対するフィードバックの方法	講義内容に関する課題を提示し、20～30分間でレポートを作成させる。
教科書	随時資料を配布する。
参考図書など	学生のための医療概論/小橋元, 近藤克則, 黒田研二, 千代豪昭/医学書院/第4版/ISBN:978-4-260-04125-6
アクティブ・ラーニング	授業項目(1)では約60分間の講義内容に関して、5-10分間の討論の後、レポートを作成させる。 授業項目(2)では、各回のテーマに関連した内容で、グループで問いを立て討論し課題の内容を深める。
実務経験のある教員による授業	(1)を担当する講師は、40年にわたる臨床経験と6年間の公立病院での院長経験を有している。 (2)を担当する講師は、看護における臨床・教育・研究経験を5年以上有する。
留意事項	特に無い。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
薬と毒性学入門 Introduction to Medicine and Toxicology		必修	講義	2単位 (30時間)	1年後期	鈴木 勉 山勢 善江、石橋史子 野口京子、三堀いずみ	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連						
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力						
健康支援と社会保障制度							
授業概要	毒の定義と分類、毒性の発症と解毒メカニズム、麻薬の定義と快楽のメカニズム、自然界の毒、毒と社会、毒と薬を求めた歴史、また毒にまつわる事件について習得する。						
到達目標	1) 毒とは何か、薬とは何かを説明できる。 2) 毒の発症と解毒のメカニズムについて説明できる。 3) 麻薬とは何か、快楽のメカニズムを説明できる。 4) 生き物の毒から植物の毒まで自然界の毒を習得する。 5) 化学兵器から環境ホルモンまで毒と社会との関わりを説明できる。 6) 東洋と西洋における毒と薬を説明する。 7) 毒にまつわる事件を説明できる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	毒の基本	毒とは何か、更に毒の分類 事前学習(30分): テキスト p. 63-85 をみる 事後学習(30分): 毒の分類をまとめる				鈴木 勉	
2	毒と体	毒の吸収・発症及び解毒のメカニズム 事前学習(30分): テキスト p. 88-101 をみる 事後学習(30分): 解毒法をまとめる				鈴木 勉	
3	薬の基本	薬とは何か、薬が効く仕組み 事前学習(30分): テキスト p. 104-119 をみる 事後学習(30分): 薬がどのように効くかをまとめる				鈴木 勉	
4	人間を虜にする麻薬	麻薬とは何か、快楽のメカニズム 事前学習(30分): テキスト p. 122-141 をみる 事後学習(30分): 麻薬の乱用メカニズムをまとめる				鈴木 勉	
5	自然界の毒	生き物の毒から植物の毒まで 事前学習(30分): テキスト p. 146-171 をみる 事後学習(30分): 生き物の毒についてまとめる				鈴木 勉	
6	毒と社会	化学兵器から公害まで 事前学習(30分): テキスト p. 174-187 をみる 事後学習(30分): 公害の原因と対策をまとめる				鈴木 勉	
7	毒と薬を求めて	東洋と西洋における毒と薬 事前学習(30分): テキスト p. 190-203 をみる 事後学習(30分): 近代薬学の代表的研究者と業績をまとめる				鈴木 勉	
8	毒と薬の事件ファイル	地下鉄サリン事件から薬害エイズまで 事前学習(30分): テキスト p. 206-217 をみる 事後学習(30分): 薬害の原因と結果をまとめる				鈴木 勉	
9	DVD「薬と人間」(1)	DVD「薬と人間」から薬と人間の歴史を知る 事前学習(30分): 第1講から8講の内容の復習 事後学習(30分): 「薬と人間」の中から強く印象に残ったことをピックアップする				山勢 善江 石橋 史子	
10	DVD「薬と人間」(2)	DVD「薬と人間」の中から強く印象に残ったことをもとに、その人物や出来事を深く掘り下げて調べる 事前学習(30分): 第1講から8講の内容の復習 事後学習(30分): 「薬と人間」の中から強く印象に残ったことをレポートとしてまとめる				山勢 善江 石橋 史子	
11	薬と細菌のいたちごっこ	薬と菌がいたちごっこをしながら歩んできた歴史を看護の視点で理解する 事前学習(30分): テキスト p. 114-115 をみる 事後学習(30分): 耐性菌についてまとめる				野口 京子	
12	症状緩和と副作用	がんの症状緩和と副作用の問題を看護の視点で理解する 事前学習(30分): テキスト p. 110-113, 118-119 をみる 事後学習(30分): 症状緩和と副作用についてまとめる				三堀 いずみ	

13	薬や毒と人間との関係(1)	参考図書の中から同じ書籍を選んだ者でグループを作り、あらすじ・薬と人間の関係についてディスカッションする。 事前学習(夏休みの課題):薬と人間に関連した課題図書から1冊選び熟読する 事後学習(30分):自分が選択した課題図書を他者に説明できるようにする	山勢 善江 石橋 史子
14	薬や毒と人間との関係(2)	(1)のグループを解体し、ジグソー法を用いてあらすじと薬と人間関係について共有する 事前学習(30分):本書を説明できるようにする 事後学習(30分):説明できた点、説明が難しかった点を明らかにする	山勢 善江 石橋 史子
15	薬や毒と人間との関係(3)	再度(1)にグループに戻ってディスカッションする 事前学習(30分):説明できた点、説明が難しかった点を明らかにする 事後学習:なし	山勢 善江 石橋 史子

評価	期末試験(100%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	個々の質問に対し、必要に応じて全体へのフィードバックを授業中に行う。
教科書	[大人のための図鑑] 毒と薬【すべての毒は「薬」になる?!】/鈴木勉監修/新星出版/ISBN:978-4405108059
参考図書など	第1講～第6講:医薬品「キノコロブ」/佐藤昌男・坂家公大・北田元一/南江堂/改定第4版/ISBN:978-4324402393 第13講～第15講: 華岡青洲の妻/有吉佐和子/新潮社/ISBN:978-4101132068 悲素/帯木蓬生/新潮社/ISBN:978-4103314226 沙林 偽りの大国/帯木蓬生/新潮社/ISBN:978-4103314257 龍平とともに―薬事エイズとたたかう日々/川田悦子/岩波書店/ISBN:978-4000255516
アクティブ・ラーニング	13講から15講において、同じ図書を選んで読んだグループであらすじと薬と人間についてディスカッションし、その後ジグソー法を用いて他のグループに説明しながら、お互いに学びを深める。
実務経験のある教員による授業	薬学に関する実践・教育の豊富な経験から、薬と毒に関する一般向け図書も多く著している。
留意事項	薬効と毒性は線にある。 課題図書から人と薬の関係を考えていくため、夏休みには本を選び読破しよう。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	1単位 (30時間)	2年前期	黒住 享弘	○
ナンバリングコード	HNSC2	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP3) 援助的コミュニケーション力 DP2) エビデンスに基づく実践力 DP3) 援助的コミュニケーション力					
健康支援と社会保障制度						
授業概要	臨床心理学は、個人の行動障害や適応困難を心理学的知識と技法に基づいて測定・分析し、解決することを目的とする応用心理学の一分野である。本講義では障害理解の基礎として主要な人格理論を学修する。また人々の精神的健康の回復・保持・増進について学ぶことで、精神疾患や心身症、精神心的問題・不適応行動などの病態、原因、診断法について理解する。さらにこれらの患者理解の手段としての心理検査や心理療法などの援助技法について学修する。					
到達目標	生涯発達の視点から人の成長過程(心身全般)について学ぶ。また、臨床心理学的な視点で人と関わるには、どのような配慮をして、どう関わるのかを知ることで、今後の対人援助に活かす基礎を学ぶ					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員
1	臨床心理学概論	臨床心理学の歴史と現状 および人間の心理学的理解について 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
2	ライフサイクル1	生涯発達論について、乳幼児期～青年期 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
3	ライフサイクル2	成人期～老年期、発達課題と年代別の精神的な諸問題 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
4	臨床心理学と精神医学1	正常と異常、ストレスと心身の連関 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
5	臨床心理学と精神医学2	正常と異常、ストレスと心身の連関 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
6	パーソナリティ理論	パーソナリティの分類と障害 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
7	心理アセスメント	心理査定とは および心理査定のとり方 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
8	心理検査1	知能検査 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
9	心理検査2	人格検査概論①(質問紙法) 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
10	心理検査3	人格検査概論②(投影法、描画法) 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
11	心理療法とは	心理療法の定義 および基本的態度 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘
12	心理療法のプロセス および精神分析的な心理療法について	精神分析的な心理療法 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り				黒住 享弘

13	心理療法の種類1	来談者中心療法 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り	黒住 享弘
14	心理療法の種類2	その他の療法 および体験学習 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り	黒住 享弘
15	臨床心理士の仕事	臨床心理士の職域 および他職種との共同 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り	黒住 享弘

評価	授業態度(10%程度)およびテストの成績(90%程度)にて評価する。このため、欠席した授業があった場合には担当教員に相談すること。
課題に対するフィードバックの方法	実施予定なし。
教科書	こころの行動と発達・臨床心理。軽部幸浩(編)。福村出版、東京。2023。ISBN:978-4571230677
参考図書など	「はじめての臨床心理学」森谷寛之・竹松志乃 編著出版社:北樹出版 ISBN:978-4893845504 随時紹介する。
アクティブ・ラーニング	机上にて個人的に行えるごく簡単な体験学習を行う。
実務経験のある教員による授業	臨床心理士の資格を有し、臨床経験から実践的な授業を行う。
留意事項	適宜提示する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
臨床栄養学 Clinical Nutrition	必修	講義	1単位 (30時間)	2年前期	中谷 弥栄子	—
ナンバリングコード	HNSC2	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力					
健康支援と社会保障制度						
授業概要	栄養・食生活と健康との関係について学習する。栄養・食生活に問題がある場合に生じやすい健康障害について学びさらに、さまざまな疾病を抱えた人の食事療法・食事指導ならびに指導効果を判定する方法について学習する。ひいては、望ましい栄養・食生活を日常生活の中で継続することの重要性を認識するとともに、疾病を予防する方法についても学習する。					
到達目標	1) 栄養学の基礎知識を臨床栄養学に応用できる。 2) 臨床栄養学の基礎知識について、理解する。 3) ライフステージと栄養・食生活と健康との関連性について、理解する。 4) 疾病を抱えた人の栄養・食事療法及び栄養・食事指導について、理解する。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	5大栄養素の種類とはたらき(3大栄養素)	糖質(食物繊維を含む)・脂質・タンパク質の種類とはたらき及び吸収と代謝 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
2	5大栄養素の種類とはたらき(ビタミン)	ビタミンの種類とはたらき、吸収と代謝及び欠乏症 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
3	5大栄養素の種類とはたらき(ミネラル)	ミネラルの種類とはたらき、吸収と代謝及び欠乏症 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
4	食物の消化と栄養素の吸収	食物の消化と栄養素の吸収 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
5	食事摂取基準と保健機能食品制度	食事摂取基準及び保健機能食品・特別用途食品 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
6	栄養状態の評価・判定と栄養ケア・マネージメント	栄養アセスメントの方法と栄養ケア・マネージメント 事前学習(15分): 1~6回の授業内容をまとめ、試験に臨む。 事後学習(15分): 試験結果をもとに弱点を補強し、定期試験受験に役立てる。				中谷 弥栄子
7	5大栄養素、食事摂取基準、栄養アセスメント及び栄養ケアマネージメントのまとめ	第1回~第6回の学習内容の小テストと前半の振り返り 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
8	臨床栄養学の基礎知識と栄養関連疾患と栄養食事療法の役割	臨床栄養学の意義と栄養食事療法の種類と補給経路 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
9	妊産婦・更年期女性の栄養食事療法	妊娠期・授乳期及び更年期における栄養管理の基本と栄養食事療法 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
10	子どもの栄養食事療法	乳児期・幼児期・学童期及び思春期における栄養管理の基本と栄養食事療法 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
11	高齢者の栄養食事療法	高齢期における栄養管理の基本と栄養食事療法(在宅療養を含む) 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子
12	主な疾患別栄養食事療法(1)	痩せ・低栄養患者及び肥満・メタボリックシンドローム患者の病態と栄養食事療法の実際 事前学習(15分): 授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分): 学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。				中谷 弥栄子



13	主な疾患別栄養食事療法(2)	循環器疾患患者の病態と栄養食事療法の実際 事前学習(15分):授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分):学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。	中谷 弥栄子
14	主な疾患別栄養食事療法(3)	代謝疾患(糖尿病・脂質異常症・高尿酸結晶・痛風)患者の病態と栄養食事療法の実際 事前学習(15分):授業内容に関する該当箇所を読む。 事後学習(15分):学習目標をもとに授業内容を振り返り、まとめる。	中谷 弥栄子
15	主な疾患別栄養食事療法(4)	肝臓・腎臓疾患患者の病態と栄養食事療法の実際及び第7回～第14回の学習内容の振り返り 事前学習(15分):授業内容に関する該当箇所を読むとともに、第7回～第14回の授業内容(ポイント)を確認する 事後学習(15分):授業内容をもとに弱点を補強し、定期試験受験に役立てる。	中谷 弥栄子

評価	定期試験(筆記試験)80%、提出物10%、授業中の学習参加状況10%
課題に対するフィードバックの方法	課題は講義で解説する。学生自身が確認することにより、理解につなげる。
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能3「栄養学」/中村丁次他/医学書院/第13版/ISBN:978-4260038614
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	生命維持と栄養についての理解を深めることができるよう、積極的な授業参加を求めます。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
関係法規 Related Laws and Regulations	必修	講義	1単位 (15時間)	2年前期	長岐 郁也	—
ナンバリングコード	HNSB2	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2) エビデンスに基づく実践力 DP5) 安全を保障する力					
健康支援と社会保障制度						

**授業概要**  
法の概念、法の意義、目的を踏まえ、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律など看護職に関連する法規について学修するとともに、医療法その他関連職種の資格などに関する法律について学修する。さらに、他職種と協働して保健医療福祉活動を推進するうえで欠かせない法令について広く学修する。

**到達目標**  
1) 看護職に関連する基本法規の存在と内容を理解する。  
2) 看護職として勤務するうえで必要となる労働等の法規を理解する。  
3) 看護書としての職務遂行に求められる法的な根拠は判断基準を理解する。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	法の概念と看護法	法学の基礎的理解と看護職の定義について 第1章(A、B、C)、第2章(A、B) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也
2	医事法(1)	医療の提供及びコメディカルの役割について 第3章(A、B)、第4章(B④) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也
3	医事法(2)	医療の提供と薬務法について 第3章(C)、第5章(A、B、C、D) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也
4	精神の保健及び障害者の福祉	障害者と保健制度、社会基盤整備について 第4章(B①)、第7章(D)、第8章(B) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也
5	母子の保健及び労働関連法規	母子の保健制度と労働をめぐる法について 第4章(B②、③)、第8章(A) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也
6	感染症及び児童の保健と福祉について	感染症と児童に対する福祉制度について 第4章(C)、第7章(B、E) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也
7	保健衛生と社会保険について	保健衛生の基本と社会保険制度について 第4章(A)、第6章(A、B) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也
8	福祉の基礎法と高齢者について	福祉制度の基礎法と高齢者に関連する法規、ならびに環境法について 第7章(A、C)、第9章(A、B) 事前学習(120分) 授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習(60分) 講義内容についてまとめ直すこと。	長岐 郁也

評価	定期試験時に筆記試験を実施して評価する。
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし。
教科書	森山幹夫・系統別看護学講座 看護関係法令第55版 健康支援と社会保障制度4(医学書院、2024年)
参考図書など	1年次の法学の講義で使用したテキストも適宜参照する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
社会福祉論 Social Welfare (Introduction to Social Welfare)	必修	講義	1単位 (15時間)	2年後期	久次 奈美	○
ナンバリングコード	HC0B1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP4)チームで連携し協働する力					
健康支援と社会保障制度						

**授業概要**  
現代社会における社会問題や生活課題を取り上げ、福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係、福祉ニーズと社会資源、社会福祉専門機関や専門職の役割を学ぶ。また様々な福祉領域の制度政策、実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて基本的な学びを深める。さらにこれからの福祉のあり方についても考察することで、保健医療福祉分野での自身の専門職としての役割や専門性についても考察する。

- 到達目標**
- 1) 保健医療福祉における社会福祉の位置づけを理解し説明できる。
  - 2) 現代社会の課題と地域社会の中での社会福祉の役割を説明できる。
  - 3) 社会福祉を担う人々の専門性と多職種連携について理解し、多職種連携に基づくチームアプローチの大切さを実感できる。
  - 4) 社会福祉の相談援助技術とソーシャルワークの展開過程について理解し、説明できる。
  - 5) 保健医療福祉分野での自身の専門職としての役割、社会福祉との関わり方について考察し、将来の専門職像に役立てる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)	担当教員
1	社会福祉とは何か 社会福祉を取り巻く環境	社会福祉の意義・理念を理解する。生活基盤となる社会の現状と変化を学ぶ。社会福祉援助技術の意義と形態を学ぶ。 事前学習(30分)現時点で自身が思う「社会福祉像」と「現代社会の課題」を考える。 事後学習(30分)社会福祉とは、社会福祉を取り巻く環境についての学びと感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美
2	社会福祉の歴史と動向	古代から近代までの日本と欧米の社会福祉の歴史と発展を学ぶ。 事前学習(30分)教科書 第1部2 日本の社会福祉の歴史を読む。 事後学習(30分)歴史からの学びと感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美
3	社会保障制度	社会保障の理念、目的、機能と構成、現状と動向を学ぶ。社会保険制度(医療・年金・労働保険)について学ぶ。 事前学習(30分)教科書 第1部3 P32 図3.2の中から自身や家族が利用したことがある社会保障制度を書き出す。 事後学習(30分)社会保障制度についての考察と感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美
4	社会福祉を展開する組織 社会福祉を担う人々 相談援助・ソーシャルワークの展開	行政組織、社会福祉の実施体制、社会福祉の財政、社会福祉に関わる機関と機能について学ぶ。社会福祉専門職、民間活動について学ぶ 事前学習(30分)教科書 厚生労働省・自身が住む市区町村のホームページを閲覧し気づきをまとめる 事後学習(30分)①自分が住む地域を担当する社会福祉の専門機関と施設を調べる(リサーチ)②社会福祉専門職と援助展開についての事例考察と感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美
5	子ども家庭福祉	子どもと家庭を取り巻く現状と少子化対策、児童福祉施設、母子保健、児童虐待、子育て支援事業について学ぶ。 事前学習(30分)教科書 第1部4 子ども家庭福祉 を読み、日本における子ども家庭福祉の課題を考える。 事後学習(30分)子ども家庭福祉についての考察と感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美
6	高齢者福祉と介護保険制度	高齢者を取り巻く状況、高齢者福祉、介護保険制度について学ぶ。 事前学習(30分)教科書 第1部6 高齢者福祉 7介護福祉と介護保険制度 を読み、日本における高齢者福祉の課題を考える。 事後学習(30分)高齢者福祉と介護保険制度についての考察と感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美
7	障害者福祉	障害者のとらえ方、定義と現状の理解、障害者福祉に関する法と施策、障害者雇用と就労支援について学ぶ 事前学習(30分)教科書 第1部5 障害者福祉 を読み、障害者の概念・定義について考える。 事後学習(30分)障害者福祉についての考察と感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美
8	低所得者福祉と地域福祉・まとめ	低所得と貧困の定義と現状及び、低所得者への支援制度 地域における社会福祉活動と地域福祉の推進について学ぶ 事前学習(30分)教科書 第1部7 低所得者福祉 9 地域福祉とその推進方法を読み 地域の福祉課題を考える。 事後学習(30分)低所得者福祉・地域福祉についての考察と感想をmanabaにて提出する。	久次 奈美

評価	定期試験(70%) 事前事後課題・小テスト・授業中ワーク(30%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	教員より評価点とコメントをつけて授業後に返却または授業中に口頭でフィードバックを行う
教科書	コメディカルのための社会福祉概論 第5版/鬼崎信好・本郷秀和編/講談社/2023年/ISBN:978-4065301937
参考図書など	よくわかる社会福祉/第11版/山縣文治・岡田忠克編/ミネルヴァ書房/2019年 ソーシャルワーク実践の基礎理論(改定版)/北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編/有斐閣/2010年 新体系看護学全書 健康支援と社会福祉制度③社会福祉 メチカルフレンド社2023年 その他 講義の中で適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	①各講義のテーマについてペアまたはグループワークによるディスカッションを実施しリアクションペーパーを提出する ②授業中及び事後学習を通して教員との意見交換を行う。
実務経験のある教員による授業	社会福祉士及び精神保健福祉士資格を有しソーシャルワーカーとしての実務経験に基づく実践的な授業を行う
留意事項	広範な内容を8回の講義で学習するため事前学習事後学習は必ず取り組むこと。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
公衆衛生学 Public health	必修	講義	1単位 (30時間)	2年前期	松木 秀明	—
ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP4) チームで連携し協働する力 DP5) 安全を保障する力 DP6) 看護の発展に対応する力					
健康支援と社会保障制度						
授業概要	公衆衛生の概念及び歴史を踏まえて、健康の指標、人口問題と公衆衛生、衛生統計、疫学、医療・保健・福祉における衛生行政、労働衛生および環境衛生・公害及び公衆衛生の国際協力等について学修する。また、疾病予防と健康管理、地域保健と衛生行政、学校保健、産業保健および健康成立の要因と保健活動、人間を取り巻く環境と公衆衛生活動の意義と役割と組織的な公衆衛生活動について学修する。					
到達目標	各領域の健康指標・疾病予防の実態を理解することにより、現在の公衆衛生・社会医学の課題を説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	公衆衛生学概論、予防医学	公衆衛生学の目的、健康の概念、予防医学 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
2	人口静態・人口動態	国勢調査、人口動態、国際疾病分類 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
3	保健統計	生命表、国民生活基礎調査、患者調査、国民健康栄養調査の概要 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を進める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
4	衛生行政と地域保健	衛生行政の実態、保健所、市町村保健センター、地域保健 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
5	母子保健・学校保健	母子保健行政と母子保健の指標、小児保健、学校保健行政と学校保健 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
6	成人保健	生活習慣病とその動態、メタボリックシンドローム、健康日本21 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
7	高齢者保健	高齢者保健とその実態、認知症、介護保険 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
8	感染症	感染症の疫学、感染症法 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
9	食品衛生、国民栄養	食中道、国民健康・栄養調査 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明
10	環境保健	生活環境、地域環境、地球環境問題 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。				松木 秀明

11	社会保障・社会福祉	<b>社会保障制度、社会福祉制度およびそれらの実態</b> 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木 秀明
12	精神保健。障害者保健	<b>精神保健行政と障害者保健</b> 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木 秀明
13	産業保健	<b>労働の3管理、産業衛生、労働基準法、職業病</b> 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木 秀明
14	国際保健	<b>国際保健協力、世界保健機構</b> 事前学習(20分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習(30分): テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木 秀明
15	公衆衛生学のまとめ	<b>本授業の目標達成度の確認、質疑・応答</b> 事前学習(30分): これまでの授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、考え方の未理解の部分を明確化する。 事後学習(30分): これまでの授業内容に関して、必要な知識、考え方について実務や国家試験にも結び付けた理解を高める。	松木 秀明

評価	定期試験100%で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	次の授業時間の最初で解説
教科書	よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第15版, 2024年, 松木秀明 編, 金原出版
参考図書など	適宜、授業の中で紹介
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある教員による授業	特になし
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
疫学 I Epidemiology	必修	講義	1単位 (30時間)	2年後期	松木 秀明	—
ナンバリングコード	HNSB2	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力 DP6)看護の発展に対応する力					
健康支援と社会保障制度						
授業概要	集団の健康状態とその関連要因を明らかにする手法を学ぶために、疫学の方法、疫学的手法について学ぶ。また、健康に関する統計学的方法について理解するために、疫学研究のデータの読み方や調査結果の解釈方法、および、その活用方法について学ぶ。さらには、集団の特徴を数値で把握し、把握した特徴を健康に関する取り組みに活用する有用性を理解することを通して、疫学の意義を学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 疫学とは何かを説明することができる。</li> <li>2 疫学研究の方法について説明することができる。</li> <li>3 疫学研究で明らかになったデータを解釈することができる。</li> <li>4 疫学研究で明らかになった結果の活用方法を説明することができる。</li> <li>5 疫学研究の有用性を説明することができる。</li> </ol>					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	疫学の定義と歴史	疫学の定義と西洋の疫学の歴史および日本の疫学の歴史について学ぶ。 事前学習(0分): 不要 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
2	疫学で用いる健康指標	疫学で用いる健康指標について学ぶ。比率、疾病頻度、年齢調整死亡率、標準化死亡比などについて学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、関連用語の捉え方、公式や数的処理の手法の基礎理解を進める 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
3	標本抽出と対象の選定	標本の抽出と対象の選定について学ぶ。無作為抽出、有意抽出の方法と応用について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
4	疫学的方法論	記述疫学と分析疫学の考え方について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
5	曝露の効果を表す指標	疫学における原因の測り方と指標について学ぶ 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
6	分析疫学的方法論	相対危険、寄与危険、寄与危険割合、オッズ比などについて学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
7	疫学研究の質の評価	疫学研究の質の評価、特にバイアス、誤差等について学ぶ 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
8	スクリーニングについて学ぶ(1)	スクリーニングの方法と指標、その計算法について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
9	スクリーニングについて学ぶ(2)	ROC分析とその応用について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
10	因果関係	疫学における因果関係論について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明
11	疫学各論①	疫学各論のうち、感染症の疫学のかかわりの基礎的な事項について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。				松木 秀明

12	疫学各論②	疫学各論のうち、遺伝疫学について、環境疫学について環境要因のかかわりの基礎的な事項を学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。	松木 秀明
13	疫学各論③	疫学各論のうち、社会疫学として社会構造が健康に与える影響の基礎的な知識について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。	松木 秀明
14	疫学各論④	疫学各論のうち、ライフコース疫学について基礎的な知識について学ぶ。 事前学習(30分): 授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。	松木 秀明
15	疫学のまとめ	目標の達成状況の確認、質疑・応答 事前学習(30分): これまでの授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、考え方、公式や数的処理を理解する。 事後学習(30分): テキストと配布資料による演習を行う。	松木 秀明

評価	定期試験100%とし評価する。
課題に対するフィードバックの方法	次の授業時間の最初で解説する。
教科書	日本疫学会監修／はじめて学ぶやさしい疫学改訂第4版／南江堂／ISBN:978-4-524-20448-9
参考図書など	基本からわかる 看護疫学入門 第3版／大木 秀一著／医歯薬出版社
アクティブ・ラーニング	特になし。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	必要に応じて電卓を用いて各データの処理を行うため、電卓を準備して頂きたい。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
疫学Ⅱ Epidemiology		選択	講義	1単位 (30時間)	2年後期	川本 利恵子、学科教員	—
ナンバリングコード	HNSB3	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目		DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力 DP6)看護の発展に対応する力					
健康支援と社会保障制度							
授業概要	疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康課題を解決するために必要な疫学調査法、社会疫学、政策疫学、臨床疫学、産業保健の疫学を学修する。それにより、具体的なデータを用いた疾病頻度や暴露効果の指標等の計算、適切な推論など疫学の知識・手法を用いて健康課題を分析し関係者や住民への適切な情報提供ができることを理解する。						
到達目標	1. 疫学の測度と指標を理解し、統計データの処理、実務的な活用の仕方がわかる。 2. 医療、看護の実践場でパソコンや電卓により遭遇しやすい疫学としての統計内容について適切な処理とその評価ができる						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	疫学研究の種類	疫学Ⅰで学んだ記述疫学、分析疫学、介入研究について復習、また演習問題を解く。 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				川本 利恵子	
2	疫学研究の指標	相対危険度、寄与危険度、寄与陰割合、オッズ比などについて理解を深める。演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
3	スクリーニング	スクリーニングの手法と社会的意義、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
4	ROC分析	ROC(受信者動作特性曲線)の意義と疫学への応用、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
5	疫学と因果関係論	疫学における因果関係論、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
6	疫学と予防対策	疾病の予防とポピュレーションアプローチおよびハイリスクアプローチ、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
7	臨床疫学とEBM	臨床の場面における疫学の応用とEBM(科学的根拠に基づく医療)、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
8	感染症の疫学	感染症発生時における疫学の役割、マスターテーブル、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
9	環境疫学	環境問題への疫学の応用、公害と疫学、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
10	がんの疫学	がん対策への疫学の応用、遠隔問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
11	循環器の疫学	循環器疾患対策への疫学の応用、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	
12	社会疫学	社会構造が健康に及ぼす影響、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)				学科教員	



13	遺伝疫学、ライフステージ疫学	健康にかかわる遺伝要因、胎児期から始まる健康リスクを捉えるライフコース疫学、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)	学科教員
14	疫学研究と倫理	疫学研究における倫理的問題、演習問題 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)	学科教員
15	疫学Ⅱ まとめ	疫学Ⅱについてのまとめ 事前学習:教科書の該当箇所を読んでおく(30分) 事後学習:演習問題をよく、内容を理解する(30分)	学科教員

評価	定期試験80%、小テスト20%
課題に対する フィードバックの方法	演習問題は各自で解き、正解はmanabaで確認しておくこと。
教科書	指定しない
参考図書など	指定しない
アクティブ・ラーニング	演習問題を、自分で解いてみる。
実務経験のある 教員による授業	該当なし
留意事項	該当なし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
保健行政論 Health and medical administration	選択	講義	1単位 (15時間)	2年前期	川本利恵子、牛田貴子	○
ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP4) チームで連携し協働する力 DP5) 安全を保障する力 DP6) 看護の発展に対応する力					
健康支援と社会保障制度						
授業概要	保健医療福祉行政の基礎知識、地域における健康問題とその解決に必要な社会資源と保健医療福祉サービスおよびその評価・調整する基礎的な方法について学修する。特に保健医療福祉行政の根拠、保健医療福祉行政の目指すもの、保健医療福祉における課題と政策の発展について学修する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健医療行政の管理・運営について理解することができる</li> <li>2. 行政運営に必要な財政の仕組みについて理解することができる</li> <li>3. 社会保障制度の現状と課題について理解することができる</li> <li>4. 地域保健施策を理解することができる</li> <li>5. 医療提供体制と関連法令について理解することができる</li> </ol>					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	保健行政とは	ガイダンス 日本の保健医療行政の仕組み 事前学習: 特に指定しない 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
2	社会保障の概要	社会保障の概念、日本の社会保障制度の概要、社会保障改革の動向 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
3	保健行政の概要1	保健衛生行政機構、保健衛生行政の財政、健康危機管理について 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
4	保健行政の概要2	保健衛生行政機構、保健衛生行政の財政管理について 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
5	社会保障と福祉制度1	社会保障の福祉制度について 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
6	社会保障と福祉制度2	社会保障の福祉制度とその課題について <b>確認テスト</b> 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
7	医療制度と医療法1	医療提供体制(医療法の理解)、医療財政 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
8	医療制度と医療法2	医療提供体制、医療財政、医療政策 <b>確認テスト</b> 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
9	医療提供体制1	医療提供体制 診療報酬 公的医療保険について 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
10	医療提供体制2	医療提供体制 診療報酬 公的医療保険について <b>確認テスト</b> 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
11	保健行政の課題1	保健医療行政の課題(少子化がもたらす将来) 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	
12	保健行政の課題2	保健医療行政の課題と解決方法(少子化と子ども家庭庁の可能性) 事前学習: 指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習: 授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)			川本利恵子 牛田貴子	

13	保健行政の限界と今後1	保健医療行政の課題と解決方法の探索（グループで討議） 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	川本利恵子 牛田貴子
14	保健行政の限界と今後2	保健医療行政の課題と解決方法の探索（指定グループの発表） 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	川本利恵子 牛田貴子
15	保健行政のまとめ	保健医療行政の課題と解決方法の探索 最終確認テスト 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	川本利恵子 牛田貴子

評価	課題レポート(60%)、授業への参加度・GWへの貢献度をルーブリック評価(20%)、確認テスト(20%)
課題に対するフィードバックの方法	授業の中で解説する。
教科書	特に指定しない。
参考図書など	衛生行政大要、国民衛生の動向 公衆衛生看護概論
アクティブ・ラーニング	講義の中で、適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	日本看護協会の常任理事として、国政に法案の提出や政策決定に関与していた教員による授業である。
留意事項	保健医療情報処理論と関連させて知識を習得し構造化する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験のある教 員による科目
保健医療情報処理論 Health and medical informatics	選択	講義	1単位 (30時間)	2年前期	陶山克洋 川本利恵子 松永雄至 日下桃子	○
ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	別途公開の一覧表を参照すること			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門基礎科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP6)看護の発展に対応する力					
健康支援と社会保障制度						
授業概要	保健医療情報と情報処理の基本的知識を理解する。そして、それらの情報がどのように活用されているのか実際について探求する。保健医療情報とは病院ではレセプトなども含んだ電子カルテシステムであり、保健データは市町村や県、国が提供しているデータがある。それらを適切に処理することで様々な保健医療分野の状況が可視化できる。興味関心のある分野の実際を学生それぞれが自律して情報処理する。					
到達目標	1)医療・看護情報のもつ性質、およびそれを扱う情報システムや情報ネットワークの構成と活用法を説明できる。 2)電子カルテシステムを中心とする保健医療情報システムを理解する。 3)保健医療情報の安全や活用(患者及び医療者の個人情報保護を含む)において配慮すべき事柄を説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)			担当教員	
1	ガイダンス 保健医療情報とは	授業ガイダンス 保健医療情報の種類について 事前学習:(30分)授業項目について事前に調べてくる 事後学習:(30分)授業内容を復習し、manaba機能を用いた【小テスト】に取り組む。			陶山克洋	
2	医療情報システムについてのグループワーク	【グループワーク】病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステムについての現状についてグループワークを行う。 事前学習:(30分)授業項目について事前に調べた資料【事前課題1】を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する。 事後学習:(30分)グループワークを各自で進める。			松永雄至	
3	医療情報システムについての発表準備	【グループワーク】病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステムについての現状についてグループワークを行い、発表の準備を行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習:(30分)グループ発表に関する資料について確認し、スムーズに発表できるよう準備する。			松永雄至	
4	医療情報システムについての発表前半	【発表】病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステムについての現状についてのプレゼンテーションを行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を基に発表ができるよう準備する。 事後学習:(30分)グループ発表、配布資料や教科書の内容について確認し、授業全体について復習する。			松永雄至	
5	医療情報システムについての発表後半	【発表】病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステムについての現状についてのプレゼンテーションを行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を基に発表ができるよう準備する。 事後学習:(30分)グループ発表、配布資料や教科書の内容について確認し、授業全体について復習する。			松永雄至	
6	医療情報システム、医療データベースとシステムについて	病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステム、医療看護必要度やがん登録、医療の質の比較評価について 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習:(30分)授業内容を復習し、manaba機能を用いた【小テスト】に取り組む。			松永雄至	
7	保健・福祉情報についてのグループワーク	【グループワーク】保健指標 基礎資料、がんの罹患率、死亡率、人口動態情報などについてグループワークを行う。 事前学習:(30分)授業項目について事前に調べた資料【事前課題2】を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する。 事後学習:(30分)グループワークを各自で進める。			日下桃子	
8	保健・福祉情報についてのグループワークについての発表準備	【グループワーク】保健指標 基礎資料、がんの罹患率、死亡率、人口動態情報などについての現状についてグループワークを行い、発表の準備を行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習:(30分)グループ発表に関する資料について確認し、スムーズに発表できるよう準備する。			日下桃子	
9	保健・福祉情報についての発表前半	【発表】保健指標 基礎資料、がんの罹患率、死亡率、人口動態情報などについてのプレゼンテーションを行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を基に発表ができるよう準備する。 事後学習:(30分)グループ発表、配布資料や教科書の内容について確認し、授業全体について復習する。			日下桃子	
10	保健・福祉情報についての発表後半	【発表】保健指標 基礎資料、がんの罹患率、死亡率、人口動態情報などについてのプレゼンテーションを行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を基に発表ができるよう準備する。 事後学習:(30分)グループ発表、配布資料や教科書の内容について確認し、授業全体について復習する。			日下桃子	
11	保健・福祉情報・地域医療情報システムなどについて	保健指標 基礎資料、がんの罹患率、死亡率、人口動態情報などのシステム内の情報を理解し、活用を構造化する 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習:(30分)授業内容を復習し、manaba機能を用いた【小テスト】に取り組む。			日下桃子	

12	情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについてのグループワーク	【グループワーク】情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについてグループワークを行う。 事前学習:(30分)授業項目について事前に調べた資料【事前課題3】を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する。 事後学習:(30分)グループワークを各自で進める。	陶山克洋
13	情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについての発表準備	【グループワーク】情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについてグループワークを行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習:(30分)グループワークを各自で進める。	陶山克洋
14	情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについての発表	【グループワーク】情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについてグループワークを行う。 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を基に発表ができるよう準備する。 事後学習:(30分)グループ発表、配布資料や教科書の内容について確認し、授業全体について復習する。	陶山克洋
15	情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いと最新の医療情報システム	情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いやビックデータ・IoT・AIを活用した最新の医療、まとめ 事前学習:(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習:(60分)授業内容を復習し、manaba機能を用いた【小テスト】に取り組む。また、科目全体において復習を行い確実な知識にする。	陶山克洋

評価	事前課題レポート(30%)、グループ発表(30%)、小テスト(40%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	講義の中で適宜行っていく予定。
教科書	看護情報学／中山和弘／医学書院／第3版／ISBN:978-4-260-04205-5【全ての講義で利用】
参考図書など	エッセンシャル看護情報学／太田勝正／医歯薬出版／2024年版／ISBN:4263237714 その他、適時紹介する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で、適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	病院の電子カルテシステムの構築、日本看護協会のナースセンターシステムの構築に関わった。
留意事項	関心を高くもって自発的に事前課題 事後課題に取り組んでほしい。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護学概論 The principle of Nursing	必修	講義	1単位 (30時間)	1年前期	本田 芳香	○
ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目 I	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
基礎看護学						
授業概要	看護学の根幹科目として看護の本質を探究し、専門職として看護学を学修していくための基礎的な知識について学修する。看護学を構成する概念、看護とは、看護の変遷、主な看護理論などについて学修する。また、看護の観点から全人的に捉える人間、健康の概念、環境と健康、生活・ライフスタイルと健康との関連、QOLとセルフケア、職業倫理、看護実践の方法、看護実践の組織化、多職種連携などの看護学の基礎的な知識を学び、人々の健康に寄与する看護職の役割・機能について学修する。					
到達目標	1) 看護の目的及び看護学とは何かについて説明できる。 2) 看護学を構成する主要概念を説明できる。 3) 看護実践のための理論的根拠として、主要な看護理論について説明できる。 4) 看護の歴史的変遷の概要を説明できる。 5) 看護活動を展開するために必要な法律を説明できる。 6) 看護活動を展開するために必要な倫理について説明できる。 7) 看護活動を提供する場とその仕組みの理解を通して、看護職の役割・機能について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	科目ガイダンス 看護学とは、看護の歴史的変遷	看護学の目的及び看護学とは何か、看護の歴史的変遷より現代看護の動向を踏まえ学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
2	看護学の主要概念(1)人間	看護の対象となる「人間」の理解について諸理論を用いて学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
3	看護学の主要概念(2)環境	看護の対象を取り巻く「環境」について諸理論を用いて学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
4	看護学の主要概念(3)健康	看護の対象となる人の「健康」の概念、ライフスタイルと健康との関連について諸理論を用いて学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
5	看護学の主要概念(4)看護	「看護」の定義、看護ケアにおける看護職の役割と責任及び「看護」を展開するための考え方について学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
6	看護理論(1)ナイチンゲール	看護理論家ナイチンゲールの理論を学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
7	看護理論(2)ナイチンゲール	看護理論家ナイチンゲールの理論を学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
8	看護理論(3)オレム	看護理論家オレムのセルフケア理論を学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
9	看護理論(4)ヘンダーソン	看護理論家ヘンダーソンの理論を学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
10	看護活動を展開するための法律	看護実践における法的基盤及び医療事故における法的責任について学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
11	看護活動を展開するための倫理(1)	医療倫理をめぐる歴史的変遷より、看護実践における倫理と価値について学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香
12	看護活動を展開するための倫理(2)	看護実践における倫理的ジレンマ、倫理的課題への取り組みについて学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。				本田芳香

13	看護活動を提供するための場と仕組み(1)	看護をめぐる制度と政策を概観し、看護サービスの提供の場とサービス管理、看護ケアマネジメント、医療安全と医療の質保証について学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	本田芳香
14	看護活動を提供するための場と仕組み(2)	保健・医療・福祉に関連する法律や概念、多職種チームにおける看護の役割と継続性について学修する。 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	本田芳香
15	まとめ	まとめ:これからの看護の課題と展望、「到達目標」達成状況の確認 事前学習:(15分)ガイダンス資料参照 事後学習:(15分)科目全体の復習と科目の「到達目標」達成状況の確認	本田芳香

評価	提出課題 40% 課題レポート 60%(詳細はガイダンス資料参照)
課題に対するフィードバックの方法	提出課題及び課題レポートはフィードバックする。
教科書	①ナーシング・グラフィカ 基礎看護学(1) 看護学概論/志自岐康子,松尾ミヨ子,習田明裕編/MCメディカ出版/第7版/ISBN:978-4-8404-7535-8 ②看護の覚え書き/フローレンス・ナイチンゲール/うぶすな書店/改訂第8版/ISBN:978-4-87474-199-3 ③ 看護の基本となるもの/ヴァージニア・ヘンダーソン著/日本看護協会/ISBN:978-4-8180-1996-6
参考図書など	①ミルトン・メイヤーロフ、田村真、向野宜之/ケアの本質 生きることの意味/ゆるみ出版/ISBN978-4946509117 ② ウィリアム・オスラー/日野原重明翻訳/平静の心ーオスラー博士講演集/医学書院/ISBN978-4260127080
アクティブ・ラーニング	事前学習,グループワーク,プレゼンテーション
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を活かして実践的な講義・演習を行います。
留意事項	本科目は、看護学を学ぶ上で、最も重要な科目である。学習計画を立て事前・事後学習を行い、主体的に授業に臨むこと。看護専門職を目指す者の基本的姿勢として学習態度を重視する。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ヘルスアセスメント学 I Health Assessment I		必修	講義・演習	1単位 (30時間)	1年後期	本田芳香、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP2) エビデンスに基づく実践力 DP3) 援助的コミュニケーション力 DP5) 安全を保障する力					
基盤科目							
授業概要	看護の観点から人々の健康状態についてアセスメントする意義と方法について学修する。ヘルスアセスメントの概要、看護過程におけるヘルスアセスメントの意義、バイタルサインの観察技術や問診の技術および系統的に身体面をアセスメントする技術に関する基礎的な知識について学修する。フィジカルアセスメントに必要な身体診査技術(視診・触診・打診・聴診)やバイタルサインの観察技術については、演習において実践力を養う。						
到達目標	1)看護過程におけるヘルスアセスメントの目的と意義を説明できる。 2)ヘルスアセスメントに必要な問診技術を説明できる。 3)ヘルスアセスメントに必要な身体診査技術を説明できる。 4)バイタルサインの観察技術を修得できる。 5)ヘルスアセスメントに必要な学修態度で臨むことができる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員	
1	科目ガイダンス ヘルスアセスメントの目的と意義、 身体診査技術	講義:ヘルスアセスメントの目的と意義、基本的な身体診査技術(視診・触診・打診・聴診)について学修する。 事前学習(30分)教科書のヘルスアセスメントに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香	
2	ヘルスアセスメントに必要な問診 と一般状態の観察方法(1)	講義・演習:対象者との関係形成と必要な情報を得るための態度、ヘルスアセスメントに必要な問診・観察技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の問診に関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
3	ヘルスアセスメントに必要な問診 と一般状態の観察方法(2)	講義・演習:対象者との関係形成と必要な情報を得るための態度、ヘルスアセスメントに必要な問診・観察技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の身体診査技術及び姿勢や外観に関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
4	バイタルサインの目的・観察方法 (1)	講義・演習:バイタルサイン(意識・体温・呼吸・脈拍・血圧)の目的及び観察方法を学修する。 事前学習(30分)教科書のバイタルサイン概要、意識に関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
5	バイタルサインの目的・観察方法 (2)	講義・演習:バイタルサイン(意識・体温・呼吸・脈拍・血圧)の目的及び観察方法を学修する。 事前学習(30分)教科書の体温に関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
6	バイタルサインの観察方法の実際 (1)	演習:バイタルサイン(体温・呼吸・脈拍・血圧)の観察方法の実際について学修する。 事前学習(30分)教科書の呼吸に関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
7	バイタルサインの観察方法の実際 アセスメント方法(2)	演習:バイタルサイン(体温・呼吸・脈拍・血圧)の観察方法の実際について学修する。 事前学習(30分)教科書の循環及び血圧測定に関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
8	バイタルサインの観察方法の実際 (3)	演習:バイタルサインの観察方法(体温・呼吸・脈拍・血圧)の実際について学修する。 事前学習(30分)教科書のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
9	バイタルサインの観察方法の実際 (4)	演習:バイタルサインの観察方法(体温・呼吸・脈拍・血圧)の実際について学修する。 事前学習(30分)教科書のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
10	事例に基づくバイタルサイン観察 方法の実際(1)	演習:事例に基づくバイタルサインの観察方法の実際について学修する。 事前学習(30分)教科書のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
11	事例に基づくバイタルサイン観察 方法の実際(2)	演習:事例に基づくバイタルサインの観察方法の実際について学修する。 事前学習(30分)教科書のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	
12	技術試験(バイタルサイン)	演習:技術試験(バイタルサイン) 事前学習(30分)技術試験に向けて練習する。 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習する。				本田 芳香 他看護学科教員	



13	技術試験(バイタルサイン)	演習:技術試験(バイタルサイン) 事前学習(30分)技術試験に向けて練習する。 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習する。	本田 芳香 他看護学科教員
14	技術試験(バイタルサイン)	演習:技術試験(バイタルサイン) 事前学習(30分)技術試験に向けて練習する。 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習する。	本田 芳香 他看護学科教員
15	技術試験(バイタルサイン) 科目のまとめ	演習:技術試験(バイタルサイン)、科目のまとめ 事前学習(30分)技術試験に向けて練習する。 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習する。	本田 芳香 他看護学科教員
評価	技術試験40%、課題(事前・事後)40% ミニテスト20%		
課題に対する フィードバックの方法	技術試験結果は、対面にて個別講評します。課題に関してはmanabaなどでフィードバックします。		
教科書	病態を見抜き、看護にいかすバイタルサイン/上谷いつ子/中央法規/ISBN978-4-8058-5952-0		
参考図書など	①はじめてのフィジカルアセスメント/横山美樹/メヂカルフレンド社/第2版/ISBN:978-4-839-21648-1 ②看護がみえるVo.3フィジカルアセスメント/医学情報科学研究所編/メディックメディア/第1版/ISBN:978-4-89632-781-6 ③新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス[Web動画付]/守田美奈子監修/インターメディカ/ISBN:978-4-89996-408-7 ④看護学テキストNiCEヘルスアセスメント[WEB動画付]臨床実践能力を高める/三上れつ、小松万喜子編/南江堂/改訂第2版/ISBN:978-4-524-25748-5 ⑤看護学テキストNiCE 基礎看護技術[WEB動画付]看護過程のなかで技術を理解する/香春千永、齋藤やよい編/南江堂/改訂第3版/ISBN:978-4-524-25608-2 ⑥看護技術ベーシックス/藤野彰子、長谷川佳子、間瀬由紀編/サイオ出版/第2版/ISBN :978-4-907-17657-0		
アクティブ・ラーニング	事前学修課題にて事前知識を学修し、技術の修得に向けて演習を行います。		
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かして実践的な講義・演習を行います。		
留意事項	自らの力で考えようとする主体的な学修を期待します。演習では看護師役と患者役を通して得た学びを学生間で共有し、学びを深めましょう。		

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ヘルスアセスメント学Ⅱ Health Assessment Ⅱ		必修	演習	2単位 (60時間)	2年後期	山勢善江、櫻井友子、坂口達哉、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
基盤科目							
授業概要	ヘルスアセスメントⅠで学んだフィジカルアセスメントの技法を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における看護の対象者の健康状態と生活への影響をアセスメントする方法を、事例を通してより実践的に学ぶ。						
到達目標	1)事例の対象者の身体の機能障害に気づき、それらを言語化することができる。 2)対象者の全身状態、生活背景や価値観、セルフケア能力を踏まえ、必要と考えられるアセスメント技術を用いることができる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	ガイダンス、ヘルスアセスメントの概要	ヘルスアセスメントの概要 全身状態の観察の方法 事前学習(30分) 教科書の該当部分を通読する。 事後学習(30分) 配布資料を読み返す				山勢善江 他看護学科教員	
2	事例に基づくヘルスアセスメント :Case①	Case①: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 課題に取り組む。				山勢、櫻井、坂口	
3	事例に基づくヘルスアセスメント :Case①	Case①: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 課題に取り組む。				山勢、櫻井、坂口	
4	事例に基づくヘルスアセスメント :Case①	Case①: 学んできたことについてプレゼンテーションの実施 事前学習(30分) プレゼンテーションの準備 事後学習(30分) 自分で調べたことに加え、他のメンバーが調べたことについてまとめる。				山勢、櫻井、坂口	
5	事例に基づくヘルスアセスメント :Case①	Case①: 講義 事例患者に必要なとなる腹部のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。				山勢、櫻井、坂口	
6	事例に基づくヘルスアセスメント :Case①	Case①: 講義 事例患者に必要なとなる腹部のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。				山勢、櫻井、坂口	
7	事例に基づくヘルスアセスメント :Case①	Case①: 演習 腹部のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。				山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員	
8	事例に基づくヘルスアセスメント :Case①	Case①: 演習 腹部のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。				山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員	
9	事例に基づくヘルスアセスメント :Case②	Case②: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 知識が不足していることに対し調べる				山勢、櫻井、坂口	
10	事例に基づくヘルスアセスメント :Case②	Case②: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 知識が不足していることに対し調べる				山勢、櫻井、坂口	
11	事例に基づくヘルスアセスメント :Case②	Case②: 事例患者に対する必要なヘルスアセスメントについてのプレゼンテーション 事前学習(30分) 事例についてのプレゼンテーションの準備 事後学習(30分) 自分で調べたことに加え、他のメンバーが調べたことについてまとめる。				山勢、櫻井、坂口	
12	事例に基づくヘルスアセスメント :Case②	Case②: 講義 事例患者に必要なとなる呼吸器のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。				山勢、櫻井、坂口	
13	事例に基づくヘルスアセスメント :Case②	Case②: 講義 事例患者に必要なとなる呼吸器のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。				山勢、櫻井、坂口	
14	事例に基づくヘルスアセスメント :Case②	Case②: 演習 事例患者に対する呼吸器のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。				山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員	

15	事例に基づくヘルスアセスメント :Case②	Case②: 演習 事例患者に対する呼吸器のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。	山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員
16	事例に基づくヘルスアセスメント :Case③	Case③: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 知識が不足していることに対し調べる	山勢、櫻井、坂口
17	事例に基づくヘルスアセスメント :Case③	Case③: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 知識が不足していることに対し調べる	山勢、櫻井、坂口
18	事例に基づくヘルスアセスメント :Case③	Case③: 事例患者に対する必要なヘルスアセスメントについてのプレゼンテーション 事前学習(30分) 事例についてのプレゼンテーションの準備 事後学習(30分) 自分で調べたことに加え、他のメンバーが調べたことについてまとめる。	山勢、櫻井、坂口
19	事例に基づくヘルスアセスメント :Case③	Case③: 講義 事例患者に必要なとなる循環器のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。	山勢、櫻井、坂口
20	事例に基づくヘルスアセスメント :Case③	Case③: 講義 事例患者に必要なとなる循環器のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。	山勢、櫻井、坂口
21	事例に基づくヘルスアセスメント :Case③	Case③: 演習 事例患者に対する循環器のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。	山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員
22	事例に基づくヘルスアセスメント :Case③	Case③: 演習 事例患者に対する循環器のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。	山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員
23	事例に基づくヘルスアセスメント :Case④	Case④: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 知識が不足していることに対し調べる	山勢、櫻井、坂口
24	事例に基づくヘルスアセスメント :Case④	Case④: 事例についてのグループワーク 事前学習(30分) 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習(30分) 知識が不足していることに対し調べる	山勢、櫻井、坂口
25	事例に基づくヘルスアセスメント :Case④	Case④: 事例患者に対する必要なヘルスアセスメントについてのプレゼンテーション 事前学習(30分) 事例についてのプレゼンテーションの準備 事後学習(30分) 自分で調べたことに加え、他のメンバーが調べたことについてまとめる。	山勢、櫻井、坂口
26	事例に基づくヘルスアセスメント :Case④	Case④: 講義 事例患者に必要なとなる脳神経のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。	山勢、櫻井、坂口
27	事例に基づくヘルスアセスメント :Case④	Case④: 講義 事例患者に必要なとなる脳神経のヘルスアセスメントの技法について 事前学習(30分) 小テストを使用して、ヘルスアセスメントの技法について理解度を確認する。 事後学習(30分) 講義内容を復習する。	山勢、櫻井、坂口
28	事例に基づくヘルスアセスメント :Case④	Case④: 演習 事例患者に対する脳神経のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。	山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員
29	事例に基づくヘルスアセスメント :Case④	Case④: 演習 事例患者に対する脳神経のヘルスアセスメントに関する演習 事前学習(30分) 患者役としての役作りと事例患者への声掛けについてシミュレーションする。 事後学習(30分) 振り返りに関する課題に取り組む。	山勢、櫻井、坂口 他看護学科教員
30	ヘルスアセスメントⅡのまとめ	ヘルスアセスメントⅡ全体のまとめ ヘルスアセスメントⅢに向けた課題の提示 事前学習(60分) 今までの講義・演習資料を読み返す。 事後学習(30分) 自己の知識・技術に不足している点をまとめておく。	山勢、櫻井、坂口

評価	定期試験60%・夏季課題・グループワークシート・演習時のレポート40%
課題に対する フィードバックの方法	講義時や演習時に口頭、またはmanabaにて適宜フィードバックを実施
教科書	ナーシンググラフィカ基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ/松尾ミヨ子 他/メディカ出版/ISBN: 978-4840475365
参考図書など	①新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス[Web動画付]/守田美奈子監修/ インターメディカ/ISBN:978-4-89996-408-7 ②はじめてのフィジカルアセスメント/横山美樹/メヂカルフレンド社/第2版/ISBN:978-4-839-21648-1 ③看護学テキストNICEヘルスアセスメント(改訂第2版)[WEB動画付]臨床実践能力を高める/三上れつ・小松万喜子編/ 南江堂/改訂第2版/ISBN:978-4-524-25748-5 ④看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント/医療情報科学研究所編/メディックメディア/第1版/ISBN:978-4-89632-781-6
アクティブ・ラーニング	学生主体でのグループワークを皮切りにし、その後には講義を行うという反転学習を用いることで、学生の主体性を培う。また、技術の修得に向けて演習を行う。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かして実践的な講義・演習を行います。
留意事項	ヘルスアセスメントⅠの際に学んだことを活かしながら、看護師としての技術を学びます。事例の理解に際しては、より主体的に学修する姿勢を求めます。ヘルスアセスメントⅠで各自が作成したワークブックと夏休みのワークブックⅡを持参する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ヘルスアセスメント学Ⅲ Health Assessment Ⅲ	必修	講義	1単位 (30時間)	3年前期	ラウ優紀子、田中秀子、東村志保、陶山克洋、倉橋悠子、野井恵加、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSD3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP5)安全を保障する力					
基盤科目						
授業概要	ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱで学んだ知識と技術を基に、シミュレーター等を用いてより実践に近い状況を想定した演習を通し、正常と異常の判断、緊急度の判断等の臨床判断能力を培い、対象者の状況に即したアセスメント・実施・評価の方法を学修する					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人・高齢者看護のプロセスにおいて求められるヘルスアセスメントの目的と意義について説明できる。</li> <li>2. 成人・高齢者のヘルスアセスメントの基礎的な問診技術について説明し、実施できる。</li> <li>3. 成人・高齢者のヘルスアセスメントに必要な身体診察の基礎的スキルについて説明し、実施できる。</li> <li>4. 成人・高齢者の身体診察で得た内容について看護記録を作成できる。</li> <li>5. 成人・高齢者のヘルスアセスメントに必要な学修態度で主体的に取り組むことができる。</li> </ol>					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	科目ガイダンス	講義：本科目の概要についてヘルスアセスメントの基礎 事前学習(30分)教科書①p2-83を読む 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
2	精神疾患をもつ患者のアセスメント	精神疾患をもつ患者の症状・兆候を理解する視点、心理を理解する視点と考え方 事前学習(30分)教科書②p37-56を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。			陶山克洋	
3	精神疾患をもつ患者のアセスメント演習	精神疾患をもつ患者の画像や動画を視聴し、症状・兆候や心理的反応をアセスメントする 事前学習(30分)教科書②p37-56を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体について復習し、演習課題を行う【個人課題】			陶山克洋 他看護学科教員	
4	頭部・眼のアセスメント	講義：頭部のアセスメントについて学修する。 事前学習(30分)教科書①p84-99を読む。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
5	耳と鼻のアセスメント	講義：耳と鼻のアセスメントについて学修する。 事前学習(30分)授業資料の指定範囲を読む。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
6	咽喉と口腔のアセスメント	講義：咽喉と口腔のアセスメントについて学修する。 事前学習(30分)授業資料の指定範囲を読む。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
7	事例のアセスメント	グループワーク：事例に基づいた頭部・眼・耳・鼻・咽頭／口腔のアセスメントについて学修する。 事前学習(30分)授業資料を読む。実習記録の指定箇所を読んでくる。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
8	頭部・眼のアセスメント①	演習：頭部・眼のヘルスアセスメントの知識を用いた看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書①p84-99を読む。4回目の授業内容を復習する。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。技術練習をする。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
9	頭部と眼のアセスメント②	演習：頭部と眼のヘルスアセスメントの知識を用いた看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書①p84-99を読む。4回目の授業内容を復習する。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。技術練習をする。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
10	耳と鼻のアセスメント①	演習：耳と鼻のヘルスアセスメントの知識を用いた看護技術について学修する。 事前学習(30分)授業資料を熟読する。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。技術練習をする。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
11	耳と鼻のアセスメント②	演習：耳と鼻のヘルスアセスメントの知識を用いた看護技術について学修する。 事前学習(30分)授業資料を熟読する。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。技術練習をする。			ラウ優紀子 田中秀子、他	
12	咽喉と口腔のアセスメント	演習：咽喉と口腔のヘルスアセスメントの知識を用いた看護技術について学修する。 事前学習(30分)授業資料を熟読する。 事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。技術練習をする。			ラウ優紀子 田中秀子、他	

13	アセスメントの統合	<p>演習:ヘルスアセスメント(4-12回)の知識を用いた看護技術について学修する。</p> <p>事前学習(30分)4-12回の授業内容を復習する。</p> <p>事後学習(30分)授業内容を振り返り、ノートや資料等を用いて復習する。</p>	ラウ優紀子 田中秀子, 他
14	技術テスト	<p>ヘルスアセスメント(4-12)技術テスト</p> <p>事前学習(60分)既習の内容について学修・練習し、技術テストに備える。</p> <p>事後学習(30分)試験内容を振り返り、ノートや資料等を用いて知識・技術について復習する。</p>	ラウ優紀子 田中秀子, 他
15	技術テスト	<p>ヘルスアセスメント(4-12)技術テスト</p> <p>事前学習(60分)既習の内容について学修・練習し、技術テストに備える。</p> <p>事後学習(30分)試験内容を振り返り、ノートや資料等を用いて知識・技術について復習する。</p>	ラウ優紀子 田中秀子, 他
評価	技術試験 80%、課題・授業への取り組み姿勢 20%		
課題に対する フィードバックの方法	講義や演習時に口頭、またはmanabaにて適宜フィードバックを実施		
教科書	<p>①看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント / 医療情報科学研究所編 / メディックメディア / 第1版 / ISBN:978-4-89632-781-6 ※2023年度ヘルスアセスメント学Ⅱ 指定教科書</p> <p>②ナースの精神医学 / 上島国利他 / 中外医学社 / 改訂5版 / ISBN:978-4-498-17502-0 ※2023年度精神看護学・病態学Ⅳ (精神) 指定教科書</p> <p>③最新 老年看護学 第4版 2023年版 / 水谷信子他 / 日本看護協会出版会 / ISBN:978-4-8180-2546-2' ※2023年度老年看護学・老年看護方法論 指定教科書</p>		
参考図書など	<p>①はじめてのフィジカルアセスメント / 横山美樹 / メディカルフレンド社 / 第2版 / ISBN:978-4-839-21648-1 ※2022年度ヘルスアセスメント学Ⅰ 指定教科書</p> <p>②ベイツ診察法 Bates' Guide to Physical Examination and History Taking, 13th Edition / Lynn S. Bickley・Peter G. Szilagyi・Richard M. Hoffman 日本語版監修:有岡宏子・井部俊子・山内豊明 / メディカルサイエンス・インターナショナル / 第3版 / ISBN:978-4-8157-3056-7</p>		
アクティブ・ラーニング	ヘルスアセスメントの知識を用いたスキル修得に向け、演習で看護技術を実践する。		
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行う。		
留意事項	後期の臨地実習にアセスメントスキルを役立てられるよう主体的に学修してください。		

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ナーシングスキル学 I Nursing skill I	必修	演習	3単位 (90時間)	1年後期	本田芳香、三ツ井圭子、佐々木千佳、市川砂織、 松月みどり、伊藤ふみ子、櫻井友子、黒田由香理、 坂口達哉、黒川領子	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー 一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP5)安全を保障する力					
基盤科目						
授業概要	コミュニケーション・安全管理・安楽確保・セルフケア・看護記録などに関する技術について、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学修する。また生活行動に関する看護援助技術について学修する。環境を整える、食生活と栄養摂取、排泄、活動・休息、清潔・衣生活の援助技術などに関して、安全性・安楽性・自立性・個性などに配慮し、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学び、演習において実践力を養う。					
到達目標	1)看護援助に共通する基本的知識・技術を科学的根拠に基づき学修する。 2)ボディメカニクスに基づく看護専門職としての基本的姿勢・態度を学修する。 3)安全・安楽な生活環境及び人の生活行動(食・排泄・活動と休息・清潔・衣生活)を総合的に捉えた看護援助技術を系統的に学修する。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)			担当教員	
1	ガイダンス、看護技術概説(1)	講義:看護における安全・安楽・自立の基本的考え方及び科学的根拠に基づいた看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「安全・安楽・自立」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
2	感染予防・スタンダードプリコーション①	講義:スタンダードプリコーションの考え方に基づいた感染予防の看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「スタンダードプリコーション」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
3	感染予防・スタンダードプリコーション②	演習:スタンダードプリコーションの考え方に基づいた感染予防の看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「スタンダードプリコーション」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
4	環境を整える援助技術①	講義:安全・安楽かつ効率的な看護技術を提供するためのボディメカニクスの基本、対象者の生活環境の意義及び看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「環境を整える援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
5	環境を整える援助技術②	演習:対象者の生活環境を理解し、アセスメントする方法及び看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「環境を整える援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
6	環境を整える援助技術③	演習:対象者の生活環境を理解し、アセスメントする方法及び看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「環境を整える援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
7	環境を整える援助技術④	演習:対象者の生活環境を理解し、アセスメントする方法及び看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「環境を整える援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
8	活動・休息の援助技術①	講義:活動・運動および休息・睡眠の意義を理解し、アセスメントする方法及び看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「活動・休息の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
9	活動・休息の援助技術②	演習:講義:活動・運動および休息・睡眠の意義を理解し、アセスメントする方法及び看護技術を学修する。 事前学習(15分)教科書の「活動・休息の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
10	活動・休息の援助技術③	演習:活動・運動および休息・睡眠の意義を理解し、アセスメントする方法及び看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「活動・休息の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
11	活動・休息の援助技術④	演習:活動・運動および休息・睡眠の意義を理解し、アセスメントする方法及び看護技術を学修する。 事前学習(30分)教科書の「活動・休息の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	
12	技術チェック①	上記内容より実施する技術試験に向けて、自己学修および教員の事前指導を実施する。 事前学習(60分)技術試験に向けて練習をする 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習をする。			本田芳香 他科目担当教員	

13	技術チェック②	上記内容より実施する技術試験に向けて、自己学修および教員の事前指導を実施する。 事前学習(60分)技術試験に向けて練習をする 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
14	技術試験①	上記内容より技術試験を実施する。 事前学習(60分)技術試験に向けて練習をする 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
15	技術試験②	上記内容より技術試験を実施する。 事前学習(60分)技術試験に向けて練習をする 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
16	技術術試③	上記内容より技術試験を実施する。 事前学習(60分)技術試験に向けて練習をする 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
17	技術試験④	上記内容より技術試験を実施する。 事前学習(60分)技術試験に向けて練習をする 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
18	食生活・栄養摂取への援助技術①	講義:食生活の意義及び食事に関する基本的知識(食行動・栄養摂取のメカニズム等)を学修する。 事前学習(30分)教科書の「食生活・栄養摂取への援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
19	食生活・栄養摂取への援助技術②	演習:食事に関するアセスメントについて理解し、アセスメントに基づいた具体的な看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「食生活・栄養摂取への援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
20	食生活・栄養摂取への援助技術③	演習:食事に関するアセスメントについて理解し、アセスメントに基づいた具体的な看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「食生活・栄養摂取への援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
21	食生活・栄養摂取への援助技術④	演習:食事に関するアセスメントについて理解し、アセスメントに基づいた具体的な看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「食生活・栄養摂取への援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
22	清潔・衣生活の援助技術-寝衣交換-①	講義:身体の清潔・衣生活の意義及び清潔に関する基本的な知識について学修する。 事前学習(30分)教科書の「寝衣交換の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
23	清潔・衣生活の援助技術-寝衣交換-②	演習:身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、寝衣交換・臥床患者のリネン交換の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「寝衣交換の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
24	清潔・衣生活の援助技術-寝衣交換-③	演習:身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、寝衣交換・臥床患者のリネン交換の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「寝衣交換の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
25	清潔・衣生活の援助技術-寝衣交換-④	演習:身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、寝衣交換・臥床患者のリネン交換の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「寝衣交換の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
26	清潔・衣生活の援助技術-全身清拭-①	講義:身体の清潔・衣生活の意義及び清潔に関する基本的な知識について学修する。 事前学習(30分)教科書の「全身清拭の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
27	清潔・衣生活の援助技術-全身清拭-②	演習:身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、全身清拭の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「全身清拭の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
28	清潔・衣生活の援助技術-全身清拭-③	演習:身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、全身清拭の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「全身清拭の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
29	清潔・衣生活の援助技術-全身清拭-④	演習:身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、全身清拭の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「全身清拭の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
30	清潔・衣生活の援助技術-足浴・手浴-①	講義:身体の清潔・衣生活の意義及び清潔に関する基本的な知識について学修する。 事前学習(30分)教科書の「足浴・手浴の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
31	清潔・衣生活の援助技術-足浴・手浴-②	演習:身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、足浴・手浴の看護技術について学修する。 事前学習(15分)教科書の「足浴・手浴の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員

32	清潔・衣生活の援助技術 -足浴・手浴-③	演習: 身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、足浴・手浴の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「足浴・手浴の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
33	清潔・衣生活の援助技術 -足浴・手浴-④	演習: 身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、足浴・手浴の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「足浴・手浴の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
34	清潔・衣生活の援助技術 -洗髪-①	講義: 身体の清潔・衣生活の意義及び清潔に関する基本的な知識について学修する。 事前学習(30分)教科書の「洗髪の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
35	清潔・衣生活の援助技術 -洗髪-②	演習: 身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、洗髪の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「洗髪の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
36	清潔・衣生活の援助技術 -洗髪-③	演習: 身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、洗髪の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「洗髪の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
37	清潔・衣生活の援助技術 -洗髪-④	演習: 身体の清潔状態・衣生活のアセスメントについて理解し、アセスメントに基づき、洗髪の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「洗髪の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
38	排泄の援助技術①	講義: 排泄の意義及び排泄に関する基本的知識を学修する。 事前学習(30分)教科書の「排泄の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
39	排泄の援助技術②	演習: 排泄の意義及び排泄に関する基本的な知識を理解し、アセスメントに基づいた床上排泄、おむつ交換の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「排泄の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
40	排泄の援助技術③	演習: 排泄の意義及び排泄に関する基本的な知識を理解し、アセスメントに基づいた陰部洗浄の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「排泄の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
41	排泄の援助技術④	演習: 排泄の意義及び排泄に関する基本的な知識を理解し、アセスメントに基づいた陰部洗浄の看護技術について学修する。 事前学習(30分)教科書の「排泄の援助技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習(30分)課題に取り組む、復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
42	事例に基づく統合演習①	事前に提示した事例に対し、これまで学修したスキルを統合して援助を実施する。 事前学習(60分)事例に対する援助内容を考え手順書を作成する。 事後学習(30分)統合演習により明らかとなった自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
43	事例に基づく統合演習②	事前に提示した事例に対し、これまで学修したスキルを統合して援助を実施する。 事前学習(60分)事例に対する援助内容を考え手順書を作成する。 事後学習(30分)統合演習により明らかとなった自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
44	事例に基づく統合演習③	事前に提示した事例に対し、これまで学修したスキルを統合して援助を実施する。 事前学習(60分)事例に対する援助内容を考え手順書を作成する。 事後学習(30分)統合演習により明らかとなった自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員
45	事例に基づく統合演習④ ナーシングスキル学Ⅰまとめ	事前に提示した事例に対し、これまで学修したスキルを統合して援助を実施する。 事前学習(60分)事例に対する援助内容を考え手順書を作成する。 事後学習(30分)統合演習により明らかとなった自己課題の克服に向けて復習をする。	本田芳香 他科目担当教員

評価	技術試験30%、ミニテスト20%、課題レポート50%
課題に対する フィードバックの方法	事前課題・事後課題は講義時及び演習時・manabaなどで共有を図ります。
教科書	ナーシンググラフィカ基礎看護学③/基礎看護技術Ⅱ/松尾ミヨ子他/メディカ出版/ISBN978-4-8404-7537-2
参考図書など	① 食べることで出すこと/頭木弘樹/医学書院/ISBN978-4-260-04288-8 ② 看護技術ベーシック/藤野彰子他/第2版/サイオ出版/ISBN978-4-90717-657-0 ③ 看護がみえるvol.1/基礎看護技術/医療情報科学研究所編/メディックメディア/ISBN978-4-89632-733-5 ④ 写真でわかる基礎看護技術アドバンス [Web動画付]/吉田みつ子他/新訂版/インターメディカ/ISBN978-4-89996-412-4
アクティブ・ラーニング	【演習】【プレゼンテーション】【グループワーク】
実務経験のある 教員による授業	担当教員は、看護師として臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	身体の部位の名称、姿勢や体位等の専門用語についての理解が必要となります。教科書を活用し事前・事後学習をしっかり行い、学びを整理しておくこと。看護専門職を目指す者の基本的姿勢として学習態度は重視します。



授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ナーシングスキル学Ⅱ Nursing Skill Ⅱ		必修	講義・演習	3単位 (90時間)	2年通期	佐々木千佳・櫻井友子・石橋史子・市川砂織 黒田由香理・坂口達哉・黒川領子他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP5)安全を保障する力					
基盤科目							
授業概要	侵襲を伴う診断や治療を受ける人々に対して、安全面や苦痛の緩和に配慮した根拠に基づく看護援助技術について学修する。呼吸・循環を整える技術、創傷管理技術、与薬・輸血の技術、検査に伴う援助技術、手術に伴う援助技術、救命救急処置技術、感染予防の技術、排泄の処置における援助技術、人生の最終段階における援助技術などの基礎的な知識について学修する。さらに、演習において侵襲性の高い技術を安全面に配慮して実施する。						
到達目標	1)侵襲を伴う看護援助技術があること、またその基本的知識について理解することができる。 2)侵襲を伴う看護援助技術が科学的根拠に基づくことを理解し、説明することができる。 3)侵襲を伴う看護援助技術が及ぼす患者への影響について説明することができる。 4)演習において、患者の安全・安楽に配慮し看護援助技術を実践することができる。 5)講義・演習を通して、看護師としての責任を認識し自律的に行動することができる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	ガイダンス 侵襲を伴う看護援助技術とは	科目ガイダンス、侵襲を伴う看護援助技術の総論、治療・処置時の患者の理解と看護師の役割 事前学習(15分)侵襲を伴う看護とは何かを考える 事後学習(15分)課題に取り組み復習する。				佐々木千佳 他看護学科教員	
2	感染予防を推進する技術①	講義:感染予防の意義・感染予防のための組織と役割、援助技術、医療廃棄物の取り扱い 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				渡部節子 野口京子 他看護学科教員	
3 ~ 4	感染予防を推進する技術②	演習:洗浄、消毒、滅菌、無菌操作、滅菌手袋・滅菌物の取り扱い 事前学習(30分)第2回の講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。				渡部節子 野口京子 他看護学科教員	
5	皮膚・創傷を管理する技術①	講義:皮膚・創傷を管理するための基礎知識、創傷の分類と治癒過程 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				田中秀子 他看護学科教員	
6	皮膚・創傷を管理する技術②	講義:創傷の管理、スキンケア 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				田中秀子 他看護学科教員	
7	皮膚・創傷を管理する技術③	講義:褥瘡予防とケア 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				田中秀子 他看護学科教員	
8	呼吸を楽にする技術①	講義:呼吸の生理学的メカニズム、呼吸を楽にする援助・効果的な呼吸方法・痰を喀出させる方法 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				坂口達哉 他看護学科教員	
9	呼吸を楽にする技術②	講義:吸入療法、吸引・酸素療法、ネブライザー、酸素ボンベ 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				坂口達哉 他看護学科教員	
10	体温を調整する技術①	講義:体温調節・電法 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				黒田由香理 他看護学科教員	
11 ~ 12	呼吸を楽にする技術③・体温を調整する技術②	演習:酸素吸入療法、吸引、電法の実践 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。				坂口達哉 他看護学科教員	
13	検査・治療を安全にかつ正確に行う技術①	講義:検査の援助と看護師の役割(単純X線撮影検査・超音波検査・CT・MRI検査・心電図検査) 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				市川砂織 他看護学科教員	
14	検査・治療を安全にかつ正確に行う技術③	講義:尿・便・喀痰検査・血液検査(静脈血採血・動脈血採血)・血糖測定、穿刺法、洗浄 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。				市川砂織 他看護学科教員	
15 ~ 16	検査・治療を安全にかつ正確に行う技術③	演習:簡易血糖測定、静脈血採血 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。				市川砂織 他看護学科教員	

17	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術①	講義:薬物療法と看護・与薬のための援助技術・与薬における安全管理 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	黒田由香理 他看護学科教員
18	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術②	講義:薬物療法と看護・与薬のための援助技術 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	黒田由香理 他看護学科教員
19	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術③	講義:注射のための援助技術・輸血のための援助技術 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	石橋史子 他看護学科教員
20	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術④	講義:注射のための援助技術・輸血のための援助技術 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	石橋史子 他看護学科教員
21 ~ 22	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術⑤	演習:筋肉内注射、皮下注射 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。	黒田由香理 他看護学科教員
23 ~ 24	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術⑥	演習:点滴静脈内注射、輸血の管理 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。	石橋史子 他看護学科教員
25	様々な対象における看護援助技術①	講義:虚弱高齢者の移送技術 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
26	様々な対象における看護援助技術②	講義:妊婦・褥婦の観察について 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	山崎圭子 他看護学科教員
27 ~ 28	様々な対象における看護援助技術③	演習:虚弱高齢者の移送技術 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
29 ~ 30	様々な対象における看護援助技術④	演習:妊婦・褥婦の観察について 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。	山崎圭子 他看護学科教員
31	食事・栄養摂取を促す技術①	講義:食事に関する生理学的メカニズム・食事と栄養に関する基礎知識 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
32 ~ 33	食事・栄養摂取を促す技術②	講義:栄養状態のアセスメント・食事・栄養に関する援助の実際、経管栄養法 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
34	排泄を促す技術①	講義:排尿・排便の生理的メカニズム・排尿・排便のニーズのアセスメント 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳、 東村志保 他看護学科教員
35	排泄を促す技術②	講義:排尿・排便の援助、排泄用具の正しい知識と取り扱い、導尿、膀胱留置カテーテル、浣腸、摘便 事前学習(30分)教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習(30分)課題に取り組み復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
36 ~ 38	食事・栄養摂取を促す技術③	演習:虚弱高齢者への食事の援助、経管栄養法 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
39 ~ 40	排泄を促す技術③	演習:虚弱高齢者への排泄の援助 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
41 ~ 44	排泄を促す技術④	演習:導尿、摘便、浣腸 事前学習(30分)該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習(30分)自己の課題を明確にし、復習する。	ラウ優紀子 佐々木千佳 東村志保 他看護学科教員
45	まとめ	科目のまとめを行う 事前学習 特に課さないが、本講義資料をすべて持参する。 事後学習 各単元の復習を行う。	佐々木千佳 他看護学科教員
評価	①定期試験50%(前期期末試験)、②課題・小テスト45%(前期・後期実施)、それぞれ6割以上の得点取得を要する ②演習への参加態度5%		
課題に対するフィードバックの方法	講義・演習時やmanabaなどで共有する。		
教科書	基礎看護技術Ⅱ ナーシンググラフィカ 松尾ミヨ子他 ISBN:978-4-8404-7537-2 老年看護学 ヌーベルヒロカワ(老年看護学で購入)		
参考図書など	講義・演習の中で適宜紹介する。		
アクティブ・ラーニング	講義・演習の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。		
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行う。		
留意事項	各演習後、次の単元で小テストを行う		

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ナーシングプロセス I Nursing Process I		必修	講義	1単位 (30時間)	2年前期	本田芳香、松月みどり、市川砂織、 黒田由香里、黒川領子、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力					
基盤科目							
授業概要	看護の対象となる人の個性に配慮した看護を提供するために必要な看護過程について学修する。対象となる人を全人的に理解するために必要な情報を収集し、その情報を分析・解釈した上で看護上の課題を導き出し、安全性・安楽性・自立性・個性などに配慮して看護計画を立案し、計画に基に看護援助を実施して評価する一連のプロセスについて学修する。						
到達目標	1)看護の対象となる人が病の体験をすることに関心を向け、看護師自身の気づきを通して、対象を全人的に理解する。 2)看護実践の基盤となる諸理論より、看護の系統的思考プロセスを学修する。 3)系統的思考プロセスを通して、自己課題を振り返る習慣を身につける。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	科目ガイダンス 看護実践の基盤となる諸理論より 看護を展開する方法	看護実践の基盤となる諸理論、看護の対象となる人の理解、看護の展開方法について学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香	
2	看護の対象となる人が病を体験することの意味と全人的理解(1)	看護の対象となる人に関心を向け、気づきを通して全人的理解について学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香	
3	看護の対象となる人が病を体験することの意味と全人的理解(2)	看護の対象となる人に関心を向け、気づきを通して全人的理解について学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
4	看護を展開する系統的思考プロセス(1) -呼吸-	看護の対象となる人に関心を向け、気づきを通して全人的理解について学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
5	看護を展開する系統的思考プロセス(2) -呼吸-	病の体験に関心を向け、気づきを通して対象の全人的理解について学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
6	看護の対象となる人の全人的理解(3) -呼吸-	病の体験に関心を向け、気づきを通して対象の全人的理解について学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
7	看護を展開する系統的思考プロセス(4) -呼吸-	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
8	看護を展開する系統的思考プロセス(5) -呼吸-	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
9	看護を展開する系統的思考プロセス(6) -呼吸-	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
10	看護を展開する系統的思考プロセス(1) -活動-	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
11	看護を展開する系統的思考プロセス(2) -活動-	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	
12	看護を展開する系統的思考プロセス(3) -活動-	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照				本田 芳香 他看護学科教員	

13	看護を展開する系統的思考プロセス(4) —活動—	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照	本田 芳香 他看護学科教員
14	看護を展開する系統的思考プロセス(5) —活動—	看護を展開するための系統的思考プロセスを学修する。 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照	本田 芳香 他看護学科教員
15	看護を展開する系統的思考プロセス(6) —活動—	看護の対象となる人の全人的理解及び看護を展開する方法のまとめ 事前学習(30分)詳細はガイダンス資料参照 事後学習(30分)詳細はガイダンス資料参照	本田 芳香 他看護学科教員
評価		課題レポート60% プレゼン20% ピア評価20%	
課題に対するフィードバックの方法		課題に対して適宜フィードバックする	
教科書		なし	
参考図書など		①愛深き淵より/星野富弘/新装版/ISBN978-4-0540-6808-7 ②症状別の看護過程/小田正枝/照林社/第2版/ISBN:978-4-7965-2543-5 ③看護がみえるvol.4 看護過程の展開/医療情報科学研究所編/メディックメディア/第1版/ISBN: 978-4-8963-2801-1 ④疾患別の看護過程/任和子/照林社/第1版//ISBN:978-4-7965-2522-0	
アクティブ・ラーニング		求められる学修レベルを事前学修課題にてイメージをし授業に臨む。	
実務経験のある教員による授業		看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行います。	
留意事項		本科目は、看護を展開するための基本となる考え方及びその展開方法を学修する重要な科目である。臨床判断思考を主体的に学ぶ習慣をつけていくためには、事前・事後学修、資料などをよく読み授業に臨む。学修者としての基本的姿勢は重視する。	

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
ナーシングプロセスⅡ Nursing Process Ⅱ	必修	講義・演習	2単位 (90時間)	3年前期	田中秀子・伊藤ふみ子・佐々木千佳・岡多恵・ 陶山克洋・塚原ゆかり・松島泰恵・松永雄至 他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSC2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP5)安全を保障する力					
基盤科目						
授業概要	ナーシングプロセスⅠで習得した思考を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における対象者への健康問題・課題への看護実践に活用できる能力を身に着ける					
到達目標	1) 紙上事例患者の健康上の課題に対して臨床判断に必要な病態や症状の理解を深めることで、必要な看護に気づき、言語化することができる。 2) 紙上事例患者の健康障害の程度、生活背景、価値観やセルフケア能力をアセスメントし、健康上の課題を記述することができる。 3) 紙上事例患者の健康上の課題に対して、優先順位を考えながら患者の背景を考慮した看護計画の立案をすることができる。 4) 紙上事例患者に必要な看護実践を展開し、ケアの評価をすることができる。 5) 紙上事例患者の看護展開において、継続看護の視点を持ち患者の社会復帰を目指した看護を述べるることができる。 6) 対象者の発達段階や看護活動の場の違いによる看護展開の特徴について述べるることができる。 7) 授業を通して、自己の考え他者の考えを尊重しながら、効果的な意見交換ができ発表することができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員			
1	ナーシングプロセスⅡガイダンス 「ナーシングプロセス」とは（振り返り）	授業ガイダンス、「ナーシングプロセス（看護過程）」とは（振り返り） 事前学習（30分）ナーシングプロセスⅠ、ヘルスアセスメントⅡの授業を復習しておく。 事後学習（60分）事前課題に取り組む。	田中秀子			
2	「ナーシングプロセス（看護過程）」 とは振り返り	「ナーシングプロセス（看護過程）」とは（振り返り） 事前学習（30分）ナーシングプロセスⅠ、ヘルスアセスメントⅡの授業を復習しておく。 事後学習（60分）事前課題に取り組む。	伊藤ふみ子			
3	周手術期患者のナーシングプロセス演習① 事例A	事例A: 事例患者を理解するためのグループワーク: 気づきを通して全人的理解について学修する。 事前学習（30分）事例Aを通読し、気づいた点や患者像をまとめておく。 事後学習（60分）グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
4	周手術期患者のナーシングプロセス演習② 事例A	事例A: グループワーク・プレゼンテーションを通して事例患者の看護に必要な知識を確認する（疾患・病態・治療）① 事前学習（30分）プレゼンテーションの準備をしておく 事後学習（60分）グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
5	周手術期患者のナーシングプロセス演習③ 事例A	事例A: グループワーク・プレゼンテーションを通して事例患者の看護に必要な知識を確認する（疾患・病態・治療）② 事前学習（30分）プレゼンテーションの準備をしておく 事後学習（60分）グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
6	周手術期患者のナーシングプロセス演習④ 事例A	事例A: 事例患者の全体像の把握①（グループワーク・演習）: 関連図を作成する 事前学習（30分）事例Aの情報の関連図を作成しておく。 事後学習（60分）グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
7	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑤ 事例A	事例A: 事例患者の全体像の把握②（グループワーク・演習）: 関連図の作成、関連図の全体像を記述する 事前学習（30分）事例Aの情報の関連図の作成、関連図の全体像を記述しておく。 事後学習（60分）グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
8	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑥ 事例A	事例A: 事例患者の全体像の把握③（グループワーク・演習）: 関連図から健康上の課題（看護問題）を明らかにし看護問題リストを作成する 事前学習（30分）事例Aの情報の関連図と関連図の全体像から健康上の課題を記述しておく。 事後学習（60分）グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
9	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑦ 事例A	事例A: 事例患者の全体像の把握④（グループワーク・演習）: 健康上の課題（看護問題）の優先順位を考え、看護問題リストを作成する 事前学習（30分）事例Aの情報の関連図と関連図の全体像から優先順位を考えて看護問題リストを作成しておく 事後学習（60分）グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
10	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑧ 事例A	事例A: 事例患者の全体像の把握⑤（プレゼンテーション）: 関連図・看護問題リスト 事前学習（30分）事例Aの情報の関連図と関連図の全体像から看護問題リストの見直しをしておく。 事後学習（60分）グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
11	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑨ 事例A	事例A: 事例患者への科学的根拠に基づく看護実践①（演習・グループワーク）: 看護計画の立案 事前学習（30分）事例Aの問題リストから優先順位の高い看護問題について看護計画を立案しておく。 事後学習（60分）グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			
12	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑩ 事例A	事例A: 事例患者への科学的根拠に基づく看護実践②（演習・グループワーク）: 看護計画の立案 事前学習（30分）事例Aの問題リストから優先順位の高い看護問題について看護計画を立案しておく。 事後学習（60分）グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員			

13	周手術期患者のナースングプロセス演習① 事例A	事例A:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践③(演習・グループワーク):看護計画の実施と評価 事前学習(30分)看護計画が実施できるように援助計画書(手順)を立案しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
14	周手術期患者のナースングプロセス演習② 事例A	事例A:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践④(演習・グループワーク):看護計画の実施と評価 事前学習(30分)看護計画が実施できるように援助計画書(手順)を修正しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
15	周手術期患者のナースングプロセス演習③ 事例A	事例A:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践⑤(演習・グループワーク):看護計画の実施と評価 事前学習(30分)看護計画が実施できるように援助計画書(手順)を修正しておく。 事後学習(60分)看護計画の評価とSOAP記録を記載しておく。	田中秀子 他看護学科教員
16	周手術期患者のナースングプロセス演習④ 事例Aまとめ	事例A:周手術期患者のナースングプロセス演習のまとめ 事前学習(30分)看護計画の評価とSOAP記録を見直し、修正しておく。 事後学習(60分)事例Aのナースングプロセス演習をふりかえり、まとめておく。	田中秀子 他看護学科教員
17	慢性疾患患者のナースングプロセス演習① 事例B	事例B:慢性期疾患をもつ患者のナースングプロセス演習のすすめかた 事前学習(30分)事例Aのナースングプロセス演習の復習をしておく。 事後学習(60分)事前課題に取り組む。	田中秀子 他看護学科教員
18	慢性疾患患者のナースングプロセス演習② 事例B	事例B:事例患者を理解するためのグループワーク:気づきを通して全人的理解について学習する 事前学習(30分)事例Bを通読し、気づいた点や患者像をまとめておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
19	慢性疾患患者のナースングプロセス演習③ 事例B	事例B:グループワーク・プレゼンテーションを通して事例患者の看護に必要となる知識を確認する(疾患・病態・治療)① 事前学習(30分)事例Bの病態・治療について調べプレゼンテーションできるように準備をしておく。 事後学習(60分)グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
20	慢性疾患患者のナースングプロセス演習④ 事例B	事例B:グループワーク・プレゼンテーションを通して事例患者の看護に必要となる知識を確認する(疾患・病態・治療)② 事前学習(30分)事例Bの病態・治療について調べプレゼンテーションできるように準備をしておく。 事後学習(60分)グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
21	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑤ 事例B	事例B:事例患者の全体像の把握①(グループワーク・演習):関連図を作成し、患者の全体像を記述する 事前学習(30分)事例Bの情報の関連図を作成しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
22	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑥ 事例B	事例B:事例患者の全体像の把握②(グループワーク・演習):関連図の作成し、患者の全体像を記述する 事前学習(30分)事例Bの関連図の作成、関連図の全体図を記述し、健康上の課題を記載しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
23	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑦ 事例B	事例B:事例患者の全体像の把握③(グループワーク・演習):関連図から健康上の課題(看護問題)を明らかにし看護問題リストを作成する 事前学習(30分)事例Aの情報の関連図と関連図の全体像から優先順位を考え看護問題リストを作成しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
24	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑧ 事例B	事例B:事例患者の全体像の把握④(プレゼンテーション):関連図・看護問題リスト 事前学習(30分)事例Bの情報の関連図と関連図の全体像から看護問題リストの見直しをしておく。 事後学習(60分)グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
25	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑨ 事例B	事例B:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践①(演習・グループワーク):看護計画の立案 事前学習(30分)事例Bの問題リストから優先順位の高い看護問題について看護計画を立案しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
26	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑩ 事例B	事例B:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践②(演習・グループワーク):看護計画の立案 事前学習(30分)事例Bの問題リストから優先順位の高い看護問題について看護計画を立案しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
27	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑪ 事例B	事例B:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践③(演習・グループワーク):看護計画の実施と評価 事前学習(30分)看護計画が実施できるように援助計画書(手順)を立案しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
28	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑫ 事例B	事例B:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践④(演習・グループワーク):看護計画の実施と評価 事前学習(30分)看護計画が実施できるように援助計画書(手順)を修正しておく。 事後学習(60分)グループワークで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	田中秀子 他看護学科教員
29	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑬ 事例B	事例B:事例患者への科学的根拠に基づく看護実践⑤(演習・グループワーク):看護計画の実施と評価(計画の修正) 事前学習(30分)看護計画が実施できるように援助計画書(手順)を修正しておく。 事後学習(60分)看護計画の評価とSOAP記録を記載しておく。	田中秀子 他看護学科教員
30	慢性疾患患者のナースングプロセス演習⑭ 事例Bまとめ	事例B:慢性疾患患者のナースングプロセス演習のまとめ 事前学習(30分)看護計画の評価とSOAP記録を記載を見直ししておく。 事後学習(60分)事例Bのナースングプロセス演習をふりかえり、まとめておく。	田中秀子 他看護学科教員
31	周産期にある人々の看護展開①	妊娠期を中心にウエルネスの視点に基づいたナースングプロセスの展開 母性看護におけるウエルネスとは。妊娠期事例を読み情報を分類する 事前学習(60分)事例を分析・解釈するために必要な知識を整理しておく。レポート課題manabaに提出 事後学習(30分)事例の情報をワークシートに追記する。	松島泰恵 他看護学科教員
32	周産期にある人々の看護展開②	妊娠期を中心にウエルネスの視点に基づいたナースングプロセスの展開 妊娠中期の生理的な経過とアセスメントについて 事前学習(60分)妊娠中期事例の一般状態・妊娠経過は順調か?、胎児の健康状態・発育は良好か?、アセスメントを提出 manaba 提出 事後学習(30分)事例のアセスメント・今後の援助の方向性をワークシートに追記する。	松島泰恵 他看護学科教員
33	小児喘息事例の看護展開① 関連図の作成	講義・演習:小児喘息事例の看護過程の展開(演習にて「様式4.関連図」に情報を書き上げる30分一講義で関連図を説明一関連図の配置やルールを学ぶ) 事前学習(30分)小児喘息事例の関連図を作成する 事後学習(60分)講義を踏まえ、自分の関連図を修正し、関連図を完成させ、看護問題を抽出する	松永雄至 他看護学科教員

34	小児喘息事例の看護展開② 看護問題の抽出と看護計画立案	講義・演習：小児喘息事例の看護過程の展開(演習にて「様式5.看護計画の立案」に具体策を記述する30分 →講義で具体策(T-P)を説明→実践できるレベルの具体策を学ぶ) 事前学習(60分)事例の優先順位の高い看護問題について看護目標を設定し、計画の具体策をあげる 事後学習(60分)講義を踏まえ、自分の看護計画を修正し、完成させる	松永雄至 他看護学科教員
35	小児喘息事例の看護展開③ 関連図から看護計画案の発表	演習：小児喘息事例の関連図から看護計画案の発表(グループ毎) 事前学習(60分)事例の看護計画の具体策について、どのような技術が必要か考え、T-Pを5W1Hで記述する(見直しする) 事後学習(60分)講義を踏まえ、自分の看護計画を修正し、完成させる	松永雄至 他看護学科教員
36	臨床場面での子どもの安全と安全 ための配慮(事前準備・環境整備) について学ぶ	講義・演習：演習にて「事前準備、環境整備の項目」を考え、記述する30分 →講義で説明し看護計画に反映させる。 事前学習(30分)配布資料を熟読する。 事後学習(30分)上記について復習する。	松永雄至 他看護学科教員
37	臨床に必要な小児看護技術と OSCEによる展開	講義・演習：小児看護技術のテキストを参考に、看護技術(①VS測定・全身状態の観察、②身体の清潔ケア、③乳児のオムツ交換・衣類の選択・着脱、④点滴刺入時の介助・管理、⑤コミュニケーション・遊び・学習支援、⑥呼吸・循環管理(薬物・酸素吸入・吸引)、⑦環境整備と退院後の生活指導)の項目について、グループで知識を整理し、「事前課題シート」に記述する60分 →講義で補足説明し看護計画に反映させる。 事前学習(60分)配布資料を熟読し、自分なりにまとめる。 事後学習(60分)配布資料を参照して、看護計画(事前準備、環境整備)に反映させて追加記述する。	松永雄至 他看護学科教員
38	精神疾患をもつ患者の看護展開 ①	看護者の治療的関わり的重要性、患者-看護師関係の発展過程、自己の振り返りの意義と方法、プロセスレコードの活用方法 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p15-22を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	陶山克洋 他看護学科教員
39	精神疾患をもつ患者の看護展開 ②	【ロールプレイング】および観察学習、プロセスレコードの記述と【振り返り】 事前学習(30分)面接技法、方法を計画してくる。 事後学習(60分)講義中に行ったロールプレイングにおけるプロセスレコードを作成し、提出する【個人課題】	陶山克洋 他看護学科教員
40	健康上の課題をもちながら在宅で 生活する人々の看護展開①	在宅における看護過程の特徴 【演習・グループワーク】事例がん療養者における看護過程の展開。情報整理とアセスメント 事前学習(30分)「在宅看護方法論」の教科書(在宅療養を支える技術 メディカ出版)P22-31を事前に読み看護過程をイメージし、ポイントを整理する。 事後学習(60分)在宅における看護過程の展開の特徴を説明できるよう考えをまとめる。	塚原ゆかり 他看護学科教員
41	健康上の課題をもちながら在宅で 生活する人々の看護展開②	【演習・グループワーク】事例がん療養者における看護過程の展開。アセスメントから情報の統合、看護問題(課題)の明確化、訪問看護計画の立案。 事前学習(30分)ICFについて復習をしてくる。 事後学習(60分)事例がん療養者の看護過程の展開における情報整理とアセスメント、情報の統合、看護問題(課題)の明確化、訪問看護計画を振り返り、まとめる。 ●授業当日16:30までに、グループで作成した看護過程の記録を提出する。	塚原ゆかり 他看護学科教員
42	健康上の課題をもちながら在宅で 生活する人々の看護展開③	【演習・グループワーク】事例神経難病療養者における看護過程の展開。情報整理とアセスメント、アセスメントから情報の統合。事例は、ALS療養者「在宅看護方法論」の教科書(在宅療養を支える技術 メディカ出版)P220-223。 事前学習(30分)事例を事前に読み、在宅における看護過程をイメージし、様式2、様式3にポイントを整理する。 事後学習(60分)事例神経難病療養者の看護過程の展開における情報整理とアセスメント、情報の統合を振り返り、まとめる。	塚原ゆかり 他看護学科教員
43	健康上の課題をもちながら在宅で 生活する人々の看護展開④	【演習・グループワーク】事例神経難病療養者における看護過程の展開。看護問題(課題)の明確化、訪問看護計画の立案。 事前学習(30分)事例を事前に読み、在宅における看護過程をイメージし、様式2、様式3にポイントを整理する。 事後学習(60分)事例神経難病療養者の看護過程の展開における看護問題(課題)の明確化、訪問看護計画を振り返り、まとめる。 ●授業当日16:30までに、グループで作成した看護過程の記録を提出する。	塚原ゆかり 他看護学科教員
44	ナーシングプロセスⅡまとめ①	授業のまとめ 事前学習(30分)今までの講義・演習資料を読み返しておく。 事後学習(60分)ナーシングスキルⅡの記録全体の見直し。	田中秀子 他看護学科教員
45	ナーシングプロセスⅡまとめ②	授業のまとめ 事前学習(30分)今までの講義・演習資料を読み返しておく。 事後学習(60分)到達目標の確認と復習	田中秀子 他看護学科教員

評価	ナーシングプロセスの事例展開レポート60%(事例 A-30%、事例 AB-30%)、演習(グループワーク、事例 A Bのシミュレーション演習、事例 AB看護技術演習)への取り組み 10%、その他の提出物30%
課題に対する フィードバックの方法	講義時や演習時に口頭、またはmanablaにて適宜フィードバックを実施
教科書	1. ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術(3年次の「在宅看護方法論」で使用している教科書)/臺有桂他/メディカ出版/ISBN:978-4-8404-7544-0【第40~43回講義で利用】
参考図書など	1)看護がみえるvol.4 ナーシングプロセスの展開/医学情報科学研究所編/メデックメディア/第1版/ISBN:978-4-89632-801-1 2)基礎看護技術Ⅰ/茂野かおる、他/医学書院/第19版/ISBN:978-4-260-04992-4 3)基本から学ぶナーシングプロセスと看護診断/ロザリンド・アルファロー・ルフィーヴァ/医学書院/第7版/ISBN:978-4-260-01689-6
アクティブ・ラーニング	本授業はディスカッション、グループワーク、シミュレーション教育を取り入れて実施する。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行う。
留意事項	本科目は、ナーシングプロセスⅠ、ヘルスアセスメントⅡとの関連が深く、また全ての看護領域における看護実践の方法論として用いられるため、事前・事後学修、資料などをよく読み学修を積み重ねて行けるように自ら取り組む姿勢を重視する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
地域・在宅看護学 Community Health and Home Care Nursing	必修	講義	1単位 (30時間)	1年後期	小林 紀明・牛田貴子	○
ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力					
基盤科目	DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力 DP6)看護の発展に対応する力					
授業概要	地域で生活する人々の健康の保持増進や生活の質の向上を目指して展開される地域看護について、基本的な考え方、活動の場、活動方法、看護職の役割と連携の基本について学修する。また、在宅看護の理念・目的、在宅看護の背景、変遷など在宅看護学の基本的概念や歴史について学ぶ。さらに、現行の地域・在宅看護に関わる諸制度を理解し、看護の場、活動内容、多職種・多機関との連携・協働の必要性を学習することにより、少子高齢化社会において、地域で活動する看護職に対する社会のニーズと果たす役割を理解する。					
到達目標	1)人々の生活や健康と環境の関係および健康課題の変遷に応じた地域看護活動の歴史を理解できる。 2)地域看護の役割や目的、活動に必要な知識と活動方法の基本を理解できる。 3)在宅看護のこれまでの発展の経緯と、日本の社会的変化や在宅医療の現状について理解できる。 4)在宅看護活動の背景となる諸制度や法的基盤について理解できる。 5)地域包括ケアシステムと多職種・多機関連携の必要性について理解できる。 6)地域・在宅看護に求められる社会のニーズと、看護活動を担う看護専門職の役割を理解できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	地域・在宅看護とは	教科書B:第1部1-01～04 生活の場での看護、地域包括ケアシステムと地域看護、地域看護の定義と概念、看護教育における位置づけ 事前学習(30分):現在自分が住んでいる地域のホームページや広報資料(広報、地区だより、議会だより、福祉・教育関係だよりなど)を読む 事後学習(30分):レポート課題1 自分の住む地域を知る				牛田 貴子
2	地域看護の活動の場と看護職の役割	教科書B:第1部1-05～08 地域看護の基本的考え方、歴史、活動の場、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題1 自分の住む地域を知る				牛田 貴子
3	健康の関連要因	教科書B:第1部2-01～04 健康の規定因子、健康の捉え方、健康と生活・環境、社会的決定要因と健康格差 教科書A:1-2 地域・在宅看護の背景 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題2 自分の住む地域を地域視診(地区踏査)する				牛田 貴子
4	対象理解のための基本的視点(個人、生活者)	教科書B:第1部3-01、03 地域看護の対象としての個人、対象を生活者として捉える 教科書A:1-1 地域と生活 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題2 自分の住む地域を地域視診(地区踏査)する				牛田 貴子
5	対象理解のための基本的視点(家族のとらえ方)	教科書B:第1部3-02 家族の多様性と家族のライフサイクル 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題3 事例の家族を理解する				牛田 貴子
6	対象理解のための基本的視点(家族の健康)	教科書B:第1部3-02 家族の発達と健康 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題3 事例の家族を理解する				牛田 貴子
7	生活の場である「地域」を理解するための基本的視点	教科書B:第1部4-01～04 対象者の生活の場としての「地域」、地域の機能、包括的なケアシステムを担う地域と支える資源 地域看護方法論(2年後期)の導入 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題4 ICFモデルで事例を解釈する				牛田 貴子
8	在宅看護の概念・歴史	在宅看護の概念とICF、在宅看護の歴史と訪問看護の歴史 事前学習(60分):授業シラバスを熟読し、講義全体の内容と流れを理解する。教科書①P16～51、P164～165(ICF)を読んでくる 事後学習(60分):国際機能分類(ICF)モデル図が示す意味を説明する				小林 紀明
9	在宅医療とその対象者を取り巻く社会全体の変化とその影響	在宅療養者の対象者の特徴、在宅における家族の捉え方、少子高齢多死社会と在宅看護 事前学習(60分):教科書P56～86を読んでくる。少子高齢多死社会の根拠について調べる 事後学習(15分):在宅看護の特徴と家族支援について多角的に説明する				小林 紀明
10	日本の医療及び在宅医療の状況	日本の医療事情、在宅医療と診療報酬 事前学習(60分):現代の医療事情(在宅医療に関連した政策や課題)について調べる 事後学習(30分):診療報酬と介護報酬の違いについて説明する				小林 紀明



11	在宅看護における医療保険制度・介護保険制度・訪問看護制度	医療保険制度、介護保険制度、訪問看護制度 事前学習(30分):教科書P145～161、P198～212を読んでくる 事後学習(60分):介護保険制度による訪問看護の流れをまとめ、訪問看護ステーションの経営と管理について説明する	小林 紀明
12	在宅ケアを支える仕組みや制度、社会資源	各種法律や制度と社会資源、ICTの活用 事前学習(20分):教科書P162～191を読んでくる。在宅医療におけるICTの活用について調べる 事後学習(60分):在宅ケアを支える仕組みや制度、社会資源について具体的に説明する	小林 紀明
13	地域包括ケアシステムと多職種連携	地域包括ケアシステムと多職種・多機関との連携、ケアマネジメント【グループワーク・ディスカッション】 事前学習(60分):教科書P88～139を読んでくる 事後学習(60分):看護職における多職種連携に必要な能力について、具体例を挙げてまとめる	小林 紀明
14	在宅看護における安全と健康危機管理、超高齢社会における地域・在宅看護の課題と対策	日常生活における安全と災害時の健康危機管理、超高齢社会における地域・在宅看護の課題と対策 事前学習(30分):教科書P194～205、P234～249を読んでくる。在宅看護に影響する社会情勢について調べる 事後学習(45分):在宅看護活動の現状と課題について他者の意見を踏まえ、自分の考えをまとめる	小林 紀明
15	海外の在宅看護の動向と日本との比較 【総括】	日本と海外の在宅在宅サービスや制度の比較 事前学習(60分):教科書P278～291を読んでくる 事後学習(60分):日本と海外における在宅サービスや制度の違いについて説明する。第8回から第15回までの講義内容を復習する	小林 紀明

評価	レポート課題×4[40%]、筆記試験[60%]
課題に対するフィードバックの方法	授業内、掲示等で、全体の講評を提示する。
教科書	教科書A:臺 有桂ほか、ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア、メディカ出版(2022年版) ISBN:978-4-8404-7543-3【第1回～15回まで適宜使用する】 教科書B:岸恵美子ほか、看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護、中央法規、2022、ISBN:978-4-8058-8433-1【第1回～7回まで使用する】
参考図書など	・厚生労働統計協会:国民衛生の動向、保険と年金の動向、国民の福祉と介護の動向(各最新号) ・勤草書房:二木 立(2017) 地域包括ケアと福祉改革 ・押川真紀子監修、新訂版 写真でわかる 訪問看護アドバンス、インターメディカ(2020)
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション 教科書のQRコードから無料のアプリケーションをダウンロードし、講義の中で各自のスマートフォンを使って、指示された視聴覚教材にアクセスし、データを視聴する(→「メディカAR」の使い方は講義で説明する)
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	毎回、リアクションペーパーを提出する(目的:授業の質の向上、疑問の解消、出席の確認)。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
生涯発達看護論 Growth and Development Nursing	必修	講義	1単位 (30時間)	1年後期	松月 みどり、渡邊真理、田中秀子、渡部節子、片山典子、ラウ優紀子、佐々木千佳	○
ナンバリングコード	HNSC1		オフィスアワー			
本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける						
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
基盤科目						
授業概要	人の一生は発達のプロセスである。人は発達し続ける存在であることを踏まえて、心身の発達、人格の成熟、および発達段階における課題に関する基本的知識を修得するとともに、看護を行う上で必要となる対象とその家族の生活と健康課題について学修する。					
到達目標	1)看護の対象としての人について、自己の考えを述べることできる。 2)人の成長発達と身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。 3)ライフサイクルに基づいた人の発達段階や課題を説明できる。 4)人の成長発達の特徴と特有な健康問題と看護について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	看護の対象としての人について	コースガイド、看護の対象としての人間、人間としての一生とは、存在した時代や社会の影響 事前学習(30分):シラバスを読み科目の授業概要と到達目標を理解する 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				松月みどり
2	生涯発達の概念と理論	エリクソン、ピアジェ、生涯学習(レビンソン)などについて 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				松月みどり
3	小児期の発達・課題と支援	新生児から学童期の発達・課題と支援について 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				石川真理子
4	思春期・青年期の心理社会的な発達・課題と支援	思春期・青年期の心理社会的な発達と特徴、アイデンティティの形成、認知の特徴と傾向 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				片山典子
5	青年期から成人期の心理社会的な発達・課題と支援	青年期・成人期の心理社会的な発達と特徴、自己概念の形成、青年期・成人期の自殺・うつ病、予防・ストレス対策 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				片山典子
6	家族形成期の発達・課題と支援	妊娠、出産、家族形成の発達・課題と支援について 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				山崎圭子
7	青年期の発達・課題と支援	青年期の形態・機能的側面の発達や心理社会的な発達と課題 職業選択とニート、晩婚・非婚化 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				渡部節子
8	壮年・中年期の発達・課題と支援	壮年期・中年期の形態・機能的側面や心理社会的な発達と課題 結婚 出産 子育て 働き盛り 仕事とストレス 生活習慣病と仕事 更年期 晩婚・非婚化 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				渡邊真理
9	向老期の発達・課題と支援	向老期の形態・機能的側面や心理社会的な発達と課題(親の介護と看取り、喪失体験、定年退職、アイデンティティの再編) 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				田中秀子
10	老年期の発達・課題と支援(1)	高齢者の定義・超高齢社会の到来 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				ラウ優紀子
11	老年期の発達・課題と支援(2)	高齢者医療の課題と重要性、老年看護への期待 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				ラウ優紀子
12	老年期の発達・課題と支援(3)	「老いる」ということ、老いを生きるということ、生活史 年看護の成り立ち、老年看護の役割 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる				ラウ優紀子

13	老年期のまとめ	高齢者に関するテーマについてグループワーク・発表 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる	松月みどり ラウ優紀子
14	看護管理学の概論	すべての発達段階にある人々にケアを実施する仕組みについて 事前学習(30分):講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分):授業内容をノートにまとめる	松月みどり
15	キャリア発達について	キャリア発達の理論 キャリア支援 事前学習(30分):これまでの講義資料を振り返り、る準備をする 事後学習(60分):講義全体を振り返り、学習成果をノートにまとめる	松月みどり

評価	定期試験60%、提出物40%(講義後のリフレクションペーパー、レポート等を含む)、授業への参加姿勢で評価する
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	看護のための人間発達学 第5版 医学書院 ISBN:978-4-260-02875-2 老年看護学 概論と看護の実践 第6版 ヌーベルヒロカワISBN 978-4-86174-071-8
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	グループワークを取り入れ、ワールドカフェ方式により発表を行う
実務経験のある 教員による授業	該当なし
留意事項	本講義は、今後の成人・小児・母性・老年・精神看護学や看護学実習の学習の基盤となるものである。学習を積み重ねられるよう、ノートの作成を推奨する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護倫理 Nursing Ethics	必修	講義・演習	1単位 (30時間)	3年前期	本田芳香	○
ナンバリングコード	HNSB2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP2) エビデンスに基づく実践力 DP4) チームで連携し協働する力					
基盤科目						
授業概要	看護の職業倫理を看護の実践に結びつけて学修する。看護の歴史と看護の職業倫理、人間の尊厳、人権、アドボカシー、正義の倫理、ケアの倫理など看護倫理の基本概念について学ぶとともに、看護師の倫理綱領や倫理の諸規定とその変遷、活用方法について学修し、医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察する。また遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、アクティブ・ラーニングを活用し、最良の判断を導く過程について学修する。以上の学びを通して、生涯にわたり倫理的感性を培っていく内容とする。					
到達目標	1) 看護倫理となる基本的知識と倫理の諸規定とその変遷を説明できる。 2) 看護倫理のアプローチについて説明できる。 3) 看護の職業倫理として基本概念について説明できる。 4) 看護師の倫理綱領とその活用方法について説明できる。 5) 医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察できる。 6) 遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、最良の判断を導く過程について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	看護倫理の基本的知識	看護倫理の基礎となる知識及び歴史的推移について学修する。 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
2	看護倫理綱領と活用方法(1)	対象者を中心とした看護について、看護倫理綱領により専門職倫理を学修する。 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
3	看護倫理綱領と活用方法(2)	対象者を中心とした看護について、看護倫理綱領により専門職倫理を学修する。 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
4	看護倫理のアプローチ	徳の倫理、生命倫理の原理・原則、ケアの倫理について学修する。 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
5	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(1)	【グループワーク】倫理的ジレンマを抱えた事例分析・思考のプロセス 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
6	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(2)	【グループワーク発表】事例に対する考え方のプロセスとその根拠 討論① 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
7	看護実践上の倫理的課題&倫理的課題へのアプローチ(3)	【グループワーク】倫理的ジレンマを抱えた事例分析・思考のプロセス 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
8	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(4)	【グループワーク発表】事例に対する考え方のプロセスとその根拠 討論② 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
9	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(5)	【グループワーク】倫理的ジレンマを抱えた事例分析・思考のプロセス 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
10	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(6)	【グループワーク発表】事例に対する考え方のプロセスとその根拠 討論③ 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
11	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(7)	【グループワーク】倫理的ジレンマを抱えた事例分析・思考のプロセス 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香
12	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(8)	【グループワーク発表】事例に対する考え方のプロセスとその根拠 討論④ 事前学習(15分): ガイダンス資料参照 事後学習(15分): 復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する				本田芳香

13	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(9)	【グループワーク】倫理的ジレンマを抱えた事例分析・思考のプロセス 事前学習(15分):ガイダンス資料参照 事後学習(15分):復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する	本田芳香
14	看護実践上の倫理的概念&倫理的課題へのアプローチ(10)	【グループワーク発表】事例に対する考え方のプロセスとその根拠 討論⑤ 事前学習(15分):ガイダンス資料参照 事後学習(15分):復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する	本田芳香
15	看護実践における倫理的課題と対応についてのまとめ	看護の職業倫理を看護の実践との関連より学修する。 事前学習(15分):講義・教科書、グループワーク等から学んだことを振り返る。 事後学習(15分):全学修内容を振り返り、到達目標の達成状況を確認する。	本田芳香

評価	ミニテスト40点、課題レポート60点
課題に対するフィードバックの方法	課題レポート後はフィードバックとする。
教科書	看護学テキストNICE 看護倫理/小西恵美子編/ 南江堂/改訂第3版/ ISBN978-4-524-22508-8
参考図書など	①ケアの本質/ミルトン・メイヤロフ(著)、田村真・向野宣之(訳)/ゆるみ出版/ISBN 978-4946509117 ②看護倫理/アン・J. デービス他/前原澄子監修/医学映像教育センター/ISBN978-4862431851 ③看護倫理学入門/石井トク/医歯薬出版/ISBN978-4263235638 ④ケアの質を高める看護倫理/岡崎寿美子他/医歯薬出版/ISBN978-4263233917 ⑤医療倫理学のABC/服部健司他/井部俊子監修/メジカルフレンド/ISBN978-4839212360
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション
実務経験のある教員による授業	
留意事項	看護学を学ぶ上で看護倫理は大事な科目です。看護実践する上で疑問に思ったこと、考えたことをアサーティブに発言していくことが求められます。図書館にある書籍(倫理、哲学書)や配布資料を活用し事前・事後学習を十分に行い、グループワークによるディスカッションに積極的に取り組んでください。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護基礎ゼミ Seminar in Based Nursing		必修	講義	1単位 (30時間)	1年前期	川本利恵子、1年チューター教員	○
ナンバリングコード	HNSO1	オフィスアワー 本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける					
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP3) 援助的コミュニケーション力 DP4) チームで連携し協働する力					
発展科目							
授業概要	大学で学ぶために必要なスタディスキル、アカデミックスキルを修得する。大学生の現状や諸問題を題材に取り上げ、求められる学士力と学習方法について検討し、今後の大学生活の見通しを立てる。						
到達目標	1) 大学でのまなびに関する自分の興味や関心をもとにテーマを決める。 2) テーマに基づいて文献を調べてまとめ、発表資料(レジュメ)を作成し、発表できる。 3) 討論により多様な視点から学習を深めることができる。 4) 求められる学士力と大学で自ら学ぶ方法を実感できる。 5) 自ら学ぶ、学びあう学習方法の見通しを持つことができる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員	
1	4年生との共同ゼミ	大学生としての第一歩、科目の選択から履修、そして単位取得までの道のりを理解する。シラバスの見方、科目の選択など大学での学習準備を整える。 事前学習: 学生便覧に目を通しておく(30分) 事後学習: 共同ゼミ内容をまとめる(30分)				川本 利恵子、 1年チューター	
2	4年生との共同ゼミ	大学生としての第一歩、科目の選択から履修、そして単位取得までの道のりを理解する。シラバスの見方、科目の選択など大学での学習準備を整える。 事前学習: 学生便覧に目を通しておく(30分) 事後学習: 正しく履修登録をし前期の準備を整える(30分)				川本 利恵子、 1年チューター	
3	大学で看護を学ぶ(1)	本学のDP・CP・APIについて理解する。 個人⇒グループで教え合う体験をする。 事前学習: 本看護学科のDP,CPを読んでおく(30分) 事後学習: (30分)				川本 利恵子、 1年チューター	
4	大学で看護を学ぶ(2)	本学のDP・CP・APとの関連などについて学んだ内容を踏まえ、グループで意見を交換し、さらに1年修了時になりたい自分をレポートにまとめる。 事前学習: (30分) 事後学習: 本学のDP,CPから4年間の学修について考える(30分)				川本 利恵子、 1年チューター	
5	講義や説明を理解するためには(1)	聴く姿勢、ノートのとり方、レポートの書き方について学ぶ 個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有(担当教員毎)/発表テーマの検討 事前学習: テキストの1章、4章、5章、8章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)				川本 利恵子、 1年チューター	
6	講義や説明を理解するためには(2)	聴く姿勢、ノートのとり方、レポートの書き方について学ぶ/個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有(担当教員毎)/発表テーマの検討 事前学習: テキストの1章、4章、5章、8章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)				川本 利恵子、 1年チューター	
7	テキスト・文献理解するとは(1)	教科書や文献の構造を把握しながら読む 個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有(担当教員毎)/発表テーマの検討 事前学習: テキストの2章、3章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)				川本 利恵子、 1年チューター	
8	テキスト・文献理解するとは(2)	教科書や文献の構造を把握しながら読む 個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有(担当教員毎)/発表テーマの検討 事前学習: テキストの2章、3章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)				川本 利恵子、 1年チューター	
9	人の健康を守る仕事につくために(1)	医療安全を中心に、人の命や健康を守る職業につくために必要な基礎的知識を得る 事前学習: 身の回りで話題になっている医療に関連した事故に対する情報を得ておく(30分) 事後学習: 講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)				川本 利恵子、 1年チューター	

10	人の健康を守る仕事につくために(2)	医療安全を中心に、人の命や健康を守る職業につくために必要な基礎的知識を得る 事前学習:身の回りで話題になっている医療に関連した事故に対する情報を得ておく(30分) 事後学習:講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備(60分)	川本 利恵子、 1年チューター
11	PROGテスト	ジェネリックスキルとは何か。PROGテストを通して、自己のジェネリックスキル(どんな時も汎用的に役立つ能力・態度・志向)を理解する。 事前学習:なし(30分) 事後学習:なし(30分)	川本 利恵子、 1年チューター
12	PROGテスト	PROGテストを通して、自己のジェネリックスキル(どんな時も汎用的に役立つ能力・態度・志向)を理解する。 事前学習:なし(30分) 事後学習:なし(30分)	川本 利恵子、 1年チューター
13	図書館ガイダンス	大学生として学ぶための図書館の活用方法と文献検索方法について理解する。 事前学習:テキストの0章、学生便覧に目を通しておく(30分) 事後学習:授業内容をノートにまとめる(30分)	図書館司書
14	図書館利用と文献活用方法の実際	図書をどう活用するか、目的別本の読み方・探し方、引用文献・参考文献の記載法/文献検索の方法 事前学習:テキストの6章、7章を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習:講義資料と学習内容をノートにまとめる(30分)	図書館司書
15	PROGテストの講評	PROGテストの結果の見方を理解し、今後の大学生としての生活に活用する 事前学習:なし 事後学習:プログテスト結果の見方を理解し、自分の強みからさらに強化する方法を考える(30分)	(株)リアセック

評価	発表内容30点、レジュメ20点、毎回の参加姿勢・ディスカッションへの貢献度50点
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	世界思想社編集部編(2024)大学生学びのハンドブック 6訂版, 世界思想社 ISBN:9784790717911
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	大学での学びに関する自分の興味や関心をもとにテーマを決めて、グループワークとディスカッションを行う。
実務経験のある	チューター教員各位の臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	全ての科目の基となる科目です。必ず専用のノートまたはファイルを作成してください。これまでの学習方法との共通点・相違点を意識しながら、自らの成長を記録に残し、成長を実感しましょう。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
臨床薬理看護学 Clinical Pharmacology & Therapeutics	必修	講義	1単位 (30時間)	2年後期	国分 秀也	○
ナンバリングコード	HNSD1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力					
応用科目						
授業概要	薬物治療を受ける人の看護について学ぶ。治療効果と生活への影響のアセスメント、有害作用の早期発見と予防、誤薬の防止、服薬や治療に関する指導・説明、薬物治療に関わる多職種との連携・協働など、臨床現場で求められる知識、技術について学修する。					
到達目標	医薬品開発・臨床試験の方法について説明できる。臨床論文の批判的吟味について説明できる。医薬品の情報を取得することができる。薬の作用と薬物動態の関係を説明できる。スペシャルポピュレーションにおける薬物療法を理解し、投与量設計および薬の選択方法を説明できる。薬のリスクマネジメントについて説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	臨床薬理学の概要	臨床薬理とはなにか。 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
2	臨床研究と医薬品開発	研究デザイン、医薬品の開発、医療統計、臨床倫理。 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
3	臨床論文の批判的吟味	臨床論文を批判的に吟味し、読む。 事前学習(30分)事前に臨床論文を渡すので読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
4	医薬品情報	PMDA、PubMed、MINDsなどの情報源。 事前学習(30分)教科書第6章の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
5	薬理作用と薬物動態の基本	薬理、薬物動態(吸収、分布、排泄、代謝) 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
6	薬物投与量設計	血中薬物濃度、TDM、投与量の設計方法 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
7	薬物間相互作用	薬物代謝酵素・トランスポーター、薬物動態の相互作用、薬力学的相互作用 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
8	薬物有害反応	用量反応性、人種差、個人差、各薬剤の特徴的な副作用 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
9	スペシャルポピュレーション(病態時など)における薬物療法	肝障害・腎障害・心不全時の薬物療法、妊婦授乳婦・小児・高齢者の薬物療法 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
10	医薬品のリスクマネジメント	リスクマネジメントの考え方と対策 事前学習(30分)PMDAホームページの医療安全情報を確認する( <a href="https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medical-safety-info/0001.html">https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medical-safety-info/0001.html</a> ) 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
11	循環器疾患治療薬	降圧薬、心不全治療薬、血栓治療薬 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也
12	代謝・内分泌疾患治療薬	糖尿病薬、脂質異常症治療薬 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。				国分 秀也



13	抗感染症薬	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分 秀也
14	抗炎症薬・鎮痛薬	NSAIDs、ステロイド、抗リウマチ薬、アセトアミノフェン、オピオイド、鎮痛補助薬 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分 秀也
15	抗悪性腫瘍薬	殺細胞性抗悪性腫瘍薬、内分泌療法薬、分子標的治療薬 事前学習(30分)教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習(60分)スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分 秀也

評価	定期試験時に筆記試験を実施して評価する。
課題に対するフィードバックの方法	小テストを実施した際には、次の講義にて解説を行う。
教科書	イラストで理解するかみくだき薬理学 改訂3版(著者:町谷安紀、南山堂、ISBN:978-4-525-14083-0)、配布プリント
参考図書など	指定しない
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う
実務経験のある教員による授業	TDMの臨床経験を活かし、薬の選択、薬物投与量設計の実際について講義する。がん指導薬剤師の資格を生かし、がん患者の薬物療法の実際について講義する。病院薬剤師の経験を活かし、医薬品情報の取得方法、臨床試験方法、および論文の読み方について講義する。医療安全管理の経験を活かし、薬のリスクマネジメントについて講義する。
留意事項	最近の薬の進歩は目覚ましいものです。薬理作用および薬物動態を把握するとともに、それぞれの関係性を理解し、個々の患者に最適な薬物療法を提供することが医療者の使命ですので、しっかり学ぶようにしてください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
リハビリテーション看護論 Rehabilitation Nursing	必修	講義	1単位 (30時間)	3年前期	田中秀子・渡邊真理・伊藤ふみ子・佐々木千佳・清水奈緒美・三堀いずみ	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力					
応用科目						

授業概要	リハビリテーションの理念を理解し、日本や海外におけるリハビリテーション看護について、歴史的変遷をふまえて基本的知識と技術を学修する。リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。					
到達目標	1)リハビリテーションの理念を理解する。 2)日本や海外におけるリハビリテーション看護の歴史的変遷を学修する。 3)リハビリテーション看護の基本的知識と技術を学修する。 4)活機能障害をもつ人の対象に応じた援助方法を理解できる。 5)リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員
1	リハビリテーション看護の展開に必要な概念と理論	リハビリテーションの理念 欧米と日本のリハビリテーションの歴史、ノーマライゼーション、ADL、IADLの理解、リハビリテーション看護に活用できる理論 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する				田中 秀子
2	経過別にみるリハビリテーション看護①	回復過程各期におけるリハビリテーション看護(急性期・回復期・生活期) 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する				伊藤ふみ子
3	経過別にみるリハビリテーション看護②	がんリハビリテーション看護、終末期リハビリテーション看護 事前学習(30分):がん看護(医学書院)の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する				三堀いずみ
4	生活機能障害とリハビリテーション看護①	ストーマリハビリテーションの看護① 排尿障害と排便障害の基本的知識と看護の実際 事前学習(30分):消化器(医学書院)の該当箇所を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する				田中 秀子
5	生活機能障害とリハビリテーション看護②	ストーマリハビリテーションの看護② 排尿障害と排便障害の基本的知識と看護の実際 事前学習(30分):消化器(医学書院)の該当箇所を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する				田中 秀子
6	生活機能障害とリハビリテーション看護③	嚥下摂食障害のある人の看護 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版 事後学習(30分):講義資料等を復習する				佐々木千佳
7	施設内リハビリテーションチーム医療	施設内リハビリテーションにおける多職種連携 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版 事後学習(30分):講義資料等を復習する				渡邊 真理
8	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護 まとめ	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護の実際 事前学習(30分):リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習(30分):講義資料等を復習する				清水奈緒美

評価	筆記試験80%、課題等の提出物20%
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、適宜フィードバックを行う
教科書	1.看護学テキストNICEリハビリテーション看護/酒井郁子他/南江堂/改訂第3版/ISBN:978-4524246298【全講義で使用】 2.系統看護学講座 別巻がん看護学/小松浩子他/医学書院/第3版/ISBN:978-4-260-04216-1【第3回講義で使用】 3.系統看護学講座 成人看護学⑤消化器/南川雅子他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035620【第4・5回講義で使用】
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	適宜、事例を用いて、グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	回復期リハビリテーション病棟を有する病院での臨床経験を活かして、リハビリテーション看護の基本的知識やアセスメントの方法を講義する。
留意事項	本科目は、すべての患者に必要なとされるリハビリテーション看護の基本的な知識を獲得するものである。臨地実習時にも応用できるものであるため、主体的に取り組んで欲しい。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
成人看護学 Introduction to Adult Nursing		必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年前期	渡邊眞理・田中秀子・渡部節子	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目Ⅱ		DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP4)チームで連携し協働する力					
応用科目							
授業概要	成人期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を理解するとともに、成人期の人々に特徴的なライフスタイルや健康課題について学ぶ。そして、急性期、回復期、慢性期、終末期といった、さまざまな健康レベルにおける看護に適用するための概念や理論について学修する。また、成人期における罹患率が高いがん及び感染看護の概要と必要な概念・理論を学ぶ。						
到達目標	1)ライフサイクルからみた成人期にある人の状況と成人看護の概要について説明できる。 2)成人期の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題、看護について説明できる。 3)成人期にある人のさまざまな健康レベルと、健康レベルに応じた看護アプローチの基盤となる概念や理論を説明できる。 4)成人期における罹患率が高いがん及び感染に関する看護の概要と必要な概念、理論を学ぶ。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	成人看護学の概要 成人期にある人の特徴	成 コースガイド、成人期のとらえ方、成人看護の概要、健康レベル 成人期にある人の理解（発達段階・課題、成人各期における身体的・心理的・社会的特徴） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(20分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡部節子	
2	成人保健 成人期にある人の生活と健康	成 成人期にある人の生活に関連した特有な健康問題、健康をおびやかす要因 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡部節子	
3	生活と健康を守りはぐむシステム	保健・医療・福祉システム、システムの連携 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡邊眞理	
4	成人期の健康レベルや状態に応じた看護 ヘルスプロモーション	成人の健康レベルや状況に応じた看護、ヘルスプロモーション 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡部節子	
5	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(健康生活の急激な破綻から回復;急性期とは)	急性期に関する理解、急性期に必要な概念と理論とは 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡部節子	
6	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(健康生活の急激な破綻から回復;看護に必要な概念と理論)	必要な概念と理論(ストレスコーピング理論、危機理論) 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡部節子	
7	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(健康生活の急激な破綻から回復;看護に必要な概念と理論)	必要な概念と理論(生体侵襲理論) 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡部節子	
8	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(障害)	回復期に関する理解、必要な概念と理論(ICF、障害の認識) 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				田中秀子	
9	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(リハビリテーション看護)	回復期に関する理解、必要な概念と理論(リハビリテーション看護) 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				田中秀子	
10	慢性的な看護とは	慢性期に関する理解、必要な概念と理論(病みの軌跡、セルフケア) 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				田中秀子	
11	慢性期の人に対する基本的な看護アプローチ	慢性期に関する理解、必要な概念と理論(自己効力理論、エンパワメント) 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				田中秀子	
12	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(終末期の理解、終末期の患者の看護、倫理的問題)	終末期に関する理解、終末期の患者の看護、倫理的問題 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習：講義資料等の復習をする。(30分)				渡邊眞理	

13	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(終末期の患者・家族の全人的苦痛緩和、意思決定支援)	終末期の患者・家族の全人的苦痛の緩和、意思決定支援 事前学習:該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習:講義資料等の復習をする。(30分)	渡邊真理
14	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(がん看護)	がん治療とその看護に関する理解、がん看護の特徴、緩和ケア・意思決定支援 事前学習:該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習:講義資料等の復習をする。(30分)	渡邊真理
15	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(感染看護)	感染看護に関する理解、必要な概念と理論(感染症と法律、倫理的問題、人権) 事前学習:該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習:講義資料等の復習をする。(30分)	渡部節子

評価	定期試験55%、各講義でのテストや提出物45%
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	成人看護学概論 大西和子、藤田佐和編 NOUVELLE HIROKAWA 第3版 ISBN:978-4-86174-078-7
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	講義の中でグループワーク、ディスカッションを行い、主体的に学習できるように構成されている。
実務経験のある教員による授業	成人を対象とした急性期看護、慢性期看護の豊富な経験を有する教員や、がん看護専門看護師の資格などを有する教員が各授業を担当する。
留意事項	「成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ」、さらに「急性期・慢性期看護実習」の学習の基盤となるものである。学習を積み重ねられるよう、ノート作成を推奨する。講義毎のリフレクションペーパーの提出がない場合、出席扱いにはしない。授業中の私語を慎むこと。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
成人看護方法論 I Adult Nursing Methodology I	必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年後期	山勢善江・渡邊眞理・田中秀子・清水奈緒美・ 櫻井友子・岡多恵・倉橋悠子・坂口達哉	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP4)チームで連携し協働する力					
応用科目						

授業概要	入院治療を必要とする成人期の患者の特徴を学び、合併症を予防し、回復を促進する援助の方法を学修する。 急性発症あるいは慢性疾患の急性増悪により集中治療管理を必要とする人や周手術期にある人の病態を学び援助に活かす。					
到達目標	1)生命危機状況にある人、様々な疾患により侵襲的治療を受ける人とその家族の特徴を述べるができる 2)生命を維持し、侵襲に対する反応を最適化し、回復を促進するための援助を具体的に述べるができる 3)周手術期、救急、重症集中領域で治療を受ける人の事例に対して、看護問題を根拠に基づいて列挙することができる 4)慢性疾患の急性増悪により治療が必要となる人の事例に対して、看護問題を根拠に基づいて列挙することができる					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	科目ガイダンス 急性期とは	この科目で学ぶこと、履修のルール 急性期ケア・周術期ケア・クリティカルケア・救急看護の概念、患者やその家族の特徴 事前学習(30分)教科書1第6章を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				山勢善江
2	周手術期ケア	周手術期看護の概論、手術前患者の看護、手術中患者の看護、手術後の看護、手術侵襲と生体反応、術後疼痛緩和、術後合併症に関する看護、回復を促すケア 事前学習(30分)教科書9第6～9章を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				山勢善江
3	創傷治癒の特徴	創傷治癒を促進する看護 事前学習(30分)教科書9第1章の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				田中秀子
4	褥瘡をもつ人の看護	急性期における褥瘡に対する看護 事前学習(30分)教科書9の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				田中秀子
5	循環機能障害のある人の看護 (1)	心不全とその原因となる疾患(狭心症、弁膜症など)について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書3、10の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				坂口達哉
6	循環機能障害のある人の看護 (2)	心不全とその原因となる疾患(狭心症、弁膜症など)について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書3、10の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				坂口達哉
7	呼吸機能障害のある人の看護 (1)	肺がん、肺炎について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書2、10の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				清水奈緒美
8	呼吸機能障害のある人の看護 (2)	肺がん、肺炎について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書2、10の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				清水奈緒美
9	消化器機能障害のある人の看護 (1)	消化器系のがん(胃がん)について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書5、10の該当部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				岡多恵
10	消化器機能障害のある人の看護 (2)	消化器系のがん(大腸がん)について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書5、10の該当部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				岡多恵
11	中枢神経機能障害のある人の看護 (1)	脳卒中について、その病態と治療 事前学習(30分)教科書6、10の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				櫻井友子
12	中枢神経機能障害のある人の看護 (2)	脳卒中について、その看護 事前学習(30分)教科書6、10の該当する部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題				櫻井友子

13	運動器機能障害のある人の看護	外傷(脊髄損傷、骨折など)について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書8、11の該当部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題	櫻井友子
14	造血機能障害のある人の看護	急性白血病について、その治療と看護 事前学習(30分)教科書4の該当部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題	倉橋悠子
15	生殖器機能障害のある人の看護	乳がん、子宮がんについて、その治療と看護 事前学習(30分)教科書7、10の該当部分を読む 事後学習(60分)授業まとめの課題	渡邊真理

評価	筆記試験80%、課題等の提出物20%
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 系統看護学講座成人看護学①成人看護学総論/小松浩子他/医学書院/第16版/ISBN:9784260047012【第1回講義で使用】</li> <li>2. 系統看護学講座成人看護学②呼吸器/朝倉啓介他/医学書院/第16版/ISBN:9784260053099【第7、8回講義で使用】</li> <li>3. 系統看護学講座成人看護学③循環器/吉田俊子他/医学書院/第16版/ISBN:9784260053112【第5、6回講義で使用】</li> <li>4. 系統看護学講座成人看護学④血液・造血器/飯野京子他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035712【第14回講義で使用】</li> <li>5. 系統看護学講座成人看護学⑤消化器/南川雅子他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035620【第9、10回講義で使用】</li> <li>6. 系統看護学講座成人看護学⑦脳・神経/井手隆文他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035613【第11、12回講義で使用】</li> <li>7. 系統看護学講座成人看護学⑨女性生殖器/末岡浩他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035675【第15回講義で使用】</li> <li>8. 系統看護学講座成人看護学⑩運動器/田中英他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035651【第13回講義で使用】</li> <li>9. 系統看護学講座別巻臨床外科看護学総論/池上徹他/医学書院/第12版/ISBN:9784260049986【第2、3、4回講義で使用】</li> <li>10. 系統看護学講座別巻臨床外科看護学各論/北川 雄光他/医学書院/第10版/ISBN:9784260049900【第5～12、15回講義で使用】</li> <li>11. 系統看護学講座別巻救急看護学/山勢博彰他/医学書院/第6版/ISBN:9784260032544【第13回講義で使用】</li> </ol>
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	適宜、急性期事例を用いて、グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	成人を対象とする急性期看護の経験を持つ教員が授業を担当する。
留意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 既習科目(成人看護学)の知識を基盤にして、周術期、急性期にある成人に対する看護を学習する。</li> <li>2) この科目は各実習の学習の基盤となるため、資料やノートを後に活用できるようにわかりやすく整理しておくこと。</li> <li>3) 毎回必要な教科書を確認して持参すること。</li> <li>4) 講義毎のリフレクションペーパーの提出がない場合出席扱いにはしない。</li> <li>5) 授業中の撮影および録音は禁止する。</li> <li>6) 携帯電話類は電源を切ってバッグにしまう。</li> <li>7) 私語は禁止。</li> <li>8) ルールを守らない場合は退室を指示することがある。</li> </ol>

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
成人看護方法論Ⅱ Adult Nursing Methodology Ⅱ	必修	講義・ 演習	1単位 (30時間)	3年前期	伊藤ふみ子・渡部節子・清水奈緒美・岡多恵 野口京子・石橋史子・倉橋悠子・三堀いずみ	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP4)チームで連携し協働する力					
応用科目						
授業概要	慢性的・長期的に経過する健康障害を持つ人のセルフケアを促進し、その人らしい生活を維持するための支援の方法について学修する。さらに、ターミナル期にある人とその家族に対するケア、遺族へのグリーフケアについて学修する。					
到達目標	1) 慢性的な経過をたどる健康障害を有する対象者の特徴、及び慢性期における看護の特徴について説明できる。 2) 慢性的な経過をたどる健康障害の病態、治療過程を理解し、アセスメントの視点について説明できる。 3) 慢性的な経過をたどる健康障害の病態や治療が、対象者の生活に与える影響について説明できる。 4) 慢性的な経過をたどる健康障害を有する対象者への看護援助について説明できる。 5) 慢性的な経過をたどる健康障害を有する対象者のセルフケア能力を高め支える支援方法が説明できる。 6) ターミナルケアおよび緩和ケアの概念について説明できる。 7) ターミナル期にある人及び家族の特徴を全人的に理解し、QOLの維持・向上を目指す支援について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	慢性期看護の概要	ガイダンス、慢性期疾患および慢性期にある成人とその家族の看護 事前学習(30分)教科書1の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			伊藤 ふみ子	
2	呼吸器機能障害のある人の看護	慢性期閉塞性肺疾患(COPD)の病態・症状・治療、それらが対象者の生活に与える影響、生活調整、生活の再構築へ向けたアセスメントの視点、看護援助 事前学習(30分)教科書1の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			石橋 史子	
3	循環機能障害のある人の看護①	虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)の病態・治療、それらが生活に与える影響とセルフ・マネジメントに向けたアセスメントの視点、看護援助 事前学習(30分)教科書4の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			伊藤 ふみ子	
4	循環機能障害のある人の看護②	心不全患者の病態・治療、それらが生活に与える影響とセルフ・マネジメントに向けたアセスメントの視点と看護援助 事前学習(30分)教科書4の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			伊藤 ふみ子	
5	栄養代謝機能障害のある人の看護	肝炎および肝硬変の病態・治療、肝硬変患者に特有な症状と緩和ケア、肝硬変患者の全人的理解及び生活への影響とアセスメントの視点、看護援助 事前学習(30分)教科書5の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			伊藤 ふみ子	
6	内分泌機能障害のある人の看護①	糖尿病(1型糖尿病・2型糖尿病)の病態・治療の理解、それらが生活に与える影響とセルフ・マネジメントに向けたアセスメントの視点と看護援助 事前学習(30分)教科書6の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			伊藤 ふみ子	
7	内分泌機能障害のある人の看護②	糖尿病の病態、治療が生活に与える影響と生活調整・生活の再構築に向けた支援についてグループワークを行い理解を深める 事前学習(30分)糖尿病事例を通読し、配布された課題に取り組む 事後学習(60分)グループワークでの学びを振り返り、課題を修正する			伊藤 ふみ子	
8	内部環境調節機能障害のある人の看護①	腎炎・腎不全の病態・治療、それらが生活に与える影響、生活調整、生活の再構築のアセスメントの視点、看護援助 事前学習(30分)教科書7の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			倉橋 悠子	
9	内部環境調節機能障害のある人の看護②	透析療法を受ける患者のセルフケアに向けた看護援助 事前学習(30分)教科書7の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			倉橋 悠子	
10	身体防御機能・運動障害のある人の看護	全身性エリテマトーデス(SLE)や関節リウマチの病態・治療、それらが生活に与える影響、生活調整、生活の再構築のアセスメントの視点、セルフケアに向けた看護援助 事前学習(30分)教科書7の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			石橋 史子	
11	身体防御機能障害のある人の	感染症に罹患している患者の特徴と看護一結核・HIV/AIDSを中心に 事前学習(30分)教科書9の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			渡部 節子	
12	脳・神経機能障害のある人の看護	脳卒中の病態・症状、それらが生活に与える影響と生活の再調整のためのアセスメントの視点と看護援助 事前学習(30分)教科書8の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する			野口 京子	

13	外来でがん治療を必要とする人の看護(外来化学療法)	外来におけるがん治療患者の理解と継続治療と生活調整に向けた看護の理解 事前学習(30分)教科書10の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する	清水 奈緒美
14	ターミナル期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護①	生命を脅かす疾患を抱える患者の苦痛と緩和ケアの理解 事前学習(30分)教科書10の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する	岡 多恵
15	ターミナル期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護②	エンド・オブ・ライフケア 事前学習(30分)教科書10の該当箇所を読む 事後学習(60分)講義資料等をまとめ、ノートを整理する	三堀 いずみ
評価		筆記試験80%、課題等の提出物20%	
課題に対するフィードバックの方法		提出物については全体の講評を授業内で伝える。	
教科書		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 系統看護学講座 成人看護学①成人看護学総論/小松浩子他/医学書院/第16版/ISBN:97842600470124【第1回講義で使用】</li> <li>2. 系統看護学講座 成人看護学②呼吸器/浅野浩一郎他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035699【第2回講義で使用】</li> <li>3. 系統看護学講座 成人看護学③循環器/吉田俊子他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035576【第3・4回講義で使用】</li> <li>4. 系統看護学講座 成人看護学⑤消化器/南川雅子他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035620【第5回講義で使用】</li> <li>5. 系統看護学講座 成人看護学⑥内分泌・代謝/黒江ゆり子他/医学書院/第15版 ISBN:9784260035590【第6・7回講義で使用】</li> <li>6. 系統看護学講座 成人看護学⑦脳・神経/井手隆文他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035613【第12回講義で使用】</li> <li>7. 系統看護学講座 成人看護学⑧腎・泌尿器/伊藤由恵他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035583【第8・9回講義で使用】</li> <li>8. 系統看護学講座 成人看護学⑩運動器/田中 栄他/医学書院/第15版/ISBN:9784260035651【第10回講義で使用】</li> <li>9. 系統看護学講座 成人看護学⑪アレルギー-膠原病感染症/岩田健太郎他/医学書院/第15版/ISBN:9784260038584【第10・11回講義で使用】</li> <li>10. 系統看護学講座 別巻がん看護学/小松浩子他/医学書院/第3版/ISBN:978-4-260-04216-1【第13・14・15回講義で使用】</li> </ol>	
参考図書など		適宜紹介する	
アクティブ・ラーニング		適宜、慢性疾患をもつ患者の事例を用いてグループワークやディスカッションを行う。	
実務経験のある教員による授業		成人を対象とする慢性期看護の経験を持つ教員が授業を担当する。	
留意事項		既習科目(特に専門基礎科目)の知識を基盤にして、慢性期・終末期にある成人に対する看護を学習する。関連する科目の復習を必ずして講義に臨むこと。学修を積み重ねられるよう、ノートの作成を推奨する。講義毎のリフレクションペーパーの提出がない場合、出席扱いにはしない。授業中の私語を慎むこと。	



授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
老年看護学 Gerontological Nursing		必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年前期	ラウ優紀子 佐々木千佳 山田艶子	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力					
応用科目		DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力					
授業概要	老いを生きる人々の理解、高齢者の生活と健康を支援する看護の基本的な考え方と関連する知識を学修する。予防からエンドオブライフケアまでの健康レベルの連続と、病院、施設、居宅等の生活の場の移行の中で展開される地域包括ケア時代の老年看護学について概要を理解する。						
到達目標	1)加齢変化とそれに影響されつつ培われてきた生活と健康について説明できる 2)超高齢社会の現状と保健医療福祉の動向と課題を説明できる 3)高齢者の権利擁護や主たる理論について検討し、高齢者看護のあり方について考察できる 4)高齢者の生活する場に応じたケアと多職種連携、看護の専門性について意見を述べられる						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	老年看護の概要①	コースオリエンテーション、老化とは、老化と寿命、統計的輪郭、高齢社会における保健医療福祉の動向 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)関連文献の検索とまとめ				ラウ優紀子	
2	老年看護の概要②	老年看護の定義・理念、高齢者の権利擁護、老年看護の役割 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)				ラウ優紀子	
3	老年看護の概要③	老年看護における理論・概念の活用 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)関連文献の検索とまとめ				ラウ優紀子	
4	老年看護の概要④	介護保険 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)				ラウ優紀子	
5	高齢者の生理的特徴①	運動機能の老化、消化・吸収・代謝機能の老化・感覚器 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)				山田艶子	
6	高齢者の生理的特徴②	呼吸・循環機能の老化、免疫機能の老化、性機能の老化、認知・知覚機能の老化、感覚器 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)				ラウ優紀子	
7	老年症候群①	老年症候群の特徴、急性疾患に付随する症状、ADL低下に合併する症候 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)				ラウ優紀子	
8	老年症候群②	慢性疾患に付随する症状、運動機能の老化、フレイル・サルコペニア リハビリテーション看護 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)				ラウ優紀子	
9	高齢者のヘルスアセスメント①	ヘルスアセスメントの基本、生活機能のアセスメント、フィジカルアセスメント 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)				佐々木千佳	

10	高齢者のヘルスアセスメント②	高齢者総合機能評価 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)	佐々木千佳
11	高齢者の生活機能を整える看護①	日常生活を支える基本的活動(転倒)、生活リズム(睡眠)睡眠時無呼吸症候群 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)	佐々木千佳
12	高齢者の生活機能を整える看護②	コミュニケーション、社会参加 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)	佐々木千佳
13	高齢者の生活機能を整える看護③	食事・食生活(脱水・低栄養)栄養評価 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)	山田艶子
14	高齢者の生活機能を整える看護④	排泄、排泄機能の老化 事前学習(30分) 事後学習(30分)	山田艶子
15	高齢者の生活機能を整える看護⑤	清潔、セクシュアリティ まとめ 事前学習(30分) 事後学習(30分)	ラウ優紀子

評価	定期試験60% 小テスト15% 提出物20% 提出物や講義への取り組み姿勢5%
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で伝える。
教科書	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 北村公子他/医学書院/第9版/ISBN:9784260031868 ②系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 鳥羽研二他/医学書院/ISBN:9784260031721 すべての講義で①②使用する
参考図書など	山田律子ほか(2020)生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図 第4版、医学書院(ISBN9784260042741)
アクティブ・ラーニング	既習科目の知識を確認するような働きかけを行い、能動的な学修者の参加を促す。必要時、教室内でのグループ・ディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	看護師、保健師としての臨床経験を活かして、概念的な内容を実践と結びつけながら講義を行う。
留意事項	異なる意見を大切に、主体的に学ぼうとする姿勢が問われます。自分自身の身近なところから、高齢者を理解していきます。 13・14回は2コマ続きで実施します。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
老年看護方法論 Nursing care for the elderly	必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年後期	ラウ優紀子 佐々木千佳 山田艶子	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP5)安全を保障する力					
応用科目						
授業概要	加齢変化や高齢者に特徴的な健康障害を意識した看護方法について学ぶ。高齢者の日常を理解するとともに、その人らしい生活の継続・健康の保持増進を可能とするケア、生活を豊かにするケアについて生活行動モデルを用いて理解を深め、高齢者の看護方法について学修する。					
到達目標	1)高齢者の健康アセスメントの枠組み、心身の加齢変化と生活への影響が理解できる。 2)高齢者に特徴的な健康障害と看護援助の方法が理解できる。 3)認知症高齢者の特徴を理解し、適切な援助方法が理解できる。 4)人生の最終段階における高齢者への尊厳ある生を支える援助が理解できる。 5)加齢変化や高齢者の特徴に基づいた「生活機能」における高齢者のもてる力に着眼した看護の実践が理解できる 6)老化や障害、慢性疾患に起因する生活行動上の困難によって療養生活を余儀なくされる高齢者の援助について理解できる。 7)持てる力に着眼した6つの生活行動と、その背後にある病態との関連を分析し、高齢者の特徴に合わせた看護過程の展開方法が理解できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	コースオリエンテーション	コースオリエンテーション、老年看護学復習 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理			ラウ優紀子	
2	健康逸脱からの回復を促す看護①	症候のアセスメントと看護 発熱 痛み 痒み 皮膚掻痒症 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理			佐々木千佳	
3	健康逸脱からの回復を促す看護②	身体疾患のある高齢者の看護① 脳卒中 パーキンソン病 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)課題レポート①			佐々木千佳	
4	健康逸脱からの回復を促す看護③	身体疾患のある高齢者の看護② 慢性閉塞性肺疾患 肺炎 間質性肺炎 事前学習(30分)教科書①の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)課題レポート②			ラウ優紀子	
5	健康逸脱からの回復を促す看護④	身体疾患のある高齢者の看護③ 骨粗しょう症 大腿骨頭部骨折 変形性膝関節症 腰部脊柱管狭窄症 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)課題レポート③			ラウ優紀子	
6	健康逸脱からの回復を促す看護⑤	身体疾患のある高齢者の看護④ 緑内障 白内障 加齢黄斑変性 難聴 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理			山田艶子	
7	健康逸脱からの回復を促す看護⑥	身体疾患のある高齢者の看護⑤ 帯状疱疹 白癬 疥癬 ノロウイルス 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理			ラウ優紀子	
8	健康逸脱からの回復を促す看護⑦	身体疾患のある高齢者の看護⑥ うつ・せん妄（認知症） 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)課題レポート④			佐々木千佳	
9	健康逸脱からの回復を促す看護⑧	身体疾患のある高齢者の看護⑦ 認知症 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理			佐々木千佳	
10	治療を必要とする高齢者の看護①	検査を受ける高齢者の看護 薬物療法を受ける高齢者の看護 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理			佐々木千佳	

11	治療を必要とする高齢者の看護②	手術を受ける高齢者の看護 入院治療を受ける高齢者の看護 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理	ラウ優紀子
12	治療を必要とする高齢者の看護③	外来通院時の高齢者の看護 慢性腎不全 透析療法を受ける高齢者の看護 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理	山田艶子
13	高齢者のリスクマネジメント	高齢者と医療安全、高齢者と救命救急、高齢者と災害 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理	ラウ優紀子
14	生活・療養の場における看護	老年期のヘルスプロモーション 居住施設の看護 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理	ラウ優紀子
15	エンドオブライフケア・緩和ケア	「生きる」とことを支えるケア 意思決定支援 事前学習(30分)教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習(30分)学習ポイントの整理	ラウ優紀子
評価		定期試験80% 小テスト15% レポート・講義への取り組み姿勢5%	
課題に対するフィードバックの方法		提出物については全体の講評を授業内で伝える。	
教科書		①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 北村公子他/医学書院/第9版/ISBN:9784260031868 ②系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 鳥羽研二他/医学書院/ISBN:9784260031721 すべての講義で①②使用する	
参考図書など		必要に応じて提示する	
アクティブ・ラーニング		既習科目の知識を確認するような働きかけを行い、能動的な学修者の参加を促す。必要時、教室内でのグループ・ディスカッションを行う。	
実務経験のある教員による授業		看護師、保健師としての臨床経験を活かして、概念的な内容を実践と結びつけながら講義を行う。	
留意事項		本科目は、実習の実践時に必要な基本的な知識と技術を獲得するものであるため、主体的に取り組んで欲しい。	

授業科目の名称		必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
小児看護学 Introduction to Pediatric Nursing		必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年後期	石川真里子, 松永雄至	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
応用科目							
授業概要	子どもは新生児期から思春期まで成長発達とともに大きく変化する存在である。小児看護学では、子どもの各期の成長発達の特徴、また子どもを育てる家族の特徴、子どもとその家族を取り巻く社会環境について学修する。小児医療の現状と課題を理解し、子どもと家族への看護について考察する力を養う。さらに、学修した新生児から思春期までの子どもの代表的な疾患に見られる症状とその看護について学修する。また、検査・処置時の子どもへの看護として、子どもの心理的準備を行い、安全・安楽な実施となるための方略を学修する。						
到達目標	1) 子どもの成長・発育を形態機能の変化と生活行動の獲得・自立状況、家族・環境との相互作用の枠組みを用いてヘルスアセスメントができるようになるために、各形態機能の変化について説明できる。 2) 子どもの発達段階に応じた生活行動・習慣の獲得状況および健康を害する要因と予防策を理解し、健康維持・向上・増進の具体策を考えることができる。 3) 子どもに起きやすい疾病において症状や病態に伴う子どもの心身の苦痛、家族の不安について理解し、適切な看護ケア・技術について述べることができる。 4) 小児看護における家族機能や役割について理解し、子どもの健康管理を維持・継続するための知識習得ができるようになるための健康教育や生活支援について説明できる。 5) 医療的ケアを要する子ども・家族が地域で生活するために必要な支援について理解し、チーム医療における看護の役割について考察できる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員	
1	小児看護の特徴と理念	ガイダンス、小児看護の目標、諸統計、小児看護における倫理、小児看護の課題 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)学習した内容をノートに整理する。				石川、松永	
2	子どもの成長・発達① 形態機能の変化:「大きさ・重さ」	子どもの成長・発達の進み方と評価 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)学習した内容をノートに整理する。				石川	
3	子どもの成長・発達② 形態機能の変化:恒常性を維持する(息をすする、循環)	小児の呼吸機能の発生と発達、小児のVS測定と全身状態の観察 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)学習した内容をノートに整理する。				松永	
4	子どもの成長・発達③ 形態機能の変化:恒常性を維持する(代謝、免疫・アレルギー)	小児の代謝・免疫機能の発達の变化と特徴 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。				石川	
5	子どもの生活行動とヘルスアセスメント①「眠る・動く」	小児の睡眠リズム、睡眠不整による心身への影響と対処、原始反射と運動発達の変化 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。				石川	
6	子どもの生活行動とヘルスアセスメント②「見る・聴く・話す、コミュニケーションをとる」	小児の視聴覚、味覚・嗅覚、触覚の発達と五感の感覚統合、養育環境との関連 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。				石川	
7	子どもの生活行動とヘルスアセスメント③「感じる・考える」	情緒・愛着・認識の発達と理論、発達の評価 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。				石川	
8	子どもの生活行動とヘルスアセスメント④「食べる」	小児の嚥下・摂食機能および消化・吸収機能の形態と発達の变化、発達段階における食事形態の変化と援助、食育基本法に関連する食生活指針、栄養状態の評価 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。				石川	
9	子どもの生活行動とヘルスアセスメント⑤「排泄する」	生殖器管、排泄器官の発生と発達の变化、排尿・排便のメカニズム、排泄に関連する養育と看護 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。				石川	
10	子どもの生活行動とヘルスアセスメント⑥「身体をきれいにする」	皮膚の発生と構造の变化、皮膚の発生と構造の变化、新生児・乳児期のスキンケア、入院中の清潔ケア 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。				石川	

11	疾患のある子どもと家族の看護① 「先天性心疾患、後天性心疾患」	先天性心疾患の発生と病態に応じた治療と看護、療養生活への指導(安静、栄養、感染予防、運動制限)、セルフケアの確立と成人医療への移行 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	石川
12	疾患のある子どもと家族の看護② 「消化器疾患」	子どもに多い急性胃腸炎、形態異常(唇裂・口蓋裂、食道閉鎖症、幽門狭窄症、鎖肛)の病態と看護 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	石川
13	疾患のある子どもと家族の看護③ 「小児がん」	子どもに多い小児白血病の病態と看護(急性期から復学支援まで) 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	石川
14	子どもの状況別の看護①「医療的ケアと家族への支援」	医療的ケア児の背景と在宅支援、子ども・家庭包括支援センターの役割 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	石川
15	子どもの状況別の看護②「救急処置を要する小児の病態と看護」	呼吸困難、ショック・意識障害の観察、小児一次救命処置(PBLS) 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)学習した内容をノートに整理する。	松永

評価	定期試験100%
課題に対するフィードバックの方法	最終回にフィードバックする
教科書	1) 小児看護学概論小児臨床看護総論/奈良間美保他/医学書院/第14版/2022/ISBN:978-4260038607/全日程で利用 2) 小児臨床看護各論/奈良間美保他/医学書院/第14版/2022/ISBN:978-426003866-9/第11~13回で利用
参考図書など	1. 家族看護学 臨床場面と実践例から考える/山崎あけみ、原礼子編集/南江堂/改訂第3版/2022/ISBN:978-4-524-22929-1 2. 根拠と事故防止からみた小児看護技術/浅野みどり編集/医学書院/第3版/2020/ISBN:978-4-260-04325-0 3. 病気が見えるVol.15小児科/医療情報科学研究所/メディックメディア; 第1版/2022/ISBN-13:978-4-89632-878-3
アクティブ・ラーニング	学習課題について随時アクティブラーニングを実施する。
実務経験のある教員による授業	小児専門病院看護師あるいは自治体保健師の臨床・母子保健行政の経験を活かして、小児看護学臨床および小児保健における基本的な知識と看護について指導する。
留意事項	事前、事後学習は自主的に行い意見交換できるようにする。講義で配付された資料は毎回持参する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
小児看護方法論 Pediatric Nursing Methodology	必修	演習	1単位 (30時間)	3年前期	石川真里子 松永雄至 松尾優香	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目Ⅱ	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP4)保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5)幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。					
専門看護学						
授業概要	既習の小児看護学の知識及び技術を基盤として、子どもとその家族の健康と課題を総合的に理解し、小児看護実践および小児保健に必要な基礎的知識・技術・態度について学修する。 具体的には、子どものフィジカルアセスメントを学び、急性期の疾患の子どもと事例を基に看護過程を展開し、子どもとその家族への適切な援助を導き出す方法(看護過程)を学修する。 また、様々な形で医療を受ける子どもとその家族への援助として必要な小児看護技術を演習し、具体的なケア方法について学修する。 医療的ケア児を含めた様々な健康レベルの子どもと家族が疾病の予防・健康増進し健やかな発達が促進できるよう、小児保健と健康教育について学修する。					
到達目標	1)情報収集および観察したことを統合的にアセスメントし、関連図から子どもと家族の看護問題を導き、適切なケアの計画を立案することができる。 2)子どもの健康状態の観察やV.Sの意義を理解し、発達に応じた小児の看護技術を計画し、実践できるようになるために演習をすることができる。 3)健康障害により心身の状態が変化する子どもとその家族の状況を理解し、情報収集を追加しケア方法を修正し、ケアの評価を行うことができる。 4)外来などにおいて健康問題を持ちながら地域で暮らす子どもとその家族の状況を理解し、感染予防や事故防止などの健康教育、健康増進の方法など必要な看護について考えることができる。 5)医療的ケア児に対する支援体制を学修し、レスパイトケアを受ける子ども・家族への看護について小児看護の役割について考察することができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)			担当教員	
1	本講義の学習計画に関するガイダンス	フィジカルアセスメント演習、看護過程の進め方についての説明と事前課題の提示。 事前学習:(30分)小児看護学の既習内容を振り返る。 事後学習:(60分)今後の学習計画を立てる。			石川、松永、松尾	
2	急性期の子どもと家族への看護	講義:急性期にある子どもと家族への看護 事前学習:(30分)課題内容について調べる。 事後学習:(60分)本日の講義内容を復習する。			松永	
3	慢性期の子どもと家族への看護	講義:慢性期にある子どもと家族への看護(医療的ケア児の在宅支援、慢性疾患の移行期医療と看護) 事前学習:(30分)課題内容について調べる。 事後学習:(60分)本日の講義内容を復習する。			石川	
4	看護過程とは事例(4歳2か月小児喘息)の提示	講義:看護過程の展開方法について学ぶ。(情報収集の方法と小児看護の枠組み) 事前学習:(60分)小児喘息の事例のシナリオを読んで、事例を理解する。 事後学習:(60分)本日の講義内容を復習する。事例の病態を整理する。			石川、松永、松尾	
5	子どものフィジカルアセスメント	講義・演習:小児喘息事例のフィジカルアセスメント(演習にて「疾患の理解」を書き上げる30分→講義で病態の説明→関連図の配置) 事前学習:(60分)小児喘息の病態を調べる。資料を持参する。 事後学習:(60分)事例の病態を「様式1」に整理する。			石川、松永、松尾	
6	子どものヘルスアセスメント①	講義・演習:小児喘息事例のヘルスアセスメント(演習にて「様式2.データベース」を書き上げる30分→講義で既往歴、現病歴・治療方針の書き方、日常生活習慣、家族構成・背景を説明→関連図の配置) 事前学習:(60分)小児の成育歴・健康管理状況、日常生活の自立と習慣について調べる。 事後学習:(60分)喘息事例の発症から入院までの経過、成育歴、生活の自立状況を「様式2」に整理する。			石川、松永、松尾	
7	子どものヘルスアセスメント②	講義・演習:小児喘息事例のヘルスアセスメント(演習にて「様式3.アセスメント用紙」に情報を書き上げる30分→講義でアセスメント項目と既往歴、現病歴・治療方針の書き方、日常生活習慣、家族構成・背景を説明→関連図の配置) 事前学習:(60分)事例のアセスメントについて項目1~3について情報を整理する。 事後学習:(60分)事例の病態を「様式3」に整理する。			石川、松永、松尾	
8	子どものヘルスアセスメント③	講義・演習:小児喘息事例のヘルスアセスメント(演習にて「様式3.アセスメント用紙」に情報を書き上げる30分→講義でアセスメント項目と既往歴、現病歴・治療方針の書き方、日常生活習慣、家族構成・背景を説明→関連図の配置) 事前学習:(60分)事例のアセスメントについて項目4~9について情報を整理する。 事後学習:(60分)事例の病態を「様式3」に整理する。			石川、松永、松尾	
9	子どものヘルスアセスメント④	講義・演習:小児喘息事例のヘルスアセスメント(演習にて「様式3.アセスメント用紙」に情報を書き上げる30分→講義でアセスメント項目と既往歴、現病歴・治療方針の書き方、日常生活習慣、家族構成・背景を説明→関連図の配置) 事前学習:(60分)事例のアセスメントについて項目10~12について情報を整理する。 事後学習:(60分)事例の病態を「様式3」に整理する。			石川、松永、松尾	

10	看護計画に基づくケアの実践に向けた準備 グループワーク①	演習:プレパレーション場面の動画撮影に向けた計画手順、割り振り 事前学習:(30分)課題内容について調べる。 事後学習:(60分)上記について復習する。	石川、松永、松尾
11	看護計画に基づくケアの実践に向けた準備 グループワーク②	演習:プレパレーションに使う物品の製作 事前学習:(30分)課題内容について調べる。 事後学習:(60分)制作物を仕上げる。	石川、松永、松尾
12	看護計画に基づくケアの実践に向けた準備 グループワーク③	演習:製作した物品を使った動画撮影 事前学習:(30分)動画のシナリオを作成、役割分担する。 事後学習:(60分)上記について復習する。	石川、松永、松尾
13	看護計画に基づくケアの実践①	演習:前半後半にわかれ技術演習 事前学習:(60分)看護計画の実践方法について具体的な行動をイメージする。 事後学習:(60分)上記について復習する。	石川、松永、松尾
14	看護計画に基づくケアの実践②	演習:前半後半にわかれ技術演習 事前学習:(60分)看護計画の実践方法について具体的な行動をイメージする。 事後学習:(60分)上記について復習する。	石川、松永、松尾
15	事例(4歳2か月小児喘息)の看護展開のまとめ・動画の発表会	演習:動画の共有、他のグループの発表を参考にして看護計画立案に反映できる 事前学習:(60分)看護過程の展開で疑問点を振り返る。 事後学習:(60分)看護過程の展開から学習したことを振り返り、学習の追加内容について整理する。	石川、松永、松尾

評価	定期試験60%、講義外課題40%
課題に対するフィードバックの方法	複数教員による直接指導
教科書	小児看護学概論小児臨床看護総論1/奈良間美保他/医学書院/第14版/2022/ISBN:978-4260038607 小児看護学概論小児臨床看護各論2/奈良間美保他/医学書院/第14版/2022/ISBN:978-4260038669 根拠と事故防止からみた小児看護技術/浅野みどり他/第3版/2020/ISBN:978-4260043250 各教科書を利用する講義は初回講義で説明する。
参考図書など	1. 発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程看護過程/荃津智子編集/医歯薬出版/第2版/2021/ISBN:978-4-263-23755-7 2. 発達段階からみた小児看護過程+病態関連図/浅野みどり他編集/医学書院/第3版/2018/ISBN: 978-4-260-02837-0 3. 写真でわかる小児看護技術アドバンス/山元恵子監修、佐々木祥子編著/インターメディカ/2017/ISBN:978-4-89996-344-8 4. 子どもの訴えを見極める ナースのための小児フィジカルアセスメント/伊原 崇晃(編)/金芳堂/2022/ISBN: 9784765319287
アクティブ・ラーニング	学内演習・グループワークにて展開する。看護過程を通じて、事例の健康問題を明らかにし、どのような看護が必要であるかをグループメンバーと共に検討し、具体的レベルの看護計画を発表する。クラスメートの発表を聞き、自己の課題を明らかにする。
実務経験のある教員による授業	小児看護の専門職として臨床経験を活かし、小児看護学臨床における基本的な知識と看護について指導する。 また、近年の少子化に伴う小児保健の課題について考え、考察できるよう導く。
留意事項	自主性をもって参加するとともに、クラスメートとの意見交換を密に行うこと。



授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
母性看護学 Maternity & Child Nursing	必修	講義・ 演習	1単位 (30時間)	2年後期	山崎 圭子 松島 泰恵 日下 桃子	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
応用科目						
授業概要	女性の生涯を通じた母性の健康の保持・増進、及び次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念や理論を理解する。また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状、母子の健康に関する国際比較や法制度、女性のライフサイクルや健康問題などを学び、母性看護の役割や課題について考察する。					
到達目標	1) 母性看護に関連する諸概念・理論的基盤を理解し、母性看護の役割を説明できる。 2) 母性(女性)の特徴、親になるプロセスを身体的・心理的・社会的側面を考察できる。 3) 母子保健統計の動向や母子保健にかかわる主要な法律について説明できる。 4) 思春期、成熟期、更年期、老年期の女性の健康問題について、身体的・心理的・社会的特徴および看護について説明できる。 5) 母性を取り巻く現状と課題について説明できる。 6) 妊娠のメカニズム、妊娠による母体の変化について説明できる。正常な妊娠経過を維持向上させるための看護支援について説明できる。 7) ハイリスク妊娠や特有の疾患とその看護について説明できる。 8) 新生児の生理・発育発達が説明できる					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)			担当教員	
1	母性看護の概念	ガイダンス、母性とは、母性看護の目的、日本の妊娠・出産・育児を取り巻く現状 母性看護学① 事前学習(30分):教科書 第1～2章を読み～:母性看護学概論の第1章を読み、予習する。妊娠・ 出産・育児で関心のあること(気になる出来事)を1つ選び、選んだ理由を200字以内にまとめる。 事後学習(30分):授業内容を復習する。			山崎 圭子	
2	母性看護における主要な理論と概念	母性論、親子の結びつき理論、親子相互作用モデル、SRH/R、看護学の主要概念、 母性看護学① 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習(30分):課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する			山崎 圭子	
3	女性の生涯における健康問題と看護	女性のライフステージ各期の主な健康問題と看護 母性看護学① 事前学習(30分):3日分の食事内容を記録し、エネルギー量、タンパク質量を計算して持参する。 授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習(30分):課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する			山崎 圭子	
4	母子と家族の発達	家族機能とは、母子関係における家族の変化、家族の発達と課題 母性看護学① 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習(30分):課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する			山崎 圭子	
5	母子保健にかかわる法律と母子保健施策	母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、女性の就労に関する法律他、母子保健統計、母子保健施策 母性看護学① 事前学習(30分):授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習(30分):課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する			山崎 圭子	
6	日本の出産の課題と看護	日本の人口動態、周産期医療体制、生殖補助医療、出生前診断、周産期のメンタルヘルス 母性看護学① 事前学習(30分):日本の人口動態を調べる。授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習(30分):課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する			山崎 圭子	
7	妊娠期にある母子の生理	妊娠の定義および母体の変化、胎児の成長発達と胎児付属物の理解、妊婦健康診査について 正常な妊娠期の身体的変化・心理的变化と社会的変化 母性看護学② 第1章 妊娠期における看護 事前学習(30分):事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習			松島 泰恵	
8	妊娠期にある母子の生理 妊娠期の異常	正常な妊娠期の身体的変化に伴うマイナートラブル、心理社会的変化。ハイリスク妊娠、妊娠の異常について 母性看護学② 第1章 妊娠期における看護 6章 妊娠の異常 事前学習(30分):事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習			松島 泰恵	

9	分娩期にある母子の生理	分娩期のメカニズム・正常な分娩経過について 母性看護学② 第2章:分娩期における看護 事前学習(30分):事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習	松島 泰恵
10	分娩期の看護、分娩期の異常	産痛の機序と産痛緩和・胎児心拍モニタリング・分娩の評価・円滑な分娩進行のケア 母性看護学② 第2章:分娩期における看護 第6編分娩期の異常 事前学習(30分):事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習	松島 泰恵
11	産褥期にある母体の生理	正常な産褥の経過、産褥期の全身状態と退行性変化 母性看護学② 第3章 産褥期における看護 事前学習(30分):事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習を行う。	日下 桃子
12	褥婦と家族の心理・社会的変化	産褥期の進行性変化、褥婦の心理的变化、家族の心理的变化、社会的支援 母性看護学② 第3章 産褥期における看護 事前学習(30分):事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習を行う。	日下 桃子
13	産褥期における母子の異常と看護	正常な産褥の経過と産褥期の異常について 母性看護学② 第3章 産褥期の経過と第6編産褥期における母子の異常 事前学習(30分):事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習を行う。	日下 桃子
14	新生児の生理的变化	新生児の定義と特徴、子宮外環境への適応について 事前学習(30分):事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習を行う。	松島 泰恵
15	新生児の特徴と生理的变化	新生児の生理的变化(神経系、運動器系、感覚器系、循環器系、呼吸器系、消化器系他) 事前学習(30分):事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分):授業内容の復習。	松島 泰恵

評価	定期試験70%、事前テストへの参加20%、リアクションペーパー10%
課題に対するフィードバックの方法	個人課題、試験の講評はweb上またはmanabaにて通達する。
教科書	1. 新体系 看護学全書 母性看護学①母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護, 第7版/2022年メデカルフレンド社, ISBN: 978-4-8392-3403-4【第1-6回講義で利用】 2. 新体系 看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護第7版, 2022年, メデカルフレンド社, ISBN: 978-4-8392-3404-1【第7-15回講義で利用】 3. 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 第3版 2022 メデカルフレンド社, ISBN: 978-4839216931【第7-15回講義で利用】
参考図書など	1. ナーシンググラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版 2. ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護の実践 メディカ出版 3. 病気が見えるVol.10、産科、メディックメディア 4. マタニティ診断ガイドブック 医学書院 5. マタニティアセスメントガイド 新訂第5版 真興交易(株)医書出版部 6. ウエルネスから見た母性看護過程 第2版 医学書院
アクティブ・ラーニング	事前テストによる反転学習
実務経験のある教員による授業	アドバンス助産師・助産師として多くの臨床経験を持つ教員が臨床経験を活かして、女性のライフサイクル各期における看護について講義する。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
母性看護方法論 Maternity Care and Nursing	必修	講義	1単位 (30時間)	3年前期	松島 泰恵 山崎 圭子 日下 桃子 野井 恵加	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
応用科目						
授業概	女性のライフサイクルの中で、周産期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点を当て、対象の生理的変化、心理社会的変化と社会適応を学ぶ。産褥期・新生児期を中心にウエルネスの視点に基づいた看護過程の展開と母性看護学の援助技術について学修する。					
到達目標	1)母性看護学の基本概念であるウエルネス思考のアセスメントの仕方を理解し、記録が書ける。 2)褥婦・家族の情報収集に必要な問診技術を修得できる。 3)褥婦の全身状態、退行性変化(全身の復古・子宮の復古・悪露・産道の治癒過程)進行性変化(乳房の変化)を観察し、アセスメントができる。 4)新生児のVS/観察、生理的変化のアセスメントができ看護過程が展開できる。 5)産褥期に必要な看護援助技術を修得できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員
1	母性看護学の基本概念アセスメントと看護の考え方A/B	家族中心の看護・意思決定の支援・セルフケアの援助・ケアリング・エンパワーメントを考えたウエルネスの看護過程の展開方法や記録の書き方・アセスメントの視点について 事前学習(60分)「母性看護学①母性看護学概論/ウイメンズヘルスと看護 メディカルフレンド社母性における思考プロセス」を読んでくる。 事後学習(30分)授業内容の復習を行う。				松島 泰恵
2	分娩期のアセスメントと看護A/B	分娩期のアセスメントと看護 アセスメントの視点に沿って情報を分類し、アセスメントを実施する。 事前学習(60分)manabaで課題:分娩第1期の看護計画書き提出する。 事後学習(30分)分娩第1期の援助を1つ選び技術手順を作成する(ex呼吸法・指圧など)。				松島 泰恵
3	母性看護技術(産褥・早期新生児)A/B	子宮底の触診方法・輪状マッサージ・産褥体操・骨盤底筋訓練・乳房触診方法・乳輪乳頭マッサージ・授乳姿勢・児の抱き方 事前学習(60分)manabaで課題:これまで母性看護学で学んだ内容の復習。 事後学習(30分)授業内容の復習を行う。				日下 桃子
4	褥婦と家族のアセスメントと看護(全身状態・退行性変化)A/B	子宮復古・産道の創傷の治癒・全身状態の観察とアセスメントと看護 アセスメントの視点に沿って情報を分類し、アセスメントを実施する。 (アセスメントシートに必要な観察項目を記載する。) 事前学習(60分)manabaで課題:これまで母性看護学で学んだ内容の復習。 事後学習(60分)一般状態、退行性変化の観察手順書を作成する。				日下 桃子
5	褥婦と家族のアセスメントと看護(進行性変化・心理社会面の変化)A/B	進行性変化・心理社会面の変化の観察とアセスメントと看護 アセスメントの視点に沿って情報を分類し、アセスメントを実施する。 事前学習(60分):これまで母性看護学で学んだ内容の復習。 事後学習(60分)進行性変化の観察の手順書を作成する。				松島 泰恵
6	産褥期母児の援助技術演習・看護過程の展開ガイダンスA/B	演習内容:産褥3日目事例。退行性変化(全身の復古・子宮の復古・悪露・産道の治癒過程)、進行性変化(乳房の変化)を観察、触診などの技術を実施する。DVD視聴。 褥婦・家族の情報収集に必要な問診やアセスメントの視点に沿った情報分類を行い、アセスメントする。看護計画を考える。看護過程の記録用紙の書き方、提出について。 事前学習(60分)母性看護学のこれまでの資料を読んでくる。 事後学習(30分)実施したデータのアセスメント・健康問題リスト・計画を仕上げ提出する。				松島 泰恵
7	産褥期の援助技術【演習】A	褥婦の看護にかかわる技術 退行性変化 進行性変化 心理・社会的情報の観察実施 事前学習(60分)母性看護学のこれまでの資料を読んでくる。一般状態・退行性変化・進行性変化・技術手順を復習し覚えてくる。 事後学習(30分)実施したデータのアセスメント・健康問題リスト・計画を仕上げ提出する。				松島 泰恵 山崎 圭子 日下 桃子 野井 恵加
8	産褥期の援助技術【演習】A	褥婦の看護にかかわる技術 退行性変化 進行性変化 心理・社会的情報の観察実施 事前学習(60分)母性看護学のこれまでの資料を読んでくる。一般状態・退行性変化・進行性変化・技術手順を復習し覚えてくる。 事後学習(30分)実施したデータのアセスメント・健康問題リスト・計画を仕上げ提出する。				松島 泰恵 山崎 圭子 日下 桃子 野井 恵加

9	産褥期の援助技術【事例演習看護過程】A	褥婦の看護にかかわる技術 情報を整理しアセスメント・健康問題リスト・計画を考える。 事前学習(60分)母性看護学のこれまでの資料を読んでくる。一般状態・退行性変化・進行性変化・技術手順を復習し覚えてくる。 事後学習(30分)実施したデータのアセスメント・健康問題リスト・計画を仕上げ提出する。	松島 泰恵 山崎 圭子 日下 桃子 野井 恵加
10	早期新生児の健康問題に対する看護A/B	新生児の異常と看護 事前学習(30分)事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分)授業内容の復習を行う。	野井 恵加
11	早期新生児のアセスメントと看護A/B	新生児のアセスメントと看護 新生児の観察方法と看護技術について学修する。 事前学習(60分)manabaで課題:これまで母性看護学で学んだ内容の復習。 事後学習(60分)新生児のバイタルサイン測定・全身の観察の手順書を作成する。	日下 桃子
12	早期新生児の援助技術【演習】A	新生児の看護にかかわる技術実施する 事前学習(30分)母性看護学のこれまでの資料を読んでくる。新生児のバイタルサイン測定・全身の観察技術手順を復習し覚えてくる。 事後学習(30分)早期新生児のアセスメント・健康問題リスト・計画を完成させて提出する。	松島 泰恵 山崎 圭子 日下 桃子 野井 恵加
13	早期新生児の援助技術【演習】A	新生児の看護にかかわる技術を実施する 事前学習(30分)母性看護学のこれまでの資料を読んでくる。新生児のバイタルサイン測定・全身の観察技術手順を復習し覚えてくる。 事後学習(30分)早期新生児のアセスメント・健康問題リスト・計画を完成させて提出する。	松島 泰恵 山崎 圭子 日下 桃子 野井 恵加
14	早期新生児の援助技術【事例演習看護過程】A	新生児の看護にかかわる技術 情報を整理しアセスメント・健康問題リスト・計画を考える。 事前学習(30分)母性看護学のこれまでの資料を読んでくる。新生児のバイタルサイン測定・全身の観察技術手順を復習し覚えてくる。 事後学習(30分)早期新生児のアセスメント・健康問題リスト・計画を完成させて提出する。	松島 泰恵 山崎 圭子 日下 桃子 野井 恵加
15	母性の看護過程の展開のまとめA/B	看護過程 産褥事例4日目提示 看護計画・SOAPのまとめと留意点、母性看護学実習記録用紙、実習前の事前学習課題の説明、授業評価 事前学習(30分)のアセスメント授業資料を読んでくる。 事後学習(30分)授業内容の復習を行う。	松島 泰恵

評価	定期試験70%、事前テストへの参加・リアクションペーパー・課題 30%
課題に対するフィードバックの方法	個人課題、試験の講評はweb上またはmanabaにて通達する。
教科書	1. 新体系 看護学全書 母性看護学①母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護, 第7版, 2022年/メデカルフレンド社, ISBN: 978-4-8392-3403-4【第1回講義で使用】 2. 新体系 看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護, 第7版, 2022年/メデカルフレンド社, ISBN: 978-4-8392-3404-1【第2回～15回講義で使用】 3. 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 第3版 2022/メデカルフレンド社, ISBN: 978-4839216931【第2回～15回講義で使用】 ※今まで購入済の教科書を使用する。
参考図書など	1. ナーシンググラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版 2. ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護の実践 メディカ出版 3. 病気が見えるVol.10、産科、メディックメディア 4. マタニティ診断ガイドブック 医学書院 5. マタニティアセスメントガイド 新訂第5版 真興交(株)医書出版部 6. ウエルネスからみた母性看護過程 第2版 医学書院
アクティブ・ラーニング	事前テストによる反転学習
実務経験のある教員による授業	アドバンス助産師・助産師として多くの臨床経験を持つ教員が臨床経験を活かして、女性のライフサイクル各期における看護について講義する。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験 のある教 員による 科目
精神看護学 Psychiatric and Mental Health Nursing	必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年後期	片山 典子、陶山 克洋、佐々木 博之	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP3) 援助的コミュニケーション力 DP5) 安全を保障する力					
応用科目						
授業概要	精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について学修する。また精神看護学の対象や精神看護を実践する上で基盤となる人間関係論、セルフケア論、ストレングスモデルなどの理論・モデル、精神看護における倫理的諸問題と法的根拠、精神看護の活動の場や専門性について学修する。さらには地域精神保健活動の国内外の動向について概観し、日本の精神保健活動の課題について探究する。					
到達目標	1) 精神の健康について説明することができる。 2) 精神力動的な考え方や精神の発達論、精神機能について説明することができる。 3) 精神看護学の対象や精神看護を実践する上で基盤となる理論やモデルについて説明できる。 4) 危機およびストレスと対処行動が説明できる。 5) 精神看護における倫理的諸問題と法的根拠について説明できる。 6) さまざまな場と現代社会が精神保健上に及ぼす影響について説明できる。 7) 地域精神保健活動の意義と課題について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)			担当教員	
1	精神看護学の考え方と精神の健康	精神看護学の考え方、精神看護の対象、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、精神保健の概念、予防精神医学、心の健康の概念、精神医療の概況、地域精神保健福祉活動の意義、地域精神福祉活動の諸外国の動向、精神保健福祉の課題 事前学習(30分)精神看護学Ⅰ(p6-16、p241-247)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。指示された提出日までに提出ボックスへ提出する。			片山 典子	
2	心の機能と発達	フロイトの精神力動論と精神情緒の発達論、エリクソンの発達論、自我同一性、自我の機能、集団力動論 事前学習(30分)精神看護学Ⅰの第1章(p17-47)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。指示された提出日までに提出ボックスへ提出する。			陶山 克洋	
3	脳の仕組みと精神機能	脳の部位と精神機能、神経伝達物質と精神機能、ストレス脆弱性仮説、脳と免疫機能、睡眠障害とサーカディアンリズム 事前学習(30分)精神看護学Ⅱの第2章(p62-73)を読み、重要部分にマーカーする 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			陶山 克洋	
4	医療の場におけるメンタルヘルス	リエゾン精神看護とは、リエゾン精神看護専門看護師の活動と役割、身体疾患をもつ人の心の健康、病気と心理的社会的反応、コンサルテーション事例の特徴 事前学習(30分)精神看護学Ⅰの第2章(p60-140)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			片山 典子 佐々木 博之	
5	精神を病む人の理解と精神看護に用いる理論	精神障害者の理解、患者一看護師関係論、セルフケア理論 【エクササイズ】幻聴エクササイズを行い、幻聴を体感し幻聴のある人を理解する。 事前学習(30分):精神看護学Ⅰ(p70-75)、精神看護学Ⅱ(p10-14、23-43)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			片山 典子	
6	生きる力と強さに着目した理論・モデル	レジリエンス、ストレングスモデル、リカバリーモデル、エンパワメント概念 【エクササイズ】ストレングスシートを活用し相手のストレングスを理解する。 事前学習(30分):精神看護学Ⅱ(p54-60)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			片山 典子	
7	危機とメンタルヘルス	危機の概念(定義・タイプ・危機の特徴・危機に対する反応)、危機介入、予防、ストレスと対処、ストレスと適応、災害時の精神保健医療活動・DPAT、災害時の精神障害者への治療継続 事前学習(30分)精神看護学Ⅰの第1章(p48-57)を読み、重要部分にマーカーする。メンタルヘルスに影響を及ぼす災害現象に着目した資料を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する【事前個人課題レポート①】 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			陶山 克洋	
8	人権と倫理	精神科看護実践における倫理的諸問題と法的根拠、精神科看護倫理綱領、意思決定支援、精神看護とリスクマネジメント 事前学習(30分)精神看護学Ⅰ(p218、226-233、248-254、316-317)、精神看護学Ⅱ(p184-202)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			片山 典子	

9	精神の健康とトラウマインフォームドケア(TIC)	トラウマの概念、逆境体験性の健康に関連する状態、TICの3つのE、TICの4つの仮定、TICの6つの原理 【グループワーク】グループワークを通して事例について3つのEを特定する。 事前学習(30分)トラウマまたはトラウマインフォームドに着目した資料を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する【事前個人課題レポート②】。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山 典子
10	社会とメンタルヘルス① 【introduction】	精神医学的問題と社会要因、さまざまな社会病理現象、家族・家庭、学校、職場、地域におけるメンタルヘルス 【グループワーク】社会のメンタルヘルス上の課題に注目し、グループワークを行う。 事前学習(30分)メンタルヘルスに影響を及ぼす社会病理現象に着目した資料を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する【事前個人課題レポート③】。 事後学習(60分)グループワークを各自で進める。	片山 典子 陶山 克洋
11	社会とメンタルヘルス② 【group work】	精神医学的問題と社会要因、さまざまな社会病理現象、家族・家庭、学校、職場、地域におけるメンタルヘルス 【グループワーク】社会のメンタルヘルス上の課題に注目し、グループワークを行う。 事前学習(30分)事前に配布された発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習(60分)グループ発表、配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	片山 典子 陶山 克洋
12	社会とメンタルヘルス③ 【presentation】	精神医学的問題と社会要因、さまざまな社会病理現象、家族・家庭、学校、職場、地域におけるメンタルヘルス 【プレゼンテーション】グループワークを行った社会のメンタルヘルス上の課題についてプレゼンテーションを行う。 事前学習(30分)事前に配布された発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習(60分)グループ発表、配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	片山 典子 陶山 克洋
13	精神領域における家族支援	家族支援の意義、教育的介入、患者家族関係、家族の心の健康 事前学習(30分)精神看護学Ⅰ(p120-125、142-150)を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。	片山 典子
14	精神科訪問看護	地域生活支援と精神科訪問看護の現況、在宅精神障害者・児と家族の特性ならびに健康課題の特徴、在宅ケア・看護実践の特質、アセスメントの要素 事前学習(30分)精神看護学Ⅰの第3章(p167-174、178-186)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。	片山 典子
15	精神保健医療福祉におけるチーム医療と多職種連携	多職種専門家によるチーム医療、当事者・家族を中心とした多職種協同・地域連携、多職種との調整・連携における看護の役割、シェアード・レジジョンメイキング 事前学習(30分)精神看護学Ⅰの第5章(p256-263)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山 典子

評価	定期試験65% (小テスト含む)、個人課題レポート30%、グループ課題5%で評価します。
課題に対するフィードバックの方法	個人課題、試験の講評はweb上またはmanabaにて公開する。なお、個人課題の不足が多い学生にはmanaba等を使用し、補講を行い不足部分を中心に補完する。
教科書	精神看護学Ⅰ 精神保健学/吉松和哉、小泉典章、川野雅資編集/ヌーヴェルヒロカワ/第6版 7刷/ISBN:978-4-86174-064-0/2022 【第1-2、4-5、7-8、13-15回目で利用】 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学/川野雅資編集/ヌーヴェルヒロカワ/第6版 7刷/ISBN:978-4-86174-065-7/2022 【第3、5-6、8回目で利用】 ナースの精神医学/上島国利、渡辺雅幸、柳恵子/中外医学社/5版/ISBN:978-4-498-17502-0/2019 【第3回目で利用】
参考図書など	現代臨床精神医学/大熊輝雄/「現代臨床精神医学」第12版改訂委員会編集/金原出版/第12版/ISBN:978-4-307-15067-5/2013 DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル/American Psychiatric Association/日本精神神経学会監修/医学書院/ISBN:978-4-260-01907-1/2014 精神保健医療福祉白書2018/2019 多様性と包括性の構築/精神保健医療福祉白書編集委員会編集/中央法規/ISBN:978-4-8058-5724-3/2018 その他は適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	5回の講義:【エクササイズ】幻聴エクササイズを行い、幻聴を体感し幻聴のある人を理解する。 6回の講義:【エクササイズ】ストレングシートを活用し相手のストレングスを検討する。 9回の講義:【グループワーク】グループワークを通して事例について3つのEを検討する。 10回-12回の講義:【グループワーク】社会のメンタルヘルス上の課題に注目し、グループワークを行い、グループ毎に【プレゼンテーション】を行う。
実務経験のある教員による授業	精神科看護師としての看護実践経験を活かし、精神看護学の対象や基本となる概念、精神看護を実践する上で基盤となる知識を教授する。
留意事項	精神看護学で学習する内容は、「病態学Ⅳ(精神)」「精神看護方法論」「慢性期看護実習」での学習に関連する。必ず事前学習・事後学習を行って積極的に授業に臨んで下さい。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験 のある教 員による 科目
精神看護方法論 Psychiatric nursing methodology	必修	演習	1単位 (30時間)	3年前期	陶山克洋 片山典子 渡部李菜 佐々木博之	○
ナンバリングコード	HNSD2		オフィスアワー	授業の前後、昼休み及び別途公開する一覧表の時間に受け付ける		
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション能力					
応用科目	DP5)安全を保障する力					
授業概要	精神看護学での学びを基に、精神障害がある人とその家族を理解し、状態の安定維持に向けた看護援助の方法について学修する。具体的には、様々な精神障害にある人の看護および主な精神症状に対する看護について学ぶ。また精神障害のある人の社会復帰に向けた援助と社会適応やリハビリをめざして生活を維持していくための支援方法について学修する。さらに活用できる諸制度、マンパワー、チーム医療等の社会資源の活用方法についても学修する。					
到達目標	1)精神に障害をもつ人の病気の特徴および生活上の影響を説明できる。 2)精神に障害をもつ人の治療法と基本的な看護方法を説明できる。 3)精神に障害をもつ人のアセスメントの視点を説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	幻覚・妄想のある患者の看護(1) 一統合失調症、統合失調症型障害の急性期一	病期の種類、幻覚の定義と種類、急性期にみられる生活上の影響、生理学モデルによる治療とその影響、興奮・攻撃行動、自殺企図、自傷行為を引き起こす心理・社会的問題、アセスメントの視点 【映像教育】映像による幻聴・妄想による影響を体験する。 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p138-142・224-231、ナースの精神医学p80-91を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			片山典子 渡部李菜	
2	幻覚・妄想のある患者の看護(2) 一統合失調症、統合失調症型障害の回復期～慢性期一	回復期～慢性期にみられる生活上の影響、心理社会的援助の視点とその方法(教育的アプローチ、社会支援)、退院支援、アセスメントの視点 【映像教育】映像により、実際に臨床で実施されている教育的アプローチ、実際に地域で取り組まれているデイケアや就労支援について学ぶ。 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p207-222を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			陶山克洋	
3	気分＜感情＞障害、睡眠障害のある患者の看護	うつ状態・躁状態による生活への影響、不眠の影響、生理学モデルによる治療とその影響、心理社会的援助の視点と方法、アセスメントの視点 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p143-146、ナースの精神医学p92-100を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			佐々木博之	
4	統合失調症患者の看護過程の展開(情報収集)	前半:精神障害者の情報収集の方法 後半:事例の情報をもとに、患者像についての【グループディスカッション】 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p44-48を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し看護過程の展開(情報収集)に取り組む。			陶山 克洋 ・他担当教員	
5	社会復帰に向けた援助	退院支援のプロセス、社会復帰に向けたチーム医療、就労支援、活用できる社会資源 事前学習(60分)日本における障害者の就労支援状況について調べ、資料を持参する【事前個人課題1】 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			片山 典子	
6	依存状態の患者の看護	依存の種類および考え方、依存の程度、生活への影響、家族の特徴と支援、活用できる社会資源、アセスメントの視点 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p274-282、ナースの精神医学p128-136を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。			渡部李菜 片山典子	
7	統合失調症患者の看護過程の展開(アセスメント)	前半:精神障害者の看護診断の方法(NANDA-Iの活用方法)、精神障害者の看護目標(期待される結果)と計画立案の方法 後半:個人で行った事例のアセスメントをもとに【グループディスカッション】 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p48-50を読んでくるとともにグループワークを各自進める。 事後学習(60分)グループワークを進め、アセスメントおよび目標設定と援助計画の立案を行う。			陶山 克洋 ・他担当教員	
8	リハビリ・ストレスモデル ストレスモデルの概念、リハビリモデルによる援助技法-WRAPの概念	リハビリ・ストレスモデルの概念間の関連、ストレスモデルの目的、原則、ストレスアセスメント、個別計画、※講義、事例の情報をもとにグループディスカッション 事前学習(60分)精神看護学で学修したストレスモデル、リハビリモデル、エンパワメント概念のプリント、該当テキストを復習する。 事後学習(60分)指示された提出日時にグループ資料を提出する【グループ課題1】			渡部 李菜 ・他担当教員	

9	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害、器質性精神障害のある患者の看護	神経性障害の種類と特徴、不安障害・身体表現性障害の生理学モデルによる治療とその影響、アセスメントの視点 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p146-154・303-307・318-324、ナースの精神医学p101-119を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	陶山克洋
10	精神領域における家族支援	家族支援の意義、教育的介入、患者家族関係 事前学習(30分)精神看護学Ⅰ精神保健学p120-125,142-150を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。	渡部 李菜 片山典子
11	統合失調症患者の看護過程の展開(アセスメント・看護計画立案)	個人で行った事例のアセスメントや目標設定と援助計画の立案をもとに【グループディスカッション】とグループ課題の提出準備 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p50-53を読んでくるとともにグループワークを各自進める。 事後学習(60分)グループワークを進め、グループ課題提出を行う。	陶山 克洋 ・他担当教員
12	認知症における精神症状とその看護	認知症の症状、原因となる疾患、アセスメントの視点 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p283-288を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	佐々木博之 片山典子
13	認知症看護の演習	【体験学習】認知症模擬患者を用いた演習、認知症患者の看護についてのグループディスカッション 事前学習(30分)病態学Ⅳ、精神看護学の関連の講義内容について再度見直す。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習する。	佐々木博之 片山典子
14	看護が用いる治療技術ーSSTの理論ー	SSTの理論背景、SSTの種類、留意事項 事前学習(30分)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p111-117を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習し演習の準備をする。	陶山克洋 ・他担当教員
15	看護が用いる治療技術ーSSTの演習ー	SST演習【グループ演習】 事前学習(30分)グループ演習に関する教科書の該当箇所を読み、目的・方法を理解しておく。 事後学習(60分)グループ演習や資料、教科書など授業全体について復習し、演習課題を行う【個人課題2】	陶山克洋 ・他担当教員

評価	試験(小テストを含む)50%、事前個人課題10%、個人課題10%、演習課題20%、グループワークおよびグループ課題10%を総合して評価します。
課題に対するフィードバックの方法	講義内で行う小テストは、講義開始時に講評する。 試験の講評はweb上または掲示して公開する。また、試験の講評に関して希望がある場合は、個別にも対応する。
教科書	(1)精神看護学Ⅱ精神臨床看護学/川野雅資編集/ヌーヴェルヒロワ/第6版 7刷/ISBN978-4-86174-065-7【全ての講義で利用】 (2)精神看護学Ⅰ精神保健学/吉松和哉、小泉典章、川野雅資編集/ヌーヴェルヒロワ/第6版 7刷/ISBN978-4-86174-064-0【第10講義で利用】 (3)ナースの精神医学/上島国利、渡辺雅幸、榊恵子/中外医学社/改訂5版/ISBN978-4-498-17502-0【第1、3、6、9講義で利用】 (4)精神症状のアセスメントとケアプラン 32の症状とエビデンス集/川野雅資編著/メヂカルフレンド社/第1版/ISBN978-4-8392-1470-8 (5)NANDA-I看護診断 定義と分類 2024-2026 原著第12版/T.ヘザー・ハードマン、上鶴重美、カミラ・タカオ・ロペス編集/医学書院/第1版/ISBN:978-4-260-04628-2【教員、陶山の担当講義:第7、11回で利用】
参考図書など	(1)ストレングスマodel リカバリー志向の精神保健福祉サービス/チャールズ・A・ラップ、リチャード・J・ゴスチャ、田中英樹監訳/金剛出版/第3版/ISBN978-4-7724-1346-6 (2)リカバリー 希望をもたらすエンパワーメントモデル/カタナ・ブラウン編集、坂本 明子監訳/金剛出版/ISBN978-4-7724-1255-1 (3)リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスマodel実践活用術/萱間真美/医学書院/ISBN:978-4-260-02798-4 (4)精神科訪問看護(Q&Aと事例でわかる訪問看護)/公益財団法人日本訪問看護財団監修、萱間真美、寺田悦子編集/中央法規出版/ISBN:978-4-8058-5150-0 (5)看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術/山本勝則、藤井博英、守村洋編著/メヂカルフレンド社/第3版/ISBN: 978-4-8392-1696-2 (6)オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開/宇佐美しおり、鈴木啓子/ヌーヴェルヒロカワ/第2版/ISBN:978-4-902085-57-0 (7)基本から学ぶSST 精神の病から回復を支援する/前田ケイ/星和書店/ISBN:978-4-7911-0849-7 (8)WRAP®を始める! 精神科看護師とのWRAP®入門【WRAP(元気回復行動プラン)編】/増川ねてる、藤田茂治編著/精神看護出版/ISBN:978-4-86294-060-5 その他は適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	1,2回目の講義【映像教育】:幻聴・妄想の患者の看護において、映像を通じて幻聴・妄想の症状の体験や、実際の臨床での支援や治療技術の展開を視聴する。 4, 7, 11回目の講義【グループディスカッション】:精神に障害をもつものの事例をもとに看護計画を立案する中で、グループで最適な看護を提供するためのディスカッションを行う。 13, 15回目の講義【体験学習】:実際の患者(認知症や地域で生活する精神に障害を持つもの)に対しての看護をグループで考え、ディスカッション等を行い看護実践を体験する。
実務経験のある教員による授業	精神科看護師としての看護実践経験を活かし、精神看護を実践する上で必要な知識と介入方法を教授する。
留意事項	精神看護方法論で学修する内容は、「病態学Ⅳ(精神)」「精神看護学」「ナーシングプロセスⅡ」「精神看護学実習」での学修内容と関連します。また精神看護学実習の看護場面に活用できる内容なので、必ず事前学修を行い積極的に授業に臨んで下さい。



授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
在宅看護方法論 Home Care Nursing Methodology	必修	講義 演習	1単位 (30時間)	3年前期	東村志保・塚原ゆかり・高橋美保・小林紀明	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力					
応用科目	DP3)援助的コミュニケーション力 DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力					
概要	訪問看護活動に必要な在宅看護や在宅医療技術について、最新の知識と方法を学び、実践力を養う。また、在宅療養者の生活の実際を知り、個性及び多様性の高い療養者、家族介護者、その他の家族等の状況を考慮した訪問看護支援の構築について考えることができる。					
到達目標	1)在宅療養者の自立支援に対する考え方とそれに応じた療養環境の調整、必要となる対象者との人間関係構築のためのスキルについて説明することができる。 2)個々の在宅療養者の病状と生活の安定を図るために、適切かつ具体的な日常生活援助技術について理解できる。 3)医療依存度の高い在宅療養者に対する医療・看護の意義と方法について理解できる。 4)様々な発達段階における在宅療養者の特徴的な疾患、及び、療養者とその家族介護者等の状況に応じた在宅看護の方法について理解できる。 5)在宅療養生活におけるエンド・オブ・ライフの考え方や倫理的側面、及び、必要な看護について理解できる。 6)在宅療養生活における感染予防について、必要と具体的な方法について理解できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	オリエンテーション、在宅看護の対象と訪問看護の特徴	【オリエンテーション】シラバス概観、講義や演習における注意事項等 【講義】ヘルスケアシステムにおける在宅看護の位置付け、在宅療養者の特徴と多様性、訪問看護師の役割機能と援助技術（訪問の準備とマナー、プライバシーの保護と守秘義務、コミュニケーション技術、ヘルスアセスメント、日常生活援助と自立支援、家族支援、在宅における医行為、チーム医療と多職種連携）、災害対策 事前学習(40分)テキスト(p.17-53, p.105-108, p.187-202)を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。			東村志保	
2	在宅における日常生活援助と自立支援(知識編)	【講義】在宅における日常生活援助アセスメント・援助の実際と留意点、①栄養(口腔ケア、嚥下機能評価、嚥下調整食、食事介助)、②排泄(排泄状況に関する情報の収集、排便コントロール、失禁ケア用品の種類と選択、緩下剤の与薬・洗腸・摘便、自己導尿、膀胱留置カテーテル)、③清潔(入浴/シャワー介助、全身清拭、洗髪、陰部洗浄)、④ネイル(爪)ケア、⑤移動(転倒の予防、スライディングシート・スライディングボード・リフトによる車椅子移乗)、⑥睡眠 事前学習(40分)テキスト(p.69-92, p.96-104, p.67, p.137-141, p.162-164)を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。			東村志保	
3	在宅における日常生活援助と自立支援(技術編)	【演習】在宅療養環境における使用物品や援助の工夫①清潔の技術(陰部洗浄、洗髪、シャワー浴/入浴介助)、②移動の技術(リフト、スライディングシート、スライディングボード)、③排泄の技術(尿器、便器、自己導尿、洗腸、摘便、トイレ誘導)、④栄養と口腔ケアの技術(口腔ケア、嚥下評価、嚥下調整食、とろみ調整食品) 事前学習(60分)テキストの関連部分(p.17-53, p.69-92, p.137-141)を復習し、教員から提示された資料とあわせて、各援助技術の重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と演習の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシートを完成し提出する。			塚原ゆかり 東村志保 高橋美保 小林紀明	
4	在宅における医療ケア(知識編、その1)	【講義】在宅看護における各種医療ケアの目的・対象となる在宅療養者の特徴・アセスメント・援助の実際と留意点・緊急時の対処①在宅酸素療法、②非侵襲的陽圧換気療法、③在宅人工呼吸療法、④排痰法・喀痰吸引(口腔、気管切開チューブ)、⑤在宅経腸栄養法(胃瘻) 事前学習(40分)テキスト(p.93-96, p.117-137, p.145-150)を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。			東村志保	
5	在宅における医療ケア(知識編、その2)	【講義】在宅看護における各種医療ケアの目的・対象となる在宅療養者の特徴・アセスメント・援助の実際と留意点・緊急時の対処⑥内服薬・外用薬の与薬と管理、⑦インスリン自己注射と血糖測定、⑧在宅輸液療法(皮下注射・中心静脈栄養)、⑨透析療法(血液透析、腹膜透析)、⑩在宅がん看護(抗がん剤治療、疼痛コントロール) 事前学習(40分)テキスト(p.108-117, p.150-155, p.165-185)を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。			東村志保	
6	在宅における医療ケア(知識編、その3)	【講義】在宅看護における各種医療ケアの目的・対象となる在宅療養者の特徴・アセスメント・援助の実際と留意点・緊急時の対処⑪失禁関連皮膚炎の予防とケア、⑫スキンケアの予防とケア、⑬浮腫のケア、⑭褥瘡の予防とケア、⑮ストーマケア、⑯足病変のケア 事前学習(30分)テキスト(p.142-145, p.155-165)を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。			東村志保	
7	在宅における医療ケア(技術編、その1)	【演習】担当する事例について、実施する援助技術の必要物品、手順、留意点およびその根拠(a)、ケアの組み立てとその根拠(b)を考え、グループ内でロールプレイングを実施し、ワークシートを作成する。 <事例>①慢性閉塞性肺疾患の療養者(在宅酸素療法、呼吸リハビリテーション、外来受診の準備、入浴介助、栄養指導)、②喉頭がん術後で腎不全の療養者(気管切開部の管理と気管内吸引、口腔ケア、呼吸リハビリテーション、入浴介助、胃瘻の管理と経管栄養、シャント管理)、③脳出血後遺症で嚥下障害と片麻痺がある療養者(口腔ケア、口腔内吸引、飲水介助、車椅子移乗、トイレ介助、褥瘡の予防、ポジショニング、生活リハビリテーション)、④脳梗塞後遺症で嚥下障害と関節拘縮がある療養者(口腔ケア、口腔内吸引、体位ドレナージ、CVポートの管理と高カロリー輸液、褥瘡の予防、おむつ交換、体位変換・ポジショニング) 事前学習(60分)担当する事例の情報を理解し、全体像をイメージして実演予定の援助技術を復習する。 事後学習(30分)事前学習と演習の内容を整理・復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシート(1回目)を完成し提出する。			東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他	

8	在宅における医療ケア(技術編、その2)	<p>【演習】担当する事例について、実施する援助技術の必要物品、手順、留意点およびその根拠(a)、ケアの組み立てとその根拠(b)を考え、グループ内でのディスカッションをもとに、各人の考察(c)を加えたワークシートを作成する。</p> <p>&lt;事例&gt;①慢性閉塞性肺疾患の療養者(在宅酸素療法、呼吸リハビリテーション、外来受診の準備、入浴介助、栄養指導)、②喉頭がん術後で腎不全の療養者(気管切開部の管理と気管内吸引、口腔ケア、呼吸リハビリテーション、入浴介助、胃瘻の管理と経管栄養、シャント管理)、③脳出血後遺症で嚥下障害と片麻痺がある療養者(口腔ケア、口腔内吸引、飲水介助、車椅子移乗、トイレ介助、褥瘡の予防、ポジショニング)、④脳梗塞後遺症で嚥下障害と関節拘縮がある療養者(口腔ケア、口腔内吸引、体位ドレナージ、CVポートの管理と高カロリー輸液、褥瘡の予防、おむつ交換、体位変換・ポジショニング)</p> <p>事前学習(30分)担当の事例について1回目の演習や自習では解決に至らなかった疑問点をまとめる。 事後学習(30分)事前学習と演習の内容を整理・復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシート(2回目)を完成し提出する。</p>	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他
9	在宅における感染予防	<p>【講義】在宅療養者における感染症の特徴・予防・アセスメント・援助技術と留意点</p> <p>【演習】感染兆候を呈する在宅療養者への対応についての事例を用いたグループディスカッション</p> <p>事前学習(30分)テキスト(p.54-59)を読んで疑問点を把握し、教員から提示された感染症についてのワークシートを提出する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。</p>	東村志保
10	在宅におけるエンド・オブ・ライフケア	<p>【講義】①死の文化的背景と看護の変遷、②エンド・オブ・ライフケアとターミナルケア、③在宅における緩和ケア、④意思決定支援(アドバンス・ケア・プランニング、リビング・ウィル)、⑤臨死期の心身の変化と看取りの援助、⑥グリーフケア</p> <p>【演習】エンド・オブ・ライフケアにおける在宅認知症患者とその家族の意思決定支援に関するグループディスカッション</p> <p>事前学習(30分)テキスト(p.60-65)および起用院から提示された資料を読んで内容を理解する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。</p>	東村志保
11	精神疾患患者の在宅看護、認知症高齢者の在宅看護(知識編)	<p>【講義】在宅精神疾患患者と認知症高齢者の特徴・アセスメント・援助の実践と留意点①療養者へのかかわり方とコミュニケーション技術、②薬物療法と服薬管理、③非薬物療法、④日常生活援助、⑤家族支援、⑥社会資源</p> <p>事前学習(30分)テキスト(p.210-212, p.228-231)を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。</p>	高橋美保
12	認知症高齢者の在宅看護(技術編、その1)	<p>【演習】認知症高齢者とのコミュニケーションを疑似体験し、実演での体験に基づいて各人がプロセスレコードを作成する。</p> <p>&lt;事例&gt;①アルツハイマー病(重度記憶障害、拒薬、便秘、狭心症)、②アルツハイマー病(軽度の短期記憶障害、不安、服薬管理の困難、高血圧)、③血管性認知症(左半側空間無視、高次脳機能障害、発話障害、過活動膀胱)、④レビー小体型認知症(幻視、不安、転倒)</p> <p>事前学習(30分)教員から提示された資料を読み、プロセスレコードと事例の情報を理解する。また、認知機能障害を有する対象の理解や治療的コミュニケーションについて重要事項や疑問点を把握する。 事後学習(30分)各自でプロセスレコードを完成し、演習での課題や疑問点について自習する。</p>	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他
13	認知症高齢者の在宅看護(技術編、その2)	<p>【演習】認知症高齢者とのコミュニケーションを疑似体験し、実演での体験に基づいて各人が作成したプロセスレコードをもとに、自らのコミュニケーションの特徴や専門職としてのコミュニケーション技術、認知症高齢者への看護についてグループディスカッションを行い、発表する。また、各自の考察をワークシートにまとめる。</p> <p>&lt;事例&gt;①アルツハイマー病(重度記憶障害、拒薬、便秘、狭心症)、②アルツハイマー病(軽度の短期記憶障害、不安、服薬管理の困難、高血圧)、③血管性認知症(左半側空間無視、高次脳機能障害、発話障害、過活動膀胱)、④レビー小体型認知症(幻視、不安、転倒)</p> <p>事前学習(30分)担当した事例について自習では解決に至らなかった疑問点をまとめ、グループディスカッションおよびグループ発表ならびに各自のワークシートの完成に備える。 事後学習(30分)事前学習と演習の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシートを完成し提出する。</p>	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他
14	医療的ケア児の在宅看護	<p>【講義】疾病や障害を持つ小児への在宅看護の目的・療養者の特徴・アセスメント・援助技術と留意点</p> <p>【演習】医療的ケア児の事例を用いたグループディスカッション</p> <p>事前学習(30分)テキスト(p.232-236)を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習(30分)事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。</p>	小林紀明
15	在宅看護方法論の総括	<p>【講義】第1回～第14回までの講義内容の総括、在宅看護学領域の国家試験出題基準と出題の傾向および対策</p> <p>【小テスト】第1回～第14回までの講義内容と在宅看護学領域の国家試験の出題傾向を踏まえた小テストを実施し、自己採点して提出する。</p> <p>事前学習(60分)これまでの講義や演習を通じた疑問点をまとめ、小テストに備えて自習する。 事後学習(30分)小テストの結果を踏まえて自己の課題や疑問点を整理し、学習を深める。</p>	東村志保

評価	ワークシート(30%)、ロールプレイングへの取り組み(15%)、小テスト(5%)、定期試験(50%)
課題に対するフィードバックの方法	・小テストにより講義・演習内容の理解や習得度を確認する。 ・各講義・演習でリアクションペーパーを収集し、記載内容から学習者の理解度や疑問を把握し、フィードバックを実施する。
教科書	在宅療養を支える技術/基有桂, 石田千絵, 山下留理子 編/メディカ出版/第2版/ISBN-13: 978-4840475440
参考図書など	地域療養を支えるケア/基有桂, 石田千絵, 山下留理子 編/メディカ出版/第7版/ISBN-13: 978-4840475433 写真でわかる訪問看護アドバンス/押川真喜子 監修/インターメディカ/第2版/ISBN-13: 978-4899964797 在宅看護技術/正野逸子, 本田彰子 編/メヂカルフレンド社/第4版/ISBN-13: 978-4839216795 地域・在宅看護過程/河野あゆみ 編/医学書院/第2版/ISBN-13: 978-4260050821 訪問看護アセスメントハンドブック/山内豊昭, 広瀬純子/中央法規/ISBN-13: 978-4805882061 認知症に伴う生活習慣病・身体合併症―実臨床から考える治療と対応/川畑信也/中外医学社/ISBN-13: 978-4498229167 認知症のバージョンセンタードケア―新しいケアの文化へ/トム・キットウッド 著, 高橋誠一 訳/筒井書房/ISBN-13: 978-4887204836 パリエーション/Naomi Feil 著, 藤沢嘉勝 監訳/筒井書房/第2版/ISBN-13: 978-4887203396 看護場面の再構成/宮本真巳/日本看護協会出版会/ISBN: 978-4818022355
アクティブ・ラーニング	講義・演習に先立つ基本的な看護技術についての事前学習を踏まえ、事例展開におけるロールプレイングとグループワークの活用により、学習者の気づきと思考の発展を支援し、在宅療養者に対する包括的な看護技術のイメージ構築を図る。
実務経験のある教員による授業	担当する教員は在宅看護の実践経験を有する。その臨床経験を活かし、在宅看護技術について、実践的な講義と演習を展開する。
留意事項	リアクションペーパー、ワークシート、小テストについて、指示された方法に従い期限内に提出すること。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
地域看護方法論 Community Health Nursing Methodology	必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年後期	牛田貴子	○
ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。					
応用科目	DP4)保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5)幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6)卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
授業概要	在宅や施設等多様な生活の場と人々の健康および生活の関係、社会資源や制度の基本を理解し、あらゆる健康レベルの人々に健康の保持・増進、疾病の予防及び健康の回復を目指して実践する看護の展開方法を学修する。					
到達目標	1)人々が暮らす地域、生活の場としての地域について、生活者の視点から理解できる。 2)地域で生活する個人・家族を連続体として捉え、各々が地域の構成員であり、人々と環境と多様な相互作用/関係性を持っている人として理解しアセスメントできる。 3)多様なケア環境とチーム体制について理解し、看護職及び他の専門職、住民等の役割と連携方法について探求できる。 4)自分が暮らす地域に関心を持ち、その地域の住民としてどのように地域に関わってきたか/関わっていくかについて検討できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	地域看護とは、看護職の役割	地域・在宅看護論(1年後期)の復習、教科書A:第1部1-01～08生活の場の看護、地域看護の定義、活動の場ほか 教科書B:1章-1地域と生活 事例課題の進め方と事例課題1(死別と転居)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題1			牛田貴子	
2	対象理解のための基本的視点	地域・在宅看護論(1年後期)の復習、教科書A:第1部3-01～03地域看護の対象としての個人、家族、生活者として捉える視点、第2部2 生活の最小単位である家族のアセスメント 【グループ意見交換】事例課題1 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題1の追加学習			牛田貴子	
3	生活の場である「地域」を理解するための基本的視点	地域・在宅看護論(1年後期)の復習、教科書A:第1部4-01～04生活の場としての地域、包括的なケアシステム 教科書B:3章2地域包括ケアシステム 事例課題2(入院支援、入院中の生活、施設への移行支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題2			牛田貴子	
4	生活・療養の場の移行と看護	地域・在宅看護論(1年後期)の復習、教科書B:3章3 入院連携、医療機関や介護施設との連携 【グループ意見交換】事例課題2 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題2の追加学習			牛田貴子	
5	生活を捉えるアセスメント視点との看護展開に活用できる理論、概念	教科書A:第1部5-01-02 地域の構成要素、地区視診(地区踏査) 教科書B:3章1地域アセスメント 事例課題3(入所支援、入所中の生活、在宅への移行支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題			牛田貴子	
6	生活の場での看護のための基本的視点と展開方法	教科書A:第1部5-03-04 プライマリヘルスケア、ソーシャルキャピタル、エンパワメント、多様な資源と住民組織、地域での支援を担う主要な専門組織 【グループ意見交換】事例課題3 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題3の追加学習			牛田貴子	
7	生活者である個人(対象)のアセスメント(乳幼児期/周産期、学童期)	教科書A:第2部1-01-02 心身・社会面での発達、生育をめぐる課題と健康問題、慢性期疾患のある子どもと学校 事例課題4(通所利用と在宅での生活再開の支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題4			牛田貴子	
8	生活者である個人(対象)のアセスメント(青年期・成人期、高齢期)	教科書A:第2部1-03-04 生活習慣病、就業状況と健診、メンタルヘルス不調、老化と適応 【グループ意見交換】事例課題4 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題4の追加学習			牛田貴子	
9	生活の場のアセスメント	教科書A:第2部-3 住まいと住まい方、高齢者施設での住まい方、病院での住まい方、住環境、地域のスケッチ 事例課題5(地域住民として暮らす支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題5			牛田貴子	
10	生活の場の移行に伴う看護事例検討	【グループ内発表、意見交換】事例課題1～5 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)課題1～5の見直し、追加修正 ⇒ 提出			牛田貴子	

11	生活の場での看護のためのトピックス1(虐待・暴力、災害、感染症)	教科書A:第3部-1 家族内で生じる虐待・暴力の理解とアセスメント、減災・防災の取り組み、災害からの回復、感染症の予防 【グループ意見交換】前回講義後に調べた内容の説明・伝達 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	牛田貴子
12	生活の場での看護のためのトピックス2(地域で暮らす認知症の人のへの支援)	認知症高齢者が地域で暮らすのを支える住民の活動、地域包括支援センター、地域ケア会議、認知症SOSネットワーク、認知症サポーター(養成講座を含む) 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	牛田貴子
13	生活の場での看護のためのトピックス4(在日外国人への支援)	教科書A:第3部-2 在日外国人の健康課題、異文化理解とケアの方法 【グループ意見交換】前回講義後に調べた内容の説明・伝達 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	牛田貴子
14	生活の場での看護のためのトピックス5(孤立、貧困、ヤングケアラーなどへの支援)	ヤングケアラー、8050、子ども食堂、生活困窮などの課題が複合する事例の包括的支援 【グループ意見交換】前回講義後に調べた内容の説明・伝達 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	牛田貴子
15	多職種連携と地域包括ケアシステムでの協働	教科書A:第3部-3 ケアマネジメント、支援チーム、住民とのパートナーシップ 教科書B:3章4 行政・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・介護サービス事業者・住民との連携 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)授業の振り返り、資料を整理する。	牛田貴子

評価	定期試験50%、事前・事後課題及び提出物50%
課題に対するフィードバックの方法	manabaで提出課題に関する成果等をフィードバックする。
教科書	A.看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護/岸恵美子ほか/中央法規/2022/ISBN:978-4-260-04707-4 【第1回～15回で使用する】 B.ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア/臺有桂ほか/メディカ出版/2022年版/ISBN:978-4-8404-7543-3(1年次使用) 【第1、3、4、5、15回で使用する。その他の回でも適宜使用する】
参考図書など	・「国民衛生の動向 2024/2025年版」(厚生省の指標2024年8月増刊)/厚生統計協会
アクティブ・ラーニング	事例の展開、グループワーク、プレゼンテーション
実務経験のある教員による授業	看護師、保健師、助産師としての臨床経験と地域看護の教育経験を活かして、地域看護の実践的な講義・演習を実施する。
留意事項	自分たちの生活圏を意識しながら、事例の生活の場の変化を追いつつ地域看護について考えます。意見交換で学びを深めるためにも、事例の個人学習をその時々で着実に重ねていきましょう。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
災害看護学 Disaster Nursing	必修	講義	2単位 (30時間)	3年前期	山勢善江、田邊浩文	○
ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	授業の前後、昼休み及び別途公開する一覧表の時間に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP4) チームで連携し協働する力 DP5) 安全を保障する力					
発展科目	DP6) 看護の発展に対応する力					
授業概要	災害医療の基本的な対応体制、災害看護における看護師の役割の実際について学び、市民としての災害時の行動、医療従事者としての基本的な対応方法、および災害発生時に求められる看護技術を修得する。具体的には、災害に対する政策、災害の分類、災害サイクル、災害時の心身の健康障害、災害後のこころの状態とケア、トリアージの方法、災害時のアセスメントなどについて学ぶ。また、自然災害と生物災害(感染症パンデミック)や自然災害と人的災害(テロ)等の複合災害についても学修する。					
到達目標	1) 災害および災害看護に関する基礎的知識を説明できる 2) 災害発生時の社会の対応やしきみや個人の備えが説明できる 3) 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響を説明できる 4) 災害時に看護が果たす役割を説明できる 5) 災害各期における看護支援活動をイメージできる					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)			担当教員	
1	<災害看護学概論> ・国内外における災害発生時の現状 ・災害の種類別疾病構造	国内外で発生する災害の特徴を概観し、災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			田邊浩文	
2	災害医療に関する法制度	災害に関する国の法律、政策を理解する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			田邊浩文	
3	災害医療体制	災害に対する体系的対応の基本原則(CSCATTT)、災害基幹病院や拠点病院の役割、医療保健チームの活動、多職種との連携について理解する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			田邊浩文	
4	災害トリアージの基本概念と方法	平時の院内トリアージと災害時のトリアージの基本概念と実施方法の違いを理解する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			田邊浩文	
5	<災害看護学各論> 災害サイクルと災害医療活動 超急性期・急性期	災害サイクルと各時期の医療活動の特徴を理解する 超急性期・急性期 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			山勢善江	
6	災害サイクルと災害医療活動 慢性期以降	災害サイクルと各時期の医療活動の特徴を理解する 慢性期以降 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			山勢善江	
7	配慮を必要とする人々への看護	災害時要配慮者に対する支援と看護について理解する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			山勢善江	
8	災害とこころのケア	被災者、遺族、支援者の心理とケアについて理解する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			山勢善江	
9	トリアージ演習 / START法と PAT法によるトリアージ	4講で学んだ方法をもとに、START法による1次トリアージおよびPAT法による2次トリアージを行う 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			田邊浩文 山勢善江	
10	トリアージ演習 / 代用品による 応急処置	トリアージした被災者に対して代用品による応急処置を行う 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			田邊浩文 山勢善江	
11	避難所での看護活動 / 計画立案	避難所についてグループで学修し、避難所運営計画を立案する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			山勢善江	
12	避難所での看護活動 / 実施	避難所についてグループで学修し、避難所運営計画を実施する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する			山勢善江	

13	避難所生活体験	避難者と避難所運営者にわかれ、避難所体験を行う 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江
14	避難所運営と生活の共有	避難所運営と避難体験を共有する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江
15	防災・減災マネジメント	防災と減災の取り組み、復旧・復興までのレジリエンスについて理解する 事前学習(30分)テキストの該当ページを読んでおく 事後学習(30分)授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	田邊浩文 山勢善江

評価	リアクションシート20%、期末試験60%、演習への参加ピア評価20%
課題に対するフィードバックの方法	リアクションシートに対する回答は適宜行う
教科書	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践(3): 災害看護 第5版/酒井明子 他/メディカ出版/第5版/ISBN: 978-4-8404-7545-7
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	9~14講で実施する演習では、提示されたトリアージ事例や避難所の設定に対し、学生が主体的に具体的な被災者・医療者について検討し、本科目の到達目標を達成できるよう進める。
実務経験のある教員による授業	自衛隊および看護師としての災害現場での実務経験や、海外での災害看護教育経験をもとに、甚大かつ複雑化する災害看護について講義と演習を通して教授する
留意事項	日頃から災害や災害医療、災害看護に関するメディアでの発信に対し、アンテナを高めておくことと授業での理解が深まります

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護管理学 Nursing management	必修	講義	2単位 (30時間)	3年前期	松月 みどり、渡邊真理、佐々木千佳	○
ナンバリングコード	HNSD1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP4) チームで連携し協働する力 DP5) 安全を保障する力 DP6) 看護の発展に対応する力					
基盤科目						
授業概要	看護専門職として管理に関する基礎的知識を修得し、看護管理上の問題を解決する方策の検討方法を学ぶ、(リーダーシップ、マネジメントを含む)また、医療の国際的動向と我が国の特色を理解し、医療システム、医療ケアの質に関する概念を学ぶ。看護者としてのリーダーシップ、調整、カウンセリング、コンサルタント、教育意志決定などの臨床実践能力を構築するための理論を体系的に学び、看護マネジメントに関する視点および実践能力を高める					
到達目標	1) 病院組織及び看護組織の管理を理解する 2) 看護サービスのマネジメントについて理解する 3) より良いケアを行っていくための管理の機能について探究する 4) 医療安全管理の基本を理解する 5) 高信頼性組織を理解する 6) 医療安全文化の醸成を理解する。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)			担当教員	
1	看護管理学総論 ガイダンス	看護管理学と看護管理の枠組み 看護組織 授業ガイダンス 守秘義務 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 課題レポート①の作成			松月みどり 佐々木千佳	
2	マネジメント	リーダーシップとメンバーシップ マネージャーの役割と行動 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 課題レポート②の作成			渡邊真理	
3	人的資源管理	看護職員教育 ラダー キャリアマネジメント 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 課題レポート③の作成			渡邊真理	
4	情報管理 コミュニケーション	シフトワーク 医療(看護)の質管理 官僚組織とプロジェクト組織 的資源管理 経費管理 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 課題レポート④の作成			松月みどり	
5	連携と協働 看護の質マネジメント	医療連携 多職種との連携 アウトカムマネジメント 働きやすい職場づくり 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 課題レポート⑤の作成			松月みどり	
6	医療の規制と看護管理	看護師職能団体 とどけるん 医療法 診療報酬 保健師助産師看護師法 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 課題レポート⑥の作成			佐々木千佳	
7	看護師としてのキャリア支援1	実習施設紹介等を通して看護師としての多様な働き方を学ぶ 看護学科が主催する合同就職説明会に参加する			松月みどり 渡邊眞里 佐々木千佳	
8	看護師としてのキャリア支援2	実習施設紹介等を通して看護師としての多様な働き方を学ぶ 看護学科が主催する合同就職説明会に参加する			松月みどり 渡邊眞里 佐々木千佳	
9	医療安全とは 総論	医療安全 組織を医療事故から守るために 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する			松月みどり	
10	医療事故の構造	注意をすることは、気をつけることは、システムで事故を予防する 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
11	医療安全管理の方法論1	インシデント アクシデント事例の分析の方法 医療・看護のデータ 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
12	医療事故安全管理の方法論2	医療安全教育の効果 組織を医療事故から守るために 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	

13	高信頼性組織について	高信頼性組織研究 インシデント事例はどうして防げたのか 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。	松月みどり
14	医療安全文化の醸成について	チームステップス 医療安全文化の醸成 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。	松月みどり
15	医療事故裁判について	医療事故裁判事例から学ぶ 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習しリアクションペーパーの記載をする。	松月みどり

評価	定期試験60%、提出物40%(講義後のリフレクションペーパー、レポート等を含む)、授業への参加姿勢で評価する
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	看護管理学(改訂第3版)南江堂ISBN:978-4-524-20421-2 看護の統合と実践②医療安全、メディカ出版、第4版ISBN:978-4-8404-7212-8
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	グループワーク ディスカッション プレゼンテーション
実務経験のある教員による授業	病院の看護部長として管理を担っていた経験と、認定看護管理者教育課程の講師経験が複数年ある。看護管理学の基本的知識や活用について実践的な講義をする。大学病院では医療安全管理の実務経験や大学病院の事故調査外部委員も務めた。'医療安全管理者の養成研修の講師をつとめ、厚生労働省の医療安全にかかる各種委員会の委員を歴任する。医療安全管理者の教育に携わった経験を持つ。
留意事項	



授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護研究 Seminar in Nursing Research		必修	講義・演習	2単位 (30時間)	3年前期	片山典子、石川眞里子、小林紀明、東村志保、野口京子、松永雄至、日下桃子、佐々木博之、高橋美保、野井恵加、渡部李菜	○
ナンバリングコード	HNSG2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目		DP6)看護の発展に対応する力					
発展科目							
授業概要	看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方など看護研究の基礎的事項について学修する。興味のあるテーマに関する文献検索および既存文献のクリティークを通して、看護の質向上に欠かせない研究活動について学修する。						
到達目標	1) 研究の目的と意義について述べるができる。 2) 研究における倫理的配慮の重要性が説明できる。 3) 量的・質的研究など研究方法の特徴について想起できる。 4) 研究課題を絞り込むための文献検討の方法がわかる。 5) 研究の問いとなるような事象に興味関心を持つことができる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	看護における研究の役割	看護研究とは何か、看護研究の歴史、看護研究を学ぶ目的と意義 事前学習(30分):教科書の第1章(p16-31)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる				片山典子	
2	研究計画の構成要素	研究の目的と意義、研究計画の構成要素 事前学習(30分):教科書の第8章(p246-264)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる				片山典子	
3	情報の探索と吟味	情報と科学的な根拠、文献とその種類、文献検索の方法、文献の入手と整理、文献記載方法 事前学習(30分):教科書の第3章(p48-68、74-81)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):【個人課題1】指示された課題をmanabaで提出する				図書館司書 (片山典子)	
4	文献検索演習 (書籍を探そう)	グループごとに図書館の構造を知る、CiNii Booksを使って書籍を探す 事前学習(30分):教科書の第3章(p48-68、74-81)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):【個人課題2】指示された課題をmanabaで提出する				図書館司書 (片山典子、松永雄至、佐々木博之、渡部李菜、日下桃子、高橋美保、野井恵加)	
5	文献検索演習 (データベースの活用)	グループごとに関心のあるテーマのキーワードを使って文献検索の方法を行う 事前学習(30分):教科書の第3章(p56-64、74-81)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):【個人課題3】指示された課題をmanabaで提出する				図書館司書 (片山典子、松永雄至、佐々木博之、渡部李菜、日下桃子、高橋美保、野井恵加)	
6	研究の対象と倫理的配慮	研究対象の考え方と選定方法、対象者への倫理的配慮を理解する 事前学習(30分):教科書の第6章(p154-159)と4章(p86-108)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる				片山典子	
7	研究デザイン:質的研究デザイン	研究デザインの選択、質的研究デザインを理解する 事前学習(30分):教科書の5章-A・C・D(p110、118-120、121-133)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる				小林紀明	
8	研究デザイン:量的研究デザイン	研究デザインの選択、量的研究デザインを理解する 事前学習(30分):教科書の5章-A・C・E(p110、118-120、133-144)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる				東村志保	

9	実践例で学ぶ研究方法:質的研究	質的研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分):教科書の5章-A・C・D(p110、118-120、121-133)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる	石川眞里子
10	実践例で学ぶ研究方法:量的研究	量的研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分):教科書の5章-A・C・E(p110、118-120、133-144)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる	小林紀明
11	実践例で学ぶ研究方法:実験研究	実験研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分):教科書の5章-A・C・E(p110、118-120、140-143)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる	野口京子
12	実践例で学ぶ研究方法:混合型研究	混合型研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分):教科書の第5章-A・C・F(p110、118-120、144-148)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる	小林紀明
13	文献クリティーク	文献を批判的に読む方法を理解できる 事前学習(30分):教科書の第3章-F・G(p68-73)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):【個人課題4】自分の興味ある看護分野の論文を1つ選び、各単元で学習する内容と照合しながら読み、教科書70ページを参照して14回目のグループワークまでにレポートとしてまとめmanabaで提出する	片山典子
14	文献クリティーク演習	グループワークを通して文献を批判的に読む方法を理解できる 事前学習(30分):教科書の第3章-F・G(p68-73)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):【個人課題5】自分の興味ある看護分野の論文を1つ選び、各単元で学習する内容と照合しながら読み、教科書70ページを参照して最終レポートとして提出する。	片山典子、 松永雄至、佐々木博之、渡部李菜、日下桃子、高橋美保、野井恵加
15	リサーチクエスチョン	日頃の疑問をリサーチクエスチョンにする方法を理解する 事前学習(30分):教科書の第2章(p34-45)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる	片山典子

評価	定期試験50%、個人課題50%(課題1:5%、課題2:5%、課題3:5%、課題4:10%、課題5:25%)
課題に対するフィードバックの方法	講義中に、担当教員から適宜直接指導を行う。
教科書	系統看護学講座 別巻 看護研究/坂下玲子/医学書院/第2版/ISBN978-4-260-04995-5/2023
参考図書など	黒田裕子の看護研究 step by step/黒田裕子/医学書院/第6版/ISBN978-4-260-05265-8/2023
アクティブ・ラーニング	研究の問いとなるような事象に、自分の興味や関心をもちグループでのディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	精神看護学分野での研究経験に基づく講義を行う。また他看護学での研究経験を持つ教員もオムニバスで講義を担当する。
留意事項	12回目までに自分の興味ある看護分野の論文を1つ選び、各単元で学習する内容と照合しながら読み、教科書70ページを参照して最終レポートとして提出する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
プロフェッショナル論 I Professional Nursing	必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年後期	川本利恵子 看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNS01	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP4) チームで連携し協働する力					
発展科目	DP5) 安全を保障する力 DP6) 看護の発展に対応する力					

**授業概要**  
プロフェッションとは「自律性」「自己統制の信念」「専門職業組織への準拠」「公共サービスへの信念」「専門分野への使命感」で構成される。はたして看護はプロフェッションであるかを問いつつ、学生が自らのプロフェッションの将来像に向けて、主体的に取り組むための基礎的能力を学修する。

**到達目標**  
1) プロフェッショナルの定義と特徴について理解できる。  
2) プロフェッショナルとなる基礎的能力(知識、技術、態度)を獲得する。  
3) 自己のキャリアデザインを描くことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)	担当教員
1	プロフェッショナルとは何か	プロフェッショナルの定義と特徴、OccupationとProfessionの違い 事前学習(15分)一般的にプロとは何か考えてくる 事後学習(30分)事後学習課題に取り組む	川本利恵子
2	看護分野におけるプロフェッショナルの活動①	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習(15分)看護分野におけるプロについて調べる 事後学習(15分)事後課題に取り組む	学内の 専門看護師
3	看護分野におけるプロフェッショナルの活動②	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習(15分)看護分野におけるプロについて調べる 事後学習(15分)事後課題に取り組む	学内の特定の 看護分野の 専門家
4	プロフェッショナルとしてのキャリアデザイン	自己の3年後・5年後・10年後のキャリアデザインを描く 事前学習(30分)これまでの授業を踏まえ、プロとしての自分のキャリアデザインを考える 事後学習(30分)事後課題に取り組む	川本利恵子 学内教員
5	プロフェッショナルとなる基礎的能力①	講義: 周術期における看護ケア技術①術後ベッド 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
6	プロフェッショナルとなる基礎的能力②	演習: 周術期における看護ケア技術①術後ベッド 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
7	プロフェッショナルとなる基礎的能力③	講義: 周術期における看護ケア技術②手術直後のケア 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
8	プロフェッショナルとなる基礎的能力④	演習: 周術期における看護ケア技術②手術直後のケア 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
9	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑤	講義: 周術期における看護ケア技術③術後の経過に応じたケア 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
10	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑥	演習: 周術期における看護ケア技術③術後の経過に応じたケア 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
11	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑦	講義: 様々な場面における清拭①周術期の患者における清拭 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
12	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑧	演習: 様々な場面における清拭①周術期の患者における清拭 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
13	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑨	講義: 様々な場面における清拭②脊髄損傷受傷患者における清拭 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
14	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑩	演習: 様々な場面における清拭②脊髄損傷受傷患者における清拭 事前学習(30分)事前課題に沿って予習する 事後学習(30分)事後課題に取り組む	学内教員
15	プロフェッショナルとしてのキャリアデザイン	自己のキャリアデザインを描く第一歩として、看護プロフェッショナルとの交流や、グループでのディスカッションを通して主体的に学修し、自己のキャリアデザインを描く第一歩とする。 事前学習(30分)これまでの授業を踏まえ、プロとしての自分のキャリアデザインを考える 事後学習(30分)事後課題に取り組む	川本利恵子 学内教員

評価	課題50%、授業への参加態度50%
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える
教科書	手持ちの教科書より適宜指定する
参考図書など	・山下えり子編、ケアのプロフェッショナルの空間 フランスと日本、看護の科学新社、2021。 ・松尾睦編著、医療プロフェッショナルの経験学習、同文館出版、2018。 ・PFDラッカー著、上田惇生翻訳、プロフェッショナルの条件 いかにも成果を上げ成長するか、ダイヤモンド社、2000。 ・Beth Perry Black, Professional Nursing Concepts & Challenges. 9th ed., ELSEVIER, 2020.
アクティブ・ラーニング	自己のキャリアデザインを描く第一歩として、看護プロフェッショナルとの交流や、グループでのディスカッションを通して主体的に学修し、自己のキャリアデザインを描く第一歩とする。
実務経験のある教員による授業	看護師のキャリア形成に精通した教員や、がん・感染症・創傷管理・救急等各看護分野での十分な実践経験や専門資格をもち、教育経験も豊富な教員が講義・演習を教授する。
留意事項	

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
プロフェッショナル論Ⅱ Professional Nursing Ⅱ	必修	講義	1単位 (30時間)	3年前期	山勢善江、川本利恵子、渡邊眞理、小林紀明、 片山紀子、ラウ優紀子、石川眞里子、山崎圭子	○
ナンバリングコード	HNS02	オフィスアワー	授業の前後、昼休み及び別途公開する一覧表の時間に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP4) チームで連携し協働する力 DP5) 安全を保障する力 DP6) 看護の発展に対応する力					
発展科目						
授業概要	プロフェッショナル論Ⅰを基盤として、社会で活動する医療プロフェッションとの交流やインタビューを通じて、プロフェッショナルとは何かについて、研究的に明らかにし、今後の臨地実習で培うべき自己の課題を考究する。					
到達目標	1) プロフェッショナルの定義と特徴について理解できる。 2) プロフェッショナルとして活動する人に適切なインタビューができる。 3) インタビュー結果を客観的に分析できる。 4) プロフェッショナルの特徴について発表できる。 5) 自己のキャリアデザインを描くことができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	コースガイダンス プロフェッショナルとは何か	「プロフェッショナルの定義と特徴」 「プロフェッショナル論Ⅰで明らかにした自己の目標」を見比べ、自己の課題を明らかにする。 事前学習(30分) プロフェッショナル論Ⅰの最終レポートの確認 事後学習(30分) 自己の課題に対する具体的な対処策を考察する。			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
2	インタビューについて①目的	インタビューの目的を理解する 事前学習(30分) テキストの該当箇所を読む 事後学習(30分) 講義内容を復習する			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
3	インタビューについて②計画	インタビュー方法について理解する 事前学習(30分) テキストの該当箇所を読む 事後学習(30分) 講義内容を復習する			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
4	インタビューについて③結果	インタビュー結果のデータの整理と取り扱いについて理解する 事前学習(30分) テキストの該当箇所を読む 事後学習(30分) 講義内容を復習する			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
5	インタビューについて④分析と考察	インタビュー結果の分析と考察について理解する 事前学習(30分) テキストの該当箇所を読む 事後学習(30分) 講義内容を復習する			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
6	学内プロフェッショナルの探索とインタビュー交渉	学内(保健医療学部・薬学部)で活動するプロフェッショナルを特定し、各グループ(6人×24G)毎に事前計画を立案してインタビューの交渉を行う。 事前学習(30分) 大学案内等の情報からインタビュー対象者を選び、交渉の準備をする 事後学習(30分) インタビューに向け、交渉・インタビュー内容・方法を準備する			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
7	インタビュー計画の立案	インタビュー対象者が確定次第、インタビュー計画を作成する 事前学習(30分) メールや対面でインタビューの承諾を得る 事後学習(30分) インタビューに向け、交渉・インタビュー内容・方法を準備する			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
8	プロフェッショナルへのインタビュー実施	計画に則り対面でインタビューを実施する 事前学習(30分) インタビュー前後の挨拶・服装・言葉遣い・お礼など礼節を考える 事後学習(30分) インタビュー準備から終了までの自分たちの知識や技術・態度を振り返る			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
9	インタビュー結果のデータ化	インタビュー結果のデータ化 事前学習(30分) テキストの該当箇所を参考に結果のデータ化について予習する① 事後学習(30分) インタビュー結果のデータ化			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
10	インタビュー結果の分析	インタビュー結果の分析 事前学習(30分) テキストの該当箇所を参考に結果をデータ化する 事後学習(30分) インタビュー結果のデータ化			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
11	インタビュー結果の考察	インタビュー結果の考察 事前学習(30分) テキストの該当箇所を参考にデータを読み込んで考察する 事後学習(30分) インタビュー結果のデータ化、分析、考察、発表準備			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	
12	インタビュー結果の発表	発表会準備 事前学習(30分) 効果的な発表ができるよう準備する 事後学習(30分) グループ内で協働できたか振り返る			山勢、川本、 渡邊、小林、 片山、ラウ、 石川、山崎	

13	発表会「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」	「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」を、プロセスを含め発表する① 事前学習(30分)発表準備を行う 事後学習(30分)効果的な発表であったか。グループ内で協働できたか振り返る、発表後ピア評価	山勢、川本、渡邊、小林、片山、ラウ、石川、山崎
14	発表会「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」	「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」を、プロセスを含め発表する② 事前学習(30分)発表準備、自己評価、ピア評価を行う 事後学習(30分)効果的な発表であったか。グループ内で協働できたか振り返る、発表後ピア評価	山勢、川本、渡邊、小林、片山、ラウ、石川、山崎
15	自己のキャリアデザインを描く	プロフェッショナルからの学びをもとに、自己のキャリアデザインを見つめ描きなおす 事前学習(30分)1～14講を通し、自己のキャリアデザインを描く 事後学習(30分)まとめ	山勢、川本、渡邊、小林、片山、ラウ、石川、山崎

評価	課題80%(指定回での進捗課題30%、発表会50%)、態度20%(授業への参加態度10%、ピア評価10%)
課題に対するフィードバックの方法	授業時間中に解説する
教科書	インタビュー調査法入門:質的調査実習の工夫と実践/山口富子/ミネルヴァ書房/ISBN: 9784623095346
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	教員も交えたグループディスカッションで、探究テーマの検討から発表までを実施する。
実務経験のある教員による授業	看護の実践・教育・研究のプロとしての経験を活かして、実践的な講義・演習を行う。
留意事項	学内とはいえ、他学や他学科の教員も対象にプロフェッショナルについて探究します。事前の情報収集、挨拶、インタビュー内容、身だしなみや言葉遣いなどを学修することも一つのねらいです。緊張感をもって取り組みましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護基礎実習Ⅰ Clinical Practice in Fundamental	必修	実験・実習	2単位 (90時間)	1年通期	松月みどり、本田芳香、ラウ優紀子、牛田貴子、佐々木千佳、櫻井友子、山田艶子、市川砂織、黒田由香里、石橋史子、坂口達哉、黒川領子、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSF1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力					
臨地実習						

授業概要	地域で生活する様々な発達段階にある人との交流を通して、コミュニケーションによる関係性構築を学び、生活環境と健康のつながり、入院や入所が対象者や家族に与える影響について、看護の視点から理解する。
到達目標	1)看護の対象者が療養(生活)する病院・施設の見学をし実際を知る。 2)看護の初学者の視点で、看護師と共に、対象者との会話を体験をする。 3)実際の体験を通して、対象者の理解とチーム医療や看護について考えることができる。
授業の進め方	1.実習期間:2週間(2024年5月27日～6月7日) 2.実習施設(予定) 湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい平塚ホスピタル、ふれあい鎌倉ホスピタル、康心会汐見台病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、湘南東部クリニック、介護老人保健施設ふれあいの渚、介護老人保健施設ふれあいの百合、介護老人保健施設シルバーガーデン、介護老人保健施設ふれあいの桜、介護老人保健施設ヒルズ東戸塚、介護老人保健施設成和ナーシングプラザ、介護老人保健施設ふれあいの町田、介護老人福祉施設ふれあいの森、介護老人福祉施設ふれあいの泉、介護老人福祉施設ふれあいの麗寿(病院5、クリニック1、介護老人保健施設7、介護老人福祉施設3) 3.実習方法 1)実習オリエンテーションは、実習の概要及び実習の進め方の説明を行う。 2)学生の配置は、学生の配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。 3)病院施設、保健・福祉施設の実習はローテーションにより行う。 4)各施設の日々のカンファレンスは、原則30分とし、グループ毎に実習目標にそって行う。 5)実習最終日に振り返りとまとめの発表を行う。 4.実習内容 1)各実習施設よりオリエンテーションを受ける。 2)各実習施設の見学を通して、施設環境の特徴及び対象に与える影響を考える。 3)看護活動の場の見学を通して、対象者の生活や環境を知る。 4)実習を通して、医療関係職種との協働と連携の実際を知る。

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に版d難する。
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	実習
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	入学後はじめての実習科目である。看護学生として基本的な身嗜みを整え、理想的な実習態度で臨む。実習要項を熟読し、健康管理・時間管理を適切に実施する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護基盤実習Ⅱ Clinical Practice in Fundamental Nursing II	必修	実験・実習	4単位 (180時間)	2年後期	川本利恵子、松月みどり、本田芳香、ラウ優紀子、佐々木千佳、山勢善江、市川砂織、黒田由香里、石橋史子、坂口達哉、黒川領子、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	HNSF2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力					
臨地実習						

授業概要	健康障害をもちながら入院生活を送る対象者を理解し、援助的コミュニケーション技術を用い必要な治療・看護について学修する。加えて対象者への看護を通して他職種役割を理解する。
到達目標	1)健康上の課題のある対象者に関心を向け、対象者との援助的関係を築くことができる。 2)健康上の課題のある対象者のニーズを全人的に把握することができる。 3)健康上の課題のある対象者に対して、個別性のある看護ケアを系統的に展開できる。 4)健康上の課題のある対象者に関わる多職種役割を理解できる。 5)看護学生として、基本となる社会的行動がとれる。
授業の進め方	1.実習期間：4週間(2024年2月10日～3月7日) 2.実習施設 湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、ふれあい横浜ホスピタル、ふれあい鎌倉ホスピタル、ふれあい鶴見ホスピタル、ふれあい平塚ホスピタル、康心会汐見台病院、大和成和病院、さがみ野中央病院 3.実習方法 1) 実習オリエンテーションは、実習の概要及び実習の進め方の説明を行う。 2) 学生の配置は、学生の配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。 3) 患者1人を受け持ち、看護過程を展開する。 4) 各施設の日々のカンファレンス、中間カンファレンス、最終カンファレンスはグループ毎に行う。 4. 実習内容 1)1週目 : 学内実習(実習オリエンテーション、事前学習、看護技術実技復習等) 2)2～3週目 : 病院実習(看護活動の場の見学、受けもち患者の看護ケア) 3)4週目 : 学内実習(実習振り返り、まとめなど)

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンスの参加状況等により総合的に評価する。
課題に対するフィードバックの方法	詳細は、実習要項に記載する。
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	臨地実習、学内実習、カンファレンス、グループワーク
実務経験のある教員による授業	担当教員は、看護師として臨床分野の経験に基づき実習を行う。
留意事項	初めて受けもち患者を担当する大事な科目である。2年間の学修のまとめであることを認識し、既習の知識や技術を総復習して臨むこと。また、看護学生として対象者に信頼される身だしなみや態度が求められる。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ヘルスプロモーション実習 Clinical Practice in Health Promotion	必修	実験・実習	4単位 (180時間)	3年後期	山崎圭子、石川真里子、ラウ優紀子、佐々木千佳、松島泰恵、松永雄至、日下桃子、野井恵香、山田艶子、松尾優香、他看護学科教員	○
ナンバリングコード	オフィスアワー 本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける					
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力					
臨地実習	DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力					
授業概要	1. 地域で生活しているあらゆる発達段階にある人々の健康の特徴や地域特性を理解し、地域で暮らす人の健康の保持・増進をするための支援の実際を学ぶ。 2. 援助的人間関係の形成に向けて、対象に応じたコミュニケーションが取れる。 3. 地域または生活の場における健康を保持増進するための政策、法律、社会資源の実際と制度を理解する。 4. 対象にかかわる専門性を理解し、他職種連携の実際を学ぶ。					
到達目標	1. 生活行動から健康状態をアセスメントできる。 2. 対象の生活する地域の地区診断および生活の場をアセスメントできる。 3. 対象の生活する地域の保健・医療・福祉サービスを説明できる。 4. 対象に提供されている保健・医療・福祉サービスに参加し、指導の下一部実施できる。 5. 対象の発達段階や健康状態を考慮したコミュニケーションを実践する。 6. 社会資源サービスの仕組み、申請から利用までの一連の流れが説明できる。 7. ヘルスプロモーションにおける看護師の役割を考察できる。					
授業の進め方	1. 実習期間:4週間(2024年9月2日～12月20日) 2. 実習施設(予定) コミュニティ・ヘルス: ①医療機関:湘南東部総合病院、湘南東部クリニック、茅ヶ崎中央病院、ふれあい横浜ホスピタル ②介護老人保健施設:ふれあいの百合、ふれあいの渚、ふれあいの泉、ヒルズ東戸塚 チャイルド・ヘルス:汐見台病院(小児科病棟・小児科外来)、みどり幼稚園 ウイメンズ・ヘルス:汐見台病院、ふれあい横浜ホスピタル 3. 実習方法 1)1グループ10名とする。同時期に3～4グループ(学生30～40名)が実習する。 2)学生は、コミュニティヘルスを2週間、チャイルドヘルスまたはウイメンズヘルスのいずれかを2週間、計4週間実習する。 3)実習オリエンテーションは、各領域の実習の概要および実習の進め方について説明を行う。 4)学生の配置は、学生の配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。 5)病院施設、保健・福祉施設の実習はローテーションにより行う。 6)各施設の日々のカンファレンスは、原則30分とし、グループ毎に実習目標にそって行う。 7)実習最終日(4週目の最終日)に、全体でコミュニティ・ヘルス、チャイルド・ヘルス、ウイメンズ・ヘルスの学習共有カンファレンスを行う。 4. 実習内容 1)コミュニティ・ヘルス 実習初日は、学内で実習オリエンテーション、施設別オリエンテーション、事前学習の確認と準備を行う。 臨地実習は、医療機関の健診部門や疾病予防施設をにて3日間、老人保健施設にて3日間行う。 対象者を個と集団の視点から捉え、ヘルスプロモーションとその支援について学修する。 2)チャイルド・ヘルス 実習初日は、学内で実習オリエンテーション、技術演習を行なう。事前学習の確認と準備を行う。 病棟実習では、入院児を受け持ち、看護過程を展開する。 外来実習では、予防接種、乳幼児健診、小児科外来診療などを見学し、生活指導について学修する。 幼稚園実習では、健康な子どもの集団生活と幼児教育の実際を見学し、子どもの成長・発達と集団生活における事故防止や感染予防などの対策について考察する。 実習の最終日は、学内で実習のまとめを行なう。また、担当教員と面接を行い、実習成果や今後の課題について整理する。 3)ウイメンズ・ヘルス 実習初日は、学内で実習オリエンテーション、技術演習を行なう。 病棟実習では、母子を受け持ち、看護過程を展開する。 外来実習では、妊婦健康診査、産後2週間健診、母乳外来などを見学する。 フィールドワークは、課題についてグループで取り組む。 ウイメンズ・ヘルス実習の最終日は、実習のまとめを行なう。また、担当教員と面接を行い、実習成果や今後の課題について整理する。					
評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。					
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照					
教科書	なし					
参考図書など	適宜紹介する					
アクティブ・ラーニング	実習					
実務経験のある教員による授業	担当教員は、臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。					
留意事項	事前学習内容は、実習ガイダンスで提示する。					



授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
急性期看護実習 Clinical Practice in Fundamental	必修	実験・実習	4単位 (180時間)	3年後期	山勢善江、伊藤ふみ子、櫻井友子、野口京子、倉橋悠子、坂口達哉	○
ナンバリングコード	HNFS2	オフィスアワー	授業の前後、昼休み及び別途公開する一覧表の時間に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP5)安全を保障する力					
臨地実習						
授業概要	急激な生活環境や健康状態の変化をきたした対象者および家族に対して、身体的および心理社会的側面からアセスメントして、ケアの優先順位を判断し、実践およびその評価を行う。一連の看護過程の展開を通して、急性期看護について学修する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.対象者の病態と治療の関連を理解し、治療による日常生活の制限から生じる身体的・心理的苦痛をアセスメントする。</li> <li>2.対象者の状態にあわせたケアの優先順位を考え、エビデンスに基づく看護を実践する。</li> <li>3.急激な健康状態の変化をきたしている対象者の、治療や看護を実践する上での安全確保の必要性について理解する。</li> <li>4.対象者の急激な状態変化に合わせ、安心感を与えるような適切なコミュニケーションを実践する。</li> <li>5.急性期医療(プレホスピタル・インホスピタル)における看護師と他職種役割を理解する。</li> <li>6.生命の危機状態にあり特殊な治療環境下にある患者の人権を擁護する。</li> </ol>					
授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.実習期間: 4週間(2024年9月2日～12月20日)</li> <li>2.実習施設(予定) 湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、大和成和病院、および神奈川県内防災センター、消防本部</li> <li>3.実習方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 4週間のうち2週間はプレホスピタルケア実習、2週間は病院内でインホスピタルケア実習を実施する</li> <li>2) &lt;プレホスピタルケア実習&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害やテロなど生活環境が急激に変化した状況下を、防災センター、消防本部で学修する</li> <li>・学修した内容をもとに、学内でプレホスピタルケアにおける看護について実習する</li> </ul> </li> <li>3) &lt;インホスピタルケア実習&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・急性疾患や事故などにより個人や家族の健康状態が急激に変化した患者とその家族への看護を、実習病院で患者を受け持ち学修する</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>4. 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)各実習施設よりオリエンテーションを受ける。</li> <li>2)プレホスピタルケア施設での実習では、災害体験や講話をもとに生活環境が急激に変化することが、人々の健康に及ぼす影響を学修する。</li> <li>3)自分の居住地や学校周辺の防災マップ作成、減災方法、大学のBCP等についても学修する。</li> <li>3)インホスピタルケア施設での実習では、急病・事故・手術・侵襲的検査を受けた患者を受け持ち、患者とその家族への身体・心理・社会的な影響と看護について学修する。</li> <li>4)実習を通して、プレホスピタルとインホスピタルにおける医療関係職種との協働と連携の実際を知る。</li> </ol> </li> </ol>					
評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。					
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照					
教科書	なし					
参考図書など	適宜紹介する					
アクティブ・ラーニング	実習					
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。					
留意事項	看護学生として基本的な身嗜みを整え、真摯な態度で実習に臨む。 実習要項を熟読し、健康管理・時間管理を適切に実施する。					

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
慢性期看護実習 Chronic Care Nursing-Clinical Practicum	必修	実験・実習	6単位 (270時間)	3年後期	小林紀明, 田中秀子, 片山典子, 清水奈緒美, 東村志保, 岡多恵, 塚原ゆかり, 陶山克洋, 石橋史子, 渡部李菜, 三堀いずみ, 高橋美保, 佐々木博之, 関谷潤	○
ナンバリングコード	HNSF2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
専門科目	DP1) 人間の命と個を尊重できる力 DP2) エビデンスに基づく実践力 DP3) 援助的コミュニケーション力 DP4) チームで連携し協働する力 DP5) 安全を保障する力 DP6) 看護の発展に対応する力					
臨地実習						

授業概要	本実習では慢性疾患を抱えあらゆる場で療養・生活している対象者及び対象者を取り巻く人々がその人らしく生きることができるよう地域包括ケアにおける医療チームの一員として、安全かつ個々の健康の維持・増進とQOLの向上を目指した看護を学修する。また、多職種の機能役割と相互連携および社会資源の活用について理解する。
到達目標	1)慢性期経過をたどる対象者及び対象者を取り巻く人々に対して援助的関係を形成する。 2)慢性的な疾患を抱えた対象者の個別的な環境や生活習慣および疾病・治療について全人的に理解し、健康上の課題を明らかにする。 3)慢性的経過をたどる対象者に対し、安全かつ効果的に治療が行えるよう、また、QOLの向上をめざしてエビデンスに基づく看護を実践する。 4)看護専門職を志す学生として、責任と規律を順守し、対象者の尊厳や人権を守り擁護的立場で行動する。 5)医療安全の基本的な考え方に則り、対象者の個別的な状況から起こりうる危険を予測して安全を確保する。 6)保健・医療・福祉チームにおける看護職の専門性を踏まえ、チームの一員として行動する。
授業の進め方	1. 実習期間: 6週間(2024年9月9日～12月13日) 2. 実習施設(予定) 湘南東部総合病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、ふれあい平塚ホスピタル、康心会汐見台病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい鎌倉ホスピタル、湘南さくら病院、ふれあい鶴見ホスピタル、茅ヶ崎新北陵病院、ティール・エイチ・ピーメディカルクリニック、ハローワーク横浜、地域包括支援センターすみれ、地域包括支援センターさくら、地域包括支援センターみどり、地域包括支援センターゆず、地域包括支援センターわかば、地域包括支援センターふれあいの泉、ヒルズ東戸塚(居宅)、ナーシングプラザ成和(居宅)、元町ケアセンター(居宅)、ふれあいの森(居宅)、湘南シルバークラウド(居宅)、訪問看護茅ヶ崎ふれあいステーション、あやせ訪問看護ステーション、成和訪問看護ステーション (病院施設: 9、地域包括: 6、居宅介護支援事業所: 5、訪問看護: 3、デイケア: 1、ハローワーク: 1、計25施設) 3. 実習方法 1) 実習オリエンテーションは、実習の概要及び実習の進め方の説明を行う。 2) 学生の配置は、学生の配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。 3) 学生は、一般病棟の入院治療が必要な対象の慢性期看護実習及び在宅療養が必要な対象の慢性期看護実習(A)と、一般病棟の入院治療が必要な対象の慢性期看護実習及び精神に障害を持つ対象の慢性期看護実習(B)を組み合わせ実習を行う。 A: 一般病棟・外来他の慢性期実習を10日、訪問看護ステーションを8日、地域包括支援センターまたは居宅介護支援事業所を2日実習する。 B: 一般病棟・外来他の慢性期実習を10日、精神科病棟を5-6日、デイケア及びハローワーク2-4日、または精神科在宅支援部を2日実習する。 ※ 各日数は臨地での実習数を表記している。 4) 一般病棟の慢性期と、訪問看護ステーション・地域包括支援センター・居宅看護支援事業所または精神科病棟・デイケア・ハローワークでの慢性期実習は、それぞれ3週目の最終2日間で振り返りと情報の共有、まとめの発表会を行う。 5) 報告ルート・方法を明確にしておき、緊急時の対応に備える。 4. 実習内容 1) 実習開始前に臨地実習ガイドライン及び実習要項に沿って、実習目的・目標、実習方法と施設概要、事前学習等について実習ガイダンスを行う。 2) 各実習施設よりオリエンテーションを受ける。 3) 原則として1名の受け持ち患者または在宅療養者を受け持ち、一般病棟・在宅療養者・精神科病棟におけるそれぞれの患者に必要な慢性期の看護計画・実践・評価までの一連の看護過程を学ぶ。 4) 実習期間中は、日々のカンファレンスを実施し、実習指導者や担当教員の指導を受けながら、学習内容の振り返りと翌日の課題を明確にする。また、臨地での実習最終日は、実習指導者や担当教員参加のもと、実習全体の振り返りと学びを共有し、実習目標の達成状況と今後の自己の課題について検討する。

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	実習
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	看護学生として基本的な身嗜みを整え、理想的な実習態度で臨む。 実習要項を熟読し、健康管理・時間管理を適切に実施する。

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
公衆衛生看護学 Public Health Nursing		選択	講義	3単位 (45時間)	3年通期	牛田 貴子・澤井 美奈子・山崎 真帆	○
ナンバリングコード	HPNE2	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目		DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP3)相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。					
公衆衛生看護学		DP4)保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5)幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。					
授業概要	公衆衛生看護の概念と歴史、基盤となる知識、活動領域について学修する。公衆衛生看護管理については構成要素、専門的自律と人材育成方法について学修する。具体的には、公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、人事管理、予算管理、組織運営と管理および保健師教育についてを含む。						
到達目標	1)公衆衛生看護の概念・理論について説明できる。 2)公衆衛生看護の対象や活動の特性について説明できる。 3)地域アセスメントに基づき地域の健康課題を明確化する方法を理解し活用できる。 4)公衆衛生看護管理の目的と機能、専門的自律と人材育成について説明できる。 5)施策化および地域ケアシステムの構築について説明できる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員	
1	オリエンテーション 公衆衛生看護の対象 1 (個人・家族)	公衆衛生科目の構造と授業の進め方、地域看護学・在宅看護学との違い 教科書A:2章A公衆衛生看護の対象としての個人・家族 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)公衆衛生看護学の関連科目における自己の関心の明確化				牛田 貴子	
2	公衆衛生看護の対象 2 (集団・組織、地域)	教科書A:2章B公衆衛生看護の対象としての集団・組織、地域 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分)次回の小テストの準備				牛田 貴子	
3	公衆衛生看護の理念 公衆衛生の理念	公衆衛生学等の既習学習の確認(小テスト) 教科書A:1章A公衆衛生看護の理念、B公衆衛生の理念 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)既習学習の確認(小テスト)結果を用いた学習ノート作成				牛田 貴子	
4	健康と生活	教科書A:5章A健康と生活 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成				牛田 貴子	
5	基盤となる概念と倫理	教科書A:1章C公衆衛生看護の基盤となる概念、D公衆衛生看護における倫理 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回使用する文献検索と抄読準備				牛田 貴子	
6	基盤となる理論、看護活動の基本的な展開方法	教科書A:5章B公衆衛生活動の基盤となる理論と展開方法、C公衆衛生活動の基本的な展開方法 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成				牛田 貴子	
7	社会環境の変化と健康課題 1 (人口・疾病構造、社会・文化的背景)	教科書A:4章A人口および疾病構造の変化、B社会・文化的背景の変化 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回使用する文献検索と抄読準備				牛田 貴子	
8	社会環境の変化と健康課題 2 (社会情勢・政治・経済産業構造)	教科書A:4章C社会情勢・政治・経済産業構造の変化 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分)学習ノート作成				牛田 貴子	
9	公衆衛生看護の歴史 1 (日本)	教科書A:10章A日本における公衆衛生看護の歴史 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回使用する文献検索と抄読準備				牛田 貴子	
10	公衆衛生看護の歴史 2 (米国・英国)	教科書A:10章米国と英国の公衆衛生の発達と公衆衛生看護活動の歴史 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成				牛田 貴子	
11	公衆衛生活動の場 1 (行政機関、職域、学校)	教科書A:3章A行政機関、B職域、C学校 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回使用する文献検索と抄読準備				牛田 貴子	
12	公衆衛生活動の場 2 (医療施設、福祉施設、国際)	教科書A:3章D医療機関、E福祉施設、F国際 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成				牛田 貴子	

13	公衆衛生活動の展開方法 1 (定義、理論、モデル)	教科書A:6章A・B公衆衛生看護活動における地域アセスメント、理論・モデル、公衆衛生看護活動の計画・実践・評価 教科書B 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	山崎 真帆
14	公衆衛生活動の展開方法 2 (保健統計・疫学)	地域アセスメントに活用する保健統計・疫学 【演習/ICT】インターネットを利用しながら地域アセスメントに活用する情報について学ぶ 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	山崎 真帆
15	公衆衛生活動の展開方法 3 (地域アセスメントの展開)	教科書A:6章C・D地域アセスメント演習 【演習/ICT】行政のホームページなどから情報を収集してまとめる 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。	山崎 真帆
16	公衆衛生活動の展開方法 4 (地域アセスメント演習)	地域アセスメントの発表、意見交換 【プレゼンテーション/ディスカッション】 事前学習:(30分)地域アセスメントの発表準備をする。 事後学習:(30分)発表内容を振り返りかえり、加筆・修正をする。	山崎 真帆
17	公衆衛生看護管理 1 (定義、マネジメントとは)	教科書A:8章 公衆衛生看護管理の定義、構成する要素、マネジメントとリーダーシップ 【演習】公衆衛生看護管理に関する動画を視聴、解説する。 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	澤井 美奈子
18	公衆衛生看護管理 2 (地域ケアマネジメント)	教科書A:8章 地域ケアマネジメント(※個別も含む) 地区管理、事例管理、事業管理 【講義・ディスカッション】 教科書B 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	澤井 美奈子
19	公衆衛生看護管理 3 (組織ケアマネジメント)	教科書A:8章 組織ケアマネジメント 組織管理、人事管理、予算管理 【講義・ディスカッション】 教科書B 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	澤井 美奈子
20	公衆衛生看護管理 4 (情報管理、健康危機管理)	教科書A:8章 公衆衛生看護管理の統合 情報管理、健康危機管理 【講義・ディスカッション】 教科書B 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	澤井 美奈子
21	保健医療福祉における施策化と 事業化 1 (地方公共団体)	教科書A:7章 地方公共団体における保健・医療・福祉等に関する計画 【講義・ICT】 教科書B 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。特定の自治体の計画を調べ、整理する。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	澤井 美奈子
22	保健医療福祉における施策化と 事業化 2 (事業化施策化)	教科書A:7章 事業化と施策化、保健師の役割 【演習・ディスカッション】 教科書B 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	澤井 美奈子
23	まとめ	今後の公衆衛生活動における潮流、学修ポイントの振り返り 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 教科書B 事前学習:(30分)これまでの授業資料を活用できるように整理・確認する。 事後学習:(30分)学習ノートへの追記作成	牛田 貴子

評価	筆記試験50%、課題学習・レポート20%、発表30%
課題に対する フィードバックの方法	グループワークについては、その都度フィードバックをする。筆記試験等の講評は、学習支援システム(manaba)で行う。
教科書	A.標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論/標美菜子ほか/医学書院/第6版/ISBN:978-4-260-04707-4(1年次使用) 【第1回～23回で使用する】 B.国民衛生の動向2024/2025(厚生指針2024年8月増刊)/厚生労働統計協会(3年後期に購入する) 【第13回～23回で適宜使用する】
参考図書など	・新版 保健師業務要覧/井伊久美子、勝又浜子、森永裕美子 ほか/第4版/ISBN:978-4-8180-2381-9 ・看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護/中央法規/ISBN:978-4-8058-8433-1 ・E-stat政府の統計窓口: <a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a> 他適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	文献抄読、ディスカッションを講義内で行う。また図書の検索システムやインターネットを用いた資料収集を行う。
実務経験のある 教員による授業	教員は保健師の実務経験を活かし、公衆衛生看護活動、多職種や地域との連携等について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目である。 ・前期に12回まで実施し試験を行う。後期に13回～23回まで実施し試験を行う。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
公衆衛生看護活動論Ⅰ Public Health Nursing Activities I	選択	講義・ 演習	3単位 (45時間)	3年通期	牛田 貴子・澤井 美奈子・山崎 真帆	○
ナンバリングコード	HPNE2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目	DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力					
公衆衛生看護学						
授業概要	公衆衛生看護における対象の捉え方、健康課題の特徴について学び、ライフサイクル・健康課題ごとの対象別の公衆衛生看護過程展開と活動方法について行政の保健活動を中心に学修する。その内容を踏まえ、産業保健および学校保健の歴史の変遷、諸制度、対象、保健師の職務・役割ならびに活動展開の実際、将来展望について学修する。養護教諭の活動の実際についても学修する。					
到達目標	1) 対象や発達段階に応じた生活や健康課題及び支援の特徴を説明できる。 2) 人々が主体的に課題を解決できるよう、施策及び地域の社会資源を活用した保健活動の展開について検討できる。 3) 学校保健の制度と仕組み、及び対象の健康課題の把握と適切な支援方法について説明できる。 4) 産業保健の制度と仕組み、及び対象の健康課題の把握と適切な支援方法について説明できる。 5) 感染症保健の動向を学び、感染症保健施策と保健師活動および疾病管理について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	オリエンテーション 地域包括ケア	授業の進め方、地域看護方法論等の既習学習の確認(小テスト) 教科書A:11章A地域包括ケアの動向、B地域包括ケアにおける保健師活動 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(45分)既習学習の確認(小テスト)結果を用いた学習ノート作成			牛田 貴子	
2	歯科保健活動の動向と保健活動 の実際(高齢者)	教科書A:8章A-1歯科保健の動向、A-2-d歯科保健活動の実際(高齢者) 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分)次回の個人課題の発表準備。			牛田 貴子	
3	高齢者保健活動 1 (動向)	教科書A:3章A高齢者保健医療福祉の動向 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成			牛田 貴子	
4	高齢者保健活動 2 (保健活動)	教科書A:3章B高齢者の健康課題と支援 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回の個人課題の発表準備。			牛田 貴子	
5	精神保健活動 1 (動向、保健活動)	教科書A:4章A精神保健医療福祉の動向、B精神障害者の生活と支援 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成			牛田 貴子	
6	精神保健活動 2 (社会病理と精神的問題)	教科書A:4章C社会病理を背景とする精神的問題 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回の個人課題の発表準備。			牛田 貴子	
7	障害者(児)保健活動 1 (動向)	教科書A:5章A障害者(児)保健医療福祉の動向 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成			牛田 貴子	
8	障害者(児)保健活動 2 (保健活動)	教科書A:5章B障害者保健活動 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習(30分)次回の個人課題の発表準備。			牛田 貴子	
9	難病保健活動 1 (動向)	教科書A:6章A難病対策の動向 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学習ノート作成			牛田 貴子	
10	難病保健活動 2 (保健活動)	教科書A:6章B難病患者への支援・保健活動 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)1回～10回までの学習内容の見直し。			牛田 貴子	
11	母子保健(親子保健)活動 1 (動向、施策)	教科書A:1章A・B母子保健(親子保健)の動向、母子および親子の健康課題と支援 【母子保健活動演習】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回の個人課題の発表準備。			山崎 真帆	

12	母子保健(親子保健)活動 2 (成長・発達、ライフサイクル)	教科書A:1章C・D乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援、ライフサイクル各期の健康課題と支援 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の指定箇所を読む。乳幼児への支援に必要な技術について復習する。 事後学習:(30分)次回のグループワークの準備。	山崎 真帆
13	母子保健(親子保健)活動 3 (活動の実際)	教科書A:1章E支援のニーズが高い親子の健康課題と支援、母子保健(親子保年)活動の実際 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)グループワーク課題作成。配付資料および教科書を復習し、理解を深める。	山崎 真帆
14	学校保健 1 (基本)	教科書A:9章A 学校保健の基本 【講義・演習】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所、2年時までに学んだ小児の発達、学校保健の資料を読む。 事後学習:(30分)次回担当課題の発表資料作成	澤井 美奈子
15	学校保健 2 (保健活動)	教科書A:9章B 学校保健における健康課題への対策 【個人発表・ディスカッション】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学校保健復習、国家試験問題を解く。	澤井 美奈子
16	成人保健活動 1 (動向)	教科書A:2章AB 成人保健の動向、成人期の保健活動 【講義・演習】特定保健指導にむけて 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。成人の特徴を調べる。 事後学習:(30分)特定保健指導の準備	澤井 美奈子
17	成人保健活動 2 (保健活動)	教科書A:2章 B成人期の保健活動(産業保健一部含む) 【演習・ディスカッション】特定保健指導 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)成人保健復習。国家試験問題を解く。	澤井 美奈子
18	産業保健 1 (基本)	教科書A:10章A 産業保健の基本 【講義・演習】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。身近な働く人に話を聞きまともておく。 事後学習:(30分)グループワーク課題に個別に取り組む。	澤井 美奈子
19	産業保健 2 (保健活動)	教科書A:10章B 産業保健における健康課題への対策と支援 【事例を用いた演習・ディスカッション】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)産業保健復習。国家試験問題を解く。	澤井 美奈子
20	感染症保健活動 1 (動向、施策)	教科書A:7章A・B感染症対策の動向、感染症保健施策と保健師活動 【感染症保健活動演習】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回の個人課題の発表準備。	山崎 真帆
21	感染症保健活動 2 (疾病管理)	教科書A:7章C疾病管理(新興・再興感染症と感染症予防、結核、その他の主な感染症) 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回のグループワークの準備。	山崎 真帆
22	感染症保健活動 3 (活動の実際)	教科書A:第12章B 感染症保健活動の実際(積極的疫学調査) 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)グループワーク課題作成。配付資料および教科書を復習し、理解を深める。	山崎 真帆
23	まとめ	看護職のキャリアと公衆衛生看護学、次年度科目に関する興味・関心 事前学習:(30分)これまでの授業資料を活用できるように整理・確認する。 事後学習:(30分)今後の学修の方向性や取り組み方を文字化する。	牛田 貴子

評価	筆記試験(50%)、発表等(50%)
課題に対する フィードバックの方法	発表やグループワークについては、その都度フィードバックをする。課題学習は講評を記載して学生に返却する。筆記試験、課題学習等の講評は、学習支援システム(manaba)で行う。
教科書	A:松田正己ほか:標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院/第4版(最新版)/ISBN:978-4-260-03187-5 (2年次使用)【第1回~23回で使用する】 B:国民衛生の動向2024/2025(厚生省の指標2024年8月増刊)/厚生労働統計協会(3年後期に購入する)【第11回~23回で適宜使用する】
参考図書など	・岸恵美子ほか:看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護、中央法規、ISBN:978-4-8058-8433-1 ・新版 保健師業務要覧/井伊久美子、勝又浜子、森永裕美子 ほか/第4版/ISBN:978-4-8180-2381-9 ・E-stat政府の統計窓口: <a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a> 他適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	グループワーク、発表や意見交換を講義内で行う。またインターネットを用いた資料収集を行う。
実務経験のある 教員による授業	教員は保健師の実務経験を活かし、公衆衛生看護活動、多職種や地域との連携等について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目である。 ・前期に10回まで実施し試験を行う。後期に11回~23回まで実施し試験を行う。

IV. 総合教育科目・統合科目・  
公衆衛生科目  
＜2021年度以前入学者＞

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
チーム医療論 Interprofessional Education	必修	演習	1単位 (30時間)	4年後期	寺本 明、全教員	○
ナンバリングコード	HCO02	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
総合教育科目	DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。					
人間とコミュニケーション						
授業概要	まず、チーム医療に関する総括的な講義と、これから始まる演習の概要を解説する。その後、看護、PT、OT混成のチーム(8~10名)に分かれ、提示された臨床課題(臨床の実症例)に関してまず問題点や疑問点を列挙し、分担して調査の上議論する。その後、各々の専攻分野からのアプローチを提唱し議論する。3、4チームに一人教員が配置されるが、チュートリアル教育様式であるため直接教えるのではなく議論の円滑な進行を促す役割を負う。中間報告・レポート作成の後、最終日にはすべてのチームが体育館に集合し、ポスター形式で当該症例のサービス計画を発表する。この時、学生がチーム相互の評価を行うとともに、全教員も参観しコメントを述べ評価する。					
到達目標	1) チーム医療の定義や意義を述べることができる。 2) チーム医療に影響する課題を列挙できる。 3) チーム医療に携わる多職種の役割を述べることができる。 4) 事例について、患者中心の視点で検討することができる。 5) 事例について、多職種が捉える保健・医療・福祉の視点から検討することができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)				担当教員
1	授業の進め方	1. 最初の授業で、チーム医療の概論を講義し、本演習の方法を解説する。 2. 看護学科とリハビリ学科の学生を混合して、8~10名のグループを作り、チュートリアル方式で演習を行う。 3. 具体的な臨床事例(シナリオ)が提示され、その症例の問題点の抽出と調査、議論を行う。 4. 各自の専攻の視点から、当該症例に関するアプローチを考え、意見交換をする。 5. 各自レポートの作成、および事例発表会に向けて、パワーポイント作成などの準備を行う。 6. 全てのグループが事例検討のまとめを発表し、それを出席した全ての学生と教員が評価する。				寺本 明 全教員
		事前学習(15分): チーム医療とはどういうものかを確認してくる。 事後学習(30分): 演習で得られたチーム医療の意義や問題点を整理する。				
評価	事例検討と討論参加での積極性60%、個人レポート30%、グループレポート10%					
課題に対する フィードバックの方法	チームとしての発表とそのレポート、および個人としてのレポート。それぞれ同僚および教員からの評価を受ける。					
教科書	必要に応じて資料の配布・紹介を行う。					
参考図書など	・新しいチーム医療ー看護とインタープロフェッショナルワーク入門(改訂版)/田村由美/看護の科学社/2018年 ・「チーム医療」とは何かー医療ケアに生かす社会学からのアプローチ/細田満和子/2012年 事例に関する参考書は、事例提示の際に教示する。					
アクティブ・ラーニング	チュートリアル方式の演習であるので、少人数チーム内討論とそのプロダクトの発表が主体である。					
実務経験のある 教員による授業	期間はそれぞれであるが、全教員とも臨床経験を有する。					
留意事項	特に無し。					



授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護応用ゼミ Seminar in Applied Nursing	必修	講義	1単位 (15時間)	4年前期	川本 利恵子、4年チューター教員	○
ナンバリングコード	HNS02	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
統合看護学						

**授業概要**  
3年次までの講義、演習、臨地実習での学習を振り返り、修得したスタディスキル、アカデミックスキルを基盤にした各自の社会人基礎能力と看護実践力の習得レベルを検討する。さらに、キャリアデザインを描き、その実現に向けた職業選択、臨床への適応上の課題、専門職としての主体的な継続教育などを検討する

- 到達目標**
- 1) 最終学年として大学生活のルールやマナーを守り、倫理観をもって主体的に責任ある行動がとれる。
  - 2) 卒業要件である必要科目の単位数が修得でき、看護専門職としての自己の将来について探求できる。
  - 3) 個々に合わせた学修計画を立案し、看護専門職の基盤となる国家試験合格を目指し学習を継続できる。
  - 4) 討論により、看護専門職の課題を多様な視点から深めることができる。
  - 5) 個々に合わせたキャリアデザイン(進学・就職など)を描き、や継続教育の一步を踏み出すことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	1年間の学習計画およびキャリアデザインに関するガイダンス	4年次の学習計画立案の必要性についてガイダンスを行う。さらに、キャリアデザインの必要性及び計画立案に関するガイダンスを行う。 事前学習(30分): 学生便覧に目を通しておく。 事後学習(30分): ガイダンスをまとめる。	川本利恵子、 4年チューター教員
2	学習計画および国家試験に関するガイダンス	専門基礎領域科目などの復習計画を立案する(科目名や復習方法を具体的に記載する)。1年間の国家試験に関する学習計画も立案する。さらに、国家試験の模擬試験に関する成果確認に関する学習方針についてガイダンスを行う。 事前学習(60分): 学生便覧の教育課程・シラバスおよび自己の学習(30分)、ノートに目を通しておく。(30分) 事後学習(60分): 今後の学習(30分)計画をノートにまとめる(30分)	川本利恵子、 4年チューター教員
3	看護専門職に関するキャリアデザイン(進学・就職など) I	専門職としてキャリアを考える必要性を教授する。また、面接やエントリーシートの書き方を教授し、模擬面接も行う。さらに、インターンシップの必要性とその方法について教授する。 事前学習(30分): 自己のキャリアについて自分の言葉で説明できる準備をする。 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる。	川本利恵子、 4年チューター教員
4	看護専門職に関するキャリアデザイン(進学・就職など) II	個々のトライしたインターンシップについてまとめ、報告する。 事前学習(30分): 自分の言葉で説明できる準備をする。 事後学習(60分): ノートにまとめ、報告レポートの準備を行う。	川本利恵子、 4年チューター教員
5	ゼミ発表のためのグループ討議	講義、演習、臨地実習での学習およびインターンシップを振り返り、個々のキャリアアンカーとキャリアデザインをまとめておく。/個人⇒グループ検討・発表準備(担当教員毎) 事前学習(30分): 自分の言葉で説明できる準備をする。 事後学習(60分): ゼミ内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備。	川本利恵子、 4年チューター教員
6	ゼミ発表 I (グループ毎)	各担当教員毎のグループで討議を行う。レジュメを用いて発表10分+質疑応答5分、各自レジュメ印刷持参(自筆でもPC使用でも可)/グループ討論⇒グループでの発表内容の検討・発表準備 事前学習(60分): 「学士力」と「社会人基礎力」について調べる。 事後学習(60分): ゼミ内容と発表内容をノートにまとめる。	川本利恵子、 4年チューター教員
7	ゼミ発表 II (クラス全体)	レジュメを用いて各グループから発表10分+質疑応答5分、レジュメ印刷持参(自筆でもPC使用でも可)/各自レポートテーマ: キャリアアンカーとキャリアデザインとは 事前学習(60分): テキストの8章、9章を読み、ゼミ発表準備をする。 事後学習(60分): ゼミ内容をノートにまとめる。	川本利恵子、 4年チューター教員
8	学習計画および国家試験に関する学習成果、キャリアデザインをまとめる	第2回で立案した学習計画の実施結果をまとめる。国家試験模擬結果を分析し、学習成果と今後の計画を立案修正する。個々のキャリアデザインをレポートにまとめる。 事前学習(60分): 分析に必要なデータを整理し準備をする。 事後学習(60分): 分析結果と今後の計画および自己のキャリアデザインをノートにまとめる。	川本利恵子、 4年チューター教員

評価	発表内容30点、レジュメ20点、毎回の参加姿勢・ディスカッションへの貢献度50点
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	世界思想社編集部編(2018)大学生学びのハンドブック 4訂版, 世界思想社 ※1年次に購入した教科書を使用
参考図書など	・吉田健正著: 大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方: ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-378-7 ・前田樹海著: 臨床ナースから看護研究者まで研究発表のプレゼンもっと良くなります!, 日本看護協会出版会 ISBN:978-48180-1990-4 など適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	大学での学びに関する自分の興味や関心をもとにテーマを決めて、グループワークとディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	チューター教員各位の臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	全ての科目の基となる科目です。必ず専用のノートまたはファイルを作成してください。これまでの学習方法との共通点・相違点を意識しながら、自らの成長を記録に残し、成長を実感しましょう。

IV  
21年度以前入学者科目

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護管理学Ⅱ Nursing management Ⅱ	必修	講義	1単位 (15時間)	4年前期	松月みどり	○
ナンバリングコード	HNSD3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。					
統合看護学	DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
授業概要	医療安全における基本的な知識、看護職の責務と役割について学習する。また、医療現場における危険の予知と回避、事故防止などの安全対策の理論と方法を学習する。					
到達目標	1. 医療安全管理の基本を理解する 2. 人は間違える生き物であるが、それへの挑戦の歴史を理解する 3. 高信頼性組織を理解する 4. 医療安全文化の醸成を理解する。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	医療安全とは 総論	医療サービスの構造 情報の非対称性について 助産所の責務 医療法 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する			松月みどり	
2	医療事故発生の構造と対策	人は間違える生き物 safty1からsafty2 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
3	事例の分析とその意味	RCA分析 sheel分析 当事者への対応 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
4	医療事故安全管理の方法論2	医療安全教育の効果 組織を医療事故から守るために 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
5	高信頼性組織について	高信頼性組織研究 インシデント事例はどうして防げたのか 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
6	医療安全文化の醸成について	チームステップス 医療安全文化の醸成 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
7	医療事故裁判について	医療事故裁判事例から学ぶ 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習しリアクションペーパーの記載をする。			松月みどり	
8	安全な看護師業務を行うために	新人看護師に多いアクシデント、インシデント その対策 医療事故保険について 事前学習(30分) 教科書の該当部分を読み整理する 事後学習(30分) 講義内容を復習する。			松月みどり	
評価	事前・事後課題レポート20%、定期試験60%、授業への参加姿勢20%					
課題に対する フィードバックの方法	発表などについては、その時間内で意味づけを行う。					
教科書	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全、松下由美子/杉山良子/小林美幸編、株式会社メディカ出版、2021年1月15日発行第4版 ISBN:978-4-8404-7212-8					
参考図書など	授業のなかで紹介する					
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、プレゼンテーション					
実務経験のある 教員による授業	大学病院では医療安全管理の実務経験や大学病院の事故調査外部委員も務めた。医療安全管理者の養成研修の講師をつとめ、厚生労働省の医療安全にかかる各種委員会の委員を歴任する。医療安全管理者の教育に携わった経験を持つ。					
留意事項	特になし					

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
地域看護学実習 Community Health Nursing Practice	必修	実験・実習	1単位 (45時間)	4年前期	澤井 美奈子・高橋美保	○
ナンバリングコード	HNSF1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。					
統合看護学						

授業概要	地域で生活するすべての人々の健康の保持増進や生活の質の向上を目指して展開される地域看護活動の場、活動の実際、看護の役割と連携について実習を通して学修する。
到達目標	1)地域の人々の生活、文化、環境、社会経済構造等、地域の特性を捉える方法がわかる。 2)地域に存在する社会資源、グループ、組織とその活動について説明できる。 3)環境や文化の多様性を理解し、生活・環境と関連付けて説明できる。 4)人々に必要な地域のケアシステムやネットワークについて具体的に説明できる。 5)看護の対象者が必要とし、地域の関連機関と協働・連携して行う看護を考えることができる。
授業の進め方	1. 実習期間:1週間 2. 実習施設:神奈川県内保健福祉事務所等 3. 実習内容 1)神奈川県内の各保健所・市町村における看護学生向けセミナーに参加し、地域のケアシステムやネットワーク、看護の役割を理解する。 2)当該地域についての情報収集、地区踏査により地域アセスメントを行う。 3)カンファレンス・報告会により各地域に関する学びを共有し、学修を深める。 4. 実習日程と展開 1)実習日程:2024年4月17日(水)～4月23日(火) 2)実習の展開 1日目 : 学内実習(実習オリエンテーション・情報収集・計画) 2～4日目: 保健所・市町村セミナー、地区踏査 5日目 : 学内にて実習のまとめ、報告会 4.記録提出 提出期日および提出先は担当教員の指示に従うこと。 5.その他 詳細は、実習要項および実習ガイドラインを参照すること。

評価	評価表に基づき、実習内容、実習記録、実習態度等で総合的に評価する。
課題に対するフィードバックの方法	実習期間中に、担当教員および指導者から適宜指導を行う。
教科書	適宜紹介する。
参考図書など	実習ガイダンス等で適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	実習報告会を開催し、プレゼンテーション及びディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	地域における看護活動の実践経験をもつ教員を配置している。
留意事項	事前学習内容は、実習ガイダンスにて提示する。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護研究Ⅱ Seminar in Nursing Research Ⅱ	必修	演習	1単位 (30時間)	4年前期	川本 利恵子、他学科教員	○
ナンバリングコード	HNSG2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
統合看護学						
授業概要	看護実践における研究の重要性を理解し将来的な種々の研究活動の基盤を作ることを目的に、看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方などの実際について、看護研究の文献クリティークを行うことで学習する					
到達目標	1) 研究の目的と意義について述べることができる。 2) 研究における倫理的配慮の重要性が説明できる。 3) 量的・質的研究など研究方法の特徴について述べるができる。 4) 研究課題を絞り込むための文献検討の方法が分かる。 5) 研究の問いとなるような事象に興味関心を持ち、文献クリティークを行う。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	看護における研究の目的と意義と研究デザインの方法について	研究とは何か/研究と調べることの違い、研究の目的・方法を想起する。研究デザインの多様性と選択の必要性を理解する 事前学習(30分): 教科書を再度熟読し、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分): 講義資料と学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
2	看護研究における文献検索と文献クリティークを行う①	自己のリサーチアクションを明確にしていく。リサーチアクションに関する文献レビューを行う。文献とその種類に基づき、クリティークする文献を選択する。 事前学習(30分): 教科書の第2章を参考にしながら、自己の興味関心がリサーチアクションとなりうるかレポートとしてまとめる 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
3	看護研究における文献検索と文献クリティークを行う②	文献レビューの結果に基づき、その文献と種類に基づき、クリティークする文献を選択する。 事前学習(30分): 教科書の第2章を参考にしながら、自己の興味関心がリサーチアクションとなりうるかレポートとしてまとめる 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
4	看護研究の方法①: 視点を持って文献のクリティークを行う	各自で選択した文献のクリティークを行う 事前学習(30分): 自分の言葉で説明できる程度に内容を整理する 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
5	看護研究の方法②: 視点を持って文献のクリティークを行う	各自で文献のクリティークを行う 事前学習(30分): 自分の言葉で説明できる程度に内容を整理する 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
6	看護研究の方法③: 視点を持って文献のクリティークを行う	各自で行った文献のクリティークについて、教員から助言、指導を受ける 事前学習(30分): クリティーク結果を、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(60分): グループワークでの議論を基にレポートとして提出する			川本 利恵子 他	
7	看護研究の方法④: 視点を持って文献のクリティークを行う	各自で行った文献のクリティークについて、教員から助言、指導を受ける 事前学習(30分): 教科書の第2章を参考にしながら、自己の興味関心がリサーチアクションとなりうるかレポートとしてまとめる 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
8	看護研究の方法⑤: 各自のクリティークを持ち寄り、グループワークを行う	各自で行った文献クリティークを持ち寄り、グループワークを行う。リサーチアクションの視点から、選択した文献をもとに他者と議論をして、自己の考えを整理する。 事前学習(30分): 教科書の第2章を参考にしながら、自己の興味関心がリサーチアクションとなりうるかレポートとしてまとめる 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
9	看護研究の方法⑥: 各自のクリティークを持ち寄り、グループワークを行う	各自で行った文献クリティークを持ち寄り、グループワークを行う。リサーチアクションの視点から、選択した文献をもとに他者と議論をして、自己の考えを整理する。 事前学習(30分): 自分の言葉で説明できる程度に内容を整理する 事後学習(30分): 学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
10	看護研究の方法⑦: 各自のクリティークを持ち寄り、グループワークを行う	各自で行ったクリティークを持ち寄り、グループワークを行う。リサーチアクションの視点から、選択した文献をもとに他者と議論をして、自己の考えを整理する。 事前学習(30分): クリティーク結果を、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(60分): グループワークでの議論を基にレポートとして提出する			川本 利恵子 他	
11	看護研究の方法⑧: プレゼンテーションを行う者を選択する	グループで議論し、研究におけるプレゼンテーションの意義や基本的ルールに基づいた内容かを議論し、発表者を選出する。 事前学習(30分): 教科書の第3章を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分): 討議内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	

12	看護研究の方法⑨:グループ内推薦者によるプレゼンテーションへの予行演習	選出された発表者によって、グループ内で発表の予行演習を行う。 事前学習(30分):発表者の成果を議論できる程度の準備をする 事後学習(30分):発表内容をノートにまとめる	川本 利恵子 他
13	グループから推薦された者によるプレゼンテーションを行う①	プレゼンテーションを聞き、論点が明確か、発表に基本的ルールに基づいているかについても考える。 事前学習(30分):教科書の第2章を参考にしながら、自己の興味関心がリサーチセッションとなりうるかレポートとしてまとめる 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる	川本 利恵子 他
14	グループから推薦された者によるプレゼンテーションを行う②	プレゼンテーションを聞き、論点が明確か、発表に基本的ルールに基づいているかについても考える。 事前学習(30分):教科書の第2章を参考にしながら、自己の興味関心がリサーチセッションとなりうるかレポートとしてまとめる 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる	川本 利恵子 他
15	グループから推薦された者によるプレゼンテーションを行う③	プレゼンテーションを聞き、論点が明確か、発表に基本的ルールに基づいているかについても考える。 事前学習: 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる	川本 利恵子 他

評価	各自に指示されたレポート80%、研究態度・ゼミへの参加度、プレゼンテーション(20%)を総合的に評価する
課題に対するフィードバックの方法	講義中に、担当教員から適宜直接指導を行う。
教科書	坂下玲子他(2023)系統看護学講座 別巻 看護研究 第2版、医学書院<ISBN:978-4-260-04995-5>
参考図書など	必要に応じて適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	自分の興味や関心をもった研究の問いとなるような文献をクリティーク、レポートとしてまとめる。自己のレポートに基づき指示されたグループで話し合う。
実務経験のある教員による授業	教員各位の臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	・これまで履修した科目や看護学における疑問や明らかにしたい課題を活かして取り組むこと。 ・不足している知識、文献検索やPCの操作については、早期から自主的に補うように努力すること。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
看護研究Ⅲ Seminar in Nursing Research Ⅲ	選択	演習	1単位 (30時間)	4年後期	川本 利恵子,他学科教員一同	○
ナンバリングコード	HNSG3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3)相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4)保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5)幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6)卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
統合看護学						
授業概要	看護実践における研究の重要性を理解し将来的な種々の研究活動の基盤を作ることを目的に、看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方などの実際について、研究計画立案・倫理申請書を作成することで学習する					
到達目標	1)研究の目的と意義について述べるができる。 2)研究における倫理的配慮の重要性を理解できる。 3)量的・質的研究など研究方法の特徴を理解し、研究計画立案に活用する。 4)文献検索を行い、研究課題を絞り込む。 5)研究の問いとなるような事象に興味関心を持ち、研究計画書を立案する。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)			担当教員	
1	看護における研究の目的と意義と研究デザインの方法について	研究とは何か/研究と調べることの違い、研究の目的・方法を想起する。研究デザインの多様性と選択の必要性を理解する 事前学習(30分):教科書を再度熟読し、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):講義資料と学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
2	看護の研究テーマに基づき文献検索と文献クリティークを行う①	看護研究Ⅱにおいて明確にした自己のリサーチアクションに関する文献レビューを行い、クリティークする。 事前学習(30分):看護研究Ⅱでの成果が説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
3	看護の研究テーマに基づき文献検索と文献クリティークを行う②	看護研究Ⅱにおいて明確にした自己のリサーチアクションに関する文献レビューを行い、クリティークする。 事前学習(30分):看護研究Ⅱでの成果が説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
4	看護の研究テーマに基づき文献検索と文献クリティークを行う③	看護研究Ⅱにおいて明確にした自己のリサーチアクションに関する文献レビューを行い、クリティークする。 事前学習(30分):看護研究Ⅱでの成果が説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
5	看護の研究テーマに基づき文献検索と文献クリティークを行う④	看護研究Ⅱにおいて明確にした自己のリサーチアクションに関する文献レビューを行い、クリティークする。 事前学習(30分):看護研究Ⅱでの成果が説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
6	看護の研究テーマに基づき文献検索と文献クリティークを行う⑤	看護研究Ⅱにおいて明確にした自己のリサーチアクションに関する文献レビューを行い、クリティークする。 事前学習(30分):看護研究Ⅱでの成果が説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
7	研究計画の立案①	文献クリティークによって、研究課題をさらに探求する。 事前学習(30分):研究計画について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):学習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
8	研究計画の立案②	取り組む研究の課題と目的を明確にする。 事前学習(30分):教科書の第2章を参考にしながら、自己の興味関心がリサーチアクションとなりうるかレポートとしてまとめる 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
9	研究計画の立案③	研究目的を探求するための、研究対象及び研究方法を選択する。 事前学習(30分):研究計画について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
10	研究計画の立案④	研究目的を探求するための、研究計画書を立案する。 事前学習(30分):研究計画について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
11	研究計画の立案⑤	研究目的を探求するための、研究計画書を立案する。 事前学習(30分):研究計画について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	
12	研究計画の立案⑥	研究目的を探求するための、研究計画書を立案する。 事前学習(30分):研究計画について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる			川本 利恵子 他	

13	倫理申請書の作成①	研究計画を実施する際に必要な倫理申請書を作成する。 事前学習(30分):倫理申請の方法について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる	川本 利恵子 他
14	倫理申請書の作成②	研究計画を実施する際に必要な倫理申請書を作成する。 事前学習(30分):倫理申請の方法について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分):演習内容をノートにまとめる	川本 利恵子 他
15	まとめ	これまでの研究に関する学習過程を振り返り、その成果をまとめる 事前学習(30分):研究計画及び倫理申請書作成の成果について、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(60分):演習内容をノートにまとめ、報告レポートとしてまとめる	川本 利恵子 他

評価	指示されたレポート80%、研究態度・ゼミへの参加度、プレゼンテーション(20%)を総合的に評価する
課題に対する フィードバックの方法	講義中に、担当教員から適宜直接指導を行う。
教科書	坂下玲子他(2023)系統看護学講座 別巻 看護研究 第2版、医学書院<ISBN:978-4-260-04995-5>
参考図書など	必要に応じて適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	研究計画立案に必要な文献をクリティーク、レポートとしてまとめる。担当教員と課題について議論を行う。
実務経験のある 教員による授業	教員各位の臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	・これまで履修した科目や看護学における疑問や明らかにしたい課題を活かして取り組むこと。 ・不足している知識、文献検索方法やPCの操作については、自主的に補うように努力すること。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
実践看護論Ⅰ(がん看護) Cancer nursing	選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	岡 多恵・清水奈緒美・三堀いずみ・渡邊真理	○
ナンバリングコード	HNSE3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。					
統合看護学	DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					

授業概要	がん患者およびその家族が迎える病期のプロセスの理解を深め、その人らしく生きるための患者の意思決定支援や終末期ケアなど、現代のがん看護問題や課題を踏まえながら看護師の役割・専門性について学修を深める。また、その過程で自身の看護観や倫理観が高められることを目標とする。
------	--

到達目標	1) がんを取り巻く医療および看護の現状と課題を理解できる。 2) がんの病態や臨床経過、および主ながん治療とそれに伴う合併症を理解し、それらが患者にもたらす影響を理解できる。 3) がん看護の現状、およびがん看護における看護師の役割を理解できる。 4) がん患者および家族が抱える課題を概観し、必要となるケアを理解し、考察できる。 5) がん患者および家族とのコミュニケーション演習を通じ、がん看護について考察できる。
------	--

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	がん医療の現状	がん医療の現在(疫学、がんの病態と臨床経過、がん基本法とがん対策)がん治療と合併症 事前学習(30分)成人看護学総論の該当する箇所を読んでくる 事後学習(60分)リフレクションペーパーにて振り返りを行い、授業の要約を行う	渡邊 真理
2	がん患者の迎える過程・がん患者の看護	がんを取り巻く状況および看護の概要、がん患者の迎える過程・がん患者の看護 事前学習(30分)成人の講義で使用した教科書や資料の該当する箇所を読んでくる 事後学習(60分)レポート課題にて振り返りを行い、授業の要約を行う	岡 多恵
3	がん患者の家族の看護	がんを取り巻く状況および看護の概要、がん患者の家族の看護 事前学習(30分)成人の講義で使用した教科書や資料の該当する箇所を読んでくる 事後学習(60分)リフレクションペーパーにて振り返りを行い、授業の要約を行う	清水 奈緒美
4	がんサバイバー支援	就労支援、ピアサポート、相談支援、ACP等における看護の役割・専門性 事前学習(30分)わからない言葉を調べたり、文献を読む 事後学習(60分)レポート課題にて振り返りを行い、授業の要約を行う	清水 奈緒美
5	在宅・地域連携・エンドオブライフケアにおける看護	がん医療およびチーム医療における看護の役割・専門性(在宅療養・地域連携・エンドオブライフケア) 事前学習(30分)わからない言葉を調べたり、文献を読む 事後学習(60分)レポート課題にて振り返りを行い、授業の要約を行う	三堀 いずみ
6	がん患者・家族とのコミュニケーション	がん患者・家族とのコミュニケーション、ロールプレイのオリエンテーション 事前学習(30分)コミュニケーションについて過去の講義内容の振り返りを行う 事後学習(60分)本日の講義内容の振り返りを行う	岡 多恵
7	がん患者・家族とのコミュニケーション(演習)	事例をもとにロールプレイ演習を行う 事前学習(30分)前回の講義内容の復習を行う 事後学習(60分)レポート課題にて振り返りを行い、授業の要約を行う	岡 多恵 清水 奈緒美 三堀 いずみ
8	実践看護論Ⅰまとめ	講義全体のまとめ 事前学習(30分)既習学修を復習する 事後学習(60分)講義資料を復習する	岡 多恵

評価	レポート試験(40%) 課題提出(ロールプレイ演習時の課題も含む)(60%)
課題に対するフィードバックの方法	提出物の課題レポート、リフレクションペーパーについては、個別にフィードバックやコメントを記載して返却等を行い、講義にて全体でのフィードバックを行う
教科書	指定なし
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク、シミュレーションを用いて実施する
実務経験のある教員による授業	がん看護専門看護師の資格を有する教員が担当する
留意事項	2年次に開講した「成人看護学概論」「成人看護方法論Ⅰ」、また3年次に開講した「成人看護方法論Ⅱ」「成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ」での学修を基盤に、がん看護への興味をもち、学が姿勢をもって学修を深める。がん医療や看護の最近の動向・課題について主体的に思考し、考察することを望む。また、演習等を通じ、看護の本質について考察でき、話す・書く方法で表現・考察することも望む。自らの看護観を育てる姿勢を積極的にもち、講義に参加して下さい。



授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
実践看護論Ⅱ(認知症看護) Dementia Nursing	選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	牛田 貴子	○
ナンバリングコード	HNS02	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP3)相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。					
統合看護学	DP5)幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6)卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					

授業概要	講義、臨地実習での学修を発展させる形で、認知症ケアに関する知識・技術を理解し修得する。認知症治療の最新動向を知るとともに、薬物治療と非薬物治療の特徴と看護の役割について理解する。回想法、リアリティオリエンテーション等の実際、評価を体験的に理解し、臨床実践における有用性と限界について検討する。
------	--

到達目標	1)認知症高齢者とのコミュニケーションや環境について、当事者の視点で検討できる 2)非薬物療法による集団への働きかけを企画-実施-評価-企画修正-再実施できる 3)臨床実践における実現可能性と限界についてディスカッションできる 4)認知症ケアに興味を持ち、探求する方法を習得できる
------	---

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	認知症ケアに関する基礎知識	認知症ケアの基礎知識の確認、講義のすすめ方(第7・8回の課題説明を含む) 【グループワーク】小テスト結果と解答のクリティカルシンキング 事前学習(30分)事前小テスト 事後学習(30分)小レポート①	牛田 貴子
2	認知症者のコミュニケーション障害とその対応	【グループワーク】ユマニチュード、ヴァリデーションを中心に認知症高齢者とのコミュニケーションの基本 事前学習(30分)配付文献の理解、関連文献の検索と資料準備 事後学習(30分)小レポート②	牛田 貴子
3 4	認知症高齢者とのコミュニケーションの実際と評価	【グループワーク】認知症者の視線で環境やケアを検討する 【ロールプレイ】入院している認知症とその家族へのケア場面 事前学習(30分)配付文献の理解、関連文献の検索と資料準備 事後学習(60分)小レポート③④	牛田 貴子
5	薬物療法と非薬物療法	認知症の治療とケアに関連する薬物療法と非薬物療法の概要 事前学習(30分)教科書①②の当該部分を読み疑問を整理する 事後学習(30分)小レポート⑤	牛田 貴子
6	非薬物療法による集団への働きかけの技法1 計画	【グループワーク】RO、音楽療法、回想法の3つの要素を全てを含む30分プログラムの企画・準備 事前学習(30分)プログラム作成に向けた各自の準備 事後学習(30分)プログラムの作成、発表準備	牛田 貴子
7 8	非薬物療法による集団への働きかけの技法2 発表と評価	【グループ発表と参加体験】各グループプログラムの発表と検討・評価 事前学習(30分)発表準備、各グループでリハーサル 事後学習(60分)小レポート⑥⑦	牛田 貴子

評価	小レポート①～⑦は10点、プログラム企画書10点、進行表10点、発表10点。
課題に対するフィードバックの方法	レポートは後日、コメントをつけて返却する
教科書	A.最新老年看護学(2022)/水野信子ほか/日本看護協会出版会/第3版/ISBN:978-4-8180-2366-6 (2年次使用) B.生活機能からみた老年看護過程 +病態・生活機能関連図/山田律子ほか/医学書院/第4版/ISBN:978-4-260-04274-1 (2年次使用)
参考図書など	老年看護学関連の講義・演習・実習で使用した資料、返却済みのレポート等
アクティブ・ラーニング	グループワークを中心に、文献検索、ロールプレイ、発表等を行う
実務経験のある教員による授業	看護師、保健師としての臨床経験および認知症看護認定看護師教育の経験を活かして、認知症ケアの実践的な講義・演習を実施する。
留意事項	全ての講義に出席し、主体的に参加しないと学べません。学びの探究を楽しみましょう。 第3回・4回、第7回・8回は2コマ続きです。レポート等の再提出はありません。

IV  
21年度以前入学者科目

授業科目の名称		必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
実践看護論Ⅲ(小児看護の専門性) Pediatric Nursing Expertise		選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	石川真里子, 松永雄至, 松尾優香	○
ナンバリングコード	HNSE3	オフィスアワー		本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー 一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分		卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目		DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。					
統合看護学							
授業概要	既習の知識や臨地実習での体験を統合し、小児看護における専門性を発展させていく能力を培うことを目標とする。そのために、社会の動向を踏まえた上で、現代の小児医療・小児看護の抱えている課題や今後の展望について様々な観点から討議し、学修を深めていく。						
到達目標	1)子どもの各発達段階において生じやすい健康問題について、既習の講義・臨地実習などから関心のある話題を提示し説明することができる。 2)子どもの社会生活で起きている社会的問題について、既習の講義・臨地実習などから関心のある話題を提示し説明することができる。 3)子どもの健康問題や(家族を含む)社会的問題における課題を明確にし、テーマに応じたkey wordを整理し、文献・資料を検索し、資料を収集することができる。 4)ディベートで討議する際のパネル(PP)等を用いて、相手に分かるように説明する資料を作成することができる。 5)ディベートの目的・方法を理解し、ルールに基づいて討議できる。 6)ディベートにおいて各自の役割を遂行し、時間内に、分かりやすい発表をすることができる。 7)ディベートにおける評価基準を理解し、学修内容を振り返り、課題レポートを適切に提出することができる。						
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)				担当教員	
1	ガイダンス、各発達段階において生じる健康問題	各発達段階において生じやすい健康問題 事前学習(30分) 小児看護学概論および総論の該当箇所を読んでくる 事後学習(30分) リフレクションペーパーにて、講義で学んだことを振り返る				石川、 松永、松尾	
2	子どもと家族を取り巻く社会的問題	子どもを取り巻く社会的問題(育児困難、貧困、発達障害、医療的ケア児、虐待)と背景 事前学習(30分) 小児看護学の講義で学んだ箇所を振り返る 事後学習(30分) リフレクションペーパーにて、講義で学んだことを振り返る				石川、 松永、松尾	
3	小児医療・保健と看護に関するディベート① 準備	子どもと家族が抱える課題を調べ、討議(ディベート)の準備をする① テーマの決定、ディベートの規則、グループ内役割の決定 事前学習(30分) テーマを確認し、ディベートに向けた準備をする 事後学習(30分) 実施に向けた準備内容の確認				石川、 松永、松尾	
4	小児医療・保健と看護に関するディベート② 準備	子どもと家族が抱える課題を調べ、討議(ディベート)の準備をする② 資料の検索と収集 事前学習(30分) テーマを確認し、ディベートに向けた準備をする 事後学習(30分) 実施に向けた準備内容の確認				石川、 松永、松尾	
5	小児医療・保健と看護に関するディベート③ 準備	子どもと家族が抱える課題を調べ、討議(ディベート)の準備をする③ 資料の整理 事前学習(30分) テーマを確認し、ディベートに向けた準備をする 事後学習(30分) 実施の振り返り				石川、 松永、松尾	
6	小児医療・看護に関するディベート④ 準備	子どもと家族が抱える課題を調べ、討議(ディベート)の準備をする④ 討論に使用する資料(原稿、パネル等)を作成する。 事前学習(30分) テーマを確認し、ディベートに向けた準備をする 事後学習(30分) 実施の振り返り				石川、 松永、松尾	
7	小児医療・看護に関するディベート④ ディベートによる討論と反論	討議(ディベート)の実践と評価、講評を受けて振り返りを行う。 事前学習(30分) ディベートを通じて考察したことを記録する。 事後学習(30分) 講評、振り返りを通して考察したことを記録する。				石川、 松永、松尾	
8	学修のまとめ	講義・ディベートを通じた学修内容のまとめ 事前学習(30分) 既習内容の確認、講評 事後学習(30分) レポート課題を提出する				石川、 松永、松尾	
評価	参加、発言状況30%、レポート課題・ディベートへの取り組み70%						
課題に対するフィードバックの方法	レポート、リフレクションペーパーに対してフィードバックを行う。						
教科書	指定なし						
参考図書など	1. 小児看護学I 小児看護学概論・小児看護技術/二宮啓子、今野美紀著/南江堂/改訂第4版/2022/ISBN:978-4-524-22756-3 2. 入門編: ディベートとは? bing.com/videos 3. ディベートとは   ディベートを学ぶ   NADE - 全国教室ディベート連盟 4. 第30回 ディベートの方法   国語表現   高校講座   nhk.or.jp						
アクティブ・ラーニング	ディベートのためのグループワーク、ディスカッション						
実務経験のある教員による授業	小児看護学の臨床経験と研究歴をもつ教員が実施する。						
留意事項	既習の知識や臨地実習での体験を統合し、小児看護における専門性を発展させるための能力を培います。自ら課題を発見、検討し、課題と解決方法について参加者と積極的に共有する方法を学びましょう。						

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
実践看護論Ⅳ(ウイメンズヘルス) Women's Health	選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	山崎 圭子 加藤 尚美 松島 泰恵	○
ナンバリングコード	HNSE2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休みおよび別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。					
統合看護学	DP4)保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。					
授業概要	現代女性のライフサイクルは、女性の長寿化、少子化さらには生き方の多様化といった社会的な変化に伴い、大きく変わりつつある。また、女性の健康のとりえ方も母子保健領域にとどまらず生涯を通じた健康権利として行使できるように「リプロダクティブヘルス・ライツ」の概念と重要性が明文化されている。その視点から思春期・成熟期・更年期・老年期の女性を理解し、それぞれの母性領域での問題とその対応を学ぶ。					
到達目標	1)女性のライフサイクル各期の健康問題とその看護について説明できる。 2)女性の権利、生命の尊厳、母性看護の倫理的課題について説明できる。 3)性と生殖に関する権利を尊重していくための支援について説明できる。 4)DVの現状と課題について述べるができる。 5)人の多様性の尊重について考えを述べるができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)			担当教員	
1	女性のライフサイクル各期にかかわる健康問題と支援	ウイメンズヘルスの考え方、女性のライフサイクル、女性の健康に関する保健施策 女性のライフサイクル全般にかかわる健康問題と、その支援・看護 事前学習:(30分)教科書の該当箇所(p31、190-250)を読んでくる。 事後学習:(30分)授業内容の復習を行う。			山崎 圭子	
2	女性のヘルスプロモーション	女性のヘルスプロモーションに必要とされるヘルスリテラシーについて 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(30分)授業内容の復習を行う。			加藤 尚美	
3	リプロダクティブヘルスとケア	家族・女性を中心とした看護 事前学習:(30分)教科書の該当箇所(概論:p24-27、250-282、各論p12-55)を読んでくる。 事後学習:(30分)授業内容の復習を行う。			山崎 圭子	
4	女性の健康問題と支援について 中間発表	女性の健康問題と看護について(中間発表) 事前学習:(30分)女性の健康問題と看護各自テーマに沿って中間発表資料をまとめる。 事後学習:(30分)第8回の発表に向けて、発表資料を追加修正する。			山崎 圭子 松島 泰恵	
5	不妊に悩む女性への支援と看護	不妊に悩む女性への支援と看護について 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習:(30分)授業内容の復習を行う。			山崎 圭子	
6	セクシャリティの理解と多様性の尊重	セクシャリティの概念と特質・性的マイノリティを学ぶ。多様性の尊重について考える 事前学習:(30分)配布した事例を読んで自分なりの考えをまとめGワークに参加する。 事後学習:(30分)第8回の発表準備を行う。			松島 泰恵	
7	DVの現状と課題	配偶者暴力(DV)・交際相手暴力(デートDV)被害者の支援を考える 事前学習:(30分)配布した事例を読んで自分なりの考えをまとめGワークに参加する。 事後学習:(30分)第8回の発表準備を行う。			松島 泰恵	
8	女性の健康問題と支援	女性の健康問題と看護について各グループのテーマについて発表 女性のライフサイクル健康を維持していくための支援 まとめ 事前学習:(60分)各自グループの発表準備を行う 事後学習:(30分)授業内容の復習。			山崎 圭子 加藤 尚美 松島 泰恵	
評価	課題(課題提出/グループワークへの取り組み/プレゼンテーション/ディスカッションを含む)70%、リフレクションペーパー30%					
課題に対する フィードバックの方法	科目の平均点及び評価がS・A・B・Cの人数を示したうえで、科目試験の講評をmanabaにて公開する。プレゼンテーションの評価は授業内でも全体の講評を伝える。					
教科書	1. 系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護学1/2021年, 医学書院/第14版/ISBN:978-4-260-04225-3【第1-3,5-7】 2. 系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学2/2021年, 医学書院/第14版/ISBN:9784-260-04223-9【第1-3,5-7】 ※今までに購入済の教科書を再度使用する。					
参考図書など	1. 母性看護学概論 ウイメンズヘルスと看護/2022年, メディカルフレンド社/第7版/ISBN:978-4-8392-3403-4 2. 母性看護学 I 概論・ライフサイクル 生涯を通じた性と生殖の健康を支える/2022年, 南江堂/改訂第3版/ISBN:978-4-524-22979-6 3. 命は輝く/2019年, 中央公論新社/ISBN:978-4-12-005237-8					
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション、Gワーク(ジグソー法)					
実務経験のある 教員による授業	アドバンス助産師・助産師として多くの臨床経験を持つ教員が臨床経験を活かして、女性のライフサイクル各期における看護について講義する。					
留意事項	特になし					

IV  
21年度以前入学者科目

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
実践看護論Ⅴ (バイオサイコソーシャルアプローチ) Practical nursingⅤ Biopsychosocial approach	選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	片山 典子 陶山 克洋 佐々木博之 渡部 李菜	○
ナンバリングコード	HNSE3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3)相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。					
統合看護学						
授業概要	既習学習の「コミュニケーション論」、「心理学」および「精神看護学概論」、「精神看護方法論Ⅱ」科目と関連を持ちながら、学生が精神看護の幅の広さを理解し、精神的側面についてさまざまな場面において対応できる看護を学修することをねらいとする。具体的には、対人援助のためのカウンセリングの考え方やアサーションスキル、ストレス軽減技術及びその測定などについて学修する。					
到達目標	1)対人援助におけるカウンセリングの機能と目的を説明することができる。 2)対人援助のために必要な基本姿勢や技術を説明することができる。 3)自身の精神的健康状態を説明することができる。 4)精神的健康を維持・向上するためのストレス軽減技法やストレスの測定方法を説明することができる。 5)カウンセリングの対人援助技術をもとに援助方法を検討できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	対人援助のためのカウンセリング	カウンセリングの考え方、看護におけるカウンセリングの機能、カウンセリングマインド、共感的理解についての理解と演習 事前学習(60分)ケアの質を高める看護カウンセリングp67-70を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習する。			片山 典子	
2	アサーションスキル演習	アサーショントレーニングの考え方、活用場面、自己主張のタイプ、自己主張の方法、練習問題、まとめ 事前学習(30分)アサーティブ度チェックを行い、指定された日時に提出する。【課題レポート①】 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習する。			片山 典子	
3	ストレスと健康	ストレスが身体的・精神的に及ぼす影響、ストレスの発生条件と対処方法 事前学習(30分)精神看護学Ⅰ 精神保健学p54-57を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習する。			片山典子 佐々木博之	
4	ストレス軽減技法	ストレスを軽減させる方法(リラクゼーション法、筋弛緩法、マインドフルネス、アロマセラピー、音楽療法) 事前学習(30分)精神看護学Ⅰ 精神保健学p131-140を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し、ストレス軽減に関する実験プロトコルを作成する。			佐々木博之 片山典子、陶山 克洋、渡部李菜	
5	ストレスの測定	治療上ストレスになる因子、もしくはストレスラーを軽減できる方法を【演習】する 事前学習(60分)実験プロトコルを授業開始時に提出する。【課題レポート②】 事後学習(60分)講義内容及び演習から得た気づきや学びについて【課題レポート③】を提出する。			陶山 克洋	
6	カウンセリングの基本	カウンセリングの考え方、主な理論、人の悩みを聴く力、基本的信頼感、自己肯定的態度について理解と演習 事前学習(30分)ケアの質を高める看護カウンセリングp199-209を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習する。			片山 典子	
7	自殺リスクの高い患者へのカウンセリング	自殺リスクの高い患者の特徴、自殺リスクの高い患者への対応の基本とカウンセリングに影響し得る援助者側の感情や価値観 事前学習(30分)第1-6回の配布資料等から、これまで学修した対人援助技術について復習する。 事後学習(60分)次回ロールプレイングの実施に向け、計画・準備を進める。			渡部 李菜 片山典子、陶山 克洋、佐々木博 之	
8	自殺リスクの高い患者へのカウンセリング演習	事例をもとにロールプレイングおよび参与観察 事前学習(30分)ロールプレイングの実施に向け、計画・準備をする。 事後学習(60分)ロールプレイングから得た気づきや学びについて【課題レポート④】を提出する。			渡部 李菜 片山典子、陶山 克洋、佐々木博 之	

評価	定期試験50%、課題レポート40%、演習の参加状況10%を総合して評価する。
課題に対するフィードバックの方法	演習について、グループワークや演習等で出てきた疑問などに対しては都度、助言と補完を行う。試験の講評はweb上または掲示して公開する。また、試験の講評に関して希望がある場合は、個別にも対応する。
教科書	ケアの質を高める看護カウンセリング/飯田澄美子,見藤隆子編著/医歯薬出版/ISBN:978-4-263-23319-1/1997【第1、6-8回目で利用】 精神看護学 I 精神保健学/吉松和哉, 小泉典章, 川野雅資編集/ヌーヴェルヒロカワ/第6版 6刷/ISBN:978-4-86174-064-0/2019【第3-5回目で利用】
参考図書など	アサーション入門—自分も相手も大切に自己表現法/平木典子/講談社現代新書/ISBN:978-4-06-288143-2/2012 図解 自分の気持ちをきちんと「伝える」技術—人間関係がラクになる自己カウンセリングのすすめ/平木典子/PHP研究所/ISBN:978-4-569-69155-8/2007 図解 相手の気持ちをきちんと「聞く」技術/平木典子/PHP研究所/ISBN:978-4-569-81488-9/2013 ケアする人も楽になる マインドフルネス&スキーマ療法 BOOK1/伊藤絵美/医学書院/ISBN:978-4-260-02840-0/2016 ケアする人も楽になる マインドフルネス&スキーマ療法 BOOK2 /伊藤絵美/医学書院/ISBN:978-4-260-02841-7/2016 認知療法・認知行動療法カウンセリング初級ワークショップ—CBTカウンセリング/伊藤絵美/星和書店/ISBN:978-4-7911-0589-2/2005 リラクゼーション法の理論と実践ヘルスケア・ワーカーのための行動療法入門/五十嵐透子/医歯薬出版/第2版/ ISBN:978-4-263-23600-0/2015 初学者にも、ベテランにも役立つ音楽療法 効果・やり方・エビデンスを知る/高橋多喜子/金芳堂/ISBN:978-4-7653-1879-2/2021
アクティブ・ラーニング	第5回の【演習】では、治療上ストレスフルな環境下である時と、ストレスを軽減させる方法(リラクゼーション法、筋弛緩法、マインドフルネス、アロマセラピー、音楽療法)を実施した後にストレスを数値化し、ストレス軽減効果を学ぶ。 第1・2回、第6-8回の【演習】では、カウンセリングやアサーション、自殺リスクの高い患者に対するペーパーペーシエントを用いロールプレイングを実施する。ロールプレイング(面接)の様子を基に【ディスカッション】を行い、患者の状態に沿ったカウンセリングの技法が展開できるように面接トレーニングを行う。
実務経験のある教員による授業	精神科看護師としての看護実践経験を活かし、対人援助を実践する上で必要な知識と介入方法を教授する。また演習を通してバイオサイコソーシャルの側面から捉える必要性を学修する。
留意事項	実践看護学Ⅴ(バイオサイコソーシャルアプローチ)で学習する内容は、「コミュニケーション論」、「心理学」および「精神看護学概論」、「精神看護方法論Ⅱ」科目の学習内容と関連します。また各専門看護学の看護場面にも活用できる内容も含まれるので、必ず事前学習を行い積極的に講義・演習に臨んで下さい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
実践看護論Ⅵ (補完療法とフットケア) Practical Nursing Theory Ⅵ	選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	塚原 ゆかり	○
ナンバリングコード	HNSE3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3)相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。					
統合看護学						

授業概要	看護の対象となる人をより統合的(ホリスティック)に捉え、健康な人から健康に障害を持つ人が自身のセルフコントロールにより個人のwell-being(安寧)を高めるために役立つリラクゼーション技法を学ぶ。また健康上の課題に折り合いを付けながら生活する人のwell-being(安寧)を高めるための援助技術としてアロマセラピー、手のケア、足のケア方法について学修する。
------	---

到達目標	1) ホリスティック・アプローチとしての補完療法について理解することができる。 2) ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法について理解できる。 3) 健康上の課題に折り合いを付けながら生活する人のwell-being(安寧)を高めるための援助技術としてアロマセラピー、手のケア、足のケア方法について理解できる。
------	--

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	本授業の概要 ホリスティック・アプローチとしての補完療法	ホリスティック・アプローチとしての補完療法の概要 事前学習:補完療法について調べる(15分) 事後学習:講義の内容をまとめ、整理する(30分)	塚原 ゆかり
2	ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法1	ホリスティック・アプローチとしての補完療法とその技法としてのリラクゼーション法【グループワーク】 事前学習:補完療法もしくは補完代替療法について調べたことをA4用紙1枚にまとめる【授業後提出】(30分) 事後学習:講義の内容をまとめ、整理する(30分)	塚原 ゆかり
3	ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法2 アロマセラピー	苦痛を緩和するための補完療法とその技法としてのアロマセラピー【演習】 事前学習:①補完療法について復習してくる②教科書P180を読み、動画を視聴する(15分) 事後学習:講義・演習の内容をまとめ、整理する(30分)	塚原 ゆかり
4	ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法3 アロマセラピー、手のケア	リラクゼーション技法:苦痛を緩和するためのアロマセラピーと手のマッサージ【演習】 事前学習:アロマセラピーとはどのような療法か、作用経路、精油、植物油について調べてA4用紙1枚にまとめる【授業後提出】(60分) 事後学習:講義・演習の内容をまとめ、整理する(30分)	塚原 ゆかり
5	ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法4 足のケア	足のケアの目的と特徴(P159~165) 事前学習:教科書P159~165を読んてくる(15分) 事後学習:講義の内容をまとめ、整理する(30分)	塚原 ゆかり
6	ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法5 足のケア	足のケアの援助方法と家族指導~靴や靴下の選び方、運動~【演習】 事前学習:図4.14-1足の観察ポイント(P.160)に沿って、自分の足を評価し、A4用紙1枚にまとめる【授業後提出】(60分) 事後学習:講義の内容をまとめ、整理する(30分)	塚原 ゆかり
7	ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法6 アロマセラピー、足のケア	足のケアの援助方法~足浴、足爪切り、ヤスリ掛け~(P162~164)【演習】 事前学習:これまでのアロマセラピーや足のケアについて復習してくる(15分) 事後学習:講義・演習の内容をまとめ、整理する(30分)	塚原 ゆかり
8	ホリスティック・アプローチとしてのリラクゼーション技法7 アロマセラピー、足のケア	苦痛を緩和するためのアロマセラピーを用いた足のマッサージ【演習】 事前学習:足のケアにおける足のマッサージ(フットマッサージ)の目的、活用方法について、A4用紙1枚にまとめる【授業後提出】(60分) 事後学習:講義・演習の内容をまとめ、整理する(30分) 授業終了後、課題レポートは、manabaにて出題する	塚原 ゆかり

評価	事前課題・授業参加態度(40%)、課題レポート(60%)
課題に対するフィードバックの方法	各学生の課題に直接コメントをし、その他については授業時に伝える。より詳しく説明を希望する場合は、個々に対応する。
教科書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術(3年次の「在宅看護方法論Ⅱ」で使用した教科書)/臺有桂他/メディカ出版/ISBN:978-4-8404-7544-0
参考図書など	看護にいかすリラクゼーション技法 ホリスティック・アプローチ/荒川唱子、小板橋喜久代編/医学書院/ISBN:978-4-260-33149-4 ナースのためのアロマセラピー/日本アロマセラピー学会看護研究会編/メディカ出版/ISBN:978-4-840-41425-8 アロマセラピー入門 日々の看護に生かすホリスティックアプローチ第2版/今西二郎、荒川唱子編/日本看護協会出版会/ISBN:978-4-8180-1928-7 新 はじめよう! フットケア/西田 壽代 監修、日本フットケア学会編/日本看護協会出版会/ISBN:978-4-8180-2523-3
アクティブ・ラーニング	グループワークと各技法について演習を実施していく。
実務経験のある教員による授業	訪問看護師およびアロマセラピーやフットケアのセラピストとしての実務経験から、ホリスティック・アプローチについて実践的な授業を行う。
留意事項	・毎回、リアクションペーパーを提出(目的:授業の質の向上、疑問の解消) ・第6、7、8回目の授業の際は、下腿(膝下)を出しやすい服装で参加し、ペディキュアを落としてくること ・第7回目の授業までに、各自、足爪を伸ばしておくこと ・全ての科目の基となる科目です。必ず専用のノートまたはファイルを作成してください。これまでの学習方法との共通点・相違点を意識しながら、自らの成長を記録に残し、成長を実感しましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
実践看護論Ⅶ(異文化看護) Transcultural Nursing	選択	講義	1単位 (15時間)	4年後期	輪湖 史子	○
ナンバリングコード	HNSE3	オフィスアワー	授業の前後及びメールで受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3)相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4)保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5)幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6)卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
統合看護学						

授業概要	○「文化」を理解する上で必要な基本的知識・概念を学ぶ。 ○文化と健康の関連性について学ぶ。 ○文化に配慮した看護のあり方について考える。		
到達目標	1)自身の身近にある「異文化」「多文化」を認識し、記述できる。 2)異文化が交わることから生じる人々の生活上・健康上の課題を理解できる。 3)異なる文化を持つ個人や集団に看護を提供する際のポイントが理解できる。		
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習(予習・復習・課題等)	担当教員
1	異文化を知る	①看護における異文化理解の必要性、②文化とは何か 事前学習(30分):日常生活において、どのようなときに「異文化」を意識するか、振り返る。 事後学習(60分):自己の身近にある「異文化」を挙げる。	輪湖 史子
2	異文化と出会うとき	①異文化への関心、②異文化理解の促進、③異文化適応 事前学習(30分):自身は、「異文化」に対してどのような関心をもっているか、振り返る。 事後学習(60分):「異文化」に接した際の反応について、復習・整理する。	輪湖 史子
3	異文化理解における課題	①ステレオタイプ、差別、偏見、②文化とコミュニケーション 事前学習(30分):日常生活場面で「コミュニケーション」が難しいと感じることがあるか、振り返る。 事後学習(60分):さまざまなコミュニケーション・スタイルについて、復習・整理する。	輪湖 史子
4	看護実践と文化	①看護職と異文化、②異文化看護モデル、③看護場面における文化への配慮 事前学習(30分):看護学の学習過程(含・臨地実習)で「異文化」に接する機会があったか、振り返る。 事後学習(60分):看護場面における文化への配慮について、復習・整理する。	輪湖 史子
5	保健医療・看護という文化	①文化的視点からみた保健医療・看護の特性、②受け手からみた保健医療・看護 事前学習(30分):保健医療は「誰の・どのような『文化』」を背景に成立しているか、考えてみる。 事後学習(60分):ケア提供者とケアの受け手の間の「文化的差異」がもたらす影響について、復習・整理する。	輪湖 史子
6	看護場面における文化関連課題とその対応(1)文化的背景が異なる人々へのケア	①訪日・在留外国人の健康課題、②国際社会における対応 事前学習(30分):訪日・在留外国人に特有の健康課題にはどのようなものがあるか、考えてみる。 事後学習(60分):訪日・在留外国人の健康課題に対応するための制度・サービスについて、復習・整理する。	輪湖 史子
7	看護場面における文化関連課題とその対応(2)ケアの受け手の意思と行動	①ヘルス・ビリーフと健康行動、②医療における選択及び医療の選好・拒否と文化 事前学習(30分):「ヘルス・ビリーフ」とは何か、調べる。 事後学習(60分):「患者の権利」「医療従事者の倫理」「保健医療の法的背景」について、復習・整理する。	輪湖 史子
8	グローバル化時代の看護	①グローバル化と看護、②世界の看護と看護師、③国際社会における看護の課題 事前学習(30分):国際看護師協会(International Council of Nurses: ICN)について調べる。 事後学習(60分):世界における看護の課題について、復習・整理する。	輪湖 史子

評価	レポート 100%
課題に対するフィードバックの方法	適宜、口頭発表またはリアクション・ペーパー提出を求め(成績評価対象外)、必要に応じて講義時にフィードバックを行う。
教科書	テキストについては別途指示する。
参考図書など	原沢伊都夫:異文化理解入門。研究社、東京、2013。ISBN 978-4-327-37734-2
アクティブ・ラーニング	講義時に、グループ・ワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	看護師として看護専門職団体等の国際活動に従事した経験を活かし、基本的・実践的内容を講義する。
留意事項	1)事前学習・事後学習の課題は、上記記載に加えて、都度、講義中に提示します。 2)講義や自己学習の際に分からなかったことや疑問に思ったことを言語化し、適切なリソース(資料、人、等)を活用し、自ら答えを見出す姿勢を身につけましょう。 3)参考図書等は、改訂版が出版されることがあります。その時点での最新版を参照してください。

IV  
21年度以前入学者科目

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
統合実習 Practice In Intergrated Nursing	必修	実験・実習	2単位 (90時間)	4年前期	川本 利恵子、看護学科教員一同	○
ナンバリングコード	HNSF3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
統合科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。					
統合看護学	DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
授業概要	これまでの既習学習を統合させ、看護の対象に看護理論および基礎看護技術等の学習内容を活用・提供することを学ぶ。具体的には外来、病棟での看護実践における看護管理者、チームリーダー、メンバーの役割とその実際を学習する。また、複数の患者を受け持ち、優先順位をつけて看護を実施する方法を学び、臨床現場で行われている看護実践の実際を学ぶ。またチームの一員として協働する心構えを学ぶ。さらに卒業や卒業後を視野に入れて、卒業までの基礎知識や看護技術における自己の学習課題を明確にする。					
到達目標	1) これまでの臨地実習の学びをふりかえり、統合実習での自己の学習目標を説明できる。 2) 組織内における看護職の役割や、管理について理解できる。(看護部、病棟、専門チームなど) 3) 領域別実習では経験できなかった、その現場での特徴的な看護実践をとらえて看護に対する考えをさらに深めることができる。(入退院時の看護、外来、特殊な部署・部門、業務分担、多重業務、複数受け持ちほか) 4) 卒業や卒業後を視野にいれて、自己の学習課題を明確にできる。					
授業の進め方	1. 実習期間: 2週間 2. 実習施設: 湘南東部総合病院、大和成和病院、ふれあい鶴見ホスピタル、汐見台病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、久里浜医療センター、みどり幼稚園、介護老人福祉施設ふれあいの森、介護老人福祉施設ふれあいの麗寿ほか 3. 実習内容と展開 1) 4月 : 全体オリエンテーション、臨地実習の学びの振り返り、グループワークでの事例検討 2) 5～6月 : 領域別オリエンテーション、事前学習 3) 7月 : 領域別に臨地実習 指導領域別に各自の学習目標、学習計画に基づいて臨地および学内にて実施する。 4) 最終日 共有学習、まとめ 4. 記録提出 最終日、指示された時間までに提出する。 5. その他 詳細は実習ガイドライン、統合実習実習要綱および各領域の実習オリエンテーション資料に沿って実習する。					
評価	実習評価表に基づき評価する。到達目標ごとの評価割合は、1)10%、2)+3)70%、4)20%)である。各到達目標ごとの評価に、実習内容、実習記録、実習態度の評価を含む。					
課題に対する フィードバックの方法	その都度、状況に応じて直接各自の課題に応じる					
教科書	看護管理ほか統合科目で学修した教科書・資料、体験する看護実践に関連する資料・文献					
参考図書など	実習オリエンテーション等で適宜紹介する					
アクティブ・ラーニング	実習を行ったときの事例を持ち寄り、事例の課題解決に向けグループワークを行い、学習を深める。					
実務経験のある 教員による授業	各領域毎にそれぞれの教員が、自己の臨床(実務)経験を基に事例や課題についての教授を行う。					
留意事項	何をどのように学ぶのか、実習前の準備が成果に大きく影響します。本学の学生として実施する最後の臨地実習です。課題意識、計画性、積極性を期待します。					



授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護活動論Ⅱ Public Health Nursing Activities II	選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	牛田 貴子	○
ナンバリングコード	HPNE2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。					
公衆衛生看護学	DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					

概要 子どもと親、成人期、高齢期の人々の支援、心の健康への支援、障害を持つ人々・感染症に罹患している人々、多様な文化的背景を持つ人々への支援  
授業 について、行政における活動を中心に学修する。

到達目標 1) 公衆衛生看護活動の基盤となる理論、モデルを活用し、対象理解や活動展開での活用を検討できる。  
2) 多様な対象の理解と地域共生型地域包括ケアシステムについて興味を持ち、現代の社会課題と関連して説明できる。  
3) 公衆衛生看護学の基本的な知識について体系的に整理できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)	担当教員
1	オリエンテーション 公衆衛生看護学における主要概念	授業の進め方、課題の説明と解決方法の探索、課題レポート作成の方法、主要概念の確認 【グループ意見交換】 / 教科書A・C:公衆衛生看護学概論(出題基準)の小テストとポイント整理 事前学習:(30分)これまでの公衆衛生看護学関連の資料を活用しやすく整理する。 事後学習:(45分)小テスト結果を用いた学習ノートの作成	牛田 貴子
2	理論を活用した対象理解 1 エンパワメント、ストレス	エンパワメント、ストレス理論を用いた対象理解 【グループワーク意見交換】 / 教科書A・C:小テストとポイント整理 事前学習(30分)当該理論に関する下調べ 事後学習(30分)小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
3	保健行動理論を活用した活動展開	行動変容ステージモデル、ヘルスビリーフモデルを用いた活動展開 【グループワーク意見交換】 / 教科書A・C:小テストとポイント整理 事前学習:(30分)当該モデルに関する下調べ 事後学習:(30分)小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
4	ヘルスプロモーションモデルを活用した活動展開	ベンダーのヘルスプロモーションモデルを用いた活動展開 【グループワーク意見交換】 / 教科書B・C:対象別公衆衛生看護活動論(出題基準)の小テストとポイント整理 事前学習:(30分)当該モデルに関する下調べ 事後学習:(30分)小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
5	モデルを活用した地域アセスメント	コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロシードモデルを用いた地域アセスメント 【グループワーク意見交換】 / 教科書B・C:小テストとポイント整理 事前学習:(30分)当該モデルに関する下調べ 事後学習:(30分)小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
6	連携モデルを活用した活動展開	インターディシプリナリ・モデル、トランスディシプリナリ・モデルを用いた地域連携の展開 【グループワーク意見交換】 / 教科書B・C:小テストとポイント整理 事前学習:(30分)当該モデルに関する下調べ 事後学習:(30分)小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
7	多様な対象の理解と地域共生型地域包括ケアシステム	在日外国人、ヤングケアラー、8050、ダブルケア、生活困窮等の課題が複合に対する包括的支援 【グループワーク意見交換】 / 教科書B・C:小テストとポイント整理 事前学習:(30分)事前配布資料の下読み 事後学習:(30分)小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
8	まとめ	学習内容の振り返りとレポート課題確認 / 教科書B・C:対象別公衆衛生看護活動論(出題基準)の小テストとポイント整理 事前学習:(30分)様々な事例の支援計画をたてる。 事後学習:(60分)学びを復習し、理解を深める。	牛田 貴子

評価	筆記試験(50%)、課題レポート(50%)
課題に対するフィードバックの方法	グループワークについては、その都度フィードバックをする。筆記試験、課題レポート等の講評は、学習支援システム(manaba)で行う。
教科書	A標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論/標美奈子ほか/医学書院/第6版/ISBN:978-4-260-04707-4(3年次使用) B標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動/松田正己ほか/医学書院/第4版/ISBN:978-4-260-03187-5(3年次使用) C厚生の指標増刊 国民衛生の動向 2023/2024/厚生労働統計協会:(3年次使用) 【A～Cの教科書は第1回～第8回で適宜使用する】
参考図書など	・看護診断のためのよくわかる中範囲理論/黒田裕子/Gakken/第2版/ISBN:978-4-7809-1192-3 適宜紹介、配布する。
アクティブ・ラーニング	毎回、ロールプレイングを付加した意見交換、国試模試web版を用いた小テストを行う。
実務経験のある教員による授業	教員は保健師の実務経験を活かし、多様で複雑な看護活動の基盤について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目。 ・授業でコンピュータールーム、図書館を使用する場合がある

IV  
21年度以前入学者科目

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
公衆衛生看護学演習 I Public Health Nursing Seminar I	選択	演習	1単位 (30時間)	4年前期	山崎 真帆, 澤井 美奈子	○
ナンバリングコード	HPND2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。					
公衆衛生看護学	DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
授業概要	地域アセスメント、施策化と事業化、社会資源の開発、システム化について、演習を通して具体的に学修する。					
到達目標	1) 地域アセスメントの目的、意義、理論について説明できる。 2) 地域の情報をアセスメントし、地域の健康課題や関連要因を抽出できる。 3) 保健活動の事業化・施策化と評価について理解できる。 4) 健康教育の目的や技術を理解し、対象にあった効果的な健康教育を展開できる。 5) 地域における組織的な解決方法を説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）				担当教員
1	オリエンテーション 公衆衛生看護と地域アセスメント	授業のすすめ方、地域支援の基本となる考え方と支援方法、地域アセスメントの目的・意義、 既存資料の活用 事前学習(45分): 身近にある「住民のニーズ」について考える。 事後学習(45分): 配付資料および教科書を復習し理解を深める。				山崎 真帆
2	公衆衛生看護の基盤となる理論	地域アセスメントの考え方、理論・モデル 事前学習(60分): 教科書の指定箇所を読む。 事後学習(30分): 配付資料および教科書を復習し理解を深める。				山崎 真帆
3	公衆衛生看護 保健統計・疫学の 基礎	地域アセスメントに活用する保健統計・疫学 【ICT】インターネットを利用しながら地域アセスメントに活用する情報について学ぶ 事前学習(60分): 保健統計・疫学に関する授業の復習。 事後学習(30分): 課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。				山崎 真帆
4	地域アセスメントの過程(1) 情報収集とアセスメント	コミュニティコア(人口動態・人口静態等)、コミュニティのサブシステム(物理的環境、経済、政治と 行政、教育、安全・交通、コミュニケーション、レクリエーション、保健医療福祉サービス)の情報収 集とアセスメント 【グループワーク/ICT】行政のホームページなどから情報を収集してまとめる 事前学習(30分): コミュニティコアに関する情報を集める。 事後学習(60分): 課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。				山崎 真帆
5	地域アセスメントの過程(2) 健康課題の抽出	住民のニーズの把握、地区踏査、インタビューの進めかた、顕在化・潜在化している健康課題の抽 出、健康課題解決のための方策の検討 【グループワーク/ICT】行政のホームページなどから情報を収集してまとめる 事前学習(30分): 地域アセスメントに使用する既存資料を収集する。 事後学習(60分): 課題学習に取り組む。				山崎 真帆
6	地域アセスメントの展開	既存の資料を用いた地域アセスメントの展開 事前学習(30分): 地域アセスメントに使用する既存資料を収集する。 事後学習(60分): 課題学習に取り組む。地域アセスメントの発表準備をする。				山崎 真帆
7	地域アセスメント演習(1)	各グループでまとめた地域アセスメントの中間発表、意見交換 【グループワーク/プレゼンテーション/ディスカッション】 事前学習(30分): 地域アセスメントの発表準備をする。 事後学習(60分): 発表内容を振りかえり、加筆・修正をする。				山崎 真帆, 澤 井 美奈子
8	健康教育(1) 位置づけ・技術	地域における健康教育の位置づけ、健康教育の技術、教育媒体(教材)、健康教育の展開過程、 健康教育の実際 事前学習(60分): 教科書の指定箇所を読む。 事後学習(30分): 配布資料および教科書を復習し理解を深める				山崎 真帆
9	健康教育(2) 展開	母子保健、成人保健、高齢者保健における健康課題に対する健康教育の展開 事前学習(30分): 発達段階に応じた健康課題を復習し、健康教育の題材を探す。 事後学習(60分): 配布資料および教科書の復習、健康教育演習準備。				山崎 真帆
10	健康教育演習	健康教育の発表、意見交換 【プレゼンテーション】 事前学習(60分): 健康教育の発表に向けて準備をする。 事後学習(30分): 発表内容を振りかえり、加筆・修正をする。				山崎 真帆, 澤 井 美奈子
11	保健事業の見直しと事業化・施策 化のプロセス、評価	活動の計画・実践、保健事業計画策定と評価 事前学習(60分): 地域アセスメントの発表に向けて準備をする。 事後学習(30分): 保健事業計画や評価に関する情報を収集して、地域アセスメントに活用する。				澤井 美奈子

12	地区組織活動への支援	保健師による地区組織活動、セルフヘルプグループ等への支援 【グループワーク/ICT】地区組織活動の情報を収集してまとめる 事前学習(60分):教科書の関連箇所を読む。 事後学習(30分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎 真帆
13	地域ケアシステムの構築	地域ケアシステム概念、個人や組織の役割、住民とのパートナーシップ、関係機関の連携 事前学習(60分):教科書の関連箇所を読む。 事後学習(30分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎 真帆
14	地域アセスメント演習(2)	各グループでまとめた地域アセスメントの発表、意見交換 【グループワーク/プレゼンテーション/ディスカッション】 事前学習(60分):地域アセスメントの発表に向けて準備をする 事後学習(30分):発表内容を振り返り、地域アセスメントの加筆・修正をする。	山崎 真帆、澤井 美奈子
15	まとめ	講義のまとめ、小テスト、解説 【クリッカー等】設問に回答しながら、これまでの授業内容を振り返る 事前学習(45分):これまでの授業資料を復習し、理解する。 事後学習(45分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎 真帆

評価	小テスト(40%)、課題学習・レポート(30%)、発表(30%)
課題に対するフィードバックの方法	発表やグループワークについては、その都度フィードバックをする。小テスト、課題・レポートは講義時間およびmanabaを活用してフィードバックする。
教科書	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術/ 中村 裕美子、中谷 久恵、神馬 征峰 ほか/医学書院/第5版(最新版)/ ISBN:978-4-260-05002-9
参考図書など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民衛生の動向2023/2024(厚生省の指標2023年8月増刊)/厚生労働統計協会(3年次使用)</li> <li>・標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論/標 美奈子 ほか/医学書院/第6版(最新版)/ISBN:978-4-260-04707-4</li> <li>・標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動/ 中谷 芳美、山口 忍、奥野 ひろみ ほか/ 医学書院/第5版(最新版)/ISBN978-4-260-05303-7</li> <li>・新版 保健師業務要覧/井伊久美子、勝又 浜子、森永裕美子 ほか/第4版/ISBN:978-4-8180-2381-9</li> <li>・E-stat政府の統計窓口:<a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a></li> </ul> 他適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ディスカッション、ロールプレイング、発表や意見交換を講義内で行う。また、インターネットを用いた情報収集や、クリッカー等を用いて理解度の確認を行う。
実務経験のある教員による授業	教員は保健師等の実務経験を活かし、公衆衛生看護活動、多職種や地域との連携等について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目。</li> <li>・授業でコンピューターを使用する場合がある。</li> </ul>

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
公衆衛生看護学演習Ⅱ Public Health Nursing Seminar Ⅱ	選択	演習	1単位 (30時間)	4年前期	澤井 美奈子・山崎 真帆	○
ナンバリングコード	HPND2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。					
公衆衛生看護学						
授業概要	個別から集団までを対象として行う公衆衛生看護活動における、アセスメント、コミュニケーション、生活支援や健康支援について演習を通して具体的に学修する。					
到達目標	1)個人・家族を対象とした支援に必要な情報を収集することができる。 2)収集した情報をアセスメントし、支援計画を立案することができる。 3)個別指導に必要なコミュニケーション技術を身につけている。 4)個人・家族を対象とした支援の計画・実施・評価をすることができる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）			担当教員	
1	オリエンテーション 家庭訪問1	公衆衛生看護学実習Ⅰと授業演習のつながりについて 家庭訪問とは。新生児訪問事例について、必要な情報、視点を整理する。 支援展開のための情報収集、アセスメント 事前学習(30分)教科書の関連箇所を読む。 事後学習(60分)事例のアセスメント、訪問計画作成。			澤井 美奈子 山崎 真帆	
2	家庭訪問2	家庭訪問演習1 事例への新生児訪問演習と振り返りを行う。 事前学習(60分)訪問の流れをイメージする。 事後学習(30分)振り返り内容を整理し、2回目の訪問計画に反映する。			澤井 美奈子	
3	家庭訪問3	家庭訪問演習2 事例への新生児訪問演習と振り返りを行う。 事前学習(30分)2回目の訪問演習のイメージトレーニングを行う。 事後学習(60分)訪問記録を作成する。			澤井 美奈子	
4	家庭訪問4	行政における家庭訪問の目的と保健師、他職種、地域の人々の役割を理解する。 事前学習(30分)実習先自治体の母子保健に関する資源を調べる。 事後学習(60分)家庭訪問に必要な知識と技術を整理し、具体的実習目標を作成する。			澤井 美奈子	
5	健康診査1	健康診査とは。事例を対象に、乳幼児健康診査の準備を行う。 事前学習(30分)教科書の関連箇所を読む。 事後学習(60分)事例を読み、保健活動展開に必要な情報を整理する。			山崎 真帆	
6	健康診査2	支援展開のための情報収集、アセスメント 事前学習(30分)必要な情報を調べる。 事後学習(60分)アセスメントをもとに健康診査の手順を計画する。			山崎 真帆	
7	健康診査3	健康診査演習1 事例を対象とした乳幼児健康診査演習と振り返りを行う。 事前学習(60分)健康診査の流れをイメージする。 事後学習(30分)振り返り内容を整理し、2回目の健康診査の準備を行う。			山崎 真帆	
8	健康診査4	健康診査演習2 事例を対象とした乳幼児健康診査演習と振り返りを行う。 事前学習(30分)2回目の健康診査演習のイメージトレーニングを行う。 事後学習(60分)記録を作成する。			山崎 真帆	
9	健康診査5	実習先事業をもとに行政における健康診査の歴史と目的、実施方法を理解する。 事前学習(30分)実習先で行われている健康診査の歴史、目的、実施方法の特徴を整理する。 事後学習(60分)健康診査に必要な知識、技術を整理し、具体的実習目標を作成する			山崎 真帆	
10	保健指導1	母子(親子)保健における保健指導 事前学習(30分)実習先で行われている健康診査の歴史、目的、実施方法の特徴を整理する。 事後学習(60分)健康診査に必要な知識、技術を整理し、具体的実習目標を作成する			山崎 真帆	
11	保健指導2	特定健康診査・特定保健指導 事例を用いて特定健康診査を計画・実施する。 事前学習(30分)教科書の関連箇所を読む。 事後学習(60分)事例を読み、特定に必要な情報を整理する。			澤井 美奈子	
12	保健指導3	特定保健指導展開のための情報収集、アセスメント 事前学習(30分)必要な情報を調べる。 事後学習(60分)アセスメントをもとに特定健康診査・特定保健指導の手順を計画する。			澤井 美奈子	

13	保健指導4	保健指導演習1 特定健康診査・特定保健指導演習を行う。 事前学習(60分)特定健康診査結果と特定保健指導の体系と手順を理解する。 事後学習(30分)振り返り内容を整理し、2回目の演習に反映できるよう準備する。	澤井 美奈子
14	保健指導5	保健指導演習2 特定健康診査・特定保健指導演習と振り返りを行う。 事前学習(30分)2回目の演習計画をたてる。 事後学習(60分)保健指導の記録を作成する。	澤井 美奈子
15	地域の特徴と課題に対応した個別支援事業の展開まとめ	地域や組織の特性に応じた、個別支援活動の目的と方法、ICTの活用 事前学習(30分)実習の個別支援活動を中心に整理する。 事後学習(60分)個別支援事業で学ぶ目標を具体化する。	澤井 美奈子
評価		単元ごとに次の方法で評価する。小テスト(40%)、課題学習・レポート(30%)、発表(30%)	
課題に対するフィードバックの方法		発表やグループワークについては、その都度フィードバックをする。課題は講義時間およびmanabaを活用してフィードバックする。	
教科書		<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準保健師講座2 公衆衛生看護技術/ 中村 裕美子、中谷 久恵、神馬 征峰 ほか/医学書院/第5版(最新版)/ ISBN:978-4-260-05002-9</li> <li>・標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動/ 中谷 芳美、山口 忍、奥野 ひろみ ほか/ 医学書院/第4版/ISBN978-4-260-05303-7</li> <li>・国民衛生の動向2023/2024(厚生省の指標2023年8月増刊)/厚生労働統計協会(3年次使用)</li> </ul>	
参考図書など		<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論/標 美奈子 ほか/医学書院/第6版/ISBN:978-4-260-04707-4(購入済)</li> <li>・厚生労働統計協会:保険と年金の動向、国民の福祉と介護の動向(各最新版)</li> <li>・母子保健マニュアル/五十嵐隆ほか編/南江堂/第5版/ISBN 978-4-525-18448-3</li> <li>・新版 保健師業務要覧/井伊久美子、勝又浜子、森永裕美子 ほか/第4版/ISBN:978-4-8180-2381-9</li> <li>・実習先自治体の各種資料(計画、データ等HP参照) 他、適宜紹介する。</li> </ul>	
アクティブ・ラーニング		シミュレーション、グループワーク、ディスカッション、ロールプレイング、発表や意見交換を講義内で行う。	
実務経験のある教員による授業		教員は保健師の実務経験を活かし、公衆衛生看護活動、多職種や地域との連携等について事例を用いながら授業を展開する。	
留意事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目。</li> <li>・授業でコンピュータールームを使用する場合がある。</li> </ul>	

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
公衆衛生看護管理論 Management of Public Health Nursing	選択	講義	1単位 (15時間)	4年前期	澤井美奈子	○
ナンバリングコード	HPNC3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
公衆衛生看護学						
授業概要	公衆衛生看護管理の構成要素、専門的自律と人材育成方法について学習する。具体的には、公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、人事管理、予算管理、組織運営と管理および保健師教育について学習する。 健康危機管理については、理念と健康危機管理の目的や制度・システム、関係法令や行政や関連機関との連携、危機管理の対象や健康危機管理における保健師の役割・機能、保健活動の実践について学習する。					
到達目標	1) 公衆衛生看護管理を構成する各要素について理解し、説明できる。 2) 公衆衛生看護専門職としての自律について、評価・研究方法を修得し、その活用方法を説明できる。 3) 人材育成における、保健師教育の変遷および継続教育の目的と方法について説明できる。					
回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)			担当教員	
1	オリエンテーション 公衆衛生看護管理とは	授業の進め方、8章 公衆衛生看護管理の定義、構成する要素、マネジメントとリーダーシップ 【演習】公衆衛生看護管理に関する動画を視聴、解説する。 事前学習(30分) 教科書 公衆衛生看護管理のページを読む。 事後学習(60分) 実習先・居住地自治体発行物から様々な資料・記事を収集し整理する。			澤井美奈子	
2	地域ケアと管理	8章 地域ケアマネジメント(※個別も含む) 地区管理、事例管理、事業管理 【講義・ディスカッション】 事前学習(30分) 教科書の関連箇所を読む。実習先管轄地域の地理、自治会を調べる。 事後学習(60分) 課題に取り組み、学修を定着させる。			澤井美奈子	
3	組織運営と管理	8章 組織ケアマネジメント 組織管理、人事管理、予算管理 【講義・ディスカッション】 事前学習(30分) 実習先自治体の予算、組織図を調べる。 事後学習(60分) 課題に取り組み、学修を定着させる。			澤井美奈子	
4	公衆衛生看護管理の統合	8章 公衆衛生看護管理の統合 情報管理、健康危機管理 【講義・ディスカッション】 事前学習(30分) 実習先自治体の情報管理に関する条例、地域防災計画等を調べる。 事後学習(60分) 課題に取り組み、学修を定着させる。			澤井美奈子	
5	公衆衛生看護の質の保証	地域ケア・公衆衛生看護の現状と社会資源の課題、改善方法 質の評価、課題、マインドマップの活用 事前学習(30分) 教科書の関連箇所を読み、資料を収集する。 事後学習(60分) 事後課題に取り組み。実習先自治体事業の目的と質の保障についてまとめる。			澤井美奈子	
6	事業計画と予算管理	保健事業と予算のしくみ、保健事業計画立案と予算の確保・執行 【演習】実習先自治体の予算、計画、事業について 事前学習(30分) 教科書の関連箇所を読み、計画案を考える。 事後学習(60分) 事業計画を作成し、学びを深める。			澤井美奈子	
7	情報管理と公衆衛生看護研究	公衆衛生に関連する情報とその管理、倫理と公衆衛生看護学分野の研究 【演習】実習先で行われる各種事業で触れる情報、関心分野の知識を深める 事前学習(30分) 教科書の指定箇所を読む 事後学習(60分) 関連する資料や情報を収集、整理し、課題(事業調べ)に取り組み			澤井美奈子	
8	まとめ 学生が行う公衆衛生看護管理	自治体保健事業を公衆衛生看護管理の視点で整理する。学生が行う公衆衛生看護管理宣言 【演習・ディスカッション】 事前学習(30分) 既習事項復習、自己のキャリアを考える。実習先自治体の各種計画を整理する。 事後学習(60分) 課題に取り組み、学びを深める。			澤井美奈子	
評価	小テスト(40%)、発表(30%)、課題学習・レポート(30%)					
課題に対する フィードバックの方法	授業内、掲示等で、全体の講評を提示する。					
教科書	・標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論/標 美奈子 ほか/医学書院/第6版/ISBN:978-4-260-04707-4(購入済) ・標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動/中谷 芳美、山口 忍、奥野 ひろみ ほか/医学書院/第4版/ISBN978-4-260-05303-7(購入済)					
参考図書など	厚生労働統計協会:国民衛生の動向、保険と年金の動向、国民の福祉と介護の動向(各最新号) 保健師ジャーナル(医学書院) 他、適宜紹介する。 実習オリエンテーション資料(実習先配布) 実習先自治体の各種資料(計画、データ等HP参照)					
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション					
実務経験のある 教員による授業	保健師経験を有する教員が授業を担当する。					
留意事項	公衆衛生看護学実習Ⅰ実習先資料(オリエンテーション配布物、各種計画、統計書など)を使用します。 *保健師国家試験受験資格取得のための必修科目です。					

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護学実習 I Public Health Nursing Practice I	選択	実験・実習	4単位 (180時間)	4年前期	澤井 美奈子・山崎 真帆・他	○
ナンバリングコード	HPNF3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目	DP1) 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2) 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。					
公衆衛生看護学	DP3) 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。					

授業概要	保健所ならびに市町村での実習を通して、地域社会で生活する住民や家族の個別保健ニーズと地域の健康課題を包括的にとらえ、課題を解決するための地域看護活動の方法と実際の活動について学習する。さらに、公衆衛生看護活動におけるチーム医療の実際についても実習を通して学習する。
到達目標	1) 地域で生活する住民の健康状態を把握し、潜在または顕在する健康課題を明らかにする。 2) 地域で生活している人々の健康問題の改善や解決のために展開される保健事業(健診等)を通して、公衆衛生看護の意義と方法を学ぶ。 3) 地域における保健・医療・福祉行政システムにおける関係機関および関連職種との連携・協働について学ぶ。 4) 地域の健康危機管理について学び、保健師の役割を理解する。5. 公衆衛生看護における看護倫理について学び、実践する。
授業の進め方	1.実習期間 ・保健所・市町村オリエンテーション・地区踏査:4月17・18日 ・保健所・市町村実習:2024年6月3日(月)～6月29日(金) 2.実習施設 神奈川県内保健所・市町村等 3.実習内容・展開 1) 事前学習 オリエンテーション。実習目標をたて、実習地域および参加事業の調べ学習などを行う。 2) 臨地実習 実習先保健所・保健センター管内における、地域アセスメント(地域診断)、各種保健事業への参加、家庭訪問や相談の体験、地区組織活動への参加などを重ね、公衆衛生看護活動について学びを深める。 (注)実習は、実習先の年間スケジュールに沿って実施され、すべての学生が同一期間に同じ内容を実習できるとは限らない。 3)カンファレンス・報告会 実習開始時、実習中、終了時にカンファレンスや情報交換を行い、学びの共有や定着をはかることで学修を深める。 4.記録提出 提出期日および提出先は担当教員の指示に従うこと。 5.その他 詳細は、公衆衛生看護学実習 I 実習要項および臨地実習ガイドラインを参照すること。

評価	実習要綱に示す実習内容、実習記録、レポート等評価区分に基づき評価する
課題に対するフィードバックの方法	臨地施設での教員、実習指導者による直接指導、記録へのコメント、カンファレンス
教科書	授業で使用した教科書すべて
参考図書など	授業時配布資料、実習オリエンテーション資料、実習施設内学生実習用貸し出し資料、実習先自治体のHPIほか
アクティブ・ラーニング	学内演習・グループワークによる演習・ディスカッションと臨地実習での体験、見学(家庭訪問、健康診査、健康教育など)
実務経験のある教員による授業	教員は保健師等としての実務経験を活かし、行政における公衆衛生看護活動や多職種との連携、地域をとらえる視点等について実践的な指導をする。
留意事項	実習先の保健所等で提供される事業について、十分に事前学習して、主体的に取り組むこと。 実習期間は4週間と長いので、自らの健康管理に十分配慮すること。

授業科目の名称	必修・ 選択の別	授業 形態	単位数 (時間数)	配当 年次	科目担当教員	実務経験の ある教員に よる科目
公衆衛生看護学実習Ⅱ Public Health Nursing Practice Ⅱ	選択	実験・実習	1単位 (45時間)	4年後期	澤井 美奈子・山崎 真帆・他	○
ナンバリングコード	HPNF2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける			
授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
公衆衛生科目	DP4) 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5) 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6) 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。					
公衆衛生看護学						
授業概要	地域における医療機関・関係機関の役割と連携、住民の力を特定の地域および組織での実習を通し学ぶ。また学校・産業保健の視点での実習を通して、それぞれの場特有の課題とそれに対応して展開される保健活動の実際を主体的に学び取り、実施可能な活動を展開・評価する。					
到達目標	<p>1. 地域におけるヘルスケアシステム</p> <p>1) 特定地域における住民の健康問題や利用状況を把握し、地域内の社会資源や医療機関等の関係機関および健康支援に携わる看護職者ほか専門職の役割と連携について説明できる。</p> <p>2) 地域の住民と多分野多機関の関係者が協働し、組織的に活動することの意義を具体的に説明できる。</p> <p>3) 地域の住民を対象とした活動の、計画、実施、評価について考えることができる。</p> <p>2. 産業保健</p> <p>1) 働く人の健康の保持増進、予防に関する各種施策、事業の意義と仕組みが説明できる。</p> <p>2) 健康診断と事後指導・個別相談等へ参加を通して、労働者個人や職場組織の健康課題とそれに対する保健活動の実際、および保健師の役割を学ぶ。</p> <p>3. 学校保健</p> <p>1) 学校保健安全に関する主な法規、各種施策、事業の意義と仕組みを実習内容から具体的に説明できる。</p> <p>2) 子どもの発達とさまざまな健康課題に関する知識を基盤に、学校教育法に規定される学校等において展開される教育活動を学校保健の視点で見直し、その目的および意義について説明できる。</p> <p>3) 実習施設における学校保健に関する年間の活動目的と内容を主体的に学び取り、閲覧可能な資料から課題や対応策について説明できる。</p>					
授業の進め方	<p>1. 実習期間: 9～11月の連続しない1週間</p> <p>2. 実習施設: 学校・産業保健施設、病院、大学周辺地域の各種施設</p> <p>3. 実習内容</p> <p>1) 地域のヘルスケアシステム</p> <p>2) 産業保健</p> <p>3) 学校保健</p> <p>(注) 実習期間、実習施設、により実習スケジュールは異なる。</p> <p>4. 実習の展開</p> <p>学生によって実習予定は異なる。</p> <p>実習施設の機能・目的・対象者・根拠法等について事前学習し、実習目標を明確にして毎日の実習に臨む。</p> <p>日々の学習の共有やまとめは、教員、指導者に相談しながら学生主体で行う。</p> <p>5. 記録提出</p> <p>提出期日および提出先は担当教員の指示に従うこと。</p> <p>6. その他</p> <p>詳細は、公衆衛生看護学実習Ⅱ実習要項および臨地実習ガイドラインを参照すること。</p>					
評価	実習要綱に示す実習内容、実習記録、レポート等評価区分に基づき評価する					
課題に対する フィードバックの方法	臨地施設での教員、実習指導者による直接指導、記録へのコメント、カンファレンス					
教科書	授業で使用した教科書すべて					
参考図書など	授業時配布資料、オリエンテーション資料、実習施設ごとの資料、関連HPほか					
アクティブ・ラーニング	学内演習・グループワークによる演習・ディスカッションと臨地実習での体験、見学					
実務経験のある 教員による授業	教員は保健師等の実務経験を活かし、地域における公衆衛生看護活動や多職種との連携、学校・産業保健の視点等について実践的な指導をする。					
留意事項	実習先について、十分に事前学習して主体的に臨むこと。					